高知市斎場式場棟改修工事

有限会社　山口英治建築設計事務所

図面 No	図 面 名	図面 No	図 面 名
【建築】	（建築工事）		
特A- 01	改 修 特 記 仕 様 書(1)	A- 19	中式場　改修展開図
特A- 02	改 修 特 記 仕 様 書(2)	A- 19-1	中式場祭壇・倉庫　改修展開図
特A- 03	改 修 特 記 仕 様 書(3)	A- 20	大式場　既存平面詳細図
特A- 04	改 修 特 記 仕 様 書(4)	A- 21	大式場　改修平面詳細図
特A- 05	改 修 特 記 仕 様 書(5)	A- 22	大式場　既存展開図
特A- 06	改 修 特 記 仕 様 書(6)	A- 22-1	大式場祭壇・倉庫　既存展開図
特A- 07	改 修 特 記 仕 様 書(7)	A- 23	大式場　改修展開図
特A- 08	改 修 特 記 仕 様 書(8)	A- 23-1	大式場祭壇・倉庫　改修展開図
A- 01	付近見取図・配置図	A- 24	式場ﾎｰﾙ　既存平面詳細図
A- 02	仕上表	A- 25	式場ﾎｰﾙ　改修平面詳細図
A- 03	【欠番】	A- 26	式場ﾎｰﾙ　既存展開図-1
A- 04	既存・改修平面図	A- 27	式場ﾎｰﾙ　既存展開図-2
A- 05	既存・改修天井伏図	A- 28	式場ﾎｰﾙ　改修展開図-1
A- 06	既存・改修小屋伏図	A- 29	式場ﾎｰﾙ　改修展開図-2
A- 07	既存断面詳細図	A- 30	建具・ｻｲﾝｷｰﾌﾟﾗﾝ
A- 08	改修断面詳細図	A- 31	既存金属建具表-1
A- 08-1	部分詳細図	A- 32	既存金属建具表-2・ｻｲﾝ表
A- 09	遺族控室1　既存平面詳細図・展開図	A- 33	既存木製建具表
A- 10	遺族控室1　改修平面詳細図・展開図	A- 34	改修金属建具表-1
A- 11	遺族控室2　既存平面詳細図・展開図	A- 35	改修金属建具表-2
A- 12	遺族控室2　改修平面詳細図・展開図	A- 35-1	改修ｻｲﾝ表
A- 13	更衣室1　既存改修平面詳細図・展開図	A- 36	改修木製建具表
A- 14	便所　既存平面詳細図・展開図	A- 37	既存外構図
A- 15	便所　改修平面詳細図・展開図	A- 38	改修外構図
A- 16	中式場　既存平面詳細図	A- 39	仮設計画図
A- 17	中式場　改修平面詳細図	A- 40	膜天井伏詳細図【参考図】
A- 18	中式場　既存展開図	A- 41	膜天井断面詳細図【参考図】
A- 18-1	中式場祭壇・倉庫　既存展開図	A- 42	膜天井部分詳細図【参考図】

2024.04

高知市斎場式場棟改修工事　　特記仕様書

Ⅰ 工 事 概 要

1．工事場所　　高知市幸崎75番地

2．工事種目　　【式場棟】　鉄筋コンクリート造　平家建て　延べ面積869.5㎡
　1） 内部改修　　一式
　2） 外構　　一式

3．関連工事等　　⊙電気設備工事　⊙機械設備工事　・ガス設備工事　・昇降機設備工事　・植栽工事
　・合併処理装置設置工事

4．概成工期　　・完成期限の（　　）日前　（ 令和　　年　　月　　日）

5．部分使用(工事請負契約書第34条第1項)
　令和　年　月　日からは，全ての室内部分を使用する。

II 建 築 工 事 仕 様

1．特記仕様
　1） 項目は，番号に○印の付いたものを適用する。
　2） 特記事項は，⊙印の付いたものを適用する。⊙印のつかない場合は，※印の付いたものを適用する。
　　⊙印と⊗印の付いた場合は，共に適用する。
　3） 特記事項に記載の（　　）内表示番号は，「公共建築工事標準仕様書」の当該項目，当該図又は当該表を示す。
　　特記事項に記載の［　　］内表示番号は，「公共建築改修工事標準仕様書」の当該項目，当該図又は当該表を示す。
　　特記事項に記載の＜　　＞内表示番号は，「建築物解体工事共通仕様書」の当該項目，当該図又は当該表を示す。

2．適用基準等
　図面及び特記事項に記載されていない事項は，全て国土交通省(建設)大臣官房官庁営繕部監修の以下による。
　⊙公共建築工事標準仕様書（建築工事編）　(令和４年版)
　⊗公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）　(令和４年版)
　⊗建築工事標準詳細図　(令和４年版)
　・敷地調査共通仕様書　(令和４年版)
　⊙建築物解体工事共通仕様書　(令和４年版)

3．「週休２日制モデル工事」の実施について
　⊙対象　（⊙ 発注者指定型　　・ 受注者希望型　）
　本工事は，工事着手日から工事完成日までの間の土曜日及び日曜日を現場の休工日の基本とする「週休２日制モデル工事」の対象工事である。実施にあたっては高知市「週休２日制モデル工事」実施要領（営繕工事編）による。
　(https://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/123/syukyuhutsuka.html)
　・対象外（理由：　　）

項　目		特　記　事　項
一般共通事項		
①	工事実績情報サービス(CORINS)への登録 (請負金額500万円以上) (受注，変更，完成時)	登録の手続きについては，(一財)日本建設情報総合センターの「建設実績情報のコリンズ テクリス登録等に関する規約」による。　[1.1.4]
②	総合工程表	原則，工事の着手に先立ち，別契約関連工事の受注者と協議し，受注者及び別契約関連工事の受注者連名による総合工程表を監督職員に提出する。
③	総合図	工事の施工に先立ち別契約関連工事の受注者と調整のうえ，総合図を作成し，監督職員の承諾を受ける。　[1.2.3]
④	工事日誌	週ごとに工事の全般的な経過及び次週の工事予定を記載した日誌を監督職員に提出する。　[1.2.4] また，工事の経過が明確にわかる写真を貼付すること。
⑤	工事写真	工事写真はL版程度とし，工事の内容，日付等必要事項を記入し１部提出する。(A4版台紙)　[1.2.4] 撮影方法は，「営繕工事写真撮影要領(令和５年版)」による。 デジタル工事写真の小黒板情報電子化の実施をする場合は，監督職員の承諾を受ける。 なお，実施については，国営建技第14号(令和５年３月１日付)「デジタル工事写真の小黒板情報電子化について」による。
⑥	下請負者の報告	各下請負者については下請負契約前に監督職員に報告する。
7	電気保安技術者	適用する。　[1.3.3]
⑧	施工条件	施工日及び施工時間　※1.3.5(1)(7)による。　[1.3.5] ⊙図示(A-39 参照) ・施工順序　　・図示 工事用車両の駐車場所及び資機材の置場所 ※　仮囲内　　⊙　図示(A-01 参照) その他の施工条件 ⊙資機材の搬出入時には，専任の誘導員を配置する。その他の場合でも，工事関係車両(乗用車も含む)が敷地内を通行する際には必ず誘導するものをつけ，公道まで徐行する。 ・登下校時間帯や休み時間等は車両の通行を中止する等必要な配慮をする。 ⊙図示(A-39 参照)
⑨	交通誘導警備員	交通誘導警備員を配置する場合は，原則として警備業法(昭和47年法律第117号)第４条による認定を受けた警備業者の警備員を配置することとし，建設作業員等の他職種の者を従事させないこととする。 ただし，一時的な作業等で，安全確保に対処できると監督職員が認めたものについては，この限りでないものとする。 配置人員等　・令和　年　月　日から令和　年　月　日までの間は　名常駐する。 ⊙作業日は 1 名常駐する。その他監督職員と協議し，適宜配置する。 ・監督職員と協議し，適宜配置する。

項　目		特　記　事　項
		配置人員の資格 ・１名以上／１班は交通誘導警備業務に係る検定合格者（１級又は２級）を配置する工事。 ※交通誘導に関し，１名以上／１班は専門的な知識及び技能を有する警備員等を配置する工事。 資格　資格要件　配置人数 １，２級交通誘導警備検定合格者（交通誘導警備員Ａ）：交通誘導警備に関して，公安委員会が学科及び実施試験を行い，専門的な知識及び技能を有すると認めたもの　人 交通誘導に関し，専門的な知識及び技能を有する警備員等（交通誘導警備員Ｂ）：警備業法における指定講習を受講したもの／警備業法における基本的基礎教育及び業務別教育(警備業法第２条第１項第２号の警備業務)を現に受けているもので，交通誘導に関する警備業務に従事した期間(実務経験年数)が１年以上であるもの　120 人 なお，事前に監督職員に検定合格証の写し等の資格要件の確認できる資料を提出する。 また，警備員等に変更が生じた場合は，速やかに監督職員に同様の資料を提出する。
⑩	工事安全計画書	建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に，工事安全計画書を監督職員に提出する。
⑪	統括安全衛生管理義務者の指名	労働安全衛生法第30条第２項に基づき指名をする。
⑫	発生材の処理	産業廃棄物の運搬，処分等については，1.3.12により適切に処分するものとし，　[1.3.12] 事前に監督職員に処理計画書を提出する。 産業廃棄物の運搬，あるいは処分を他業者に委託する場合は，書面による委託契約を行い， 処理計画書にその写しを添付する。 自己処分場で処分する場合は，その処分場が関係法令の規定に適合する旨の資料を提出し，監督職員の現地立会を受けたうえで承諾を得る。(積替・保管についても同様とする) 産業廃棄物の収集・運搬に当たっては，廃棄物の処理及び清掃に関する法律(以下廃棄物処理法という)施行令に基づく車両への表示及び書面の備え付けを行うこと。 また，産業廃棄物を搬出する車両について，処分場ごとに１台のみ写真撮影(現場搬出時及び処分場到着時)し，随時監督職員に報告する。 廃棄物処理法を遵守し，工期内に最終処分(埋立処分，海洋投入処分又は再生)を終了しなければならない。 また，産業廃棄物管理票(以下マニフェストという)により適正に処理されていることを確認するとともに，監督職員にそのＥ票の写しを提出する。 ただし，廃棄物処理法を遵守した上で，工期内に産業廃棄物の最終処分を終了することが困難な場合で，監督職員が認める場合においては，工期内に中間処理業者への搬入が終了すればよいものとする。 この場合，マニフェストにより適正に中間処理業者に搬入されていることを確認するとともに，監督職員にそのＢ２票の写しを提出する。また，最終処分終了後速やかにＥ票の写しを提出する。 なお，廃棄物処理法に定める電子情報処理組織を使用する場合は別途協議する。 ・引渡しを要するもの　（　・　） ・現場再利用を図るもの　（　・　） ⊙再資源化を図るもの　（※コンクリート　※コンクリート及び鉄から成る建設資材　※木材　※アスファルトコンクリート　） 特別管理産業廃棄物の施工計画調査 ※行う　・行わない 分析調査 ※施工計画調査の結果により，監督職員と協議する。 ・行う（　　）・行わない ・ＰＣＢを含む機器類 ・変圧器 ・コンデンサ ・蛍光灯，ＨＩＤ灯器具の安定器 ・その他（　　） ・ＰＣＢ含有シーリング材 ・廃油 ・廃酸　廃アルカリ ・臭化リチウム水溶液 ・電池の溶解液 ・ダイオキシン類
⑬	再生資源利用(促進)計画書及び実施書の提出 (請負金額100万円以上)	再生資源利用(促進)計画書及び実施書を，建設副産物情報交換システム（COBRIS）により作成し，提出は以下による。 a) COBRISについては，建設副産物情報センターのホームページ(http://www.recycle.jacic.or.jp)より，利用申請等を行うことができる。 b) 建設資材の利用量の大小や有無に関らず，紙に出力した再生資源利用計画書及び実施書（建設リサイクルガイドライン様式１）を，完成資料として監督職員に提出する。 c) 建設副産物の発生量及び搬出量の大小や有無に関らず，紙に出力した再生資源利用促進計画書及び実施書（建設リサイクルガイドライン様式２）を，完成資料として監督職員に提出する。 d) 受注者は再生資源利用（促進）計画書（現場掲示用様式）を工事現場の見やすい場所に掲げること。 e) 受注者は作成したデータを含め，再生資源利用(促進)計画書及び実施書を工事完成後５年間保存する。
⑭	工事の保険	工事請負契約後，速やかに工事目的物，工事材料等に生じる損害，第三者に及ぼした損害を補償する保険を締結する。保険期間は，工事着工のときから完成期限より24日後以降までの期間とする。
⑮	契約保証	※金銭的保証方式　・
⑯	前払金支出割合区分補正	・有　　⊙無
⑰	証明書の提出 (グリーン購入法)	「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」(グリーン購入法)及び「高知県グリーン購入基本方針及び実施計画」に基づき，重点調達品目については，積極的に利用すること。なお，重点調達品目の中で木材・木材製品等においては，その原料とされる原木が生産された国における森林に関する法律に照らして合法なものを使用する。 木材・木材製品等については，県産木材納入証明書，県外産合法木材納入証明書を監督職員に提出すること。　[1.4.2]
⑱	石綿含有建材の調査	事前調査の報告　一定規模以上の工事は労働基準監督署と高知市に報告が必要となる 事前調査範囲　※ 改修範囲　・　[1.5.1] 貸与資料　※ 有　（⊙既存の設計図書 ⊙石綿含有建材分析結果報告書(特A-08図)） ・無 分析調査　※ 書面調査及び現地での目視調査の結果により，監督職員と協議する。 ・行う （調査建材使用部位　　調査建材名　　検体数　） 分析方法　※定性分析　・ 定性分析の結果により，定量分析を行う場合は監督職員と協議する。

項　目		特　記　事　項
19	施工数量調査	調査範囲　※ 図示　・改修建物の外壁，軒天，パラペット　・　[1.6.2] 調査方法　※ 外部足場を使用した目視及び打診　・ 破損部分の補修方法　※ 現状に復旧　・ 外壁調査は，外壁改修フローに対する外壁面のひび割れ，浮き，欠損部，内部まで貫通したひび割れ及び雨漏りの有無についての位置及び数量(幅，長さ，面積)の調査を行う。 また，その調査の結果を立面図等に記載し集計表を添えて電子データと共に，監督職員に報告する。(必要に応じ写真等を添付する)
⑳	技能士及び技能資格者	※適用する　(○：一級，●：二級)　[1.7.2][1.7.3] 工事種別：技能検定の作業の種別 ⊙仮設工事：※●とび作業(又は足場組立作業主任者)　・ ・鉄筋工事：※○鉄筋組立て作業　・ ・コンクリート工事：・○コンクリート圧送工事作業　・○型枠工事作業 ・鉄骨工事：※●とび作業 ・ブロック・ALCパネル工事：・○コンクリートブロック工事作業 ・(単一)エーエルシーパネル工事作業 ・防水工事：・○アスファルト防水工事作業 ・○ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・○アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・○合成ゴム系シート防水工事作業 ・○塩化ビニル系シート防水工事作業 ・○セメント系防水工事作業　・○シーリング防水工事作業 ・○改良アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・○ＦＲＰ防水工事作業 ・石工事：※○石張り作業　・ ・タイル工事：※○タイル張り作業　・ ・木工事：※○大工工事作業　・ ・屋根及びとい工事：・○かわらぶき　・○スレート工事作業　・○内外装板金作業 ⊙金属工事：⊙○鋼製下地工事作業　・(単一)金属製パルコニー工事作業 ⊙左官工事：※●左官作業　・ ⊙建具工事：・●ビル用サッシ施工作業 ⊙○木製建具製作　・○ガラス工事作業 ・カーテンウォール工事：※○金属製カーテンウォール工事作業　・ ⊙塗装工事：※●建築塗装作業　・ ⊙内装工事：⊙○プラスチック系床仕上げ工事作業　・○壁装作業 ・●カーペット系床仕上げ工事作業　・●畳製作作業 ⊙○ボード仕上げ工事作業 ・植栽工事：※○造園工事作業　・ ・その他：・○樹脂接着剤注入工事作業(エポキシ樹脂注入工事) 又は(単一)樹脂接着剤注入工事作業(エポキシ樹脂注入工事) ・○家具手加工作業 ・ 適用する技能士について，当該資格を有することが確認できる書類及び資格者が特定できる書類(運転免許証等)の写しを提出する。
㉑ | 化学物質の室内濃度の測定 | 化学物質の室内濃度を測定し，厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し，　[1.7.9]
報告書を監督職員に提出する。
ただし，完成検査前に報告書の提出が困難な場合は，事前に信頼のおける速報等の資料を監督職員に提出する。この場合，後日に正式な報告書を速やかに監督職員に提出しなければならない。
測定する業者の選定にあたっては，あらかじめ監督職員に報告すること。

測定方法
※ 厚生労働省「室内空気中化学物質の室内濃度指針値及び標準的測定方法について」による。
測定対象化学物質
※ ホルムアルデヒド　※ トルエン　※ キシレン　※ エチルベンゼン
※ スチレン　※ パラジクロロベンゼン　・　・
測定箇所　（ 2 ）箇所　施工前・施工後（計 4 回測定）
測定対象室　（ 大式場，中式場　）
なお，測定結果が厚生労働省の定める指針値を超えている場合は，原則として本工事の引き渡しを行わないこととする。ただし，次のいずれかに該当する場合は除く。
1 何らかの対策が施された結果，揮発性有機化合物の濃度が厚生労働省の定める指針値以下となったことが確認された場合。
2 濃度測定の結果が，本工事の施工により生じたものでないことが明確である場合。
3 濃度測定が，使用開始後(備品の搬入等を含む)に行われた場合。
本工事の引き渡し後，あるいは，使用開始後に室内の揮発性有機化合物(VOC)の濃度測定が行われ，測定結果が厚生労働省の指針値を超えている場合については，受注者は，工事引き渡し後であっても，その原因究明に当たって協力しなければならない。
また，本工事の施工が原因となって，化学物質の濃度が厚生労働省の定める指針値を超えたものであることが判明した場合は，受注者の負担により，その対策を講じなければならない。 |
㉒ | 直接仮設の養生 | 内部養生に合板又は構造用パネルを使用する場合，その合板または構造用パネルのホルムアルデヒド放散量はＦ☆☆☆☆，又はそれと同等と認められる製品を使用する。 |
㉓ | 建築材料等 | 本工事に使用する材料等のうち，特定のものが特記された場合は，設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。(記載順序は不同)また，「評価名簿による」と特記されたものについては，(一社)　公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿」によるもの，又は評価の内容についてこれらと同等と認められるものとする。
ただし，同等とする場合は，監督職員の承諾を受ける。

県内産資材の優先使用
本工事に使用する資材は，機能，品質，価格等が同等であれば，県内産資材を優先して使用するものとする。 なお，県外産資材を使用する場合は，使用理由を施工計画書の打合せ事項に記載し，監督職員の確認を受けること。
注１： 県内産資材とは，高知県内で産出した原材料を用いて，高知県内で製造，加工した資材，又は高知県外で産出した原材料を用いて，高知県内で製造，加工された資材をいう。
ただし，①木材は，高知県内の森林から生産されたもの，②生コンクリートの細骨材に配合する海砂は，高知県内で産出されたものとする。
注２： 県外産資材とは，県内産資材以外の資材をいう。 |
㉔ | 特別な材料の工法 | 公共建築工事標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は，監督職員の承諾を受けて当該材料製造所の指定する工法による。 |
㉕ | 風圧力 | 本工事に使用する材料及び工法は，建築基準法に基づき定まる風圧力に対応したものとし，速度圧を求める場合の風速(Vo)及び地表面粗土区分は，次の数値とする。
風速(Vo)：　※　38m/sec　・36m/sec　地表面粗土区分：　※　Ⅲ　・Ⅱ |
㉖ | 仕上面の出隅処理 | 内外部とも仕上出隅で利用者の手の届く範囲は，図示が無くとも原則として全て面取りを施す。
木部(家具を含む)　6㎜程度
コンクリート，モルタル部　20㎜程度
鉄部，金属部　3㎜程度
建具類等，上記により難い場合は，監督職員と協議する。 |

高知市　都市建設部　公共建築課	工事名：高知市斎場式場棟改修工事	係：中村	係長：笹岡	課長補佐：濱口	課長：松本	図面番号：特A-01
	図面名：改修特記仕様書（1）　2024.04　縮尺：1／	作図　年　月　日				

項目	特記事項

27 事業損失補償
※現場説明書による。 ・

㉘ 完成時の提出図書
※ 完成図(作成範囲 ※配置図 ※平面図 ※立面図 ※断面図 ※仕上表) [1.9.1][1.9.2]
※ 完成図(ＣＡＤデータの提出 ※する(CD-R等) ・しない)
※ 保全に関する資料(提出部数 ※２部 ・ 部) [1.9.3]
上記のほか，使用材料のメーカー名，品番，色(マンセル値等)をCADデータ等で監督職員に提出する。
また，工種別下請負者の一覧表を提出する。
※ 施工図，施工計画書 [1.9.2]
提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る使用権は，発注者に移譲するものとする。

㉙ 完成写真
下表のものを監督職員に提出する。

位置	分類・規格	撮影枚数	部数	原版の大きさ(mm)
⊙各室	手札版(L版)	※２枚・ 枚	※１部・ 部	・100 × 125以上
・外部	キャビネ版	※４枚・ 枚	※１部・ 部	・ 24 × 36以上
・外部	半切パネル(・木製枠※アルミ枠	※１枚・ 枚	※１部・ 部	
・	スライド		※１部・ 部	

カラー・電子データ化(CD-R等)し，すべて提出する。
撮影箇所は監督職員と協議する。
上表のほか，監督職員指示の箇所をデジタルカメラにて撮影し，CD-R等にて提出する。
画像形式等 フォーマット：JPEG 画質：標準 画像サイズ：1024×768ピクセル程度

㉚ 別途設備工事との取合い
施工範囲
・ 貫通孔，開口部の補強 ※ 下表 ・ 図示
・ 壁，天井の仕上材，下地材の切込み及び下地材の補強 ※ 下表 ・ 図示
⊙ 駆動装置が電動による建具類の２次配線及び操作スイッチ
・ 自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強
・

補強種別		内容
貫通孔，開口部の補強	梁	
	壁	
	スラブ	
壁切込み及び補強		
天井切込み及び補強		

㉛ 撤去部分
コンクリート，モルタル，タイル等の撤去部分の境目は，原則としてダイヤモンドカッター切りとする。

㉜ 不当要求等への対応
暴力団又は暴力団関係者からの不当要求又は工事妨害(以下この文において「不当介入」という。)の排除については次による。
a) 受注者は，暴力団又は暴力団関係者からの工事の施工に関して不当介入を受けたときは，その旨を直ちに監督職員に報告し，所轄の警察署に届出なければならない。
b) 受注者は，不当介入による被害を受けたときは，その旨を直ちに監督職員に報告し，所轄の警察署に届出なければならない。
c) 受注者は，監督職員及び所轄警察署と協力して，不当介入の排除処理を講じなければならない。
d) 受注者が，不当介入の報告を怠った場合は，「高知市競争入札指名停止措置要綱」に基づき，指名停止措置を行うものとする。

㉝ 消防計画
工事の着手にあたり，火災等の災害の予防や，使用部分と工事中の部分の安全を確保するため，別契約の関連工事業者と協議の上，「工事中の消防計画書」を作成し，当該施設の防火管理者の承諾を得て届出を行う。

㉞ 工事特性等
受注者は，自ら立案した工事特性，創意工夫，社会性等のそれぞれの評価項目について，実施しようとする場合は，事前に計画内容を所定の様式で監督職員に提出する。
また，実施後，工事完成時までに所定の様式に実施状況の分かる図面や状況写真等を添付して監督職員に提出する。

仮設工事（改修）

① 足場その他
内部足場 ⊗ きゃたつ，足場板等 ⊙棚足場 [2.1.3][2.2.1][表2.2.1]
外部足場 ※ 本足場 ・
外部足場の養生 ※ 図示 ・防護シート ・メッシュシート ・防音シート ・防音パネル
材料，搬去材の運搬方法 ・Ａ種 ※ Ｂ種 ・Ｃ種 ・Ｄ種 ・Ｅ種
Ｃ種の場合 利用可能なエレベーター(※図示 ・)
Ｄ種の場合 利用可能な階段(※図示 ・)
・ 屋上防水作業の端部には，墜落防止手摺等墜落の危険を防止する措置を講ずる。
本足場を設ける場合は，公共建築改修工事標準仕様書2.2.1(2)によるほか，足場の組立，解体又は変更の作業は，「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」により行うこと。

② 養生
⊙ 既存部分の養生 ※ ビニルシート，合板等 ・ [2.3.1]
⊙ 既存家具，既存設備等の養生 ※ ビニルシート等 ・
・ 既存ブラインド，カーテン等の養生,保管場所 ※ 図示
・ 固定された備品等の移動 ※図示
・ 開口部養生 窓等の破損の危険がある工事を行う場合は，施工を行う周辺及びその下部の窓等には，室内に破損物等が飛散しない様，堅固な養生を行う。

3 仮設間仕切り（屋内）
設置箇所 ※ 図示 [2.3.2][表2.3.1]
間仕切り種別 ・ Ａ種 ・ Ｂ種 ※ Ｃ種
Ａ種，Ｂ種の場合
仕上げの材種 ※せっこうボード 厚さ9.5mm ・合板(普通合板) 厚さ9.0mm
塗装仕上げ等 ・ 行う ※ 行わない
仮設扉設置箇所 ※ 図示
仮設扉種別 ・合板張り木製扉程度 ・ 図示

④ 監督職員事務所
・設ける（ m²程度） ※設けない

項目	特記事項

5 監督職員の備品等
備品等の設置 [2.4.1]

備品の種類	机・椅子	書棚	黒板	ＰＣ	掛時計
数量	組	台	枚	台	個
備品の種類	温度計	ゴム長靴	雨がっぱ	保護帽	懐中電灯
数量	個	足	着	個	個
備品の種類	衣類ロッカー	冷暖房機器	消火器	湯沸器	加入電話付属器
数量	人用	台	個	台	台
備品の種類	掃除具				
数量	個				

⑥ 工事用水・電力
構内既存の施設(用水) ⊙利用できる (※ 有償 ・無償) ※ 利用できない
構内既存の施設(電力) ⊙利用できる (※ 有償 ・無償) ※ 利用できない

構内既存の施設を利用できる場合で，無償の場合は，下記a)～c)による。
a) 既存設備の水栓等から直接水を使用する場合は，監督職員と協議する。
b) 既存のコンセントから直接電力を使用する場合は，監督職員と協議する。
c) 工事用電源を既存建築物から分岐する場合は，原則，既設分電盤の共用回路のコンセントからとする。なお，接続する回路の負荷状態等を確認し，既設負荷への波及がないようにする。
また，漏電遮断器付コンセント等を使用し，安全の確保を図る。
構内既存の施設を利用できる場合で，有償の場合は，上記a)～c)に下記d)～e)を加える。
d) 工事用水は，既存設備に量水器を設けて，仮設配管を施し使用するものとする。
e) 工事用電力は，原則，既存設備に電力計を設けて，仮設配電盤を設置し，使用するものとする。

四国電力送配電㈱などの架空線に防護管の設置が必要な場合は，監督職員と協議する。

⑦ 仮囲い
※ 図示 ・

⑧ 仮設物撤去後の整地・跡片付け
※ 原形の復旧
・ 良土にて設計地盤まで盛土整地する。 範囲(図示) 厚さ( ) [2.5.1]

防水改修工事

① 降雨等に対する養生方法
※3.1.3(5)による ・ [3.1.3]

2 既存下地の処理
既存下地の補修箇所，範囲，数量等 ※ 図示 [3.2.6]
設備機器架台、配管受部、パラペット、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部，防水層末端部等の納まり部の処理 ※ 図示(図示のない場合は監督職員と協議による)
・ 製造所の仕様による

3 アスファルト防水
屋根保護防水
防水層の種別 [3.3.2][3.3.5][表3.3.3～表3.3.6]

工法	種別	施工箇所	断熱材の厚さ	絶縁用シート	立上り部の保護
・Ｐ２Ａ	・Ａ－１ ※Ａ－２ ・Ａ－３			※ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm以上 ・フラットヤーンクロス (70g／m2程度)	・乾式保護材 ・れんが押え ・コンクリート押え ・
・Ｐ１Ｂ	・Ｂ－１ ※Ｂ－２				
・Ｐ２ＡＩ	・ＡＩ－１ ※ＡＩ－２ ・ＡＩ－３		厚さ：・ mm ・図示	※フラットヤーンクロス (70g／m2程度)	
・Ｐ１ＢＩ	・ＢＩ－１ ※ＢＩ－２				

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ [3.3.2]
※ 表3.3.5及び表3.3.6による ・
絶縁工法のルーフィングの材料 [3.3.2]
・ 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート
種類及び厚さ
※ 表3.3.3及び表3.3.4による ・
・ 砂付あなあきルーフィング
押え金物の材質及び形状 ※ 図示 ・ アルミニウム製，L-30×15×2.0(mm)程度 [3.3.2]
・
乾式保護材 ・窯業系パネル (・Ｉ種 ※Ⅱ種) ・金属複合板 [3.3.5]
製造所 評価名簿による
立上り部への断熱材及び絶縁用シートの設置 [表3.3.4][表3.3.5]
・ 適用する ・ 適用しない
平場の保護コンクリート [3.3.5]
こて仕上げの場合 ※ 80mm以上 ・
床タイル張り等仕上げの場合 ※ 60mm以上 ・
コンクリートの仕上りの平たんさ [3.3.5] [表8.1.5]
※ ａ種 ・ ｂ種 ・ ｃ種
屋上排水溝 ・ 図示 ・ [3.3.5]

屋根露出防水
防水層の種別 [3.3.2][表3.3.7～表3.3.9]

工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	備考
・Ｍ４Ｃ	・Ｃ－１ ※Ｃ－２ ・Ｃ－３ ・Ｃ－４			・高日射反射率塗料の適用	※ 製造所の指定による	
・Ｍ３Ｄ ・Ｐ０Ｄ	・Ｄ－１ ※Ｄ－２			・高日射反射率塗料の適用	※ 製造所の指定による	改修用ﾄﾞﾚﾝ ・設ける ・設けない
・Ｐ０Ｄ１ ・Ｍ３ＤＩ ・Ｍ４ＤＩ	・ＤＩ－１ ※ＤＩ－２		JIS A 9521に基づく発泡ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ断熱材 種類：※硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱材2種1号又は2号 ・ 厚さ：・ mm ・図示	・高日射反射率塗料の適用	※ 製造所の指定による	改修用ﾄﾞﾚﾝ ・設ける ・設けない

立上り部等の防水層撤去 ・ 行う ・ 行わない [表3.1.1]
立上り部等の保護層撤去 ・ 行う ・ 行わない
露出防水層表面の仕上げ塗装除去 ・ 行う ・ 行わない [3.2.6]
脱気装置の種類及び設置数量 ※ 製造所の指定とする ・
屋根露出防水絶縁断熱工法の場合で，ルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置
※ 図示 ・

項目	特記事項

絶縁工法のルーフィングの材料 [3.3.2]
・ 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート
種類及び厚さ
※ 表3.3.3及び表3.3.4による ・
・ 砂付あなあきルーフィング
押え金物の材質及び形状 ※ 図示 ・ アルミニウム製，L-30×15×2.0(mm)程度 [3.3.2]

屋内防水 [3.3.3][表3.3.10]
防水層の種別

工法	種別	施工箇所	保護層
・Ｐ１Ｅ ・Ｐ２Ｅ	・E-2 ※E-2		・設ける ・設けない

E-1の場合で工程3を行う場合 ※貯水槽，浴槽等の常時水に接する部分
押え金物の材質及び形状 ※アルミニウム製，L-30×15×2.0(mm)程度 [3.3.2]
平場の保護コンクリート [3.3.5]
こて仕上げの場合 ※ 80mm以上 ・
床タイル張り等仕上げの場合 ※ 60mm以上 ・
コンクリートの仕上りの平たんさ [3.3.5] [表8.1.5]
※ ａ種 ・ ｂ種 ・ ｃ種

4 改質アスファルトシート防水
防水層の種別 [3.4.2][表3.4.1～表3.4.3]

工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	備考
・Ｍ４ＡＳ	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2			・高日射反射率塗料の適用	※ 製造所の指定による	
・Ｍ３ＡＳ ・Ｐ０ＡＳ	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3			・高日射反射率塗料の適用	※ 製造所の指定による	改修用ﾄﾞﾚﾝ ・設ける ・設けない
・Ｍ３ＡＳＩ ・Ｍ４ＡＳＩ ・Ｐ０ＡＳＩ	・ASI-T1 ・ASI-J1		JIS A 9521に基づく発泡ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ断熱材 種類： ※硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱材 2種1号又は2号 ・ 厚さ：・ mm ・図示	・高日射反射率塗料の適用	※ 製造所の指定による	改修用ﾄﾞﾚﾝ ・設ける ・設けない 防湿層 ・設ける ・設けない

露出防水層表面の仕上げ塗装除去 ・ 行う ・ 行わない [3.2.6]
改質アスファルトシートの種類及び厚さ [3.4.2]
※ 表3.4.1から表3.4.3による
粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ [3.4.2]
※ 表3.0.15から表3.4.3による
押え金物の材質及び形状 ※ 図示 ・ アルミニウム製，L-30×15×2.0(mm)程度 [3.4.2]
・
脱気装置の種類及び設置数量 ※ 製造所の指定とする [3.4.3]

5 合成高分子系ルーフィングシート防水
[3.5.2][表3.5.1～表3.5.2]

工法	種別	施工箇所	厚さ(mm)	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率塗料の適用	備考
・ＰＯＳ ・Ｓ４Ｓ	・S-F1		※1.2	・	※製造所の仕様による	・	改修用ﾄﾞﾚﾝ ・設ける ・設けない
	・S-F2		※2.0 ・1.5			・	
	・S-M1		※1.5	・	※製造所の仕様による	・	
	・S-M2		※1.5			・	
・ＳＳＳ	・S-F1		※1.2	・	※製造所の仕様による	・	改修用ﾄﾞﾚﾝ ・設ける ・設けない
	・S-F2		※2.0 ・1.5			・	
・Ｍ４Ｓ	・S-M1		※1.5	・	※製造所の仕様による	・	改修用ﾄﾞﾚﾝ ・設ける ・設けない
	・S-M2		※1.5			・	
・ＰＯＳＩ ・ＳＳＳＩ ・ＳＳＳＩ ・Ｍ４ＳＩ	・SI-F1		※1.2	・	※製造所の仕様による	・	改修用ﾄﾞﾚﾝ ・設ける ・設けない
	・SI-F2		※2.0 ・1.5			・	
	・SI-M1		※1.5	・	※製造所の仕様による	・	
	・SI-M2		※1.5			・	
・ＰＩＳ	・S-C1		※1.0				立上り保護 ﾓﾙﾀﾙの塗厚 ・図示 ・7mm

断熱工法に用いる断熱材 (SI-F1, SI-F2, SI-M1, SI-M2の場合) [3.5.2]

工法	材料	厚さ
機械的固定工法	JIS A 9521(建築用断熱材)に基づく発泡ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ断熱材 種類：※硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱材2種1号又は2号 ・	・ ・図示
接着工法	JIS A 9521に基づく発泡ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ断熱材 種類：※硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱材2種1号又は2号 ・	・ ・図示

S-M2及びSI-M2の立上り面の工法及びシートの厚さ
工法： ※ 図示 ・ 接着工法 (厚さ mm) ・ 機械固定工法 (厚さ mm)
立上り部等の防水層撤去 ・ 行う ・ 行わない [表3.1.1]
立上り部等の保護層撤去 ・ 行う ・ 行わない
ＰＯＳ工法及びＰＯＳＩ工法(機械的固定工法)の立上り部等の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした場合の既存防水層の処理 ※3.2.6(4)(ウ)(g)による
固定金具の材質及び形状 [3.5.2]
材質 ※ 防錆処理した鋼板，ステンレス鋼板またはそれらの鋼板の片面及び両面に樹脂を積層加工したもの
・
厚さ(mm) ※ 0.4以上 ・
S－M1及びS-M2の絶縁用シート及び可塑剤移行防止用シートの材質 [3.5.2]
※発泡ポリエチレンシート ・
脱気装置の種類及び設置数量 ※ 製造所の仕様による
SI-M1及びSI-M2の防湿用フィルムの設置 ※設けない ・設ける [表3.5.2]
プレキャストコンクリート下地の目地処理 (接着工法の場合) [3.5.4]
・ 行う (・ 図示 ・) ・ 行わない
S-F1及びSI-F1のプレキャストコンクリート下地の入隅部増張り [3.5.4]
・ 行う (・ 図示 ・) ・ 行わない
一般部のルーフィングシートの張付けで機械的固定工法の場合
建築基準法に基づく風圧力の（※1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法

高知市 都市建設部 公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
	高知市斎場式場棟改修工事	中村	笹岡	濱口	松木	特A-02
	図面名 改修特記仕様書（2） 2024.04 縮尺 1／	作図 年 月 日				

項目	特記事項

6 塗膜防水

防水層の種別 [3.6.3][表3.6.1～表3.6.3]

工法	種別	施工箇所	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率塗料の適用	備考
・ＰＯＸ ・ＬＡＸ	・Ｘ－１ ・Ｘ－１Ｈ ・Ｘ－２ ・Ｘ－２Ｈ		※２成分形ｱｸﾘﾙｳﾚﾀﾝ樹脂系 ・ふっ素樹脂系 ・ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂系	※製造所の仕様による	・	改修用ﾄﾞﾚﾝ ・設ける ・設けない
・Ｐ１Ｙ ・Ｐ２Ｙ	※Ｙ－２		・			保護層 ・設ける ・設けない

絶縁工法における脱気装置の種類及び設置数量 ※主材料の製造所の仕様による ・ [3.6.3]
ウレタン防水材 ※化学物質MOCAを含有しないもの

7 ＦＲＰ防水

ガラスマット ・1層タイプ ・2層タイプ
表面の仕上げ ・平滑 ・粗面
押え金物の材質 ※アルミニウム ・
押え金物の寸法 ※図示 ・

⑧ シーリング

シーリング改修工法の種類 [3.1.4][3.7.4～3.7.7][表3.1.2]
⊙シーリング充填工法 ⊙シーリング再充填工法 ・拡幅シーリング再充填工法
・ブリッジ工法
ボンドブレーカー張り ・ 適用する [3.7.7]
エッジング材張り ・ 適用する

シーリング材の種類，施工箇所 [3.1.4][3.7.2][表3.7.1]
※下表による(下表以外は表3.7.1による)

種類(記号)	主成分による区分	施工箇所
・ＳＲ－１	シリコーン系	
・ＳＲ－２		
⊙ＭＳ－２	変成シリコーン系	全て
・ＰＳ－２	ポリサルファイド系	
・ＰＵ－２	ポリウレタン系	
・		

仕上げを行わない箇所 ( ) [表3.7.1]

シーリング材の目地寸法 [3.7.3]

箇所	打継ぎ/ひび割れ誘発目地	ガラス回りの目地	左記以外の目地
幅(mm)	※ 20以上 ・	※幅及び深さ5以上[5.13.3]による場合を除く)	※ 10以上 ・
深さ(mm)	※ 10以上 ・		※ 10以上 ・

接着性試験 [3.7.8]
※ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験

9 とい

材料 [3.8.2][表3.8.1]

材種	寸法	施工箇所
・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)		※たてどい
・硬質ポリ塩化ビニル管カラー(ｶﾗｰVP)		※たてどい
・硬質塩化ビニル雨どい		※軒どい ・たてどい

とい受金物及び足金物の材種，形状及び取付け間隔 [3.8.2]
材種：※ステンレス製 ・溶融亜鉛めっき その他：※表3.8.2による
防露材のホルムアルデヒド放出量 ※Ｆ☆☆☆☆ ・ [3.8.2]
既存のといその他の撤去 ※図示 ・ [3.8.3]
降雨等に対する養生方法 ※監督職員と協議による ・図示
鋼管製といの防露巻き ・表3.8.4による ・
たてどい受金物の取付け ・図示 ・
ルーフドレンの取付け ・水はけがよく，床面より下げ，周囲の隙間にモルタルを充填する。

10 アルミニウム製笠木

種類 ・オープン形式(・押出250形 ・押出300形 ・押出350形) [3.9.2][表3.9.1]
・板材折曲げ形 (・オープン形式 ・シール形式)
本体幅( )mm 板厚(※2.0 ・)mm
表面処理 種別 表5.2.2による ( ) 種
色合い等 ※標準色 ・
既存の笠木等の撤去 ・行う(範囲 ※図示 ・) ・行わない ・一時取外し再取付け[3.9.3]
新規アルミニウム製笠木の下地の補修工法 ※ 図示 ・
板材折曲げ形笠木の取付方法 ※ 図示
笠木の固定金具の固定工法
建築基準法に基づく風圧力の（※1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法

11 保証書
(シーリング除く)

受注者，施工者，材料製造所連名による 10 年保証(完成届提出日より15日後から)

12 高日射反射率塗料塗り

JIS K 5675（屋根用高日射反射率塗料）に適合するもの，または，グリーン購入法の高日射反射率防水に適合する保護塗料とする。

外壁改修工事(共通事項)

1 材料品質

可とう性エポキシ樹脂 [4.2.4]
JIS A 6024による。

比重	押出し性(秒)	スランプ(Mm)	質量変化率(%)	引張り強さ(MPa)	破断時伸び(%)	引張り接着性
表示値±0.10	60以下	3.0以下	5.0以下	標準 1.0以上 低温 1.0以上 加熱劣化1.0以上	標準 30.0以上 低温 30.0以上 加熱劣化30.0以上	最大引張強さ 1.0MPa以上 破断時の伸び 10.0%以上

1)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
2)対象とする被着体を侵さず，かつ周囲を汚損しないこと。
3)常温常湿(温度20±15℃，湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月保存した後であっても，品質・性能が上記の各項目に適合していること。

パテ状エポキシ樹脂 [4.2.4]
JIS A 6024による。

初期硬化性(MPa)	接着強さ(MPa)	圧縮強さ(MPa)	曲げ強さ(MPa)	硬化収縮率(%)
標準2.0以上	標準6.0以上	50.0以上	30.0以上	3.0以下

1)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
2)対象とする被着体を侵さず，かつ周囲を汚損しないこと。
3)常温常湿(温度20±15℃，湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月保存した後であっても，品質・性能が上記の各項目に適合していること。
4)試験方法は，JIS A 6024(建築補修用注入エポキシ樹脂)に準じる。

エポキシ樹脂モルタル [4.2.4]
JIS A 6024による。

だれ	接着強さ(MPa)	圧縮強さ(MPa)	曲げ強さ(MPa)
形状に異常がなく，だれが生じないこと	1.0以上	20.0以上	10.0以上 (3日後の値)

1)こて塗りが容易で，かつ，硬化後の仕上がりが良好であること。
2)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
3)「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。
4)常温常湿(温度20±15℃，湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月間保存した後であっても，品質・性能が上記の各項目の規定に適合していること。

ポリマーセメントモルタル [4.2.4]

だれ		曲げ強さ(N/mm2)	圧縮強さ(N/mm2)	接着強さ(N/mm2) 標準条件	特殊条件 湿潤時	特殊条件 低温時
下がり量	表面状態					
5mm以内	ひびわれの発生がないこと	6.0以上	20.0以上	1.0以上	0.8以上	0.5以上

1)透水性 裏面のぬれ，水滴の付着がないこと。
2)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
3)ポリマーセメントモルタルに用いる高分子エマルションは，常温常湿において製造後6ヶ月保存しても変質しないこと。

ポリマーセメントスラリー [4.3.5]

拡がり速さ(cm/s)	長さ変化率(収縮)(%)	引張接着性(材齢28日)(N/mm2)	曲げ強度(材齢28日)(N/mm2)	吸水量(72時間)(%)	劣化曲げ強さ(N/mm2)
3以上	3以下	0.49以上	4.9以上	15以下	4.9以上

1)保水係数 0.35～0.55
2)粘調係数 0.50～1.00
3)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
4)ポリマーセメントスラリー用の材料は，常温常湿において製造後6ヶ月保存しても変質しないこと。

既調合モルタル [4.3.10]
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして，セメント，細骨材，混和材等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。

保水率(%)	単位容積質量(kg/L)	接着強さ 標準養生	接着強さ 温冷繰返し後	長さ変化率(%)	曲げ強さ(N/mm2)
70.0以上	1.8以上	0.6N/mm2以上	0.4N/mm2以上	0.2以下	4.0以上

外壁改修工事
コンクリート打放し仕上げ

1 ひび割れ部改修工法

※樹脂注入工法 [4.2.5]

種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※ 200～300 ・	※製造所の仕様 ・130
・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	・ 50～100	※40
	0.3以上0.5未満	・ 100～200	※70
	0.5以上1.0以下	・ 150～250	※130

コア抜取り検査 ※行わない
・行う(長さ500mごと及びその端数につき１個。補修方法は図示による)

・Ｕカットシール材充填工法 [4.2.6]
・シーリング材
充填材料 ※１成分形又は２成分形ポリウレタン系
ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う ・行わない
・可とう性エポキシ樹脂

・シール工法 [4.2.7]
・パテ状エポキシ樹脂
・可とう性エポキシ樹脂

2 欠損部改修工法

※ 充填工法 [4.2.8]
※エポキシ樹脂モルタル
・ポリマーセメントモルタル

外壁改修工事
モルタル塗り仕上げ

1 ひび割れ部改修工法

※樹脂注入工法 [4.2.5(1)～(5)][4.3.6]

種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※ 200～300 ・	※製造所の仕様 ・130
・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	・ 50～100	※40
	0.3以上0.5未満	・ 100～200	※70
	0.5以上1.0以下	・ 150～250	※130

コア抜取り検査 ※行わない
・行う(長さ500mごと及びその端数につき１個。補修方法は図示による)

・Ｕカットシール材充填工法 [4.2.6][4.3.7]
・シーリング材
充填材料 ※１成分形又は２成分形ポリウレタン系
ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う ・行わない
・可とう性エポキシ樹脂

・シール工法 [4.2.7][4.3.8]
・パテ状エポキシ樹脂
・可とう性エポキシ樹脂

2 欠損部改修工法

※ 充填工法 [4.2.8(3)(4)][4.3.9]
※エポキシ樹脂モルタル
・ポリマーセメントモルタル

・モルタル塗替え工法 [4.3.10]
仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の処置
※ステンレス製アンカーピン縦横@200打込，ステンレス製ラス等張り ・図示

3 浮き部改修工法

改修工法の種類	アンカーピンの本数 一般部分 本/m2	指定部分 本/m2	狭幅部 本/m	注入口の箇所数 一般部分 箇所/m2	指定部分 箇所/m2	狭幅部 箇所/m	備考
・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ・	※25 ・	※5	－	－	－	注入量 ※ 25mL
・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13 ・	※20 ・	※5	※12 ・	※20 ・	※5	注入量 ※ 25mL
・アンカーピンニング 全面ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄｽﾗﾘｰ注入工法	※13 ・	※20 ・	※5	※12 ・	※20 ・	※5	注入量 ※ 50mL
・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	※5	－	－	－	注入量 ※ 25mL
・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	※5	※9 ・	※16 ・	※5	注入量 ※ 25mL
・注入口付アンカーピンニング 全面ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄｽﾗﾘｰ注入工法	※9 ・	※16 ・	※5	※9 ・	※16 ・	※5	注入量 ※ 50mL

アンカーピン [4.3.5]
※ステンレス鋼(SUS304)呼び径４mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの。 ・
注入口付アンカーピン [4.3.5]
※ステンレス鋼(SUS304)呼び径６mm
・充填工法 [4.2.6][4.3.7]
材料 ※エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル
・モルタル塗替え工法
仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の処置 [4.3.10]
※ステンレス製アンカーピン縦横@200打込，ステンレス製ラス等張り ・図示

外壁改修工事
タイル張り仕上げ

1 タイル材料

タイルの形状，寸法等 [4.4.5]

施工箇所	形状寸法(mm)	吸水率の区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施釉	無釉	色 標準	特注	耐凍害性	耐滑り性	役物の適用	品質(公表単価(円/m2))
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする。
タイルの試験張り ※行わない ・行う [4.4.8]
タイルの見本焼き ※行わない ・行う [4.4.8]

2 ひび割れ部改修工法

※樹脂注入工法 [4.2.5][4.2.4][4.4.6]

種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	※ 200～300 ・	※製造所の仕様 ・130
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	※ 50～100	※40
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	※ 100～200	※70
	0.5以上1.0以下	※ 150～250	※130

コア抜取り検査 ※行わない
・行う(長さ500mごと及びその端数につき1個。補修方法は図示による)

3 欠損部改修工法

・タイル部分張替え工法 [4.4.5][4.4.7]
張付け材料の種類
・ポリマーセメントモルタル
・有機系接着剤 ※JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系

・タイル張替え工法 [4.4.2][4.4.5][4.4.8]
張付けモルタル ・現場調合モルタル ・既調合モルタル
伸縮調整目地及び，ひび割れ誘発目地の位置 ※表4.4.2による ・図示
外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整塗材塗りの接着力試験
・行う ・行わない

・セメントモルタルによるタイル張り
タイル張りの工法
外装タイル ・密着張り ・改良圧着張り ・改良積上げ張り
ユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り
・有機系接着剤によるタイル張り
タイルの種類 (・)
目地詰め ・行う
・行わない ( )
・下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ※目荒し工法 [4.4.8]

4 浮き部改修工法

改修工法の種類(タイルを撤去しない場合)	アンカーピンの本数 一般部分 本/m2	指定部分 本/m2	狭幅部 本/m	注入口の箇所数 一般部分 箇所/m2	指定部分 箇所/m2	狭幅部 箇所/m	備考
・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ・	※25 ・	※5	－	－	－	注入量 ※ 25mL
・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13 ・	※20 ・	※5	※12 ・	※20 ・	※5	注入量 ※ 25mL
・アンカーピンニング 全面ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄｽﾗﾘｰ注入工法	※13 ・	※20 ・	※5	※12 ・	※20 ・	※5	注入量 ※ 50mL
・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	※5	－	－	－	注入量 ※ 25mL
・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	※5	※9 ・	※16 ・	※5	注入量 ※ 25mL
・注入口付アンカーピンニング 全面ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄｽﾗﾘｰ注入工法	※9 ・	※16 ・	※5	※9 ・	※16 ・	※5	注入量 ※ 50mL
・注入口付アンカーピンニング ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入ﾀｲﾙ固定工法	・	・	・	－	－	－	

アンカーピン [4.3.5]
※ステンレス鋼(SUS304)呼び径４mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの。 ・
注入口付アンカーピン [4.3.5]
※ステンレス鋼(SUS304)呼び径６mm

・タイル部分張替え工法 [4.4.7]
張付け材料の種類
・ポリマーセメントモルタル
・有機系接着剤 ※JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系

・タイル張替え工法 [4.4.8]
張付けモルタル ・現場調合モルタル ・既調合モルタル
伸縮調整目地及び，ひび割れ誘発目地の位置 ※表4.4.2による ・図示
外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整塗材塗りの接着力試験
・行う ・行わない

高知市 都市建設部 公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
	高知市斎場式場棟改修工事	中村	笹岡	濱口	松本	特A-03
	図面名 改修特記仕様書(3) 2024.04 縮尺 1/	作図 年 月 日				

項目	特記事項

・セメントモルタルによるタイル張り
タイル張りの工法
外装タイル　・密着張り　・改良圧着張り　・改良積上げ張り
ユニットタイル　・マスク張り　・モザイクタイル張り
・有機系接着剤によるタイル張り
・下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理　※目荒し工法

5 目地改修工法
・目地ひび割れ部改修工法 [4.4.16]
・伸縮調整目地改修工法 [4.4.16]
伸縮調整目地の位置及び寸法　※図示

外壁改修工事
仕上げ塗材仕上げ

1 既存塗膜等の除去及び下地処理
既存塗膜の劣化部の除去及び下地の処理の工法 [4.5.4]

工法	処理範囲
・サンダー工法	※既存仕上面全体　・図示　・
・高圧水洗工法	※既存仕上面全体　・図示　・
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体　・図示　・
※水洗い工法	※既存仕上面全体　・図示　・ ・他工法の処理範囲以外の既存仕上面全体

石綿含有仕上塗材の除去は，環境配慮改修工事による。

2 下地調整材
材料　※下地調整塗材　※C-1(　)　・C-2(　)　・CM-2(　) [4.5.2～4.5.4]
・ポリマーセメントモルタル　・合成樹脂エマルションシーラー
工法　※製造所の仕様による　・ [4.5.4]

3 仕上塗材仕上げ
薄付け仕上げ塗材 [4.1.5][4.5.2][4.5.6][表4.5.1]

呼び名	仕上げの形状		工法	備考
・外装薄塗材Si	・砂壁状	・ゆず肌状	吹付け	
	・ゆず肌状	・さざ波状	ローラー	
・可とう形外装薄塗材Si	・砂壁状	・ゆず肌状	吹付け	
	・ゆず肌状	・さざ波状	ローラー	
・外装薄塗材E	・砂壁状	ゆず肌状	吹付け	
	・平たん状	・凹凸状	こて塗り	
	・ゆず肌状	・さざ波状	ローラー	
	・着色骨材砂壁状		吹付け こて塗り	
・可とう形外装薄塗材E	・砂壁状	・ゆず肌状	吹付け	
	・平たん状	・凹凸状	こて塗り	
	・ゆず肌状	・さざ波状	ローラー	
・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状	・さざ波状	ローラー	増塗材 ・適用する
	・凹凸状		吹付け	
・外装薄塗材S	・砂壁状		吹付け	

厚付け仕上塗材

呼び名	仕上げの形状		工法	備考
・外装厚塗材C	・吹放し	・凸部処理	吹付け	ｾﾒﾝﾄｽﾀｯｺ以外の上塗材 ・
	・平たん状 ・ひき起こし	・凹凸状 ・掻き落とし	こて塗り	
・外装厚塗材Si ・外装厚塗材E	・吹放し ・平たん状 ・ひき起こし	・凸部処理 ・凹凸状	吹付け ・こて塗り ・ローラー	上塗材 ・適用する

複層仕上塗材

呼び名	仕上げの形状		工法	備考
・複層塗材CE ・複層塗材Si ・複層塗材E ・複層塗材RE	・ゆず肌状		ローラー	耐候性　※耐候形３種 ・ 上塗材の種類[表4.5.2] ※ 水系ｱｸﾘﾙつやあり
	・凸部処理	・凹凸状	吹付け	
・可とう形複層塗材CE	・ゆず肌状		ローラー	
	・凸部処理	・凹凸状	吹付け	
・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RE	・ゆず肌状		ローラー	増塗材 ・適用する
	・凸部処理	・凹凸状	吹付け	

可とう形改修用仕上塗材

呼び名	仕上げの形状		工法	備考
・可とう形改修塗材E	・平たん状	・さざ波状	ローラー	
・可とう形改修塗材CE ・可とう形改修塗材RE	・ゆず肌状		吹付け	

防火材料の指定　※なし　・あり（※図示　・　） [4.5.2]

4 マスチック塗材塗り
種別　・A種　・B種 [4.6.2][表4.6.1]

5 外壁用塗膜防水材塗り
仕上げの形状及び工法　・ [4.1.5][4.7.2～3][表4.7.1]
仕上塗材の耐候性　・
下地挙動緩衝材　・適用する　・適用しない
模様材の種類　・
仕上げを砂壁状，じゅらく状等とする場合の模様材の種類　・
仕上塗料の種類　・

建具改修工事

① 改修工法
㊙ かぶせ工法　⊙ 撤去工法 [5.1.3]
壁部分の開口の開け方　・図示　・
新規建具周囲の補修工法及び範囲　・図示　・

② 防火戸
防火戸の指定等　※図示 [5.1.4]
防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸について，連動させる装置等　※図示

③ 建具見本の製作等
建具見本の製作　・行う(建具番号　)　※行わない [5.1.5]
・工事に使用するものとして，あらかじめ製作するもの　・納まり等がわかる程度のもの
特殊な建具の仮組　・行う(建具番号　)　※行わない [5.1.5]

4 防犯建物部品
・適用する　適用箇所：※図示 [5.1.7]

⑤ アルミニウム製建具
外部に面する建具の性能等 [5.2.2][表5.2.1]

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み	備考
・A種	S－4	A－3	W－4	※図示	
※B種	S－5				
・C種	S－6	A－4	W－5	※図示	

6 樹脂製建具
・防音ドア，防音サッシの遮音性の等級　・T-1　・T-2　・T-3　・T-4 [5.2.2]
適用箇所　※図示
・断熱ドア，断熱サッシの断熱性の等級　・H-1　・H-2　・H-3　・H-4　・H-5
適用箇所　※図示
ステンレス鋼板の種類　※SUS304，SUS430J1L又はSUS443J1 [5.2.3][5.6.3(1)]
網戸等 [5.2.3]

種類	材質	線径	網目	適用箇所
・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス製(SUS316)	※0.25mm以上 ・	※16～18メッシュ ・	※図示
・防鳥網	※ステンレス(SUS304)線材 ・	※1.5mm ・	※網目寸法15mm ・	※図示

外部に面する建具　表面処理の種別　※BB－１種　・BB－２種 [5.2.4][表5.2.2]
色合い等　※標準色（　）・特注色（　）
屋内に使用する建具　表面処理の種別　※BC－１種　・BC－２種
色合い等　※標準色（　）・特注色（　）
ステンレス製くつずりの仕上げ　※HL　・ [5.2.4][5.4.4]
結露水の処理方法　※製造所の仕様による　・図示
水切り板，ぜん板　※製造所の仕様による　・図示 [5.2.5]
製造所　評価名簿による [5.3.2～5.3.5][表5.3.1]

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み	備考
・A種	S－4	A－4	W－4	※図示	
※B種	S－5		W－5		
・C種	S－6			※図示	

・防音ドア，防音サッシの遮音性の等級　・T-1　・T-2 [5.3.2][表5.3.2]
適用箇所　※図示
・断熱ドア，断熱サッシの断熱性の等級　・H-4　・H-5　・H-6　・ [5.3.2][表5.3.3]
適用箇所　※図示
外部に面する建具の日射熱取得特性の等級　・N-1　・N-2　・N-3 [5.3.2]
網戸等 [5.2.3]

種類	材質	線径	網目	適用箇所
・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス製(SUS316)	※0.25mm以上 ・	※16～18メッシュ ・	※図示
・防鳥網	※ステンレス(SUS304)線材 ・	※1.5mm ・	※網目寸法15mm ・	※図示

ガラス　・複層ガラス　・単板ガラス　※図示 [5.3.3]
ステンレス製くつずりの仕上げ　※HL　・ [5.3.4][5.4.4]
表面色　※標準色　・特注色（・　） [5.3.4]
水切り板，ぜん板　※製造所の仕様による　・図示 [5.2.5][5.3.2]
製造所　評価名簿による

⑦ 鋼製建具
簡易気密型ドアセット　・適用する [5.4.2][表5.4.1]
外部に面する建具の耐風圧性　・S-4　・S-5　・S-6 [5.4.2][表5.2.1]
枠の見込み(※図示　・　)
・防音ドア，防音サッシの遮音性の等級　・T-1　・T-2　・T-3　・T-4 [5.2.2][5.4.2]
適用箇所　※図示
・断熱ドア，断熱サッシの断熱性の等級　・H-1　・H-2　・H-3　・H-4　・H-5
適用箇所　※図示
・耐震ドアの面内変形追随性の等級　・D-1　・D-2　・D-3
適用箇所　※図示
点検口の類のくつずりの材料　・枠と同材　・ステンレス [5.4.3]
ステンレス鋼板の種類　※SUS304，SUS430J1L又はSUS443J1　・ [5.4.3][5.6.3(1)]
鋼板類の厚さ　※図示(図示がない場合は表5.4.2による)　・ [5.4.4]
ステンレス製くつずりの仕上げ　※HL　・ [5.4.4]
標準型鋼製建具の有効内法寸法（表5.4.5による） [5.4.6]
・適用する（建具符号，形式及び寸法は建具表による）
製造所　評価名簿による

8 鋼製軽量建具
簡易気密型ドアセット　・適用する [5.5.2]
・防音ドア，防音サッシの遮音性の等級　・T-1　・T-2　・T-3　・T-4
適用箇所　※図示
・断熱ドア，断熱サッシの断熱性の等級　・H-1　・H-2　・H-3　・H-4　・H-5
適用箇所　※図示
・耐震ドアの面内変形追随性の等級　・D-1　・D-2　・D-3
適用箇所　※図示
鋼板類の種類　※亜鉛めっき鋼板　・ビニル被覆鋼板　・カラー鋼板 [5.5.3]
・ステンレス鋼板
ステンレス鋼板の種類　※SUS304，SUS430J1L又はSUS443J1
召合わせ，縦小口包み板等の材質　※鋼板　・ステンレス鋼板　・アルミニウム合金押出形材
鋼板類の厚さ　※図示(図示がない場合は表5.5.1による)　・
ステンレス製くつずりの仕上げ　※HL　・ [5.4.4][5.5.4]
標準型鋼製軽量建具の有効内法寸法（表5.4.5による） [5.5.6]
・適用する（建具符号，形式及び寸法は建具表による）
製造所　評価名簿による

9 ステンレス製建具
簡易気密型ドアセット　・適用する [5.6.3]
外部に面する建具の耐風圧性　・S-4　・S-5　・S-6
枠の見込み(※図示　・　)
・防音ドア，防音サッシの遮音性の等級　・T-1　・T-2　・T-3　・T-4
適用箇所　※図示
・断熱ドア，断熱サッシの断熱性の等級　・H-1　・H-2　・H-3　・H-4　・
適用箇所　※図示
・耐震ドアの面内変形追随性の等級　・D-1　・D-2　・D-3
適用箇所　※図示
ステンレス鋼板の種類　※SUS304，SUS430J1L又はSUS443J1 [5.6.3]
表面仕上げ　※ＨＬ　・鏡面仕上げ [5.6.4]
曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ角出し曲げ(・a角　・b角　・c角) [5.6.5]
ステンレス製くつずりの仕上げ　※HL　・ [5.4.4][5.6.4]
製造所　評価名簿による

⑩ 木製建具
建具材の加工，組立て時の含水率　※Ａ種　・Ｂ種 [5.7.2][表5.7.1]
⊙フラッシュ戸 [5.7.2][表5.7.2]
表面材の合板の種類　※図示
品質等　※5.7.2(2)(ｲ)(a)～(c)による　・
表面板の厚さ　※表5.7.6による
・かまち戸
かまちの樹種　（・　）　鏡板の樹種　（・　） [5.7.2]
見込み寸法(mm)　※図示(図示がない場合は表5.7.7による)　・ [5.7.3][表5.7.7]

⊙ふすま
種別　※Ⅰ型　・Ⅱ型 [5.7.2][表5.7.10]
上張りの種類　⊙鳥の子　・新鳥の子　※ビニル紙　・雲花紙(押入等の裏側)　・
見込み寸法(mm)　※図示(図示がない場合は表5.7.7による)　・ [5.7.3][表5.7.7]
縁の仕上げ　※塗り縁　・生地縁(素地)　・生地縁(ウレタンクリヤー塗装) [5.7.4]
・戸ぶすまの見込み寸法(mm)　※図示(図示がない場合は表5.7.7による)　・ [5.7.3][表5.7.7]
品質等　※5.7.2(2)(ｲ)(a)～(c)による　・
上張りの種類　・鳥の子　・新鳥の子　※ビニル紙　・雲花紙(押入等の裏側)　・
・紙張り障子の見込み寸法(mm)　※図示(図示がない場合は表5.7.7による)　・ [5.7.3][表5.7.7]
枠，くつずりの材料　※図示　・ [5.7.2]
接着剤の材料　ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・ [5.7.2]

⑪ 建具用金物
種類及び見掛かり部分の材質　※表 5.8.1による　・ [5.8.2]
金属製建具用の丁番の枚数及び大きさ　※表 5.8.2による　・ [5.8.2]
樹脂製建具用の丁番の枚数及び大きさ　※表 5.8.3による　・ [5.8.2]
木製建具用の丁番の枚数及び大きさ　※表 5.8.4による　・ [5.8.2]
木製建具の戸車及びレール　※表 5.8.5による　・ [5.8.2]
握り玉及びレバーハンドル，押板類，クレセントの取付け位置　※図示 [5.8.3]

⑫ 鍵
マスターキーの製作(対応)　・製作する（　・新規　・既存合わせ） [5.8.4]
⊙ 製作しない（　※既存マスターキーに合わせる　・合わせない）
鍵の製作本数　※3本1組
・
鍵箱　・設ける（　本用　組）　※設けない
製造所　評価名簿による(評価名簿に記載のないものは図示による)

⑬ 自動ドア開閉装置
戸の開閉方式　・図示　・片引き　⊙引分け　・片開き [5.9.2]
引き戸用駆動装置 [5.9.2]
性能値　※表5.9.1による　・
バリアフリートイレ出入口に設置される引き戸用駆動装置
性能値　※表5.9.2による　・
引き戸用検出装置の種類　バリアフリートイレスイッチ
・大形(開・閉)押しボタンスイッチ　・非接触スイッチ
引き戸用検出装置 [5.9.2][表5.9.3]
性能値　※表5.9.3による　・
種類　⊙光線(反射)センサー　・熱線センサー　・音波センサー [5.9.2][表5.9.4]
・光電センサー　・電波センサー　・押しボタンスイッチ
・タッチスイッチ　（・無線式タッチスイッチ　・光電式タッチスイッチ）
防錆　・適用する（塩害のおそれのある場合）　※適用しない
凍結防止措置　・行う
製造所　評価名簿による

⑭ 自閉式上吊り引戸装置
性能　※表5.10.1による　・ [5.10.3]
製造所　評価名簿による

15 重量シャッター
シャッターの種類　・管理用シャッター　耐風圧強度（　N/m2）　[5.11.2]
・外壁用防火シャッター　耐風圧強度（　N/m2）
・屋内用防火シャッター
・防煙シャッター
開閉方式の種類　※電動式(手動併用)　・手動式 [5.11.2][表5.11.1]
急降下制動装置，急降下停止装置の設置箇所　※図示
障害物感知装置の設置箇所　※図示
危害防止機構の設置箇所　※図示
管理用シャッターのシャッターケース　・設ける [5.11.2]
スラット及びシャッターケース用鋼板 [5.11.3]
鋼板の種類　・JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)
・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)
めっきの付着量 ※Z12又はF12を満足するもの　・
ステンレス鋼板の種類　※SUS304，SUS430J1L又はSUS443J1 [5.6.3][5.11.3]
製造所　評価名簿による

16 軽量シャッター
開閉形式　・電動式(手動併用)　※手動式 [5.12.2][表5.12.1]
耐風圧強度（　N/m2）　[5.12.2]
障害物感知装置の設置箇所　※図示 [5.12.2]
スラットの材質の種類 [5.12.3]
・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)
めっきの付着量 ※Z06又はF06を満足するもの　・
・JIS G 3322(塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯)
めっきの付着量 ※AZ90を満足するもの　・
スラットの種類　・インターロッキング形　・オーバーラッピング形 [5.12.4]
製造所　評価名簿による

17 オーバーヘッドドア [5.13.2][5.13.3]

セクション材料による区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材料	耐風圧性能区分
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板	・50 ・75 ・100 ・125

電動式に設ける障害物感知装置の設置箇所　※図示
製造所　評価名簿による

⑱ ガラス [5.14.2]

ガラスの種類，厚さ等	摘要
・熱線吸収板ガラス(グリーン)	※図示(製造所は評価名簿による)
※その他のガラス	※図示

ガラス溝の大きさ　※製造所の仕様による　・ [5.14.3][表5.14.1]

⑲ ガラス留め材 [5.14.2]
種別

建具の種類	材質	板ガラスをはめ込む溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	※シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル ・	※建具の製造所の仕様による ・
樹脂製	※シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングビート ・	※建具の製造所の仕様による ・
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材　・ガスケット	※建具の製造所の仕様による　・
ステンレス製	※シーリング材　・ガスケット	※建具の製造所の仕様による　・
木製	※シーリング材　・押縁留め	

シーリング材　※ＳＲ-1　・ [表3.7.1]

工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
高知市斎場式場棟改修工事	中村	笹岡	濱口	松木	特A-04
図面名　改修特記仕様書（4）　2024.04　縮尺　1／	作図　年　月　日				

高知市　都市建設部　公共建築課

項目	特記事項

20 ガラスブロック積み

ガラスブロック材料 [5.14.5]

表面形状	呼び寸法	厚さ	色調	防火性能
				※なし ・あり

壁用金属枠及び補強材 ・図示 ・ステンレス(SUS304) ・アルミニウム

力骨 [5.14.5]

材質	寸法	形状
※ステンレス鋼(SUS304)	※径5.5mm	※はしご形状複筋及び単筋
・	・	・

化粧目地モルタルの色 ・ [5.14.5]
シーリング材の種類 ※ SR－1 ・ [5.14.5]
金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製 [5.14.5]
寸法 ※図示
形状 ※図示

工法 [5.14.5]
・建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※ 図示
目地幅の寸法 ※ 図示
伸縮調整目地の位置 ※ 図示

㉑ 建築窓ガラス用フィルム

名称	種類，記号
※ ガラス飛散防止フィルム	※ＧＩ－1，ＧＤ－1 ・ＧＩ－2，ＧＤ－2
・	

品質 JIS A 5759による
可視光線透過率 26.3%以下

内装改修工事

① 他の部位との取合い等
撤去壁と取り合う天井，壁及び床の改修範囲 ※ 図示 ・ 壁厚程度 [6.1.3]
天井内の撤去壁と取合う天井の改修範囲 ※ 図示 ・ 壁面から両側600程度
撤去天井と取合う壁の改修範囲 ※ 図示 ・ 既存のまま
各部仕上げは，既存仕上げに準じたものとする

② 既存床の撤去及び下地補修
⊙ビニル床シート等の除去等 ※仕上げ材のみ(接着剤等共) [6.2.2]
・下地モルタル共(撤去範囲：※図示 ・撤去範囲すべて)
・合成樹脂塗床材の除去等 ・機械的除去工法 ・目荒し工法
改修後の床の清掃範囲 ※改修部分の端部から1.0m程度の範囲(工事で汚した範囲共)

③ 既存壁の撤去及び下地補修
間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※ 図示 ・ モルタル塗り([4.3.10]による) [6.3.2]

④ ホルムアルデヒド放散量
※6.5.2 (ｳ) のいずれかによる。 [6.5.2]

⑤ 目視検査
日本農林規格以外の製材及び集成材について，目視による材の欠点がないことの確認は，
樹種ごとに無作為に抽出し，その抽出割合は10%以上とする。

⑥ 製材

⊙下地用針葉樹製材 [6.5.2]

施工箇所	※ 図示 ・
樹種	・ 杉 ⊙ 桧
寸法(mm)	※ 図示 ・
等級	日本農林規格を使用する場合 ：・ １級 ※ ２級
	日本農林規格以外を使用する場合 ：※ 特一等 ・ 一等
含水率	※ 15%以下 ・
保存処理	・ 行う ⊙ 行わない
防虫処理	・ 行う ⊙ 行わない
難燃処理	・ 行う ⊙ 行わない

⊙造作用針葉樹製材

施工箇所	※ 図示 ・
樹種	・ 杉 ⊙ 桧
寸法(mm)	※ 図示 ・
等級	日本農林規格を使用する場合 見え掛かり面： ※上小節 ・無節 見え掛かり面以外：※小節以上
	日本農林規格以外を使用する場合 見え掛かり面： ※上小節 ・無節 ・特一等 見え掛かり面以外：※小節以上 ・特一等
含水率	※ 15%以下 ・
保存処理	・
防虫処理	・ 行う ⊙ 行わない
難燃処理	・ 行う ⊙ 行わない

・広葉樹製材

施工箇所	※ 図示 ・
樹種	・
寸法(mm)	※ 図示 ・
等級	日本農林規格を使用する場合 ：・ 特等 ※ １等 ・ ２等
	日本農林規格以外を使用する場合 ：※ 特一等 ・ 一等
含水率	※ 10%以下 ・
保存処理	・
防虫処理	・ 行う ・ 行わない
難燃処理	・ 行う ・ 行わない

7 造作用集成材
ホルムアルデヒド放散量等 ※6.5.2(ｳ)による [6.5.2]
・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質
			※ 図 示		※１等 ・２等

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	品名	樹種	化粧薄板の厚さ(mm)	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質
		化粧薄板： 芯材：		※図示 ・		※ １等 ・ ２等
		化粧薄板： 芯材：				

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率
		※ 図 示		※15%以下

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	樹種	化粧薄板の厚さ(mm)	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率
	化粧薄板： 芯材：		※ 図 示		※15%以下
	化粧薄板： 芯材：				

8 造作用単板積層材

・「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 [6.5.2]

施工箇所	品名	厚さ(mm)	表面の化粧加工	防虫処理
		・ ・図示	・有（・天然木化粧加工 ・塗装加工） ・無（等級： ・１等 ・２等 ・３等）	・行う ・行わない

・「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材

施工箇所	厚さ(mm)	表面の化粧加工	防虫処理	含水率
	・ ・図示	・有（・天然木化粧加工 ・塗装加工） ・無（等級： ・１等 ・２等 ・３等）	・行う ・行わない	※14%以下

9 直交集成板

・ＣＬＴ（直交集成板）

施工箇所	品名	曲げ強度(強度等級)	種別	接着性能(使用環境)	樹種	寸法(mm)
						※ 図 示

⑩ 合板等
下地用合板 [6.5.2]
・普通合板

施工箇所	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	難燃処理	防炎処理
		※ 5.5 ・	・ラワン ・しな	※ １類 ・ ２類	広葉樹（※ 2等以上 ・ ） 針葉樹（※ C-D以上 ・ ）	・	・	・

⊙構造用合板

施工箇所	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理	強度等級
床，壁下地		※ 12.0 ・	⊙針葉樹	※ １類 ⊙ 特類	※ 2級以上 ・ 1級	※ C-D以上 ・	・	※ 指定しない ・

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板

施工箇所	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理
				※１類 ・２類 ・特類	・

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板

施工箇所	厚さ(mm)	化粧板に使用する単板の樹種名	接着の程度	防虫処理
			※１類 ・２類	・

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板

施工箇所	品名	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理
			※１類 ・２類			・

⊙パーティクルボード

施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分
床下地	※ 15.0 ⊙ 20.0	⊙ 素地（⊙研磨板 ・無研磨板） ・ 単板張り （・研磨板 ・無研磨板）	※ 13タイプ ・	※ PXはMタイプ	

・構造用パネル

施工場所	品名	厚さ(mm)	等級
			・１級 ・２級 ・３級 ・４級

・ミディアムデンシティーファイバーボード（ＭＤＦ）

施工箇所	厚さ(mm)	表裏の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分

11 接合具等
造作材の化粧面の釘打ち [6.5.3]
・適用する （※ 隠し釘打ち ・ ） ・適用しない
諸金物の形状，寸法及び材質 [6.5.3][表6.5.3～6.5.5]
・6.5.3(2)(ｱ)による
接着剤 ホルムアルデヒド放散量 ※ Ｆ☆☆☆☆ [6.5.3]

12 木れんが
取付工法 ※接着工法 ・あと施工アンカー （径： 長さ： ） [6.5.4]
接着剤 ホルムアルデヒド放散量 ※ Ｆ☆☆☆☆ [6.5.4]

13 防腐・防蟻処理 [6.5.5]
・薬剤の加圧注入による防腐及び防蟻処理

適用部材	保存処理性能区分
	・Ｋ２ ・Ｋ３ ・Ｋ４ ・
	・Ｋ２ ・Ｋ３ ・Ｋ４ ・

・薬剤の塗布等による防腐及び防蟻処理

適用部材	処理の方法	薬剤の種類
	※ 薬剤製造所の仕様による	・
	・	・

・薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理
適用部位 （ ）
・合板等の加圧注入による防腐・防蟻処理
適用部位 （ ）

14 間仕切軸組に用いる木材
※ 図示 ・ [6.5.6]

⑮ 床組に用いる木材
※ 図示 ・ [6.5.6]

⑯ 窓，出入口，その他に用いる木材
※ 図示 ・ [6.5.7]

⑰ 縁甲板及び上がりがまちに用いる木材
※ 図示 ・ [6.5.8]

⑱ 壁及び天井に用いる木材
※ 図示 ・ [6.5.9]

⑲ 軽量鉄骨天井下地
野縁等の種類 [6.6.2][表6.6.1]
屋内 （※ 19形 ・ 25形） 屋外 （・ 19形 ※ 25形）
屋外の軒天井，ピロティ天井等
野縁等の間隔 [6.6.3][表6.6.2]

野縁	野縁受	つりボルト及びインサート	周辺部の端からの距離

新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー [6.6.4]
⊗既存の埋込みインサートを使用する ⊙新たにつりボルト用あと施工アンカーを設ける
つりボルトの引張試験 試験箇所数及び確認強度は6.6.4(ｳ) による
屋内 ※ 行う ・ 行わない 屋外 ※ 行う ・ 行わない
・耐風圧性を考慮した補強 [6.6.4]
適用箇所：※図示 ・ 補強方法：※図示 ・
・つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強
適用箇所：※図示 ・ 補強方法：※図示 ・ [6.6.4]
⊙天井下地材における耐震性を考慮した補強
適用箇所：※すべて ・図示 ・
補強方法：・国土交通省平成25年告示第771号の基準に適合するもの
※ 6.6.4(8)による。ただし，ふところ1.5m以下の場合も適用し，
固定方法は専用金具又はボルトとし，溶接は不可とする。
・
・天井のふところが3mを超える場合の補強
適用箇所：※図示 ・ 補強方法：※図示 ・

⑳ 軽量鉄骨壁下地
スタッド，ランナー等の種類 ※ 表6.7.1による ⊙ 図示 [6.7.3][表6.7.1]
スタッドの高さが5mを超える場合 ※ 図示 ・ [6.7.3]
出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※ 14.5.4(5)による ・ 図示 [6.7.4]

(床仕上げ)
㉑ ビニル床シート張り [6.8.2～6.8.3]

種類の記号	色柄	厚さ(mm)	特殊機能	施工箇所	備考
※ＦＳ ・	※ 無地 ⊙ マーブル柄	※ 2.0 ・	・ 帯電防止 ・ 耐動荷重性 ・ 防滑性 ・ 耐薬品性	業者控室3	標準品
※ＦＳ ・	※ 無地 ⊙ 柄入り	※ 2.0 ・	・ 帯電防止 ⊙ 耐動荷重性 ・ 防滑性 ・ 耐薬品性	祭壇，倉庫	公表価格 ¥5,000/㎡程度

接合部の処理 ※ 熱溶接工法 ・ 突付け （施工箇所： ）
帯電防止性能 ※ 帯電防止性能評価値(JIS A 1455)1.2以上～3.2未満又は
体積電気抵抗値(JIS A 1454) 1 ×10^{7}～10^{10}Ω程度
下地 ※ 図示 ・

22 ビニル床タイル張り [6.8.2～6.8.3]

種類の記号	色柄	寸法	厚さ(mm)	特殊機能	施工箇所
※ＫＴ	・無地	※300×300	※ 2.0 ・	・ 帯電防止 ・ 防滑性	
・ＴＴ ・ＦＴ	・柄物	・	・ 2.0 ・	・ 帯電防止 ・ 防滑性	
・ＦＯＡ ・ＦＯＢ			・	・ 帯電防止 ・ 防滑性	

帯電防止性能 ※ 帯電防止性能評価値(JIS A 1455)1.2以上～3.2未満又は
体積電気抵抗値(JIS A 1454) 1 ×10^{7}～10^{10}Ω程度
・

23 誘導用床材及び警告用床材 [6.8.2]

種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考
・ レジンコンクリート系 ・ タイル系	※ 300×300 ・	※ 30 ・ 60	※ JIS T 9251適合品
・ 塩化ビニル系	※ 300×300	※ 図示	

㉔ ビニル幅木 [6.8.2]

材種	厚さ(mm)	高さ(mm)	施工箇所
※ 軟質 ・ 硬質	※ 1.5 ・	※ 60 ・ 75 ⊙ 100	

25 ゴム床タイル張り [6.8.2]

色柄	種類	厚さ(mm)	寸法(mm)	備考
	・単層 ・複層	・3.0 ・4.0 ・5.0 ・6.0 ・9.0		

㉖ カーペット敷き
・織じゅうたん [6.9.2][表6.9.1]

織り方	パイル形状	帯電性	品質(公表単価(円/m2))
・ ｳｨﾙﾄﾝｶｰﾍﾟｯﾄ ・ ﾀﾞﾌﾞﾙﾌｪｰｽｶｰﾍﾟｯﾄ ・ ｱｷｽﾐﾝｽﾀｰｶｰﾍﾟｯﾄ	・ カットパイル ・ ループパイル ・ カット，ループ併用	・ 摘要する	

色柄，パイル糸の種類
※模様のない無地のもの 種別（・Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種）
・タフテッドカーペット [6.9.2]

パイル形状	パイル長	工法	帯電性	品質(公表単価(円/m2))
・カットパイル ・ループパイル ・レベルループパイル ・カット，ループ併用		※全面接着工法 ・グリッパー工法	・ 摘要する	

⊙タイルカーペット [6.9.2]

種類	パイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	品質(公表単価(円/m2))
※ 第一種 ・ 第二種	・ カットパイル ※ ループパイル ・ カットパイル，ループ併用	※ 500×500 ・	※ 6.5 ・ 7.0	7,600円/m2

タイルカーペットの敷き方 平場 ※ 市松敷き ・ 模様流し [6.9.3]
階段部分 ※ 模様流し ・ 市松敷き
・ 下敷き材 ※ JIS L 3204(反毛フェルト)に基づくの第２種２号，呼び厚さ 8.0mm ・ [6.9.2]
取付け用付属品 [6.9.2]
見切り ※（ 材質 種類 形状 ）・図示
押え金物 ※（ 材質 種類 形状 ）・図示

27 合成樹脂塗床 [6.10.3][表6.10.4～表6.10.8]

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床	※図示 ・		※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床	※図示 ・	・薄膜流しのべ工法 ・厚膜流しのべ工法 ・樹脂モルタル工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ
・薄膜型塗床	※ 図 示		※平滑仕上げ

塗床材の塗料のホルムアルデヒド放散量 [6.10.2]
※ Ｆ☆☆☆☆

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
高知市斎場式場棟改修工事	中村	笹岡	濱口	松本	特A-05
図面名 改修特記仕様書（5） 2024.04 縮尺 1/	作図 年 月 日				

項目	特記事項

28 フローリング張り

単層フローリング [6.11.2][6.11.3][6.11.4][6.11.6][表6.11.1][表6.11.3][表6.11.5]

種類	工法	厚さ(mm)	樹種	備考
・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ１等	・釘留め工法(根太張り)	※15	・	
	・釘留め工法(直張り)	・12	・	
	・接着工法	・8		
・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ１等	・接着工法	※15	・	
	・	・	・	

フローリングボードの幅，長さ ※表6.11.1，表6.11.3，表6.11.5による
フローリングブロックの幅，長さ ・300×300 ・303×303

複合フローリング [表6.11.2][表6.11.4][表6.11.6]

工法	種別	厚さ(mm)	樹種	備考
・釘留め工法(根太張り) ・釘留め工法(直張り)	・Ａ種 ・Ｂ種	※12 ・	・ ・	
・接着工法	※Ｃ種	(ひき板の厚さ) ・3mm以上 ※表6.11.4		

フローリングの幅，長さ ※表6.11.2，表6.11.4，表6.11.6による
接着工法の場合の不陸緩和材 ※合成樹脂発泡シート ・ [6.11.5]
塗装 ・工場塗装 ・ウレタン樹脂ワニス塗り ・ [6.11.6][7.11.1]
・現場塗装 ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・Ａ種 ※Ｂ種
・オイルステイン塗りのうえワックス塗り
・生地のままワックス塗り (自然塗料)

複合フローリングのホルムアルデヒド放散量 [6.11.2]
※Ｆ☆☆☆☆，またはそれと同等と認められるもの

29 畳敷き

・畳 種別 ※Ｄ種（畳床・KT-Ⅰ・KT-Ⅱ※KT-Ⅲ・KT-K・KT-N） [6.12.2][表6.12.1]

・衝撃緩和型畳 畳表 ・Ｃ１ ・Ｃ２

㉚ (天井，壁仕上げ)せっこうボードその他のボード及び合板張り

材料 [6.13.2][表6.13.1]

種類	JISの記号	厚さ(mm) 規格等
・硬質木毛セメント板	HW	・15 ・20 ・25
・普通木毛セメント板	NW	・15 ・20 ・25
・硬質木片セメント板	HF	・12 ・16 ・18 ・21
・普通木片セメント板	NF	・30
・けい酸カルシウム板(ノンアスベスト)	0.8FK 1.0FK	タイプ2(無石綿) ・6 ・8
・化粧けい酸カルシウム板		・6 ・
⊙ロックウール化粧吸音板	DR	㉝フラットタイプ(※9(準不燃) ⊙12 ・) ⊙凹凸タイプ(※12(不燃) ・15 ・)
・ロックウール吸音ボード1号	RW-B	※25
・グラスウール吸音ボード2号32K	GW-B	※25(ガラスクロス包)
⊙せっこうボード	GB-R	㉝12.5(不燃) ・15(不燃) ⊙9.5(準不燃)
・不燃積層せっこうボード	GB-NC	・9.5(不燃) ・化粧無(下地張り用) ・化粧有(トラバーチン模様)
・シージングせっこうボード	GB-S	※12.5(不燃) ・15(不燃) ・9.5(準不燃)
・強化せっこうボード	GB-F	・12.5(不燃) ・15(不燃)
・せっこうラスボード	GB-L	・9.5 ・12.5
⊙化粧せっこうボード(ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様)	GB-D	⊙9.5(準不燃) ・12.5(不燃)
・化粧せっこうボード(木目)	GB-D	・9.5(準不燃) ・12.5(不燃) 模様( )
・普通合板		表板の樹種名 ※図示 板面の品質( ) 厚さ(mm) ( ) 接着の程度 ・１類 ・２類 ・防虫処理 ・難燃処理 ・防炎処理
・コンクリート型枠用合板		厚さ(mm) ( )
・構造用合板		厚さ(mm) ( )
・天然木化粧合板		化粧板の樹種名 ( ) 接着の程度 ・１類 ・２類 厚さ(mm) ( ) ・防虫処理
・特殊加工化粧合板 (・メラミン化粧合板) (・ポリエステル化粧合板) (・プリント合板) (・)		表面性能 ・F ・FW ・W ・SW 接着の程度 ・１類 ・２類 厚さ(mm) ( ) ・防虫処理
・ミディアムデンシティファイバーボード	MDF	・3 ・7 ・9 ・12
・単板張りパーティクルボード		・無研磨板 ・研磨板 ・10 ・12 ・15 ・18
・化粧パーティクルボード		・単層オーバーレイ ・塗装 ・プラスチックオーバーレイ ・10(難燃) ・12(難燃)
・ハードボード(素地)	HB	・無研磨板(・スタンダード ・テンパード) ・研磨板 (・スタンダード ・テンパード)
・ハードボード(化粧)		・内装用 ・外装用 ・2.5 ・3.5 ・5 ・7
・インシュレーションボード	IB	A級(・天井仕上 ・内装仕上 ・) ・9 ・12 ・15 ・18

せっこうボードの目地処理の種類 [6.13.3][表6.13.5]

目地工法の種類	せっこうボードのエッジの種類
継目処理工法	・テーパエッジ ※ベベルエッジ
突付け工法	※ベベルエッジ ・スクェアエッジ
目透し工法	※スクェアエッジ ・ベベルエッジ

合板類の張付け ・Ａ種 ※Ｂ種 [6.13.3][表6.13.3]
ＭＤＦ及びパーティクルボード並びに合板のホルムアルデヒド放散量
※Ｆ☆☆☆☆，またはそれと同等と認められるもの [6.13.2]
遮音壁に用いるシール材 ・シーリング材 ・ジョイントコンパウンド [6.13.2]
天井のボードの重ね張りの張り付け方法(ロックウール吸音板を除く) [6.13.3]
( )

31 壁紙張り

壁紙 [6.14.2]

種類	程度	防火性能	施工箇所
※塩化ﾋﾞﾆﾙ樹脂系		・不燃 ・準不燃 ・難燃	
・		・不燃 ・準不燃 ・難燃	
・		・不燃 ・準不燃 ・難燃	

素地ごしらえ モルタル面及びプラスター面 ・Ａ種 ※Ｂ種 [6.14.3][表7.3.4]
コンクリート面及びALCパネル面 ・Ａ種 ※Ｂ種 [6.14.3][表7.3.5]
せっこうボード及びその他のボード面 ・Ａ種 ※Ｂ種 [6.14.3][表7.3.7]
壁紙のホルムアルデヒドの放散量等※Ｆ☆☆☆☆，またはそれと同等と認められるもの [6.14.2]

㉜ 接着剤

壁紙，ビニル床タイル，ビニル床シート，幅木，フローリングその他内装に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量
※Ｆ☆☆☆☆

㉝ モルタル塗り

モルタル ※現場調合材料 ・既調合材料（ ） [6.15.3]
既製目地材 ・適用する(形状：※図示 ・)
仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の処置 [6.15.5]
※ステンレス製アンカーピン縦横@200打込，ステンレス製ラス等張り ・図示
床の目地 ・適用する (目地割り ※2㎡程度 最大目地間隔3m程度 ・) [6.15.6]
(種類 ※押し目地 ・)
タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験
※行う ・行わない

㉞ タイル張り

伸縮調整目地の位置 ・図示 ※6.16.2(1)(ｱ)による [6.16.2]
タイルの見本焼き ※ 行わない ・ 行う [6.16.2]
タイルの試験張り ※ 行わない ・ 行う [6.16.2]

⊙セメントモルタルによるタイル張り [6.16.3]

施工箇所	形状寸法(mm)	吸水率の区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施釉	無釉	色 標準	特注	耐凍害性	耐滑り性	役物の適用	品質(公表単価(円/m2))
便所床	100角	⊙	・	・	・	⊙	⊙	・	・	・	・	標準品
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする。
下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ・MCR工法 ・目荒し工法 ・
壁タイル張りの工法
内装タイル ・密着張り ・改良圧着張り [表6.16.4]

⊙有機系接着剤によるタイル張り [6.16.4]

施工箇所	形状寸法(mm)	吸水率の区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施釉	無釉	色 標準	特注	耐凍害性	耐滑り性	役物の適用	品質(公表単価(円/m2))
便所壁	100角	・	・	⊙	⊙	・	⊙	・	・	・	・	標準品
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ [6.16.4]
壁タイル張りの工法
内装タイル ※ 内装壁タイル接着剤張り [表6.16.6]

35 セルフレベリング材塗り

[6.17.2][6.17.3][表6.17.1]

種類	標準塗厚(mm)	施工箇所
・せっこう系・セメント系	※10 ・	

塗装改修工事

① 一般事項

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※Ｆ☆☆☆☆とする [7.1.3]
防火材料 ・屋内の壁及び天井の塗装仕上げは，防火材料とする。 [7.1.3]
・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所：)

② 下地調整

塗替えＲＢ種の既存塗膜の除去範囲 ※劣化部分は除去し，活膜部分は残す ・ [7.2.1]
[7.2.2～7.2.7][表7.2.1～表7.2.7]

下地面の種類		下地調整の種別	ひび割れの補修
木部	不透明塗料塗り	※ＲＢ種 ・	
	透明塗料塗り	・ＲＢ種 ・	
鉄鋼面		※ＲＢ種 ・	
亜鉛めっき鋼面		※ＲＢ種 ・	
モルタル面，プラスター面		※ＲＢ種 ・	・行う ・行わない
コンクリート面(DP以外)・ＡＬＣパネル面		※ＲＢ種 ・	・行う ・行わない
コンクリート面(DP)・押出成形セメント板面		・	・行う ・行わない
せっこうボード面・その他ボード面		※ＲＢ種 ・	

③ 素地ごしらえ

[7.3.2～7.3.7][表7.3.1～表7.3.7]

下地面等		種別
木部	不透明塗料塗り	※Ａ種 ・Ｂ種
	透明塗料塗り	・Ａ種 ※Ｂ種
鉄鋼面(DP以外)		・Ａ種 ・Ｂ種 ※Ｃ種
鉄鋼面(DP)		・Ａ種 ※Ｂ種 ・Ｃ種
亜鉛めっき鋼面		・Ａ種 ・Ｂ種
モルタル面及びプラスター面		・Ａ種 ※Ｂ種
コンクリート・ＡＬＣパネル面(DP以外)		・Ａ種 ※Ｂ種
コンクリート (DP)		・Ａ種 ・Ｂ種
押出成形セメント板面		・Ａ種 ・Ｂ種
せっこうボード面(継目処理工法)		※Ａ種 ・Ｂ種
せっこうボード面(継目処理以外)・その他ボード面		・Ａ種 ※Ｂ種

④ 錆止め塗料の種別

[7.3.3，7.4.2～7.4.3][表7.3.3，表7.4.1～表7.4.6]

塗装面			塗料	工程
鉄鋼面	SOP	塗替え		※Ｃ種
		新規見え掛り部分	※Ａ種	※Ａ種 ・Ｂ種
		新規見え隠れ部分		※Ｂ種 ・Ａ種
	DP	塗替え	1回目 Ｃ種 2，3回目 Ｄ種	※Ａ種
			※Ｅ種	・Ｂ種 ・Ｃ種
		新規見え掛り部分	1回目 Ｃ種	※Ａ種
		新規見え隠れ部分	2，3回目 Ｄ種	※Ｂ種
	屋内(EP-G)	塗替え		※Ｃ種
		新規見え掛り部分	※Ｂ種 ・Ａ種	※Ａ種
		新規見え隠れ部分		※Ｂ種
亜鉛めっき鋼面	SOP	塗替え	※Ａ種 ・Ｂ種	※Ｃ種
		鋼製建具	※Ａ種 ・Ｂ種	※Ａ種 ・Ｂ種
		鋼製建具以外	※Ｂ種 ・Ａ種	※Ｂ種 ・Ａ種
	DP	塗替え	※Ｂ種	[表7.4.6]
		鋼製建具	※Ｂ種	[表7.4.6]
		鋼製建具以外	※Ｂ種	[表7.4.6]
	屋内(EP-G)	塗替え	※Ｃ種	※Ｃ種
		鋼製建具	※Ｃ種	※Ａ種 ・Ｂ種
		鋼製建具以外	※Ｃ種	※Ｂ種 ・Ａ種

⑤ 塗装の種別

[7.3.2，7.5.2～7.13.2][表7.5.1～表7.13.1]

略号	塗装		塗替え	新規
・SOP	合成樹脂調合ペイント塗り 塗料の種類 ※１種	木部(屋外)	※Ｂ種	※A種 ・
		木部(屋内)	※Ｂ種	※Ｂ種
		鉄鋼面	※Ｂ種	※B種 ・A種
		亜鉛めっき鋼面	※Ｂ種	※B種
		鋼製建具(亜鉛めっき鋼面)	※Ａ種	※B種
・CL	クリヤラッカー塗り		※B種 ・A種	※B種 ・A種
・NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り		※B種 ・A種	※B種 ・A種
⊙DP	耐候性塗料塗り	上塗り塗料等級 ・1級 ・2級 鉄鋼面	表7.8.1	表7.8.1
		亜鉛めっき鋼面	表7.8.2	表7.8.2
		⊙3級 ｺﾝｸﾘｰﾄ面及びECP面	・A-2 ・B-2 ・C-2	・A-1 ・B-1 ・C-1
・EP-G	つや有合成樹脂エマルションペイント塗り	ｺﾝｸﾘｰﾄ面	※Ｂ種	※B種 ・A種
		ﾓﾙﾀﾙ面	※Ｂ種	※B種 ・A種
		ﾌﾟﾗｽﾀｰ面	※Ｂ種	※B種 ・A種
		せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面	※Ｂ種	※B種 ・A種
		その他ﾎﾞｰﾄﾞ面	※Ｂ種	※B種 ・A種
		屋内木部	※Ｂ種	※A種
		屋内鉄鋼面	※Ｂ種	※A種 ・B種
		屋内亜鉛めっき鋼面	※Ａ種	※A種 ・B種
⊙EP	合成樹脂エマルションペイント塗り	ｺﾝｸﾘｰﾄ面	※Ｂ種	※B種 ・A種
		ﾓﾙﾀﾙ面	※Ｂ種	※B種 ・A種
		ﾌﾟﾗｽﾀｰ面	※Ｂ種	※B種 ・A種
		せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面	※Ｂ種	※B種 ・A種
		その他ﾎﾞｰﾄﾞ面	※Ｂ種	※B種 ・A種
⊙UC	ウレタン樹脂ワニス塗り		※Ｂ種	※B種 ・A種
・ステイン塗り	・ピグメントステイン塗り		表7.12.1	表7.12.1
	・オイルステイン塗り(OS)			
・WP	木材保護塗料塗り		※Ｂ種	※B種 ・

CL A種の場合の塗料の種類 ・
UC 着色 ・適用する
OS 仕様 ・図示

土工事

1 埋戻し及び盛土

種別 ・Ａ種(水締めのきく砂質土) (3.2.3)(表3.2.1)
※Ｂ種 ・Ｃ種 ・Ｄ種

② 建設発生土の処理

※ 構外搬出適切処理(搬出前に建設発生土の受入証明又は法令による許可書等を提出する) (3.2.5)
・構外指示の場所に処分(搬出調書等を提出する)
・受入れ施設名：
・受入れ場所：
・構内指示の場所に敷き均し
・構内指示の場所にたい積
500m3以上を構外搬出適切処理する場合は確認結果表を作成し，再生資源利用計画の添付資料とする。
(https://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/123/kensetuhasseido-hannsyutusaki.html)

3 山留め

山留め工法 ・
山留めの撤去 ※ 撤去する ・ 存置する
(3.3.3)

コンクリート工事

① コンクリートの種類・強度・スランプ

※ 普通コンクリート (6.2.1～6.2.2)(6.2.4)(表6.2.2)

設計基準強度 Fc(N/mm2)	スランプ (cm)	適用箇所
※ 21	・15 ・18	
・18	・15 ・18	
⊙24	⊙15 ・18	和便器開口塞ぎ

・軽量コンクリート

設計基準強度 Fc(N/mm2)	スランプ (cm)	適用箇所
※ 21	・15 ・18	
・18	・15 ・18	
・		

コンクリートの類別 ※Ⅰ類 ・Ⅱ類 (6.2.1)(表6.2.1)

② セメントの種類

※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのＡ種 (6.3.1)(6.13.2)
・高炉セメントＢ種 (適用箇所：)
・フライアッシュセメントＢ種(適用箇所：)
・

③ 骨材

アルカリシリカ反応性による区分 ※Ａ ・Ｂ (6.3.1)

④ 混和材料

⊙混和剤 ※ＡＥ剤又はＡＥ減水剤標準形 (JIS A 6204) (6.3.1)
・高性能ＡＥ減水剤標準形 (JIS A 6204)
・
・混和材 ・フライアッシュ（ ・Ⅰ種 ・Ⅱ種 ・Ⅳ種 ） (JIS A 6201)
・コンクリート用高炉スラグ微粉末 (JIS A 6206)
・コンクリート用シリカフューム (JIS A 6207)
・コンクリート用膨張材 (JIS A 6202)

⑤ 構造体強度補正値 (S)

※表6.3.2による ・ (6.3.2)

6 打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地

打継ぎ目地の寸法 ※ 9.7.3(1)(ｱ)による ・ (6.6.4)(9.7.3)
ひび割れ誘発目地の位置 ※ 図示 ・ (6.8.1)
ひび割れ誘発目地の形状及び寸法※ 9.7.3(1)(ｱ)による ・ (6.8.1)(9.7.3)

7 打増し厚さ

外部に面するコンクリートの打増し厚さ(mm) (6.8.1)
外壁 ※ 図示 ・20 ・25 ・
軒天 ※ 図示 ・10 ・15 ・20
その他 ※ 図示 ・20

8 構造体ｺﾝｸﾘｰﾄの仕上り

コンクリートの打放し仕上げ
※合板せき板を用いる場合 (6.2.5)(6.8.2)(表6.2.4)

種別	厚さ(mm)	施工箇所
・Ａ種	※ 12 ・	
・Ｂ種	※ 12 ・	
・Ｃ種	※ 12 ・	

・せき板の材料として合板を用いない場合
材料 ( )
厚さ ( )

高知市 都市建設部 公共建築課	工事名 高知市斎場式場棟改修工事	係 中村	係長 笹岡	課長補佐 濱口	課長 松木	図面番号 特A-06
	図面名 改修特記仕様書 (6) 3024.04	縮尺 1/	作図 年 月 日			

項目	特記事項

⑨ コンクリートの仕上りの平たんさ

適用部位　※下表　・図示　(6.2.5)(表6.2.5)(15.4.2)

種別	コンクリートの内外装仕上げ	平たんさ	適用部位による仕上げの目安 柱・梁・壁	床
a種	コンクリートが見え掛りとなる場合又は仕上げ厚さが極めて薄い場合その他非常に良好な平たんさ及び良好な表面状態が必要な場合	3mにつき7mm以下	化粧打放しコンクリート 塗装仕上げ 壁紙張り 接着剤による陶磁器質タイル張り	合成樹脂塗床 ビニル系床材張り 床コンクリート直均し仕上げ フリーアクセスフロア（置敷式）
b種	仕上げ厚さが7mm未満の場合その他良好な平たんさが必要な場合	3mにつき10mm以下	仕上塗材塗り 外装タイルセメントモルタル張り	カーペット張り 防水下地 セルフレベリング材塗り
c種	仕上げ厚さが7mm以上の場合又は下地の影響を受けにくい仕上げの場合	1mにつき10mm以下	セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り モルタル塗り 胴縁下地	タイル張り モルタル塗り 二重床

10 スリーブの材種，規格等

※下記の通り　・図示　(6.8.2)(表6.8.1)

（i）外壁の地中部分等水密を要する部分に用いるスリーブは，つば付き鋼管とする。
（ii）地中部分で水密を要しない部分に用いるスリーブは，硬質ポリ塩化ビニル管とする。
（iii）（i）及び（ii）以外の円形スリーブは，溶融亜鉛めっき鋼板とし，原則として，筒形の両端を外側に折り曲げてつばを設ける。また，必要に応じて，円筒部を両方から差し込む伸縮形とする。
（iv）硬質ポリ塩化ビニル管は，防火区画を貫通する場合には使用しない。
なお，柱及び梁以外の箇所で，開口補強が不要であり，かつ，スリーブ径が200mm以下の部分は，紙チューブとすることができる。

11 床型枠用鋼製デッキプレート

評価名簿による　(6.8.3)

使用箇所	厚さ	備考

12 軽量コンクリート

(6.10.1)(6.10.2)(表6.10.1)

種類	所要気乾単位容積質量（t/m3）	スランプ	適用箇所
・1種　・2種	※表6.10.1による　・	※21　・	※図示

13 無筋コンクリート（捨コンクリートを除く）

コンクリートの種類　※普通コンクリート　・軽量コンクリート　(6.14.1)

設計基準強度 Fc(N/mm2)	スランプ(cm)	適用箇所
※18　・	※15　・18	※6.14.1(4)による　・図示

鉄骨工事

① 鉄骨製作工場

※「指定性能評価機関」による大臣認定工場で当該設計図書の内容を満たす評価基準を有する工場　(7.1.3)
⊙Sグレード　⊙Hグレード　⊙Mグレード　⊙Rグレード　⊙Jグレード
・監督職員の承諾する工場

② 鉄骨製作工場における施工管理技術者の配置

※適用する　(7.1.4)

③ 鋼材

(7.2.1)(表 7.2.1)

種類	形状	寸法	使用箇所
SSC400	※図示	※図示	※図示
STKR400	※図示	※図示	※図示
SS400	※図示	※図示	※図示

4 高力ボルト

高力ボルトの種類　※トルシア形高力ボルト（S10T）　(7.2.2)
・JIS 形高力ボルト(F10T)
・溶融亜鉛めっき高力ボルト(F8T相当)
・建築基準法に基づき認定を受けた高力ボルト
ねじの呼び　※図示
すべり試験　※実施しない　・実施する　試験の方法等　※図示　(7.4.2)
ナット回転法の場合でJIS形高力ボルトのボルト長さがねじの呼びの5倍を超える場合の回転量(7.4.7)
※図示　・

⑤ 普通ボルト

ボルト及びナットの材料等　※図示　⊙表7.2.3による　(7.2.3)(表7.2.3)
ねじの呼び　※図示

6 アンカーボルト

・構造用アンカーボルトの種類　(7.2.4)
・ABR400　・ABR490　・ABM400　・ABM490　・規格外（　　）
・建方用アンカーボルトの種類
・SS400　・
ねじの規格等　※表7.2.3による　・

7 ターンバックル

建築用ターンバックルボルトの種類　※羽子板ボルト　・両ねじ式　・アイボルト　(7.2.6)
建築用ターンバックル胴の種類　※割枠式　・パイプ式
種類，ねじの呼び等　※図示

8 床構造用のデッキプレート

(7.2.7)

構法	適用箇所	材質，形状，寸法	備考
・デッキプレート単独の構法			JIS G 3352
・デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構法			JIS G 3352
・			

耐火認定　・有り（耐火時間：※図示　・　）

9 スタッド

種類等　※図示　・　(7.2.8)

10 材料試験等

板厚方向に引張力を受ける鋼板のJIS G 0901による試験　・実施する　・実施しない　(7.2.10)

⑪ 工作一般

高力ボルト，普通ボルト及びアンカーボルトの縁端距離，ボルト間隔，ゲージ等　(7.3.2)
※図示　・
仮組の実施　・実施する(部位：　　)　※実施しない　(7.3.10)

⑫ 溶接接合

技能資格者への技量付加試験　・行う　※行わない　(7.6.3)
代替エンドタブを使用する場合は，技量付加試験を行うか，AW検定協議会が実施する代替エンドタブ検定により認定された溶接作業を行う技能資格者でなければならない

開先の形状　※図示　(7.6.4)
スカラップの形状　※図示　(7.6.7)
エンドタブ　※切断する　・切断しない
切断する箇所　※見えがかり部　・図示
切断範囲　・　※図示

⑬ 溶接部の試験

外観試験　(7.6.12)
「鉄骨造の継手又は仕口の構造方法を定める件」（平成12年5月31日 建設省告示第1464号）
第二号に関する試験
試験方法等　※図示

JASS 6 付則 6［鉄骨精度検査基準］の付表 3「溶接」に関する試験
試験方法等　※図示

完全溶込み溶接部
・超音波探傷試験
工場溶接の場合　AOQL　※4.0%　・2.5%

節	
検査水準	※第6水準　・

代替エンドタブを使用する場合は，全数検査とする
・放射線透過試験　試験箇所（　　）
・マクロ試験(エンドタブ使用)　試験箇所（　　）
・

14 デッキプレートの溶接

※図示　(7.7.8)

⑮ 錆止め塗装の範囲

※7.8.2（1）による　・図示　(7.8.2)

16 錆止め塗料の種別（右記の部分に限る）

・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面(鉄骨に溶接されたものに限る)　(7.8.4)
※表18.3.1のA種　・
・耐火被覆材の接着する面
適用箇所　※図示　・
塗装の種別　・表18.3.1のA種　・

17 耐火被覆

種別　(7.9.2)
・耐火材吹付け工法　(7.9.4)
・ロックウール吹付け工法（・乾式工法　・半乾式工法　・湿式工法）
・耐火板張り工法（・繊維混入けい酸カルシウム板　・　）(7.9.5)
・耐火材巻付け工法（・高断熱ロックウール　・　）(7.9.6)
・ラス張りモルタル塗り　左官工法　(7.9.7)
・耐火塗料　塗装工法　(7.9.8)
・図示
耐火性能　(7.9.3)

耐火性能	適用箇所
・30分　・1時間　・2時間	
・30分　・1時間　・2時間	

18 アンカーボルトの保持及び埋込み工法

建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法
種別　・A種　※B種　(7.10.3)(表7.10.1)
構造用アンカーボルト　※図示　(7.10.3)(7.2.4)
・形状（　　），寸法（　　）
アンカーフレーム　※図示
・形状（　　），寸法（　　）
柱底均しモルタルの厚さ及び種別※50mm　・　※A種　・B種　(7.2.9)(7.10.3)(表7.10.2)
無収縮モルタルの製造所　評価名簿による
無収縮モルタルの調合等　※7.2.9(2)による　・　(7.2.9)

19 溶融亜鉛めっき高力ボルト接合

摩擦面の処理方法等　※ブラスト処理又はりん酸塩処理　(7.12.5)

金属工事

① あと施工アンカー

施工後の確認（引張試験）　・行う　⊙行わない　確認強度（　　）　(14.1.3)

② 網戸

[5.2.3]

種類	材質	線径	網目	適用箇所
⊙防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ⊙ステンレス製(SUS316)	※0.25mm以上 ・	※16～18メッシュ ・	※図示
・防鳥網	※ステンレス(SUS304)線材 ・	※1.5mm ・	※網目寸法15mm ・	※図示

左官工事

① しっくい塗り

下地　(15.10.1)
・木ずり下地（調合及び各層の塗厚：※表15.10.3による　・　）
・こまい土壁下地（調合及び各層の塗厚：※表15.10.4による　・　）
・せっこうラスボード（調合及び各層の塗厚：・　）
⊙せっこうボード（調合及び各層の塗厚：⊙製造所の仕様による下塗りt=2、上塗りt=1　）
⊙モルタル下地（調合及び各層の塗厚：⊙製造所の仕様による下塗りt=2、上塗りt=1　）
材料　(15.10.2)
・15.10.2(1)(ｱ)，(ｲ)による
⊙漆喰クリーム　含水率40%以上
色しっくい　・適用する
既調合しっくいの上塗り仕上げ工法　(15.10.4)(表15.10.5)
・なで切り仕上げ　・パターン仕上げ　⊙磨き仕上げ

② 仕上塗材仕上げ

薄付け仕上塗材　(15.6.2)(表15.6.1)

呼び名	仕上げの形状		工法	備考
・外装薄塗材Si	・砂壁状	・ゆず肌状	吹付け	
	・ゆず肌状	・さざ波状	ローラー塗り	
・可とう形外装薄塗材Si	・砂壁状	・ゆず肌状	吹付け	
	・ゆず肌状	・さざ波状	ローラー塗り	
・外装薄塗材E	・砂壁状	・ゆず肌状	吹付け	
	・平たん状	・凹凸状	こて塗り	
	・ゆず肌状	・さざ波状	ローラー塗り	
	・着色骨材砂壁状		・吹付け ・こて塗り	
・可とう形外装薄塗材E	・砂壁状	・ゆず肌状	吹付け	
	・平たん状	・凹凸状	こて塗り	
	・ゆず肌状	・さざ波状	ローラー塗り	
・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状	・さざ波状	ローラー塗り	増塗材
	・凹凸状		吹付け	・適用する
・外装薄塗材S	・砂壁状		吹付け	
・内装薄塗材C	・凹凸状		吹付け	吸放湿性
・内装薄塗材L	・平たん状	・凹凸状	こて塗り	⊙適用する
	・ゆず肌状	・さざ波状	ローラー塗り	
・内装薄塗材Si	⊙砂壁状じゅらく	・ゆず肌状	吹付け	
⊙内装薄塗材E	・平たん状	・凹凸状	こて塗り	
	・ゆず肌状	・さざ波状	ローラー塗り	
・内装薄塗材W	・京壁状じゅらく	・ゆず肌状	吹付け	
	・平たん状	・凹凸状	こて塗り	

ユニット及びその他工事

① トイレブース

パネル表面材　※図示　・メラミン樹脂系化粧板　・ポリエステル樹脂系化粧板　(20.2.5)
脚部の種類　※図示　・幅木タイプ　・
ドアエッジ　※図示　・アルミニウム製　・ステンレス製　・
製造所　評価名簿による

② 手すり

材料の種類，仕上げ　・ステンレス，#400　⊙木製既製品 φ32 L=800　(20.2.6)

③ 鏡

厚さ(mm)　※5.0　・　(20.2.10)
※耐食仕様

④ 表示

室名札等　(20.2.11)

区分	材質・厚さ(mm)	印刷等の種別	色彩	取付形式	書体
⊙室名札 ・ピクトグラフ ・とびら番号 ・非常用進入口 ・	※図示 ・アクリル板 （※5.0　・　）	※シルクスクリーン印刷 ⊙図示	※図示 ・	※図示 ・	※図示 ・
・建物案内板 ・各階案内板 ⊙総合案内板	※アクリル板 （※8.0　・　） ⊙図示	※シルクスクリーン印刷 ・図示	※図示 ・	※図示 ・	※図示 ・

・対人衝突防止表示　※図示

⑤ ロールスクリーン

(20.2.15)

操作方式	スクリーンの材種	品質	備考
・スプリング式 ⊙チェーン式　・電動式	・ガラス繊維製　⊙布製 ・木製　・	遮光1級，防炎	

巻取りパイプその他の材料　※製造所の仕様による

⑥ 天井見切縁

材種　・アルミニウム製　※塩ビ

⑦ 点検口

形式	材種	寸法	形式 一般形 外枠	内枠	錠
天井	※アルミニウム製 ・	※450×450 ・600×600 ・	・額縁タイプ ⊙目地タイプ ・密閉形	・額縁タイプ ⊙目地タイプ	※なし ・あり
床	・アルミニウム製 ※ステンレス製 ・	・450×450 ※600×600 ・	・一般形 ・結露防止形 ・屋内外用	・密閉形 ・屋内用	・なし ※あり

製造所　評価名簿による

⑧ 膜天井

膜材料：不燃材料
膜重量：460g/m²程度
膜引張強度(ﾀﾃﾖｺ)：800×400N/cm以上
膜品質：F☆☆☆同等の性能を有していること。またその試験・検証を実証済みであること。
製造所は，一般社団法人日本膜構造協会第1種正会員であること。
製造所は，一般社団法人日本膜構造協会の膜体加工工場認定制度に登録された工場で加工すること。

舗装工事

1 路床

路床の材料　(22.2.2～22.2.3)

種別	材料	厚さ(mm)
・盛土	・A種　・B種　・C種　・D種 ・建設汚泥から再生した処理土	※図示 ・
・フィルター層	・砂(75μmふるい通過量が6%以下) ・	※図示 ・

・路床安定処理
路床安定処理用添加材料
種類　・普通ポルトランドセメント　・高炉セメントB種
・フライアッシュセメントB種　・生石灰（・特号　・1号）
・消石灰（・特号　・1号）
添加量を定めるために用いるCBR（　　）

試験
路床土の支持力比(CBR)試験　※行わない　・行う　(22.2.5)
路床締固め度の試験　※行わない　・行う　(22.2.5)
現場CBR試験　※行わない　・行う　(22.2.5)

② 路盤

路盤の厚さ　※図示　・　(22.3.2)
路盤材料　・クラッシャラン　・粒度調整砕石　(22.3.3)(表22.3.1)
※再生クラッシャラン　・再生粒度調整砕石
・クラッシャラン鉄鋼スラグ　・粒度調整鉄鋼スラグ
・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ
締固め度の試験　※行う　⊙行わない　(22.3.5)

③ アスファルト舗装

アスファルト舗装の構成及び厚さ※図示　・　(22.4.2)
材料
アスファルト　※再生アスファルト（種類　※60～80　・80～100）　(22.4.3)
・ストレートアスファルト
骨材　・道路用砕石　※アスファルトコンクリート再生骨材　(22.4.3)
加熱アスファルト混合物等の種類　(22.4.4)(表22.4.4)

部位	混合物の種類
表層	⊙密粒度アスファルト混合物　(13) ・細粒度アスファルト混合物　(13)

シールコート　・行う　※行わない　(22.4.5)
アスファルト混合物の抽出試験　・行う　※行わない　(22.4.6)
舗装の平たん性　※通行の支障となる水たまりを生じない程度　・　(22.4.2)

高知市　都市建設部　公共建築課	工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
	高知市斎場式場棟改修工事	中村	笹岡	濱口	松木	特A-07
	図面名　改修特記仕様書（7）　2024.04　縮尺　1/	作図　年　月　日				

項　目	特　記　事　項

4 コンクリート舗装

コンクリート舗装の厚さ (22.5.2)

舗　装　の　種　類	部　位	舗装の厚さ(mm)
・コンクリート舗装	・車路及び駐車場	※ 150　・図示　・
	・歩行者用通路	※ 70　・図示　・

コンクリート舗装に使用するコンクリート (22.5.3)(表22.5.1)

部　位	設計基準強度(N/mm2)	所定のスランプ(cm)	粗骨材の最大寸法(mm)		
・車路及び駐車場	※ 24　・	※ 8　・	砂利の場合	・25	・40
			砕石の場合	・20	・25
・歩行者用通路	※ 18　・	※ 8　・	砂利の場合	※25　・	
			砕石の場合	※20　・	

早強セメント　・使用する　※使用しない (22.5.3)

注入目地材料の種別　※低弾性タイプ　・高弾性タイプ (22.5.3)(表22.5.2)

目地の種類　※表22.5.3による　・図示 (22.5.4)

目地の構造　※図22.5.1による　・図示 (22.5.4)

5 カラー舗装

(22.6.2)(表22.6.1)

舗　装　の　種　類		部　位	着色部の厚さ(mm)
加熱系	※アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物 ・		
常温系	・ニート工法 ・塗布工法	車路及び歩行者用通路	・3～5　・ ・1程度以下　・

加熱系混合物に添加する材料　・着色骨材(材質：　)　・自然石(材質：　) (22.6.3)

結合材に石油樹脂を使用する場合の顔料の添加量　・ (22.6.4)

ニート工法及び塗布工法の配合等　・ (22.6.4)

6 透水性ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装

舗装の構成(歩行者用通路)　※図示　・ (22.7.2)

舗装の構成(車路)　※図示　・

舗装の平たん性　※著しい不陸がないもの　・ (22.7.2)

アスファルト混合物の抽出試験　・行う　※行わない (22.4.6)(22.7.6)

7 ブロック系舗装

仕上がり面の平たん性　※22.8.2(2)による　・ (22.8.2)

・コンクリート平板舗装 (22.8.2)(22.8.3)

種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	表面加工	備考
※普通平板(N)	※300角	・30	※砂	・研ぎ出し	
・透水性平板(P)	・400角	・60	・モルタル	・洗い出し	
・保水性平板(M)	・450角	・80		・たたき出し	

・インターロッキングブロック舗装 (22.8.2)(22.8.3)

種類	厚さ(mm)		曲げ強度(N/mm2)	品質(色彩，表面加工)
※普通ブロック(N)	車路	※80　・	※5.0　・	※標準色
・透水性ブロック(P)	歩行者用通路	※60　・	※3.0　・	・
・保水性ブロック(M)				

・舗石舗装

種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	施工方法	備考
※小舗石(花こう岩)	・	・80	・うろこ張り	
・		・	・	

8 砂利敷き

種別　通路　※A種　・B種 (22.9.2)(表22.9.1)

建物周囲その他　・A種　※B種

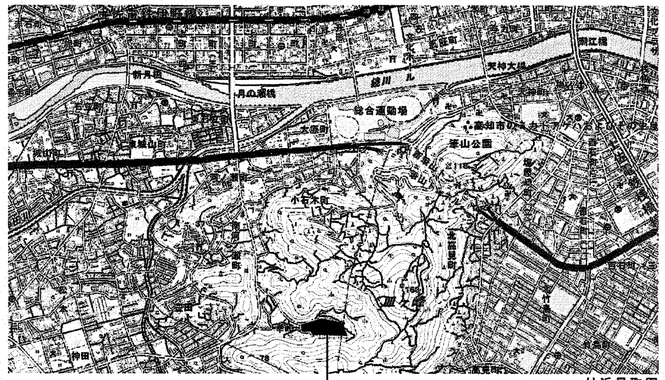
石綿含有建材分析結果報告書一覧

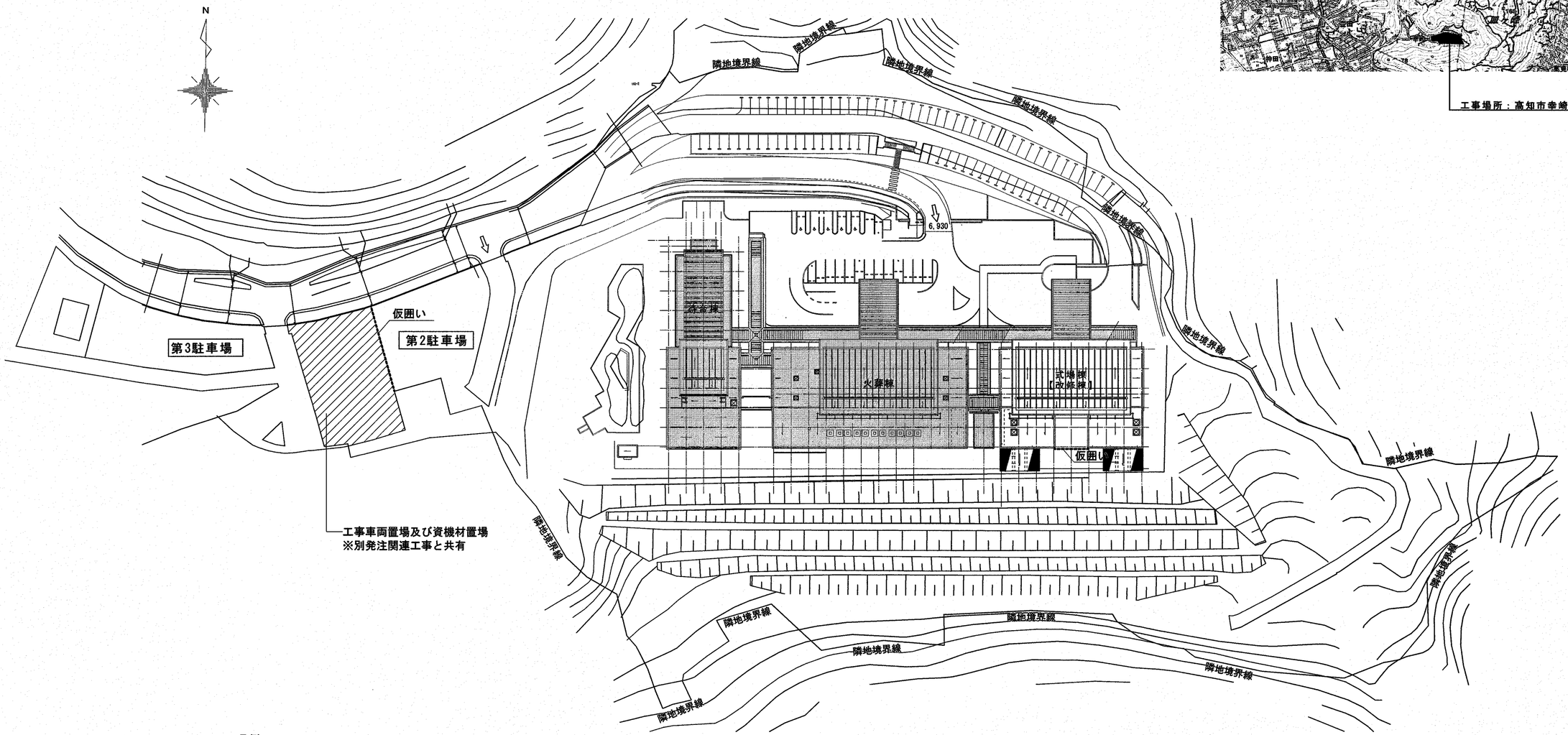
建　材　名	採　取　場　所	石綿含有の有無
ラフトン吹付	大式場・中式場祭壇	有・(無)
けい酸カルシウム板	大式場・中式場祭壇	有・(無)
土佐漆喰塗	大式場・中式場	有・(無)
せっこうボード	大式場・中式場	有・(無)

項　目	特　記　事　項	項　目	特　記　事　項

高知市　都市建設部　公共建築課

工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
高知市斎場式場棟改修工事	中村	笹岡	濱口	松木	特A-08
図面名　改修特記仕様書(8)　2024.04　縮尺　1/	作図　年　月　日				





凡例

- ---------- ：仮囲い(ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽH1800程度)を示す
- ⇨ ：工事車両進入口を示す
- ▨ ：改修範囲外を示す

配置図　S=1/800

高知市 都市建設部 公共建築課				工事名	高知市斎場式場棟改修工事	SEET NO A-01	CHECKED BY
係	係 長	課長補佐	課 長	図面名	付近見取図・配置図	DATE	DRAWN BY 芝田
中村	笹岡	濱口	松本	SCALE 1/800(A3=71%)	一級建築士事務所　高知県知事登録第956号 一級建築士　大臣登録第182598号　山口英治	高知市本町5-1-10 TEL　088-821-0230	有限会社 山口英治建築設計事務所

■外部仕上表

部　位	仕　上	部　位	仕　上
屋　根	緑青銅板 t=0.4 瓦棒葺き→既存のまま	中庭	築山→撤去 樹木→伐採伐根
軒　天			新設：ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装(A-5-15)
外　壁	石灰岩乱積み→既存のまま 土佐漆喰塗→既存のまま		
根　廻	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し→既存のまま		

■材料表

材料記号	名　称	材料記号	名　称
GB-R t=9.5	せっこうボード	EP塗り	合成樹脂エマルションペイント塗り
GB-R t=12.5	せっこうボード	UC塗り	ｳﾚﾀﾝ樹脂ﾜﾆｽ塗り
GB-D t=9.5	化粧せっこうボード		
DR① t=12	ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板（ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ）		
DR② t=12	ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板（凹凸ﾀｲﾌﾟ）		
有孔ボード			
膜ﾙｰﾊﾞｰ			

令２５条の５　関連
居室（換気経路として使用する部分を含む）に面する仕上げ材料は全てＦ☆☆☆☆以上を使用し、その他もＦ☆☆☆☆以上を使用する

■内部仕上表

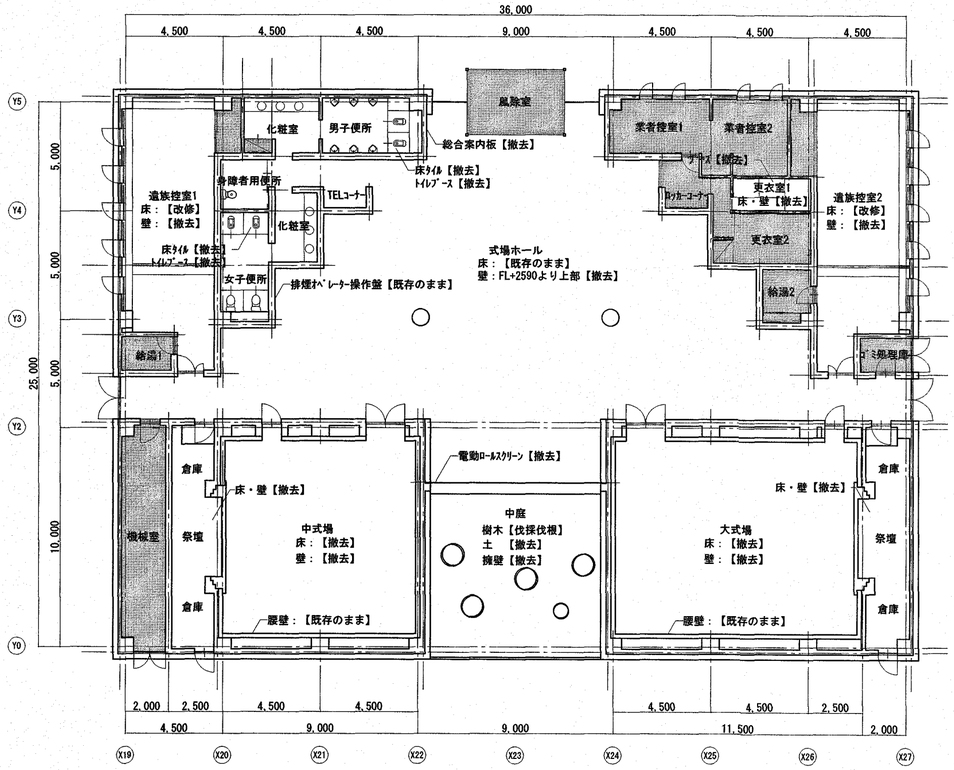
階数	室　名	既存／改修	床 下地	床 仕上げ	巾　木	壁 下地	壁 仕上げ	天　井 下地	天　井 仕上げ	廻　縁	備　考
1F	式場ﾎｰﾙ(折上天井) ↓ 式場ﾎｰﾙ(低天井)	既存	【既存のまま】ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	【既存のまま】御影石張り t=25		【既存のまま】ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 C-100×50×2.3	【一部撤去】大理石貼り t=25 (FL+2590より上部)	【撤去】LGS下地 【既存のまま】鉄骨下地	【撤去】PB t=9 + DR t=15 AEP 【撤去】大理石貼り t=25	【撤去】塩ﾋﾞ製	
		改修	【既存のまま】	【既存のまま】		【新設】木胴縁50×45 + GB-R t=12.5	【新設】内装薄塗材E	【新設】 LGS19形	【新設】DR① t=12（直張り工法）	【新設】塩ﾋﾞ製	
1F	式場ﾎｰﾙ(高天井) ↓ 式場ﾎｰﾙ(高天井)	既存	【既存のまま】ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	【既存のまま】御影石張り t=25		【既存のまま】ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 C-100×50×2.3	【撤去】PB t=9 AEP 【一部撤去】大理石貼り t=25 (FL+2590より上部)	【撤去】LGS下地	【撤去】PB t=9 AEP 【撤去】ﾙｰﾊﾞｰ天井(既製品)ｼｰﾑﾚｽﾀｲﾌﾟ	【撤去】塩ﾋﾞ製	
		改修	【既存のまま】	【既存のまま】		【新設】木胴縁50×45 + GB-R t=9.5 【新設】木胴縁50×45 + GB-R t=12.5	【新設】有孔ﾎﾞｰﾄﾞ t=9.5 EP塗り 【新設】内装薄塗材E	【新設】 LGS19形	【新設】GB-R t=9.5 EP塗 【新設】膜ﾙｰﾊﾞｰ	【新設】塩ﾋﾞ製	
1F	遺族控室1 ↓ 遺族控室1	既存	【既存のまま】根太45×54 + 捨張り 【既存のまま】ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	【改修】畳敷き t=55 【既存のまま】ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ t=15	【既存のまま】畳寄せ 【撤去】木製巾木H30	【撤去】木胴縁18×45	【撤去】PB t=9 土佐漆喰塗	【撤去】木下地	【撤去】杉ﾍﾞﾆﾔ目透かし貼り 【撤去】PB t=9 + DR t=15 AEP	【撤去】塩ﾋﾞ製	
		改修	【既存のまま】	【表替え改修】畳敷き t=55	【新設】木製幅木 H60 UC塗り	【新設】木胴縁18・24×45	【新設】GB-R t=12.5 漆喰ｸﾘｰﾑ t=3 【新設】繊維混入せっこう板t=6+t=6 漆喰ｸﾘｰﾑ t=3	【新設】LGS19形	【新設】GB-R t=9.5 + DR② t=12	【新設】塩ﾋﾞ製	
1F	遺族控室2 ↓ 遺族控室2	既存	【既存のまま】根太45×54 + 捨張り 【既存のまま】ｺﾝｸﾘｰﾄ下地	【改修】畳敷き t=55 【既存のまま】ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ t=15	【既存のまま】畳寄せ 【撤去】木製巾木H30	【撤去】木胴縁18×45	【撤去】PB t=9 土佐漆喰塗	【撤去】木下地	【撤去】杉ﾍﾞﾆﾔ目透かし貼り 【撤去】PB t=9 + DR t=15 AEP	【撤去】塩ﾋﾞ製	
		改修	【既存のまま】	【表替え改修】畳敷き t=55	【新設】木製幅木 H60 UC塗り	【新設】木胴縁18・24×45	【新設】GB-R t=12.5 漆喰ｸﾘｰﾑ t=3 【新設】繊維混入せっこう板t=6+t=6 漆喰ｸﾘｰﾑ t=3	【新設】LGS19形	【新設】GB-R t=9.5 + DR② t=12	【新設】塩ﾋﾞ製	
1F	更衣室1 ↓ 業者控室3	既存	【既存のまま】ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 【撤去】木下地組	【撤去】長尺ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ張り 【撤去】ｶｰﾍﾟｯﾄ張り	【撤去】ﾋﾞﾆﾙ幅木H75	【既存のまま】ﾓﾙﾀﾙ下地 【既存のまま】木下地	【撤去】PB t=9 吹付塗装	【撤去】木下地	【撤去】PB t=9 + DR t=12 AEP	【撤去】塩ﾋﾞ製	
		改修	【新設】樹脂製支持脚+ ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞt=20+構造用合板t=12	【新設】ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾍﾟｰｽﾄ，ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ 【新設】ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ張り	【新設】ﾋﾞﾆﾙ幅木H100	【ﾓﾙﾀﾙ下地部分新設】LGS50型 【木下地部分新設】木胴縁18×45	【新設】GB-R t=12.5 EP塗り	【新設】LGS19形	【新設】GB-R t=9.5 + DR② t=12	【新設】塩ﾋﾞ製	
1F	中式場 ↓ 中式場	既存	【既存のまま】ﾓﾙﾀﾙ下地	【撤去】ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ張り		【撤去】木胴縁18×45	【撤去】PB t=9 土佐漆喰塗 【既存のまま】腰壁：大理石張りt=25	【撤去】LGS下地	【撤去】PB t=9 ﾊﾟｰﾗｲﾄ吹付		
		改修	【既存のまま】	【新設】ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾍﾟｰｽﾄの上 ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ張り		【新設】木胴縁30×45	【新設】GB-R t=12.5 漆喰ｸﾘｰﾑ t=3	【新設】LGS19形	【新設】GB-R t=9.5 + DR② t=12	【新設】塩ﾋﾞ製	
1F	大式場 ↓ 大式場	既存	【既存のまま】ﾓﾙﾀﾙ下地	【撤去】ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ張り		【撤去】木胴縁18×45	【撤去】PB t=9 土佐漆喰塗 【既存のまま】腰壁：大理石張りt=25	【撤去】LGS下地	【撤去】PB t=9 ﾊﾟｰﾗｲﾄ吹付		
		改修	【既存のまま】	【新設】ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾍﾟｰｽﾄの上 ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ張り		【新設】木胴縁30×45	【新設】GB-R t=12.5 漆喰ｸﾘｰﾑ t=3	【新設】LGS19形	【新設】GB-R t=9.5 + DR② t=12	【新設】塩ﾋﾞ製	
1F	祭壇(中) ↓ 祭壇(中)	既存	【既存のまま】ﾓﾙﾀﾙ下地	【撤去】ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ t=15		【既存のまま】ﾓﾙﾀﾙ下地 【撤去】けい酸ｶﾙｼｳﾑ板	【既存のまま】ﾗﾌﾄﾝ吹付 【撤去】ﾗﾌﾄﾝ吹付	【既存のまま】ﾓﾙﾀﾙ下地	【既存のまま】ﾊﾟｰﾗｲﾄ吹付 【一時撤去】ﾙｰﾊﾞｰ天井(既製品) ｼｰﾑﾚｽﾀｲﾌﾟ		
		改修	【新設】ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ材塗り t=13	【新設】ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ張り t=2.0		【既存のまま】 【新設】木胴縁24・30×45	【新設】内装薄塗材E 【新設】GB-R t=12.5 漆喰ｸﾘｰﾑ t=3	【既存のまま】	【再取付】ﾙｰﾊﾞｰ天井(既製品) ｼｰﾑﾚｽﾀｲﾌﾟ		
1F	祭壇(大) ↓ 祭壇(大)	既存	【既存のまま】ﾓﾙﾀﾙ下地	【撤去】ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ t=15		【既存のまま】ﾓﾙﾀﾙ下地 【撤去】けい酸ｶﾙｼｳﾑ板	【既存のまま】ﾗﾌﾄﾝ吹付 【撤去】ﾗﾌﾄﾝ吹付	【既存のまま】ﾓﾙﾀﾙ下地	【既存のまま】ﾊﾟｰﾗｲﾄ吹付 【一時撤去】ﾙｰﾊﾞｰ天井(既製品) ｼｰﾑﾚｽﾀｲﾌﾟ		
		改修	【新設】ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ材塗り t=13	【新設】ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ張り t=2.0		【既存のまま】 【新設】木胴縁24・30×45	【新設】内装薄塗材E 【新設】GB-R t=12.5 漆喰ｸﾘｰﾑ t=3	【既存のまま】	【再取付】ﾙｰﾊﾞｰ天井(既製品) ｼｰﾑﾚｽﾀｲﾌﾟ		
1F	倉庫 ↓ 倉庫	既存	【既存のまま】ﾓﾙﾀﾙ下地	【撤去】ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ t=15		【既存のまま】ﾓﾙﾀﾙ下地	【既存のまま】ﾗﾌﾄﾝ吹付	【既存のまま】鉄骨下地	【一時撤去】ﾗﾜﾝ合板t=12貼り		
		改修	【新設】ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ材塗り t=13	【新設】ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ張り t=2.0		【既存のまま】	【新設】内装薄塗材E	【既存のまま】	【再取付】ﾗﾜﾝ合板t=12張り		
1F	女子便所 ↓ 女子便所	既存	【一部撤去】ﾓﾙﾀﾙ下地	【一部撤去】ﾀｲﾙ100角張り		【既存のまま】ﾓﾙﾀﾙ下地	【一部撤去】ﾀｲﾙ100角張り	【撤去】LGS下地	【撤去】GB-D t=9	【撤去】塩ﾋﾞ製	
		改修	【一部新設】ﾓﾙﾀﾙ下地	【一部新設】ﾀｲﾙ100角張り		【既存のまま】	【一部新設】ﾀｲﾙ100角張り	【新設】LGS19形	【新設】GB-D t=9.5	【新設】塩ﾋﾞ製	
1F	男子便所 ↓ 男子便所	既存	【一部撤去】ﾓﾙﾀﾙ下地	【一部撤去】ﾀｲﾙ100角張り		【既存のまま】ﾓﾙﾀﾙ下地	【一部撤去】ﾀｲﾙ100角張り	【撤去】LGS下地	【撤去】GB-D t=9	【撤去】塩ﾋﾞ製	
		改修	【一部新設】ﾓﾙﾀﾙ下地	【一部新設】ﾀｲﾙ100角張り		【既存のまま】	【一部新設】ﾀｲﾙ100角張り	【新設】LGS19形	【新設】GB-D t=9.5	【新設】塩ﾋﾞ製	
1F	身障者用便所 ↓ 身障者用便所	既存	【既存のまま】ﾓﾙﾀﾙ下地	【既存のまま】ﾀｲﾙ100角張り		【既存のまま】ﾓﾙﾀﾙ下地	【既存のまま】ﾀｲﾙ100角張り	【撤去】LGS下地	【撤去】GB-D t=9	【撤去】塩ﾋﾞ製	
		改修	【既存のまま】	【既存のまま】		【既存のまま】	【既存のまま】	【新設】LGS19形	【新設】GB-D t=9.5	【新設】塩ﾋﾞ製	

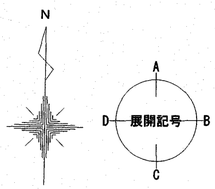
高知市 都市建設部 公共建築課			
係	係　長	課長補佐	課　長
中村	笹岡	濱口	松本

工事名	高知市斎場式場棟改修工事	SEET NO A-02	CHECKED BY
図面名	仕上表	DATE	DRAWN BY 芝田
SCALE	—	一級建築士事務所　高知県知事登録第956号 一級建築士　大臣登録第182598号　山口英治	高知市本町5-1-10 TEL　088-821-0230

有限会社
山口英治建築設計事務所

既存

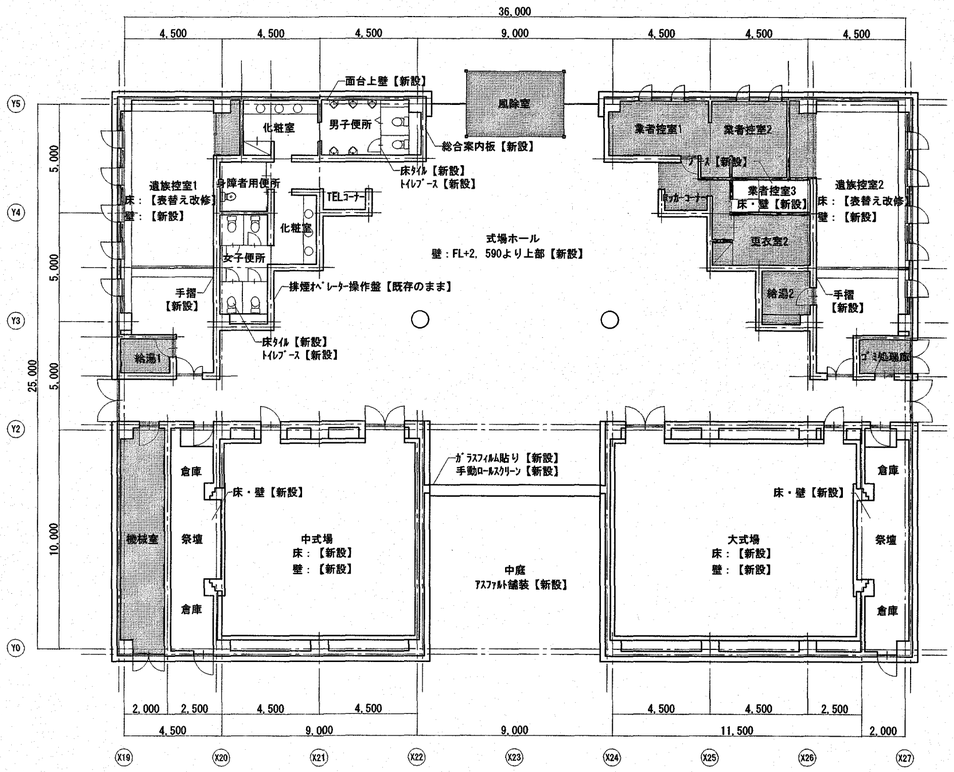


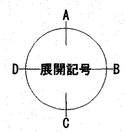


非改修範囲を示す

式場棟既存平面図 S=1/200

改修





非改修範囲を示す

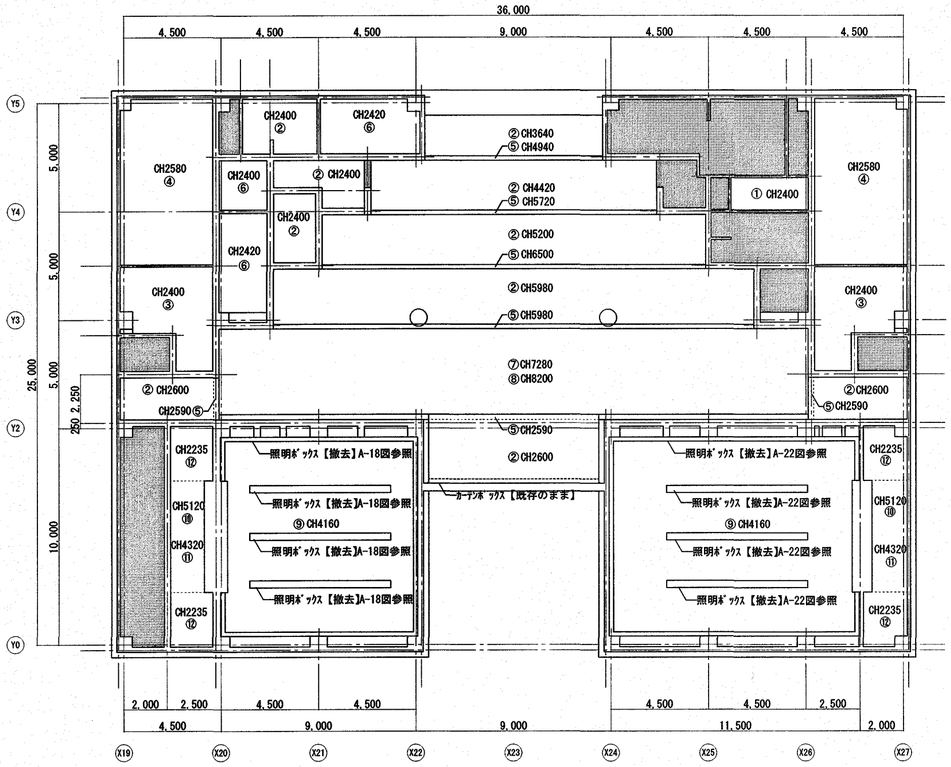
式場棟改修平面図 S=1/200

高知市 都市建設部 公共建築課			
係	係 長	課長補佐	課 長
中村	笹岡	濱口	森

工事名	高知市斎場式場棟改修工事	SEET NO A-04	CHECKED BY
図面名	既存・改修平面図	DATE	DRAWN BY 芝田
SCALE 1/200(A3=71%)	一級建築士事務所　高知県知事登録第956号 一級建築士　大臣登録第182598号　山口英治	高知市本町5-1-10 TEL　088-821-0230	

有限会社
山口英治建築設計事務所

既存



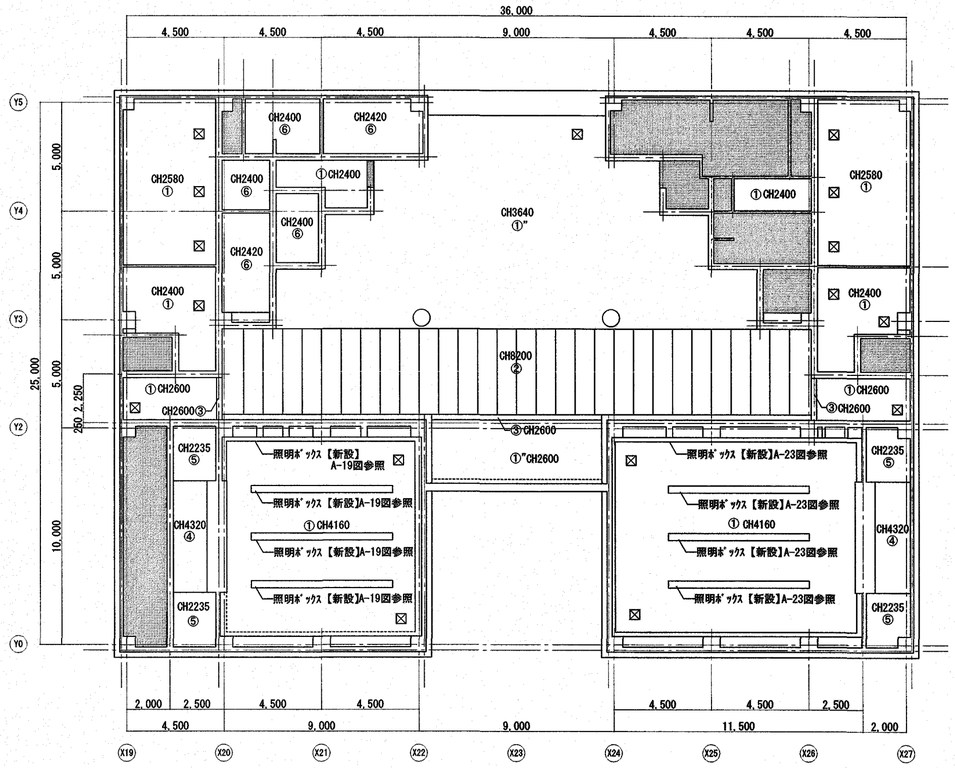
非改修範囲を示す

仕上表

番号	仕上げ
①	天井：木下地+PB t=9+DR t=12 AEP(ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ)【撤去】木下地共
②	天井：LGS下地+PB t=9+DR t=15 AEP(ｷｭｰﾌﾞｽﾄﾗｲﾌﾟ)【撤去】LGS下地共
③	天井：木下地+PB t=9+DR t=15 AEP(ｷｭｰﾌﾞｽﾄﾗｲﾌﾟ)【撤去】木下地共
④	天井：木下地+杉ﾍﾞﾆｱ目透し張り【撤去】木下地共
⑤	天井：鉄骨下地+大理石t=25貼り【仕上げのみ撤去】
⑥	天井：LGS下地+GB-D t=9(ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ)【撤去】LGS下地共
⑦	天井：ﾙｰﾊﾞｰ天井(既製品) ｼｰﾑﾚｽﾀｲﾌﾟ【撤去】
⑧	天井：LGS下地+PB t=9 AEP【撤去】LGS下地共
⑨	天井：LGS下地+PB t=9 ﾊﾞｰﾗｲﾄ吹付【撤去】LGS下地共
⑩	天井：ﾓﾙﾀﾙ下地+ﾊﾞｰﾗｲﾄ吹付【既存のまま】
⑪	天井：ﾙｰﾊﾞｰ天井(ﾊﾝｶﾞｰﾗﾝﾅｰ方式ｼｰﾑﾚｽﾀｲﾌﾟ)【一時撤去】
⑫	ﾗﾜﾝ合板張りt=12【既存のまま】

既存天井伏図 S=1/200

改修



天井点検口450×450を示す

非改修範囲を示す

仕上表

番号	仕上げ
①	天井：LGS19形+GB-R t=9.5+DR t=12 (凹凸)【新設】
①"	天井：LGS19形+DR t=12 (ﾌﾗｯﾄ)【新設】※DR直張り工法
②	天井：LGS19形+GB-Rt=9.5 EP塗+膜ﾙｰﾊﾞｰ@900【新設】
③	天井：LGS19形+GB-Rt=12.5+GB-Rt=12.5 内装薄塗材E【新設】
④	天井：ﾙｰﾊﾞｰ天井(ﾊﾝｶﾞｰﾗﾝﾅｰ方式ｼｰﾑﾚｽﾀｲﾌﾟ)【再取付】
⑤	ﾗﾜﾝ合板張りt=12【既存のまま】
⑥	天井：LGS19形+GB-D=9.5【新設】

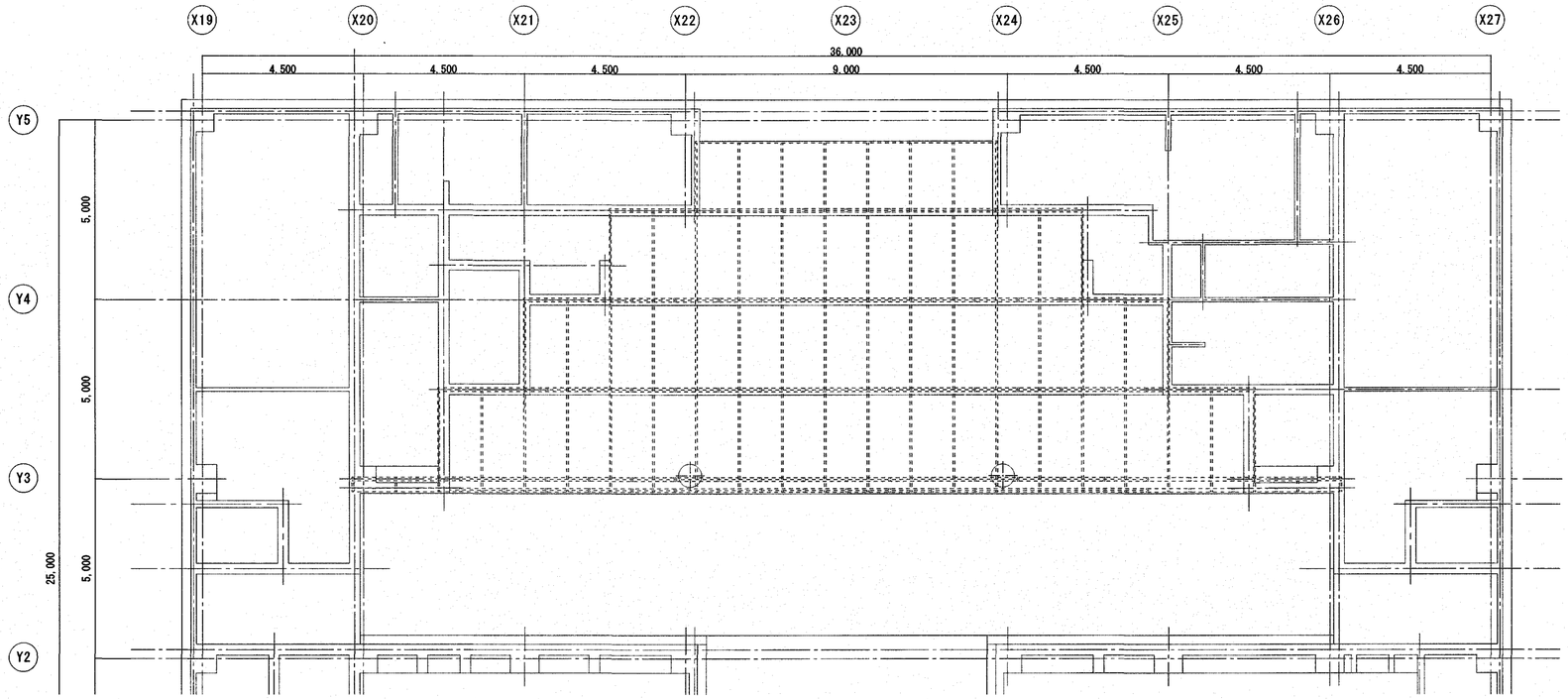
改修天井伏図 S=1/200

高知市 都市建設部 公共建築課			
係	係 長	課長補佐	課 長
中村	笹岡	濱口	松木

工事名	高知市斎場式場棟改修工事	SEET NO A-05	CHECKED BY
図面名	既存・改修天井伏図	DATE	DRAWN BY 芝田
SCALE 1/200(A3=71%)	一級建築士事務所 高知県知事登録第956号 一級建築士 大臣登録第182598号 山口英治	高知市本町5-1-10 TEL 088-821-0230	

有限会社
山口英治建築設計事務所

既存

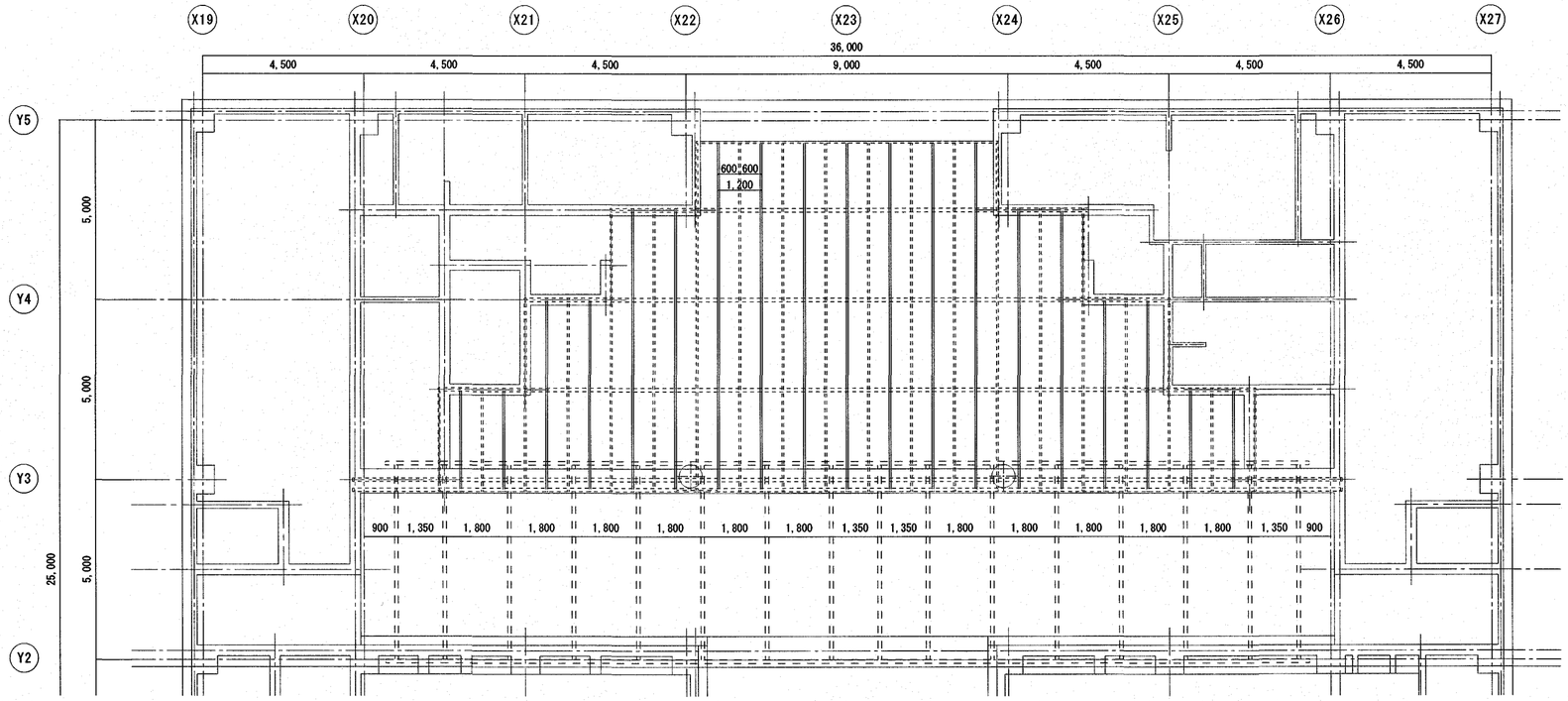


既存鉄骨天井下地：C-100×50×3.2@1200【既存のまま】

既存鉄骨下地：C-100×50×3.2@600【既存のまま】

既存小屋伏図 S=1/120

改修



既存鉄骨天井下地：C-100×50×3.2@1200【既存のまま】

既存鉄骨下地：C-100×50×3.2@600【既存のまま】

鉄骨下地：C-100×50×2.3@1200【新設】

膜材用下地：□-100×100×2.3@1350~1800【参考】

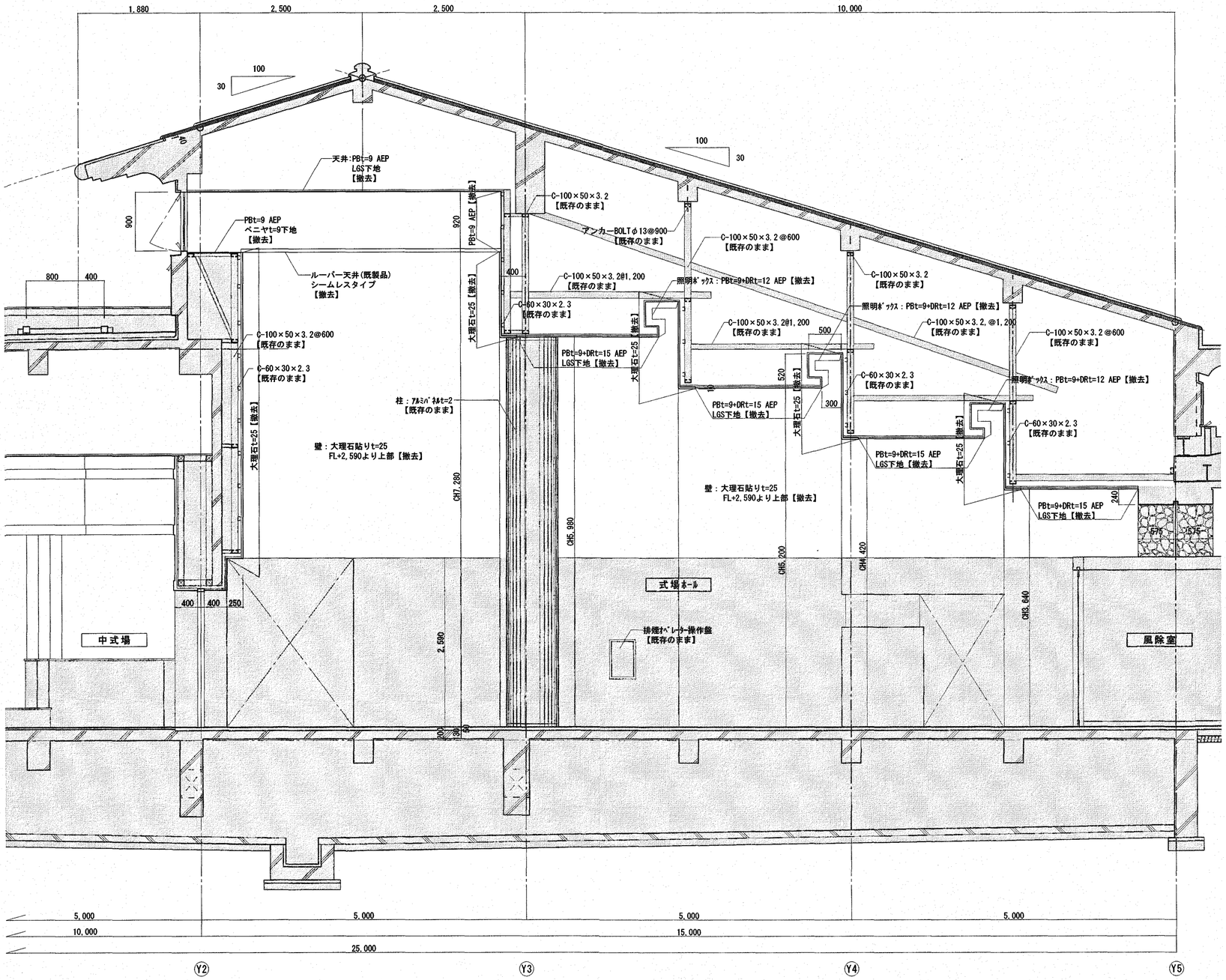
改修小屋伏図 S=1/120

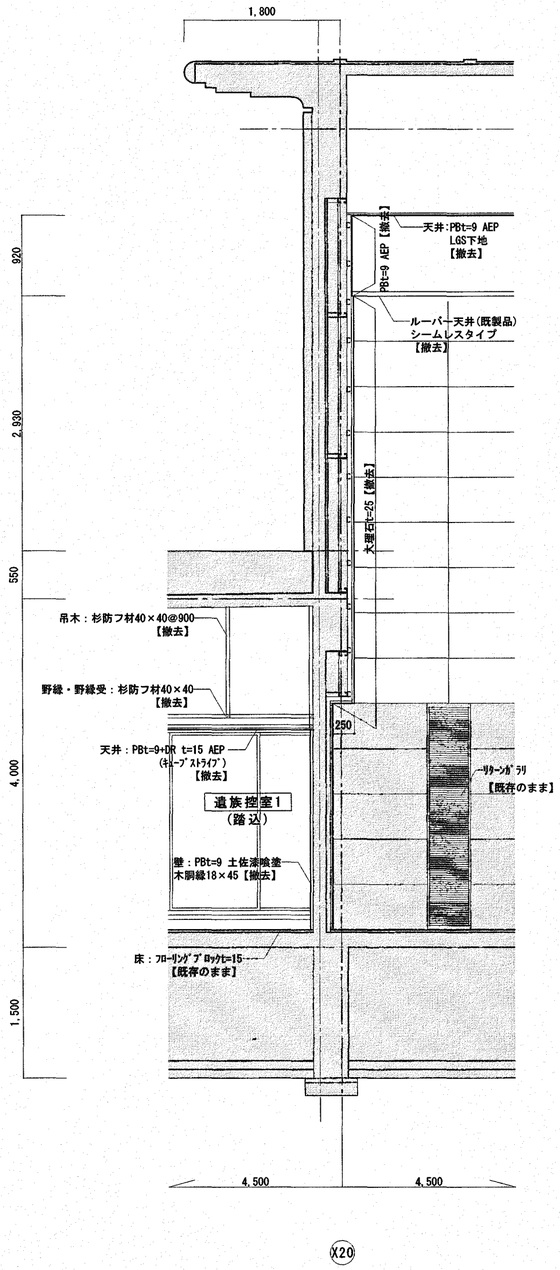
※膜材用下地の形状等は参考とする。

高知市 都市建設部 公共建築課			
係	係 長	課長補佐	課 長
中村	笹岡	濱口	松本

工事名	高知市斎場式場棟改修工事	SEET NO A-06	CHECKED BY
図面名	既存・改修小屋伏図	DATE	DRAWN BY 芝田
SCALE 1/120(A3=71%)	一級建築士事務所 高知県知事登録第956号 一級建築士 大臣登録第182598号 山口英治	高知市本町5-1-10 TEL 088-821-0230	

有限会社
山口英治建築設計事務所



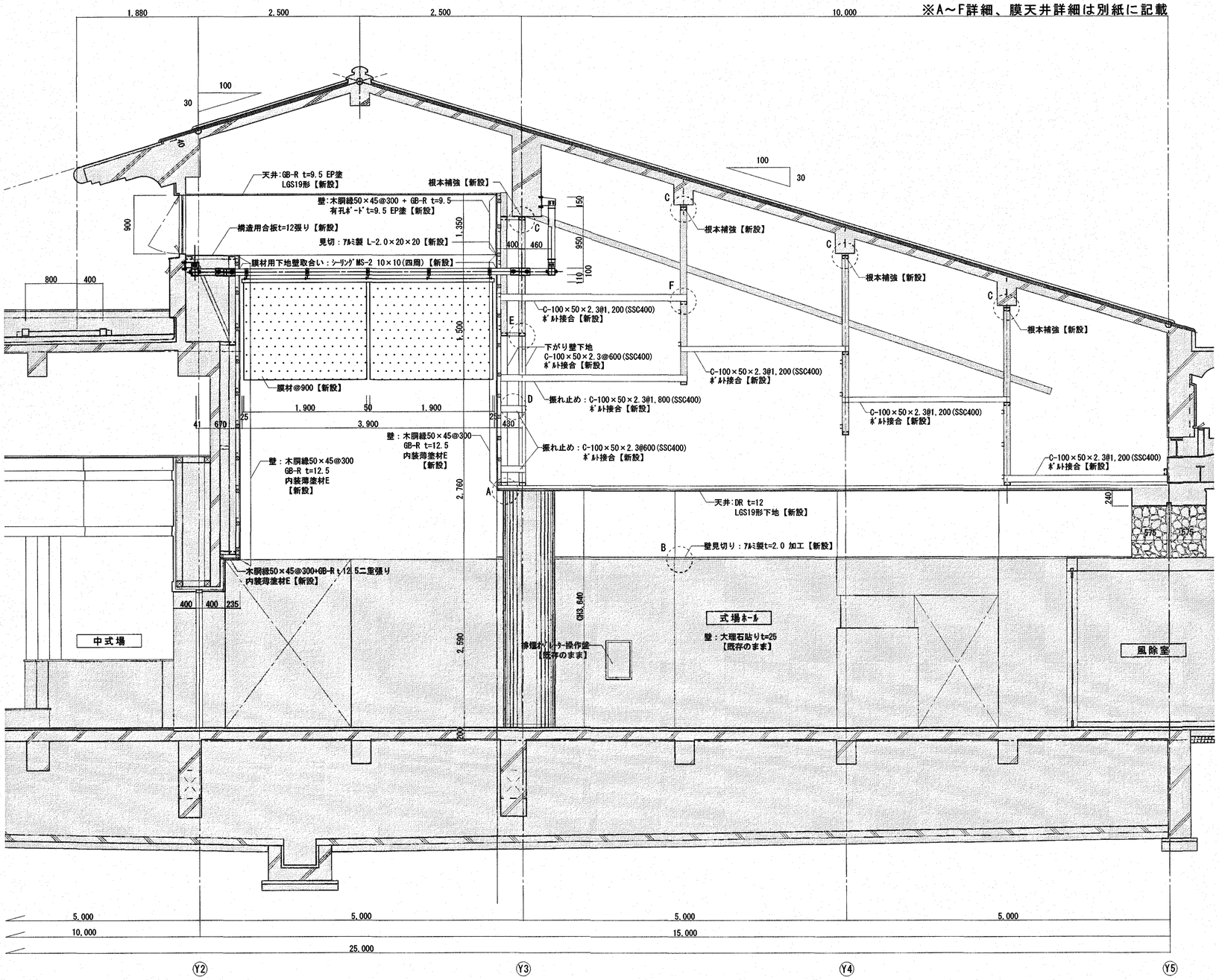


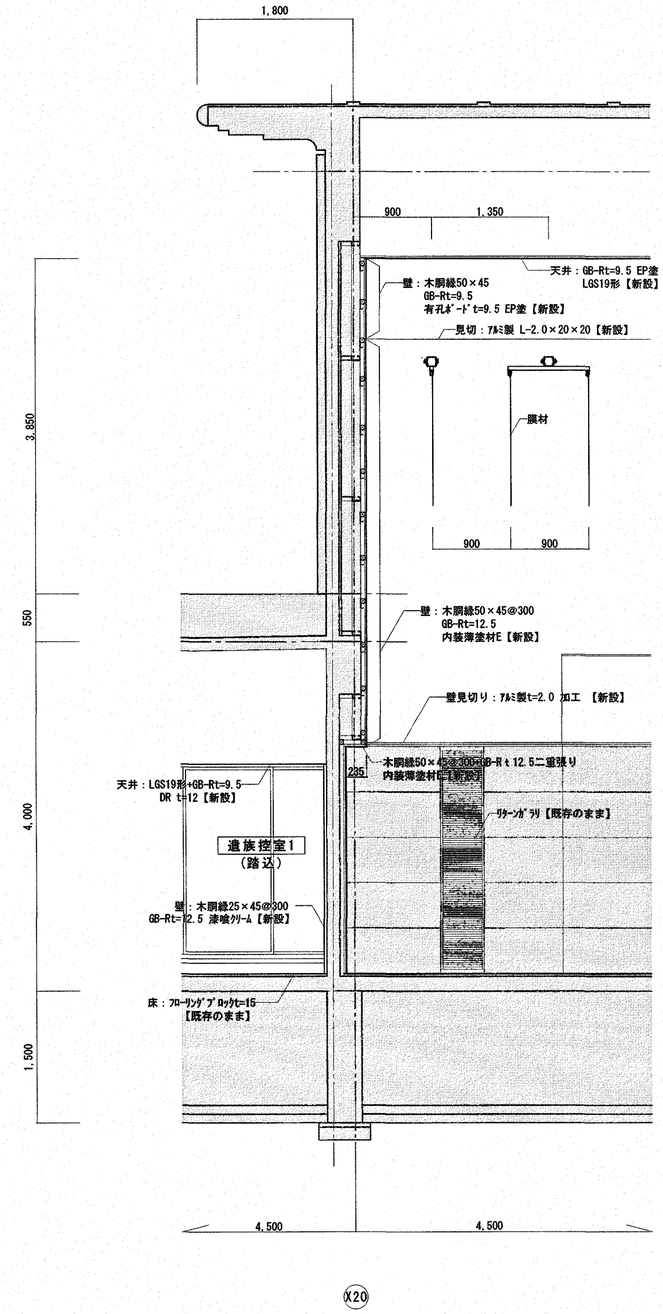
既存断面詳細図 S=1/50

非改修範囲を示す

高知市 都市建設部 公共建築課				工事名	高知市斎場式場棟改修工事	SEET NO A-07	CHECKED BY
係	係 長	課長補佐	課 長	図面名	既存断面詳細図	DATE	DRAWN BY 芝田
中村	笹岡	濱口	松本	SCALE 1/50(A3=71%)	一級建築士事務所 高知県知事登録第956号 一級建築士 大臣登録第182598号 山口英治	高知市本町5-1-10 TEL 088-821-0230	有限会社 山口英治建築設計事務所

※A～F詳細、膜天井詳細は別紙に記載





改修断面詳細図 S=1/50

非改修範囲を示す

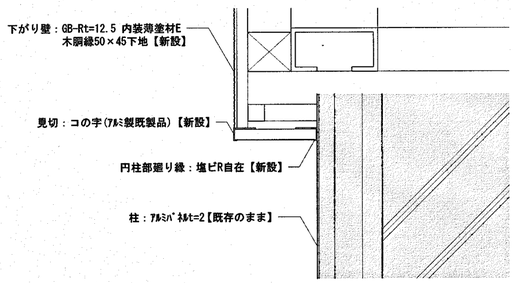
※膜材用下地は全て参考とする。

高知市 都市建設部 公共建築課			
係	係 長	課長補佐	課 長
中村	菅岡	濱口	松末

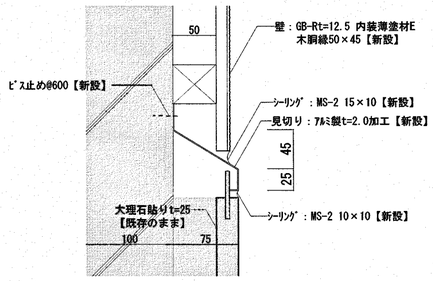
工事名	高知市斎場式場棟改修工事	SEET NO A-08	CHECKED BY
図面名	改修断面詳細図	DATE	DRAWN BY 芝田
SCALE 1/50(A3=71%)	一級建築士事務所 高知県知事登録第956号 一級建築士 大臣登録第182598号 山口英治	高知市本町5-1-10 TEL 088-821-0230	

有限会社
山口英治建築設計事務所

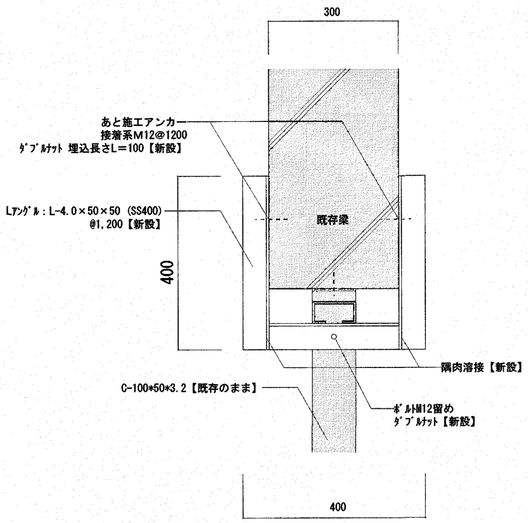
【改修】A部断面詳細図　S=1/5



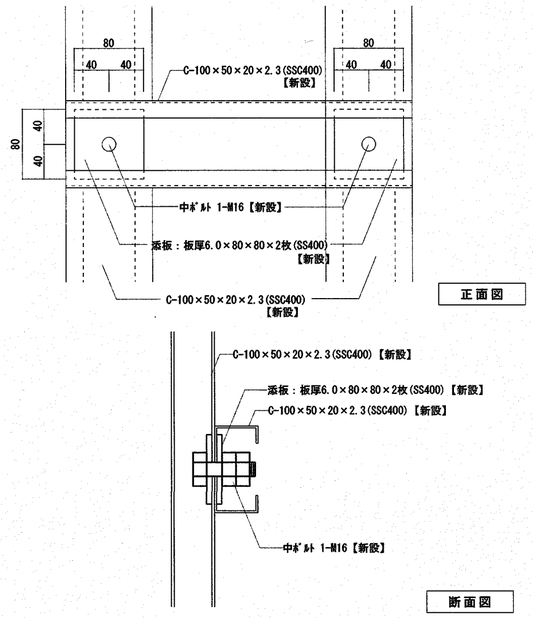
【改修】B部断面詳細図　S=1/5



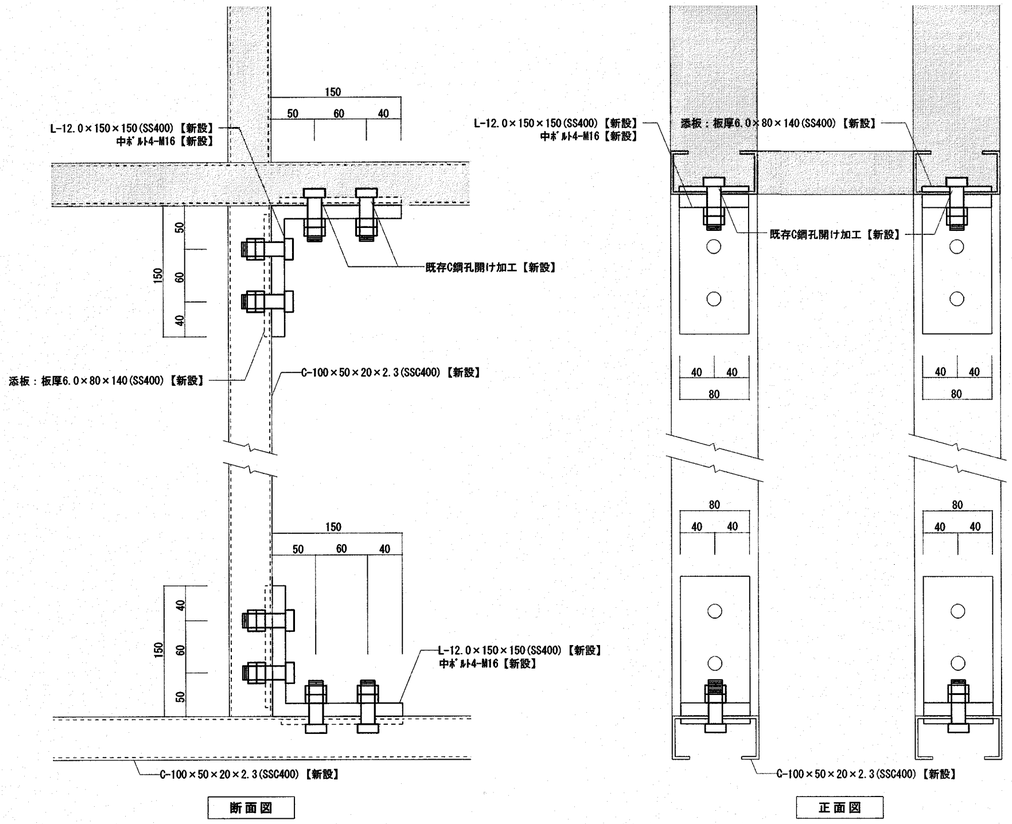
【改修】C部根本補強詳細図　S=1/15



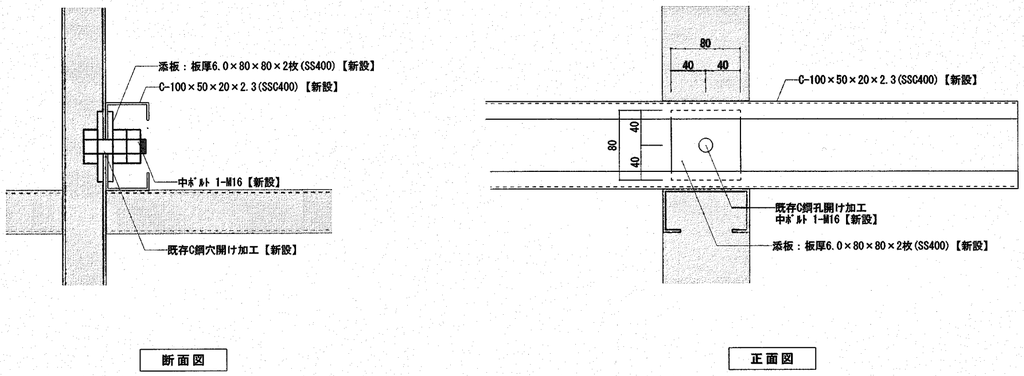
【改修】D部振れ止め詳細図　S=1/5



【改修】E部断面詳細図　S=1/5



【改修】F部断面詳細図　S=1/5



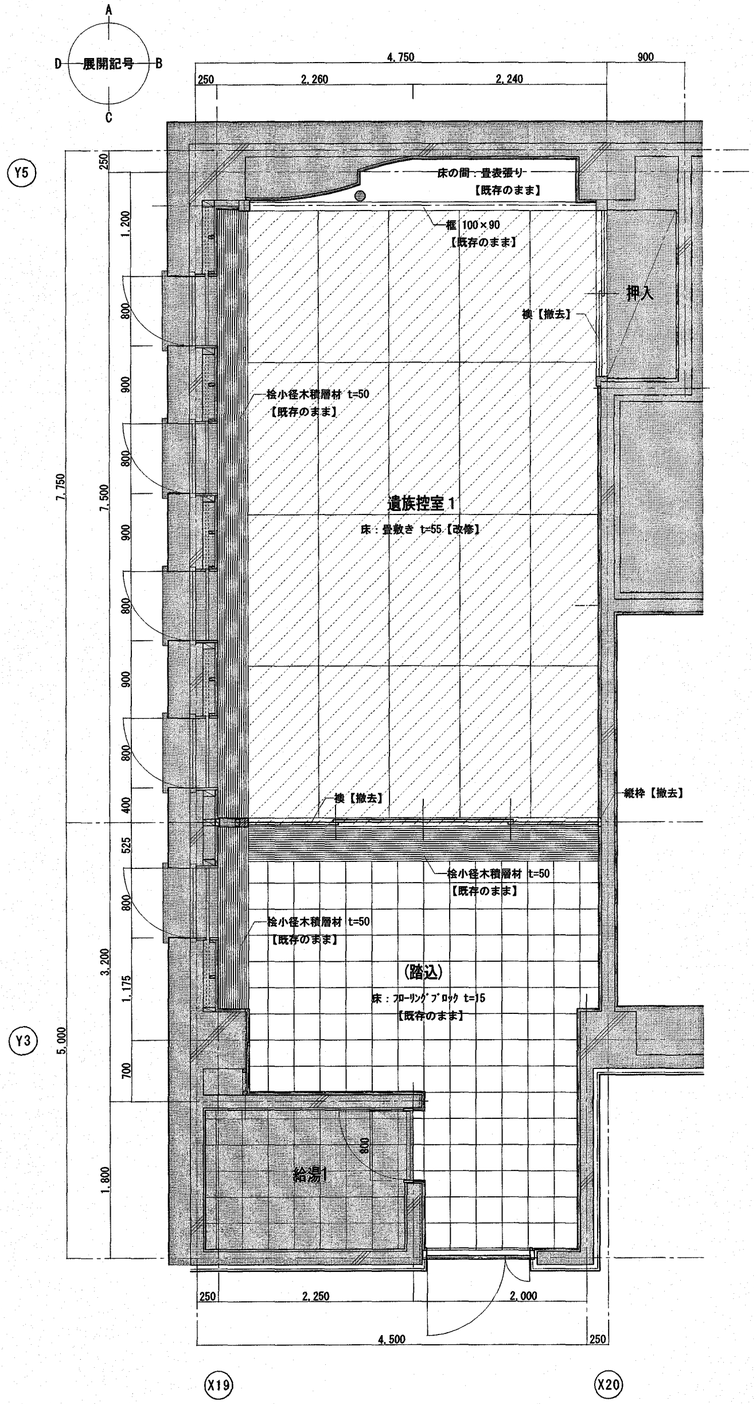
※既存C鋼孔開け加工後，防錆処理を行うこと
※鋼材の錆止め塗装は工場2回塗りとする

高知市 都市建設部 公共建築課			
係	係長	課長補佐	課長
中村	笹岡	濱口	松本

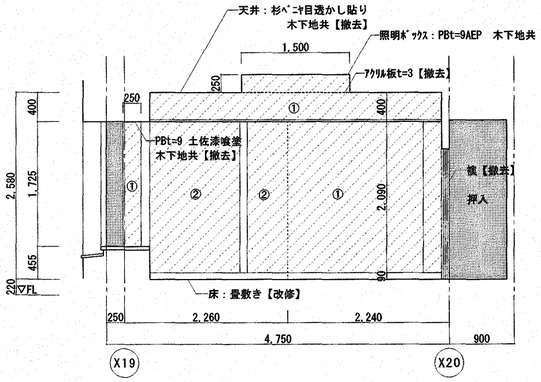
工事名	高知市斎場式場棟改修工事	SEET NO A-08-1	CHECKED BY
図面名	部分詳細図	DATE	DRAWN BY 芝田
SCALE 1/5, 1/15(A3=71%)	一級建築士事務所　高知県知事登録第956号 一級建築士　大臣登録第182598号　山口英治	高知市本町5-1-10 TEL　088-821-0230	

有限会社
山口英治建築設計事務所

既存

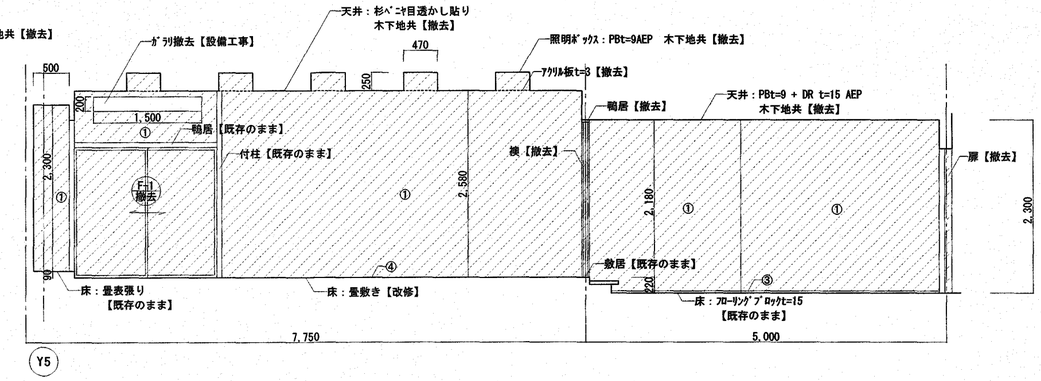


既存平面詳細図 S=1/50



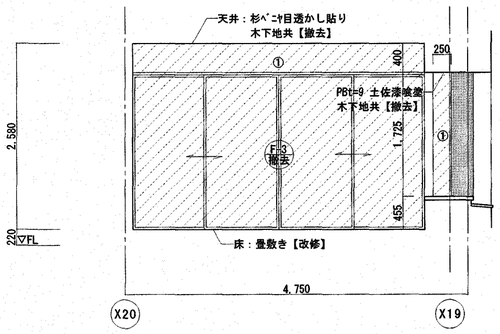
遺族控室1

A展開



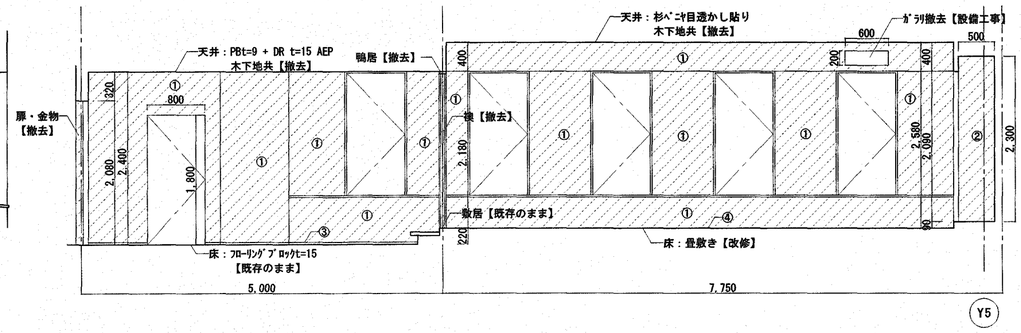
遺族控室1

B展開



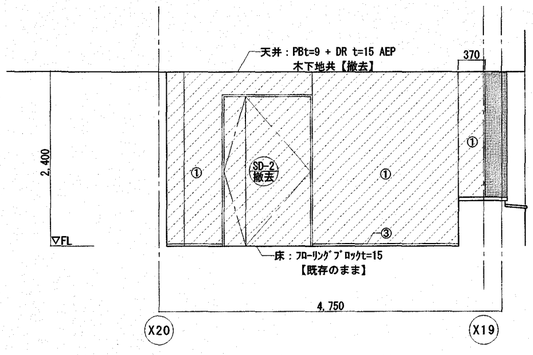
遺族控室1

C展開



遺族控室1

D展開



遺族控室1

C'展開

非改修範囲を示す

撤去を示す

仕上表

番号	仕上げ
①	壁：木胴縁18×45+PB t=9 土佐漆喰塗【撤去】木胴縁共
②	壁：木胴縁18×45+PB t=9 土佐漆喰塗【撤去】木胴縁残置
③	幅木：木製幅木H30【撤去】
④	幅木：畳寄せ【既存のまま】
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	

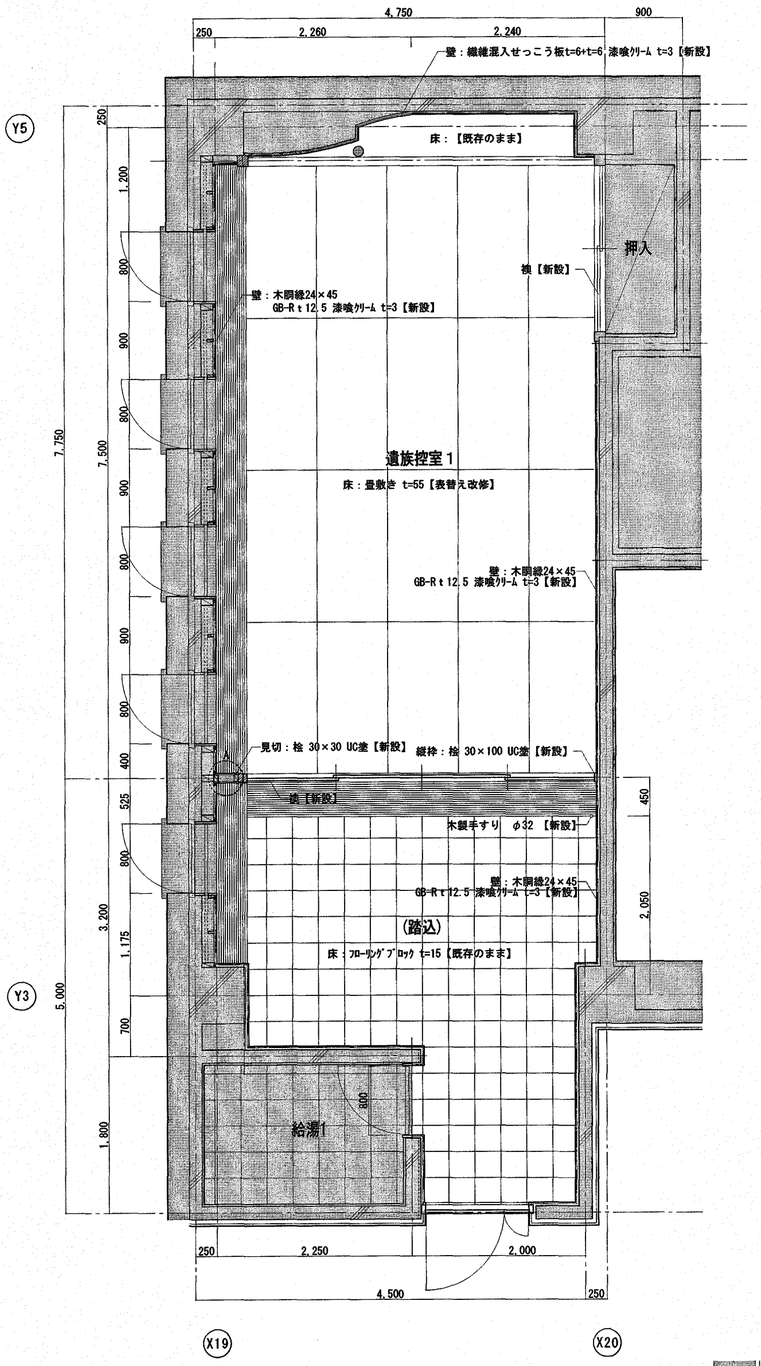
既存展開図 S=1/60

高知市 都市建設部 公共建築課			
係	係長	課長補佐	課長
中村	笹岡	濱口	松本

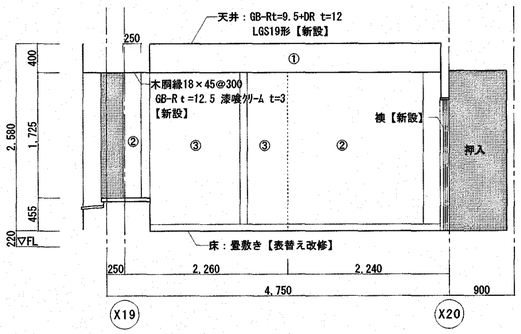
工事名	高知市斎場式場棟改修工事	SEET NO A-09	CHECKED BY
図面名	遺族控室1 既存平面詳細図・展開図	DATE	DRAWN BY 芝田
SCALE 1/50、1/60(A3=71%)	一級建築士事務所 高知県知事登録第956号 一級建築士 大臣登録第182598号 山口英治	高知市本町5-1-10 TEL 088-821-0230	

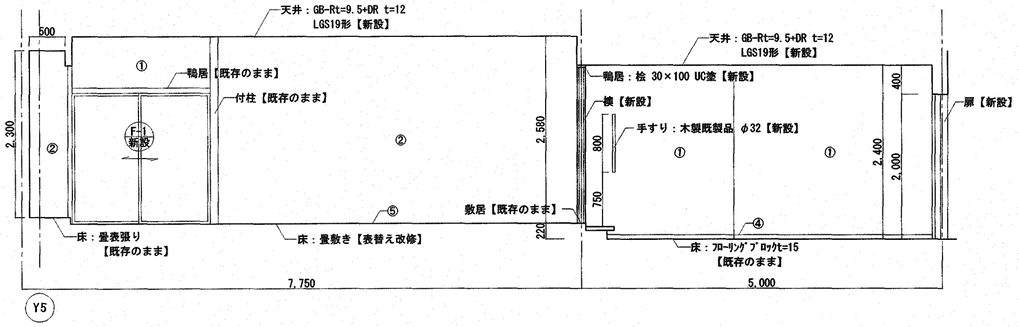
有限会社
山口英治建築設計事務所

改修



改修平面詳細図 S=1/50

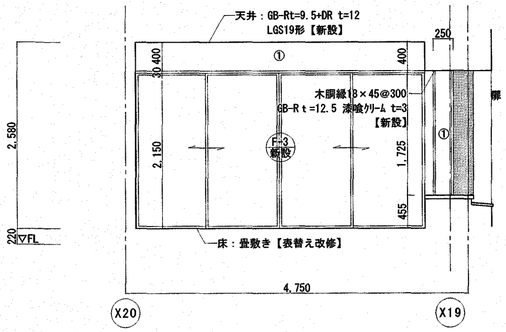


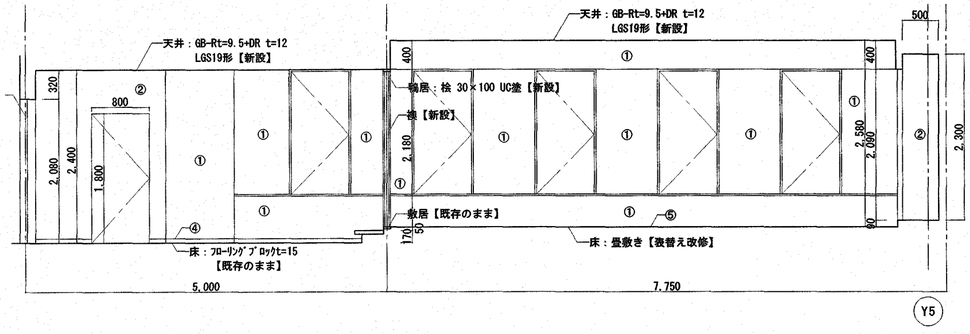


遺族控室1

A展開

B展開

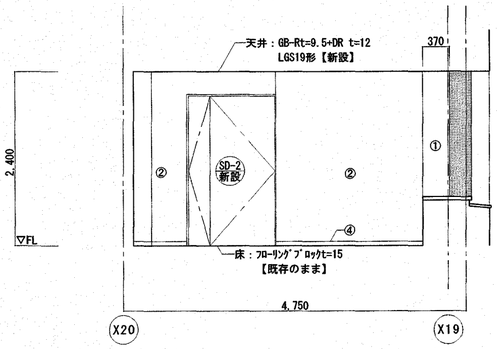




遺族控室1

C展開

D展開



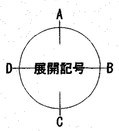
遺族控室1

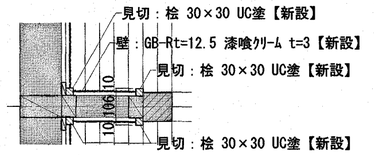
C'展開

非改修範囲を示す

仕上表

番号	仕上げ
①	壁：木胴縁24×45@300+GB-Rt=12.5 漆喰クリーム t=3【新設】
②	壁：木胴縁18×45@300+GB-Rt=12.5 漆喰クリーム t=3【新設】
③	壁：繊維混入せっこう板t=6+t=6 漆喰クリーム t=3【新設】
④	幅木：木製幅木H60 UC塗り【新設】
⑤	幅木：畳寄せ【既存のまま】
⑥	
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	





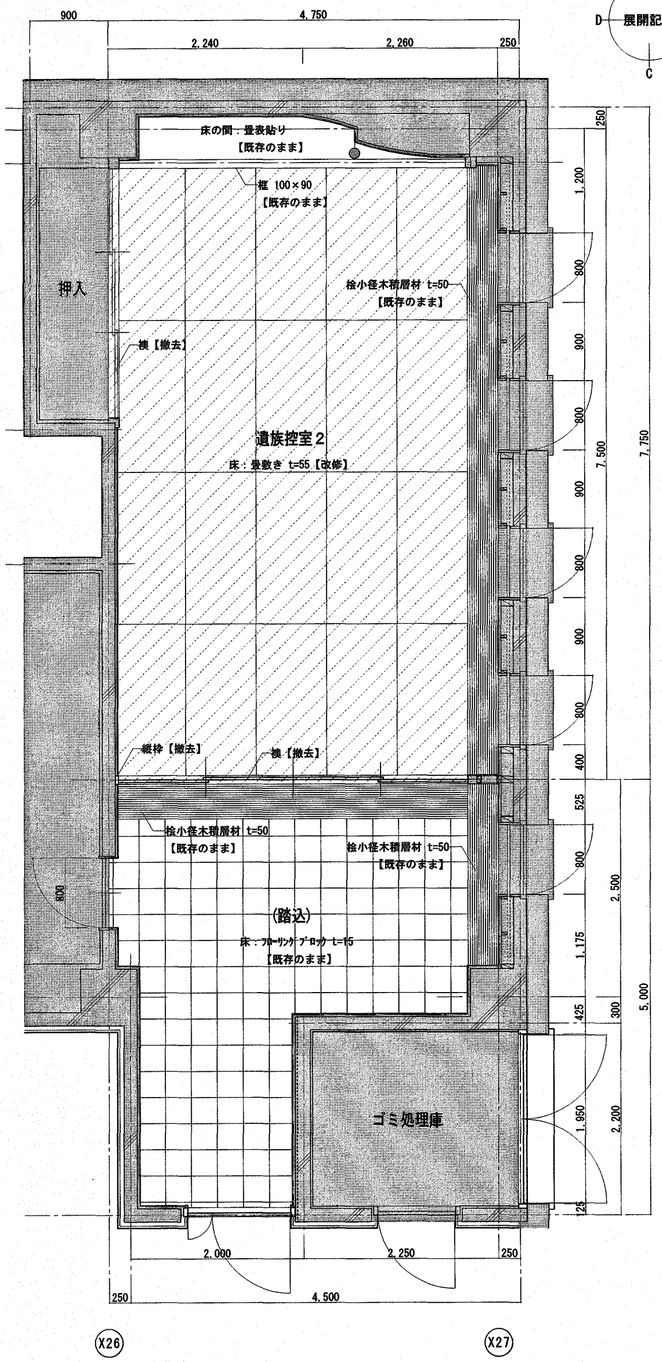
A部詳細図 S=1/15

改修展開図 S=1/60

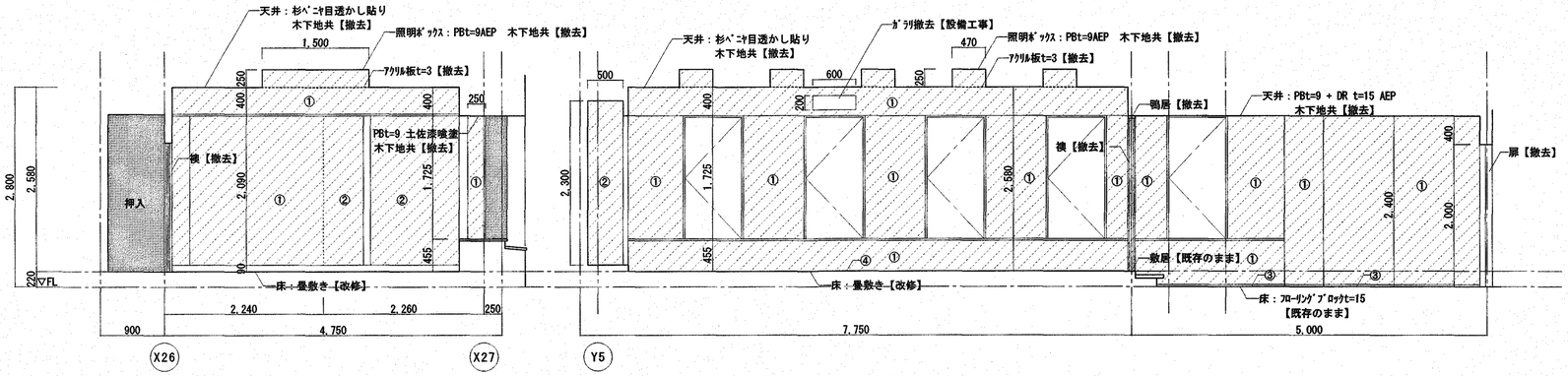
高知市 都市建設部 公共建築課				工事名	高知市斎場式場棟改修工事	SEET NO A-10	CHECKED BY
係	係長	課長補佐	課長	図面名	遺族控室1 改修平面詳細図・展開図	DATE	DRAWN BY 芝田
中村	笹岡	濱口	松本	SCALE 1/15、1/50、1/60(A3=71%)	一級建築士事務所 高知県知事登録第956号 一級建築士 大臣登録第182598号 山口英治	高知市本町5-1-10 TEL 088-821-0230	

有限会社
山口英治建築設計事務所

既存

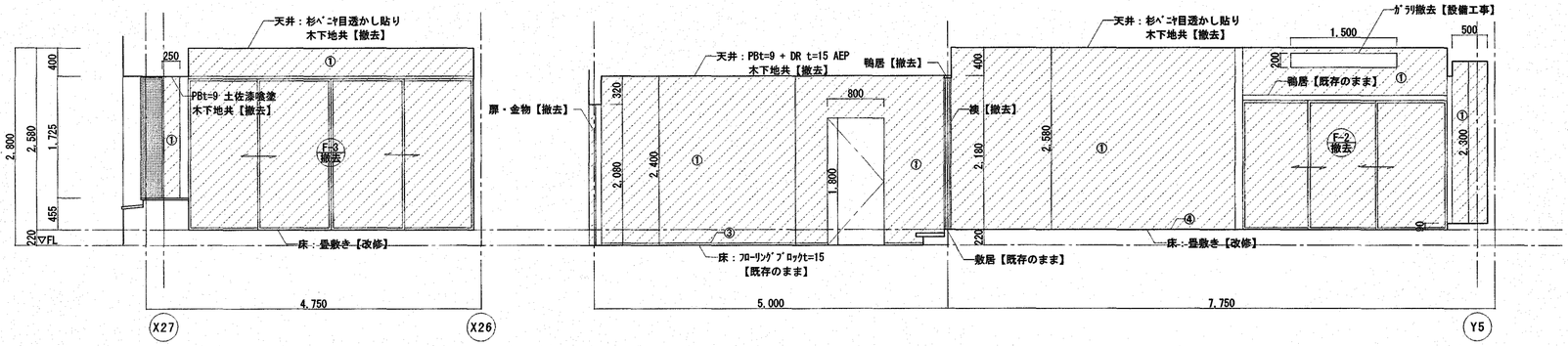


既存平面詳細図 S=1/50



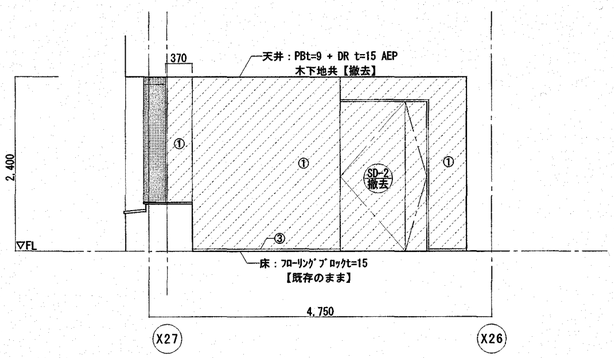
遺族控室2

A展開　　B展開



遺族控室2

C展開　　D展開



遺族控室2

C'展開

非改修範囲を示す

撤去を示す

仕上表

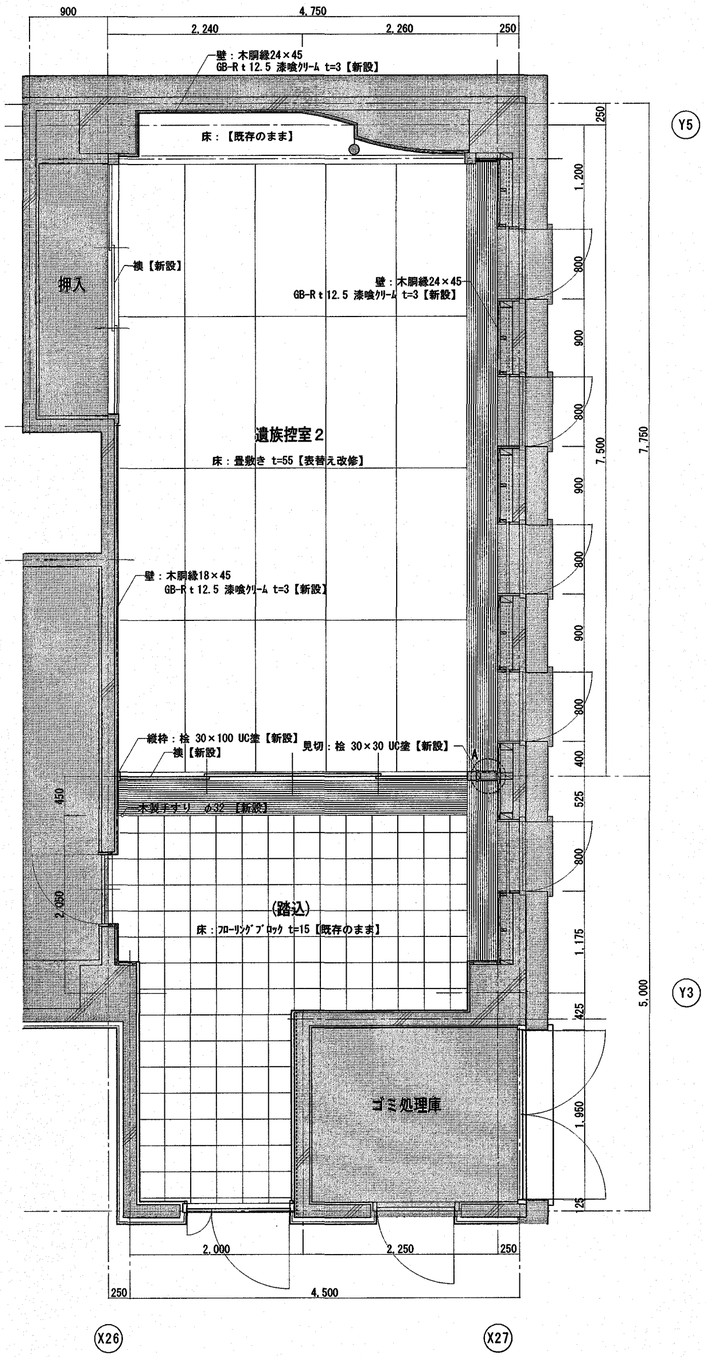
番号	仕上げ
①	壁：木胴縁18×45+PB t=9 土佐漆喰塗【撤去】木胴縁共
②	壁：木胴縁18×45+PB t=9 土佐漆喰塗【撤去】木胴縁残置
③	幅木：木製幅木H30【撤去】
④	幅木：畳寄せ【既存のまま】
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	

既存展開図 S=1/60

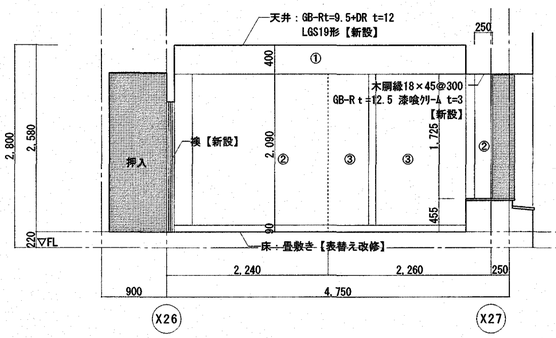
高知市 都市建設部 公共建築課				工事名	高知市斎場式場棟改修工事	SEET NO A-11	CHECKED BY
係	係長	課長補佐	課長	図面名	遺族控室2 既存平面詳細図・展開図	DATE	DRAWN BY 芝田
中村	笹岡	濱口	松本	SCALE 1/50、1/60(A3=71%)	一級建築士事務所 高知県知事登録第956号 一級建築士 大臣登録第182598号 山口英治	高知市本町5-1-10 TEL 088-821-0230	

有限会社
山口英治建築設計事務所

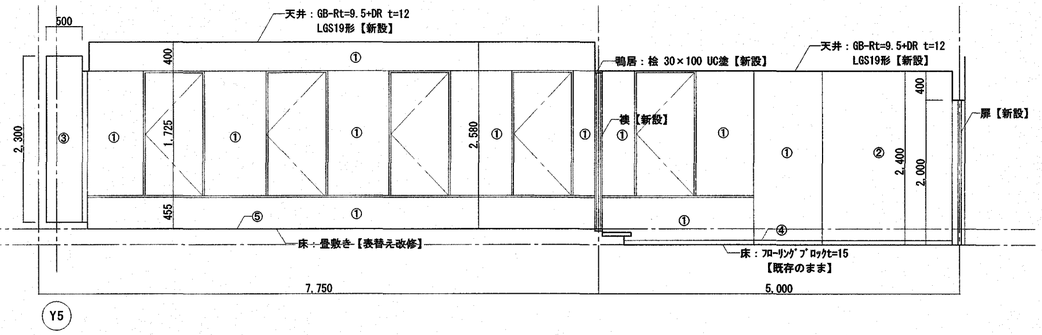
改修



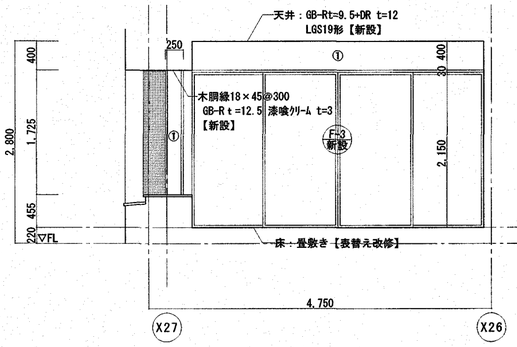
改修平面詳細図 S=1/50



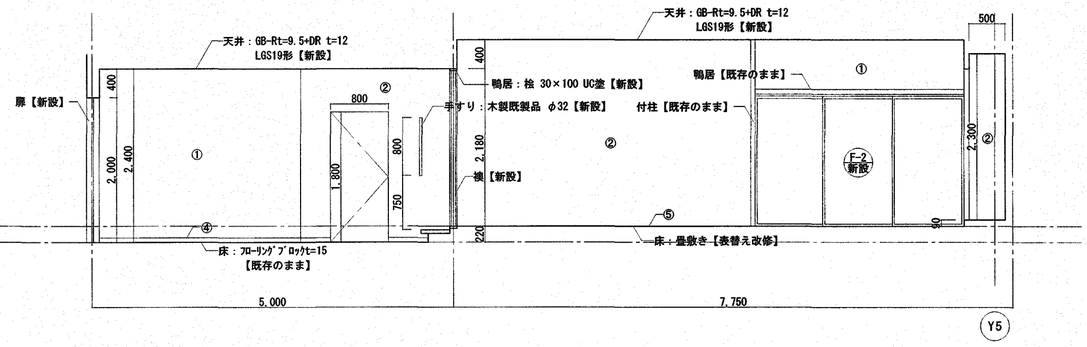
遺族控室2
A展開



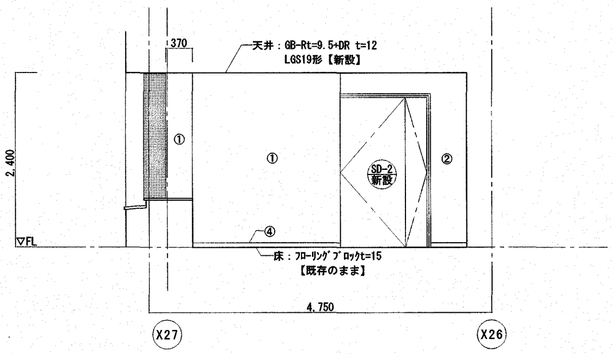
遺族控室2
B展開



遺族控室2
C展開



遺族控室2
D展開

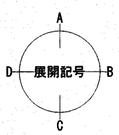


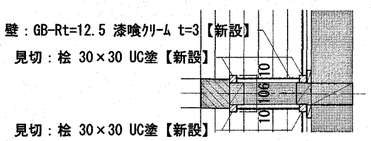
遺族控室2
C'展開

非改修範囲を示す

仕上表

番号	仕上げ
①	壁：木胴縁24×45+GB-Rt=12.5 漆喰ｸﾘｰﾑ t=3【新設】
②	壁：木胴縁18×45+GB-Rt=12.5 漆喰ｸﾘｰﾑ t=3【新設】
③	壁：繊維混入せっこう板t=6+t=6 漆喰ｸﾘｰﾑ t=3【新設】
④	幅木：木製幅木H60 UC塗り【新設】
⑤	幅木：畳寄せ【既存のまま】
⑥	
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	





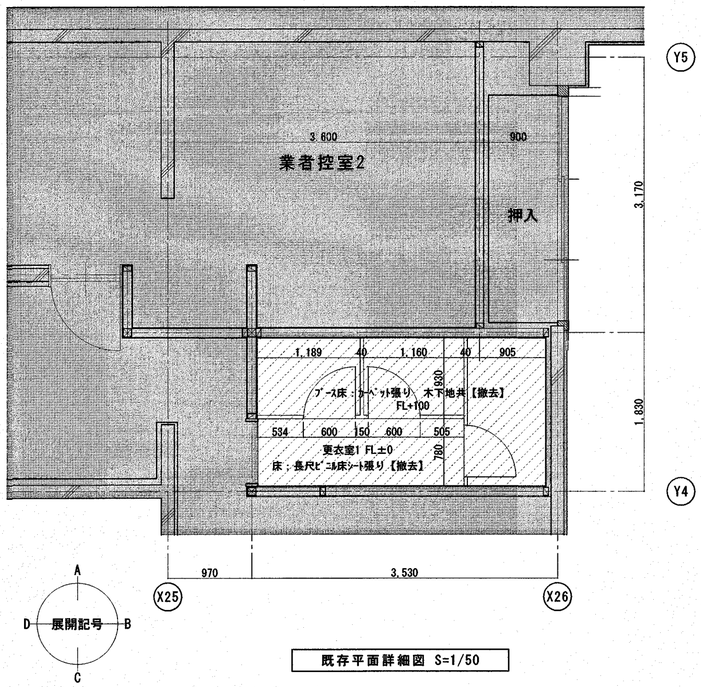
A部詳細図 S=1/15

改修展開図 S=1/60

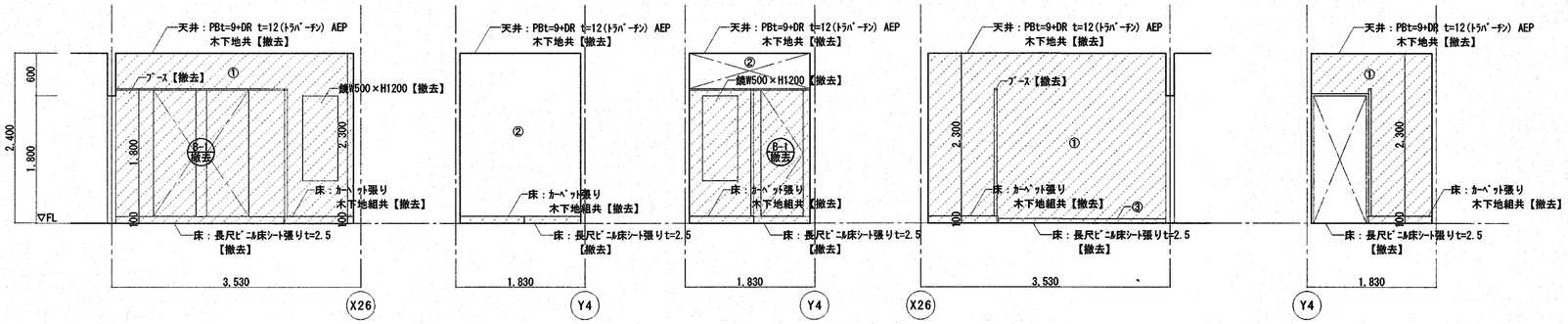
高知市 都市建設部 公共建築課				工事名	高知市斎場式場棟改修工事	SEET NO A-12	CHECKED BY
係	係長	課長補佐	課長	図面名	遺族控室2 改修平面詳細図・展開図	DATE	DRAWN BY 芝田
中村	笹岡	濱口	松木	SCALE 1/15、1/50、1/60(A3=71%)	一級建築士事務所 高知県知事登録第956号 一級建築士 大臣登録第182598号 山口英治	高知市本町5-1-10 TEL 088-821-0230	

有限会社
山口英治建築設計事務所

既存



既存平面詳細図 S=1/50



更衣室1

A展開　B展開　B' 展開　C展開　D展開

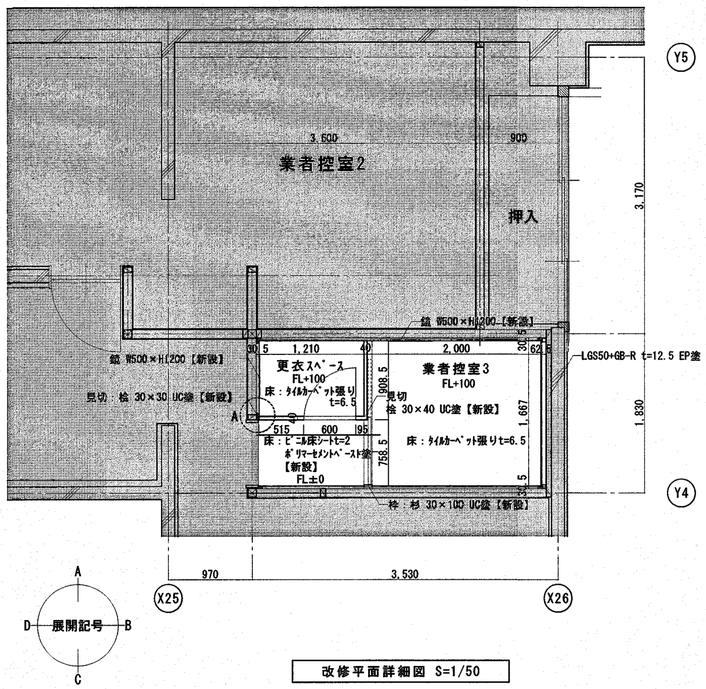
撤去を示す　一時撤去を示す　非改修範囲を示す

仕上表

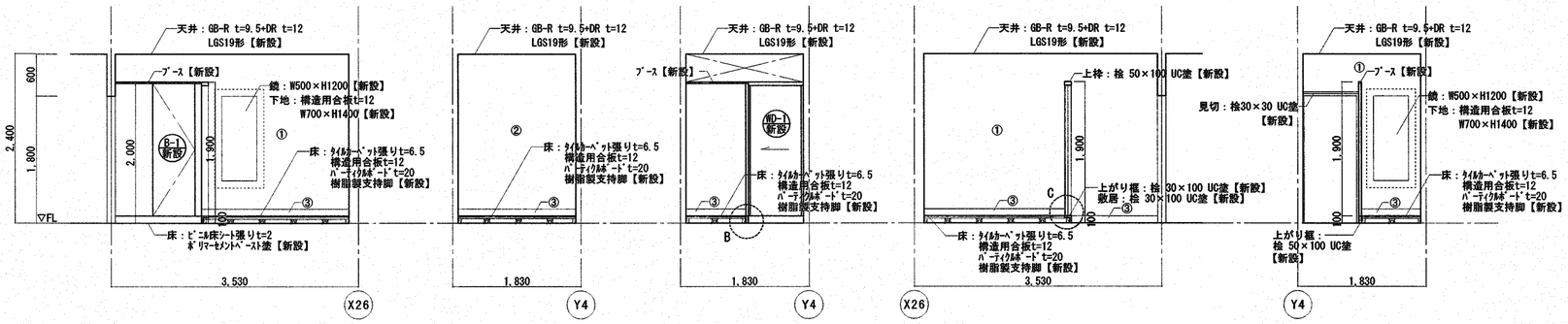
番号	仕上げ	番号	仕上げ
①	壁：PB t=9 吹付塗装【撤去】		
②	壁：モルタル下地の上吹付塗装【既存のまま】		
③	幅木：ビニル幅木H=75【撤去】		
④			
⑤			

既存展開図 S=1/60

改修

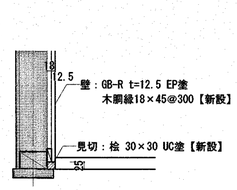


改修平面詳細図 S=1/50

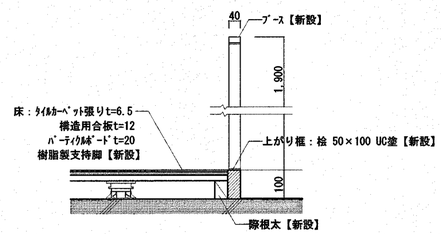


業者控室3

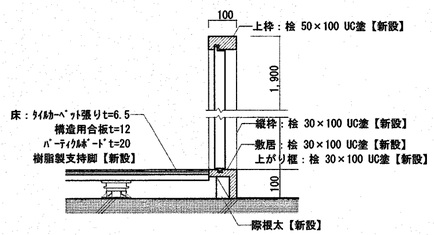
A展開　B展開　B' 展開　C展開　D展開



A部詳細図 S=1/15



B部詳細図 S=1/15



C部詳細図 S=1/15

改修展開図 S=1/60

非改修範囲を示す

仕上表

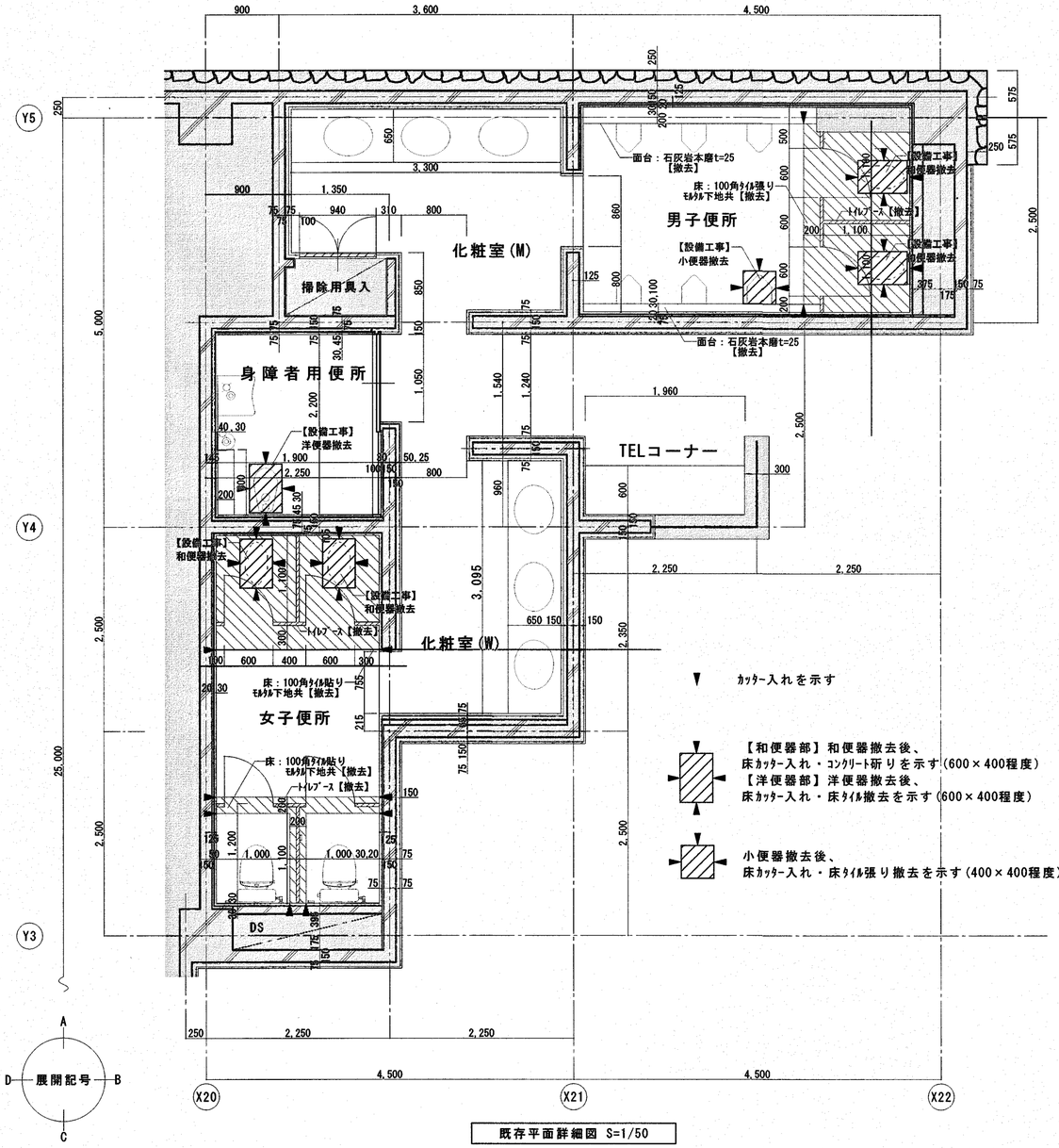
番号	仕上げ
①	壁：胴縁18×45@300+GB-R t=12.5 EP塗【新設】
②	壁：LGS50+GB-R t=12.5 EP塗【新設】
③	幅木：ビニル幅木H100【新設】
④	
⑤	

高知市 都市建設部 公共建築課			
係	係長	課長補佐	課長
中村	笹岡	濱口	松木

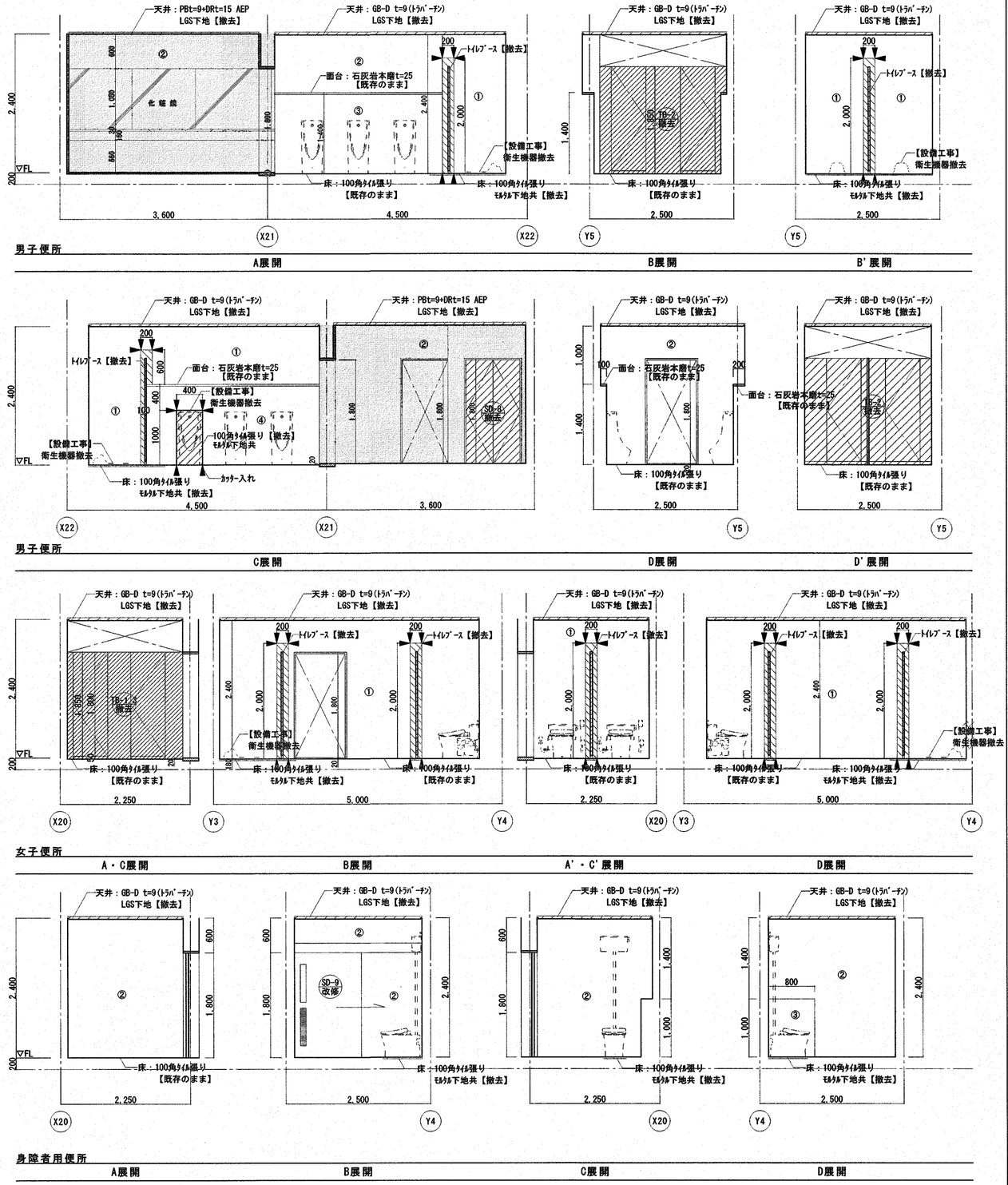
工事名	高知市斎場式場棟改修工事	SEET NO A-13	CHECKED BY
図面名	更衣室1　既存改修平面詳細図・展開図	DATE	DRAWN BY 芝田
SCALE 1/15, 1/50, 1/60(A3=71%)	一級建築士事務所　高知県知事登録第956号 一級建築士　大臣登録第182598号　山口英治	高知市本町5-1-10 TEL 088-821-0230	

有限会社
山口英治建築設計事務所

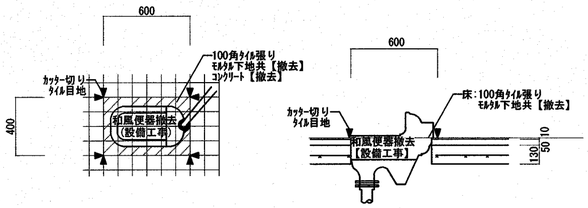
既存



既存平面詳細図 S=1/50



既存展開図 S=1/60



衛生機器廻り撤去詳細図 S=1/30

※衛生設備機器・手摺は設備工事にて【撤去】

仕上表

番号	仕上げ
①	壁：100角ﾀｲﾙ張り【一部撤去】
②	壁：100角ﾀｲﾙ張り【既存のまま】
③	面台壁：100角ﾀｲﾙ張り【既存のまま】
④	面台壁：100角ﾀｲﾙ張り【一部撤去】

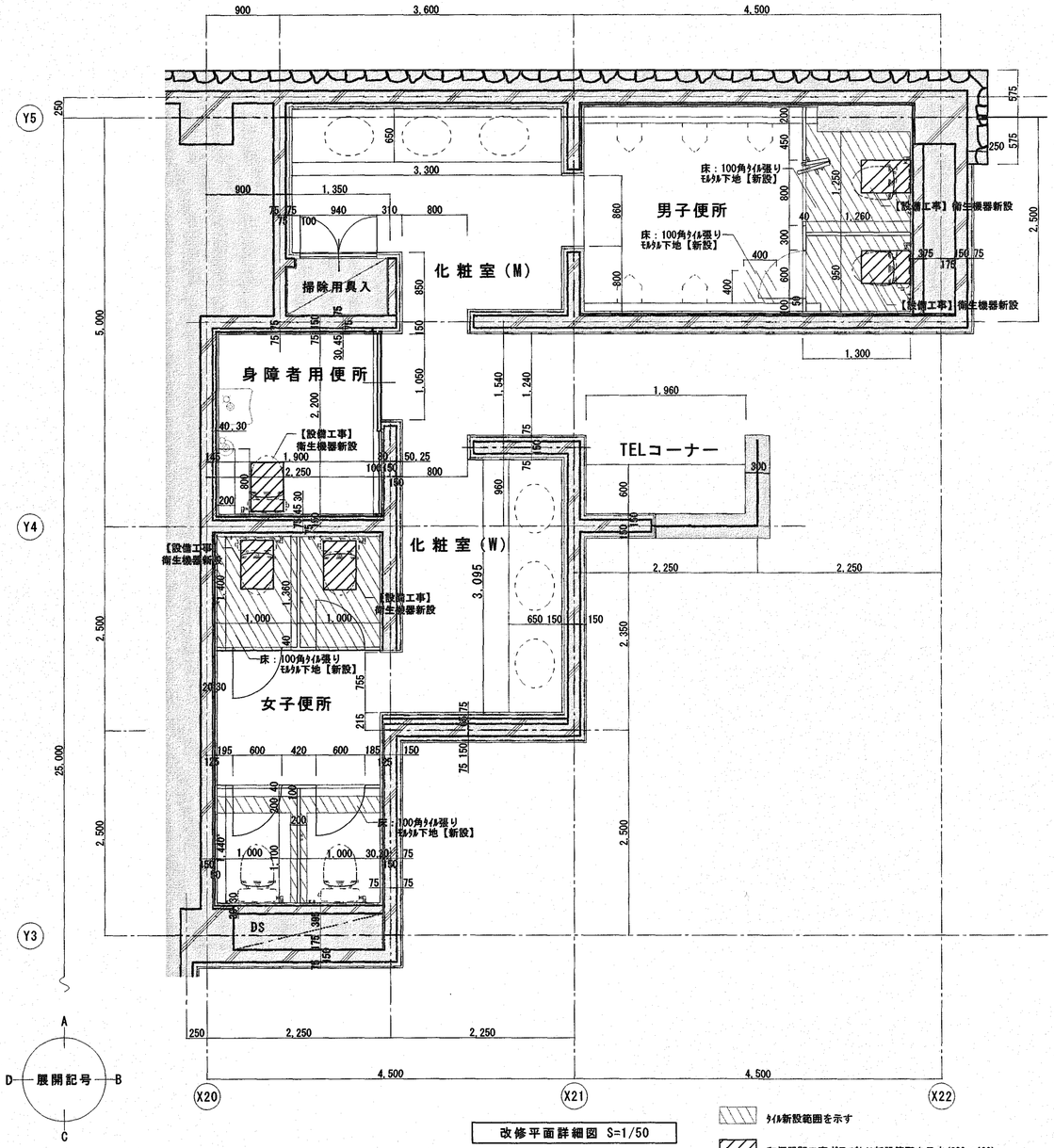
※タイル撤去は割付目地から行うこと

高知市 都市建設部 公共建築課			
係	係長	課長補佐	課長
中村	笹岡	濱口	松本

工事名	高知市斎場式場棟改修工事	SEET NO A-14	CHECKED BY
図面名	便所 既存平面詳細図・展開図	DATE	DRAWN BY 芝田
SCALE 1/30,1/50,1/60(A3=71%)	一級建築士事務所 高知県知事登録第956号 一級建築士 大臣登録第182598号 山口英治	高知市本町5-1-10 TEL 088-821-0230	

有限会社
山口英治建築設計事務所

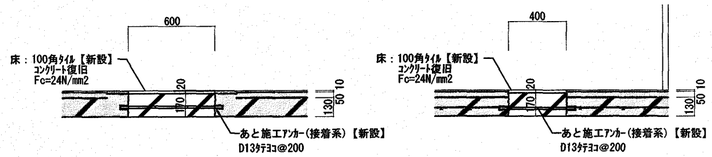
改修



改修平面詳細図 S=1/50

ﾀｲﾙ新設範囲を示す

和便器開口塞ぎ及びﾀｲﾙ新設範囲を示す(600×400)
※身障者用便所はﾀｲﾙ新設範囲を示す(600×400)

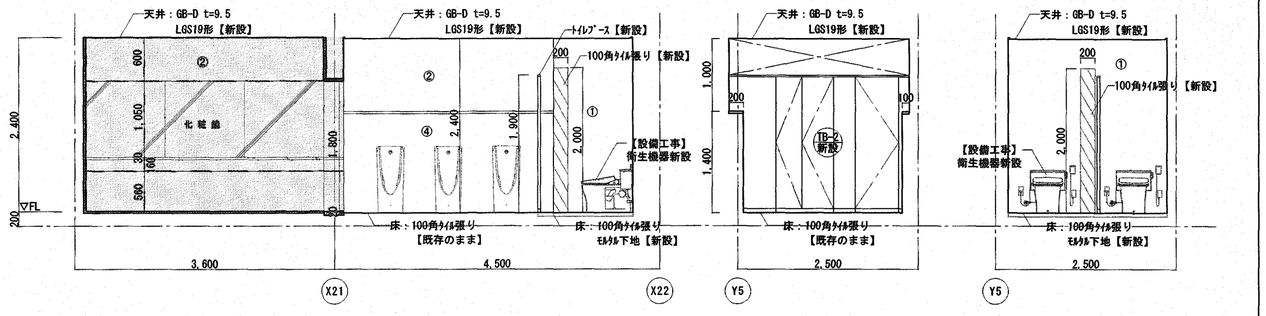


衛生機器廻り改修詳細図 S=1/30

※衛生設備機器・手摺は設備工事にて【新設】

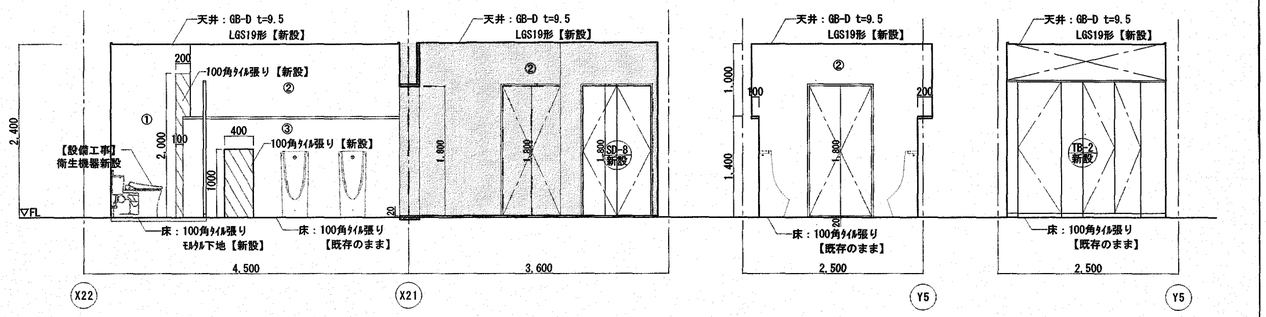
仕上表

番号	仕上げ
①	壁：100角ﾀｲﾙ張り【一部新設】ﾓﾙﾀﾙ下地共
②	壁：100角ﾀｲﾙ張り【既存のまま】
③	面台壁：100角ﾀｲﾙ張り【一部新設】ﾓﾙﾀﾙ下地共
④	面台壁：100角ﾀｲﾙ張り【既存のまま】



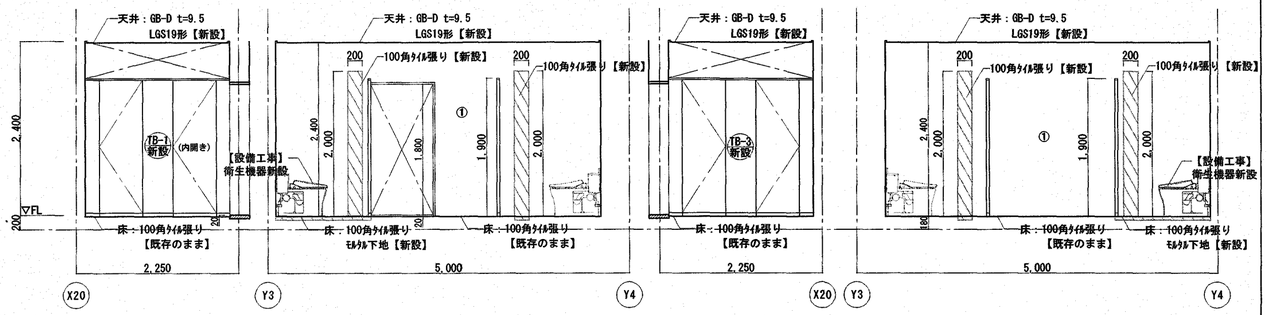
男子便所

A展開　B展開　B'展開



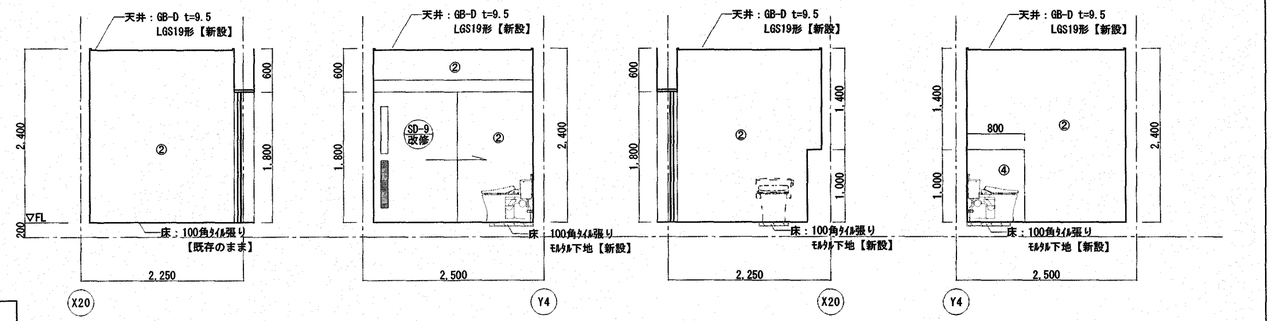
男子便所

C展開　D展開　D'展開



女子便所

A展開　B展開　C展開　D展開



身障者用便所

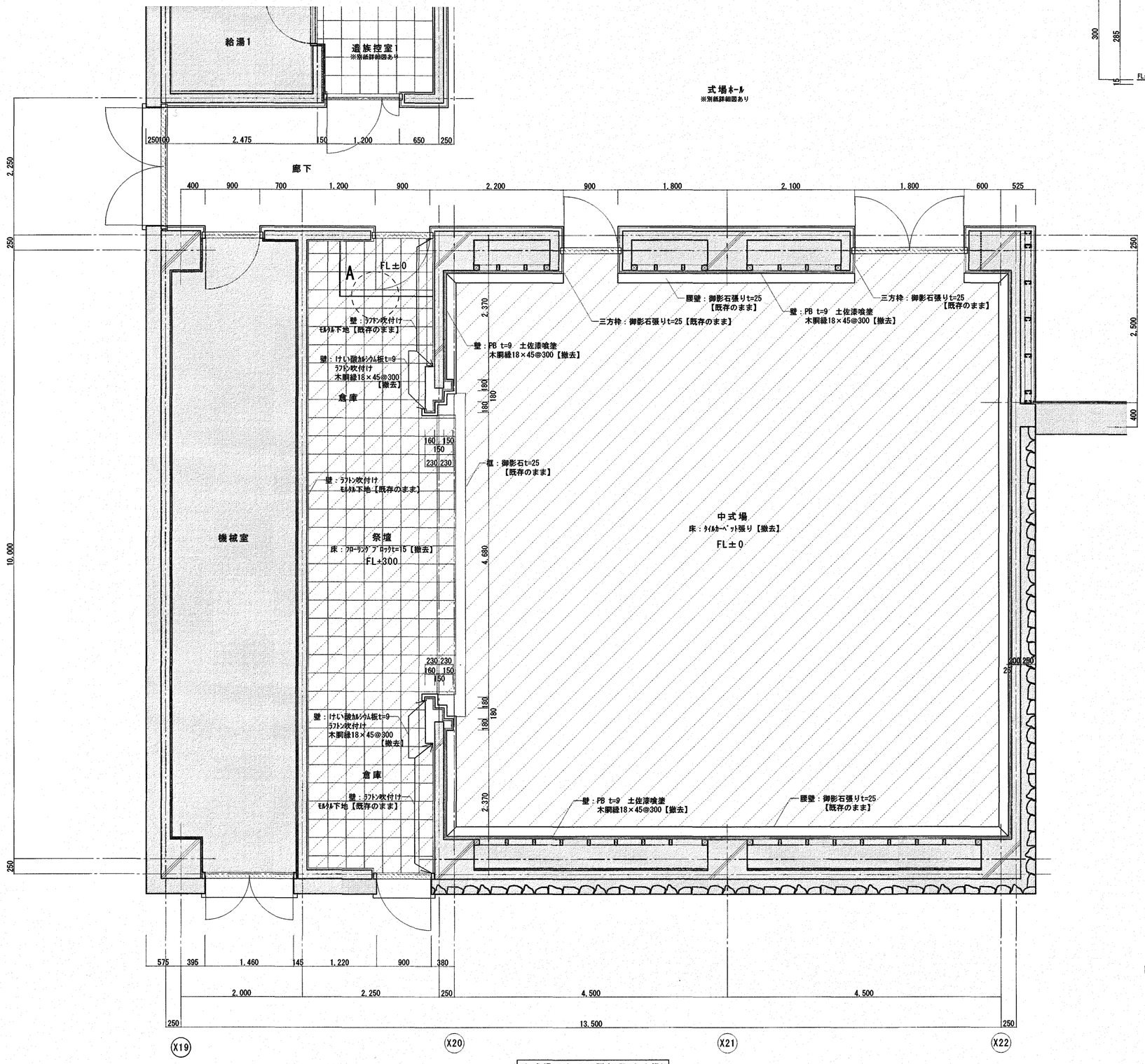
A展開　B展開　C展開　D展開

改修展開図 S=1/60

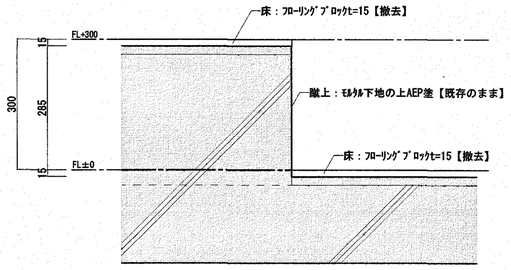
非改修範囲を示す

高知市 都市建設部 公共建築課				工事名	高知市斎場式場棟改修工事	SEET NO A-15	CHECKED BY
係	係長	課長補佐	課長	図面名	便所　改修平面詳細図・展開図	DATE	DRAWN BY 芝田
中村	笹岡	濱口	松木	SCALE 1/30、1/50、1/60(A3=71%)	一級建築士事務所　高知県知事登録第956号 一級建築士　大臣登録第182598号　山口英治	高知市本町5-1-10 TEL 088-821-0230	

有限会社
山口英治建築設計事務所



中式場既存平面詳細図 S=1/50



A部断面図 S=1/10

撤去を示す

非改修範囲を示す

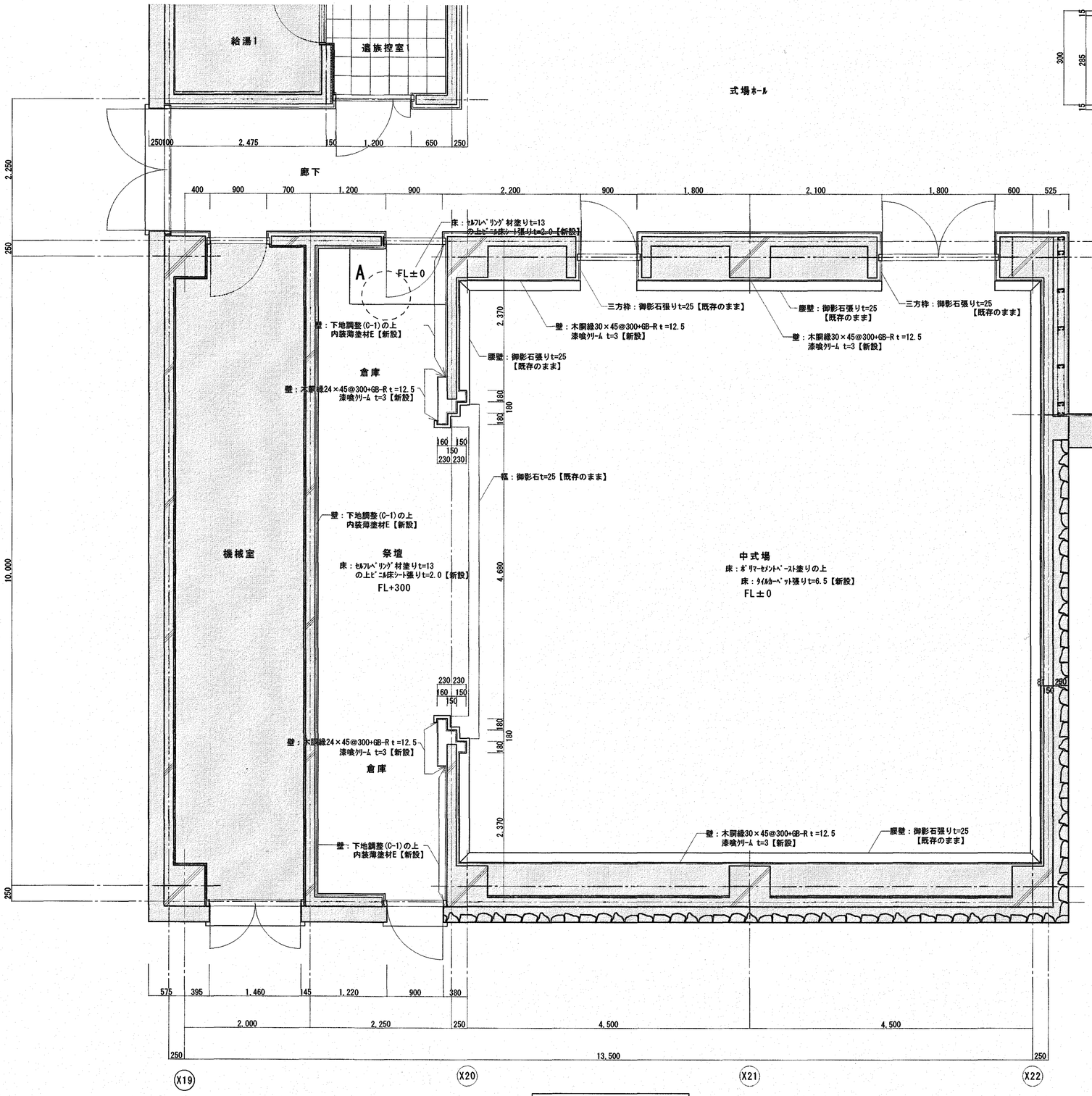
展開記号

高知市 都市建設部 公共建築課				工事名	高知市斎場式場棟改修工事
係	係長	課長補佐	課長	図面名	中式場 既存平面詳細図
中村	笹岡	濱口	松末	SCALE 1/10, 1/50(A3=71%)	一級建築士事務所 高知県知事登録第956号 一級建築士 大臣登録第182598号 山口英治

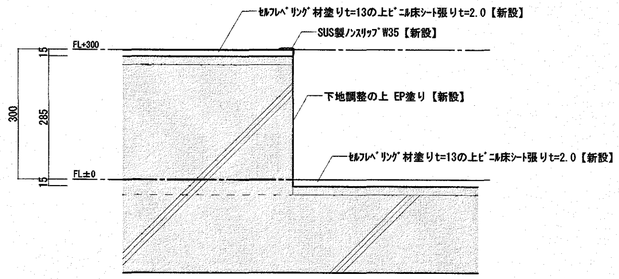
SEET NO A-16 | CHECKED BY | DATE | DRAWN BY 芝田

高知市本町5-1-10
TEL 088-821-0230

有限会社
山口英治建築設計事務所

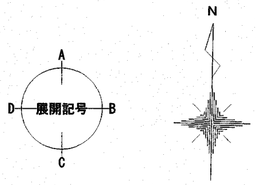


中式場改修平面詳細図 S=1/50



A部断面図 S=1/10

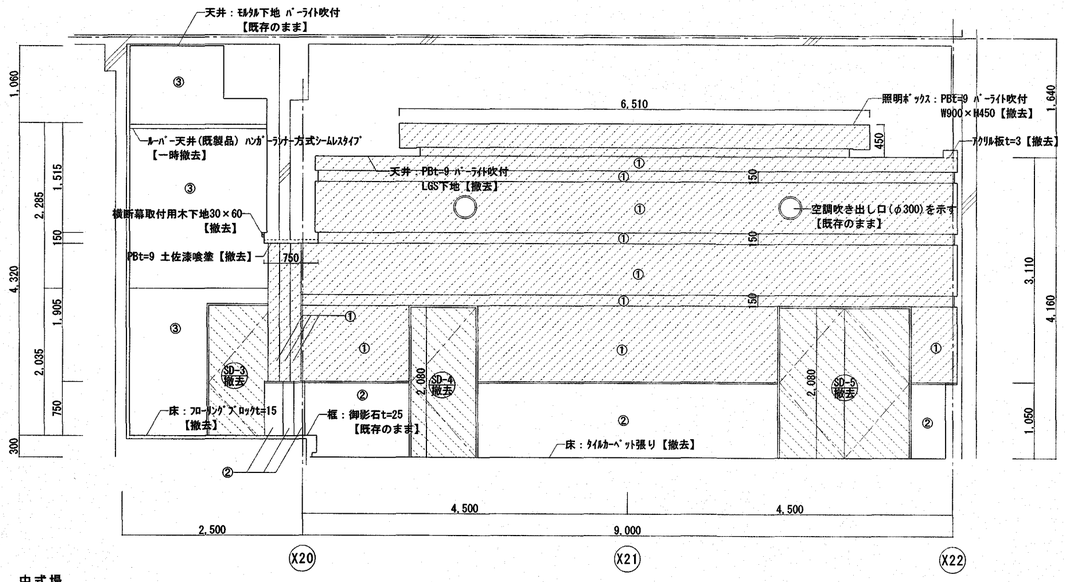
非改修範囲を示す



高知市 都市建設部 公共建築課				工事名	高知市斎場式場棟改修工事	SEET NO A-17	CHECKED BY
係	係 長	課長補佐	課 長	図面名	中式場 改修平面詳細図	DATE	DRAWN BY 芝田
中村	笹岡	濱口	松本	SCALE 1/10, 1/50(A3=71%)	一級建築士事務所 高知県知事登録第956号 一級建築士 大臣登録第182598号 山口英治	高知市本町5-1-10 TEL 088-821-0230	

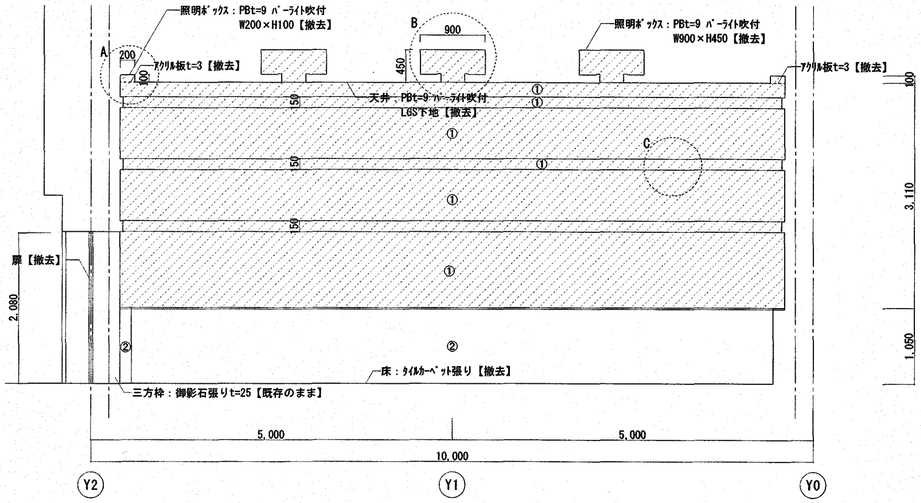
有限会社
山口英治建築設計事務所

既存

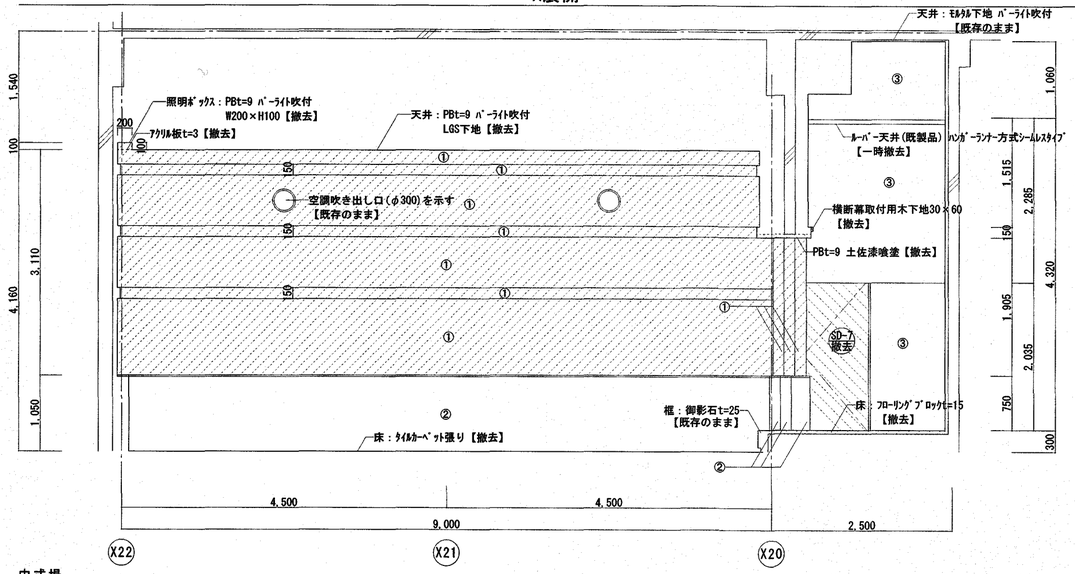


中式場

A展開

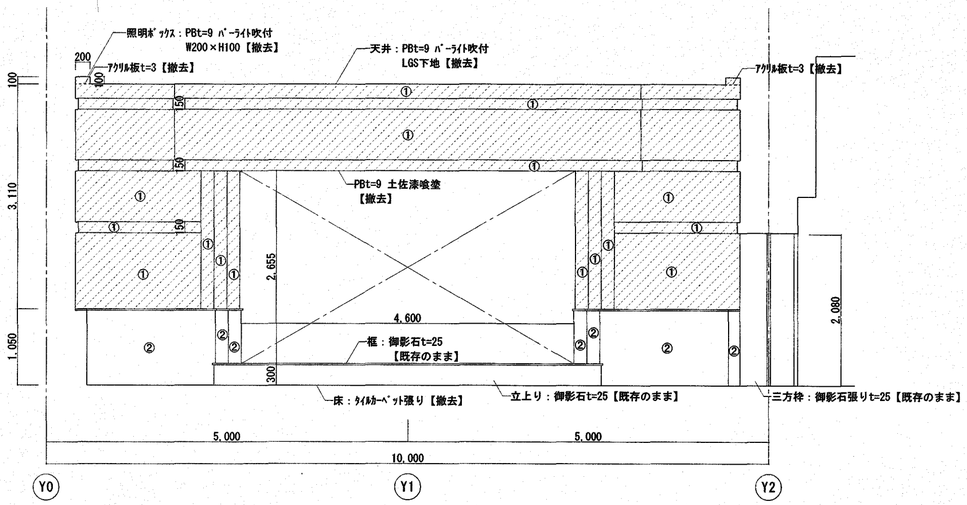


B展開



中式場

C展開

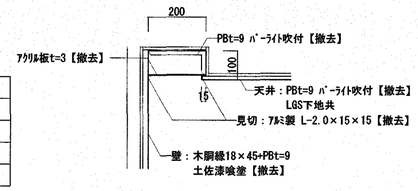


D展開

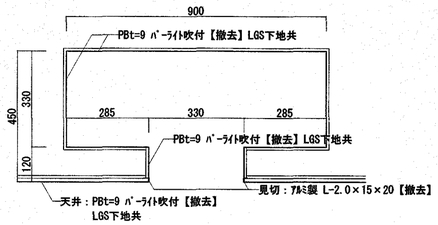
撤去を示す

仕上表

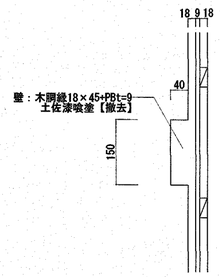
番号	仕上げ	番号	仕上げ
①	壁：木胴縁18×45+PBt=9　土佐漆喰塗【撤去】	⑤	
②	腰壁：御影石貼り【既存のまま】	⑥	
③	壁：ﾓﾙﾀﾙ下地　ﾗﾌﾄﾝ吹付【既存のまま】	⑦	
④		⑧	



A部詳細図　S=1/15



B部詳細図　S=1/15

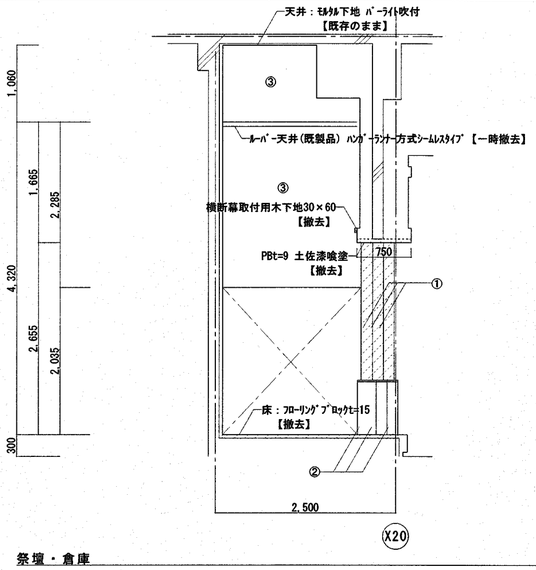


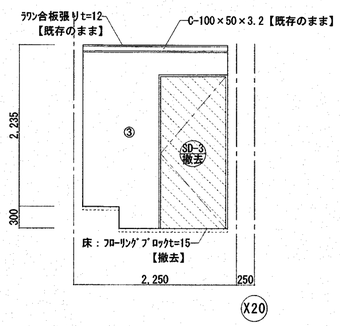
C部詳細図　S=1/10

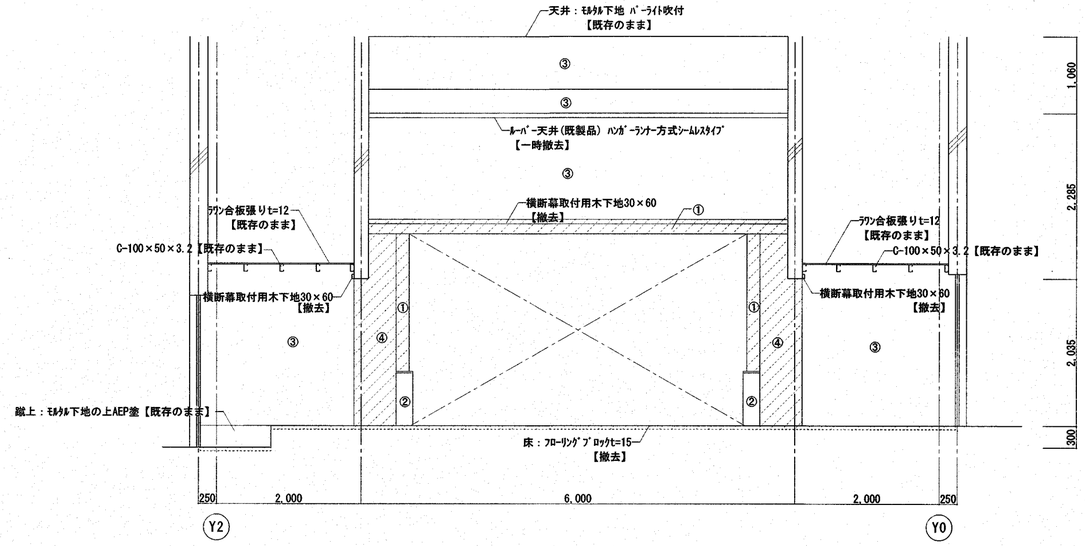
高知市 都市建設部 公共建築課				工事名	高知市斎場式場棟改修工事	SEET NO A-18	CHECKED BY
係	係長	課長補佐	課長	図面名	中式場　既存展開図	DATE	DRAWN BY 芝田
中村	笹岡	濱口	松永	SCALE 1/10,1/15,1/60(A3=71%)	一級建築士事務所　高知県知事登録第956号 一級建築士　大臣登録第182598号　山口英治	高知市本町5-1-10 TEL 088-821-0230	

有限会社
山口英治建築設計事務所

既存

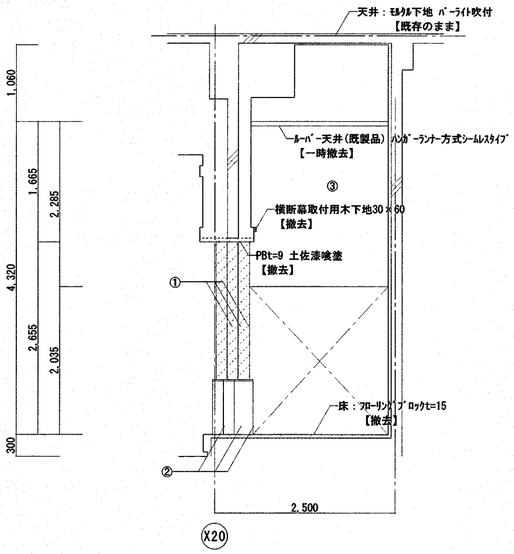


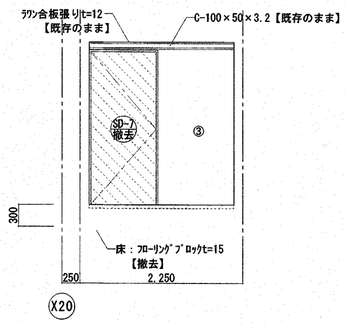


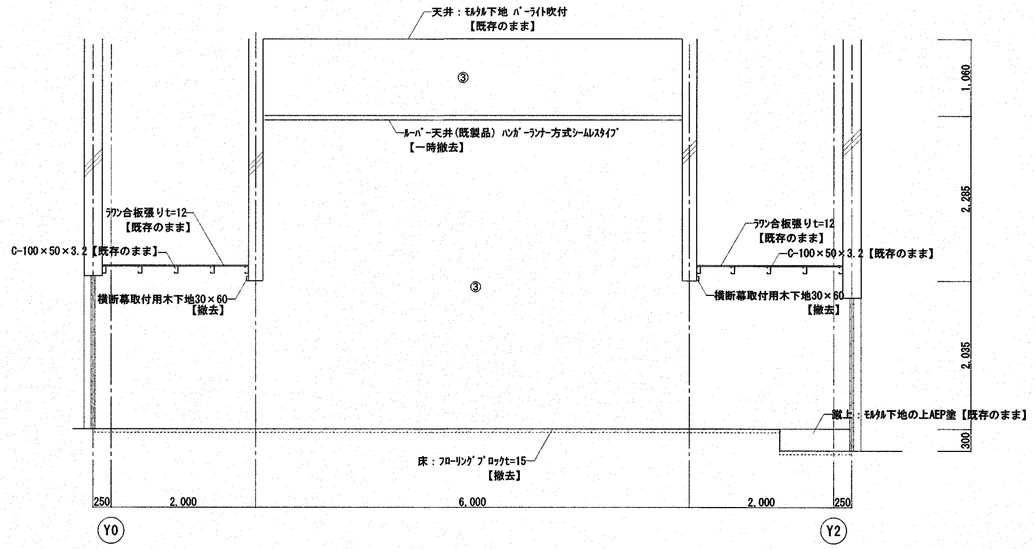


祭壇・倉庫

A展開　　A' 展開　　B展開







祭壇・倉庫

C展開　　C' 展開　　D展開

撤去を示す

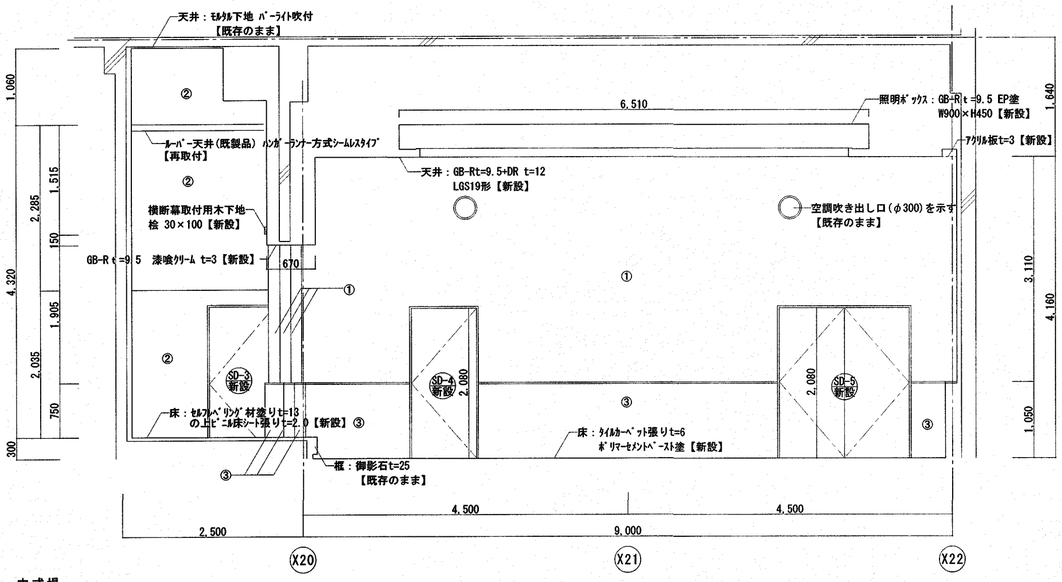
仕上表

番号	仕上げ	番号	仕上げ	番号	仕上げ	番号	仕上げ
①	壁：木胴縁18×45+PBt=9　土佐漆喰塗【撤去】	⑤		⑨		⑬	
②	腰壁：御影石貼り【既存のまま】	⑥		⑩		⑭	
③	壁：ﾓﾙﾀﾙ下地　ﾗﾌﾄﾝ吹付【既存のまま】	⑦		⑪			
④	壁：木胴縁18×45+けい酸ｶﾙｼｳﾑ板t=9　ﾗﾌﾄﾝ吹付け【撤去】	⑧		⑫			

高知市 都市建設部 公共建築課				工事名	高知市斎場式場棟改修工事	SEET NO A-18-1	CHECKED BY
係	係長	課長補佐	課長	図面名	中式場 祭壇・倉庫　既存展開図	DATE	DRAWN BY 芝田
中村	笹岡	濱口	松本	SCALE 1/60(A3=71%)	一級建築士事務所　高知県知事登録第956号 一級建築士　大臣登録第182598号　山口英治	高知市本町5-1-10 TEL 088-821-0230	

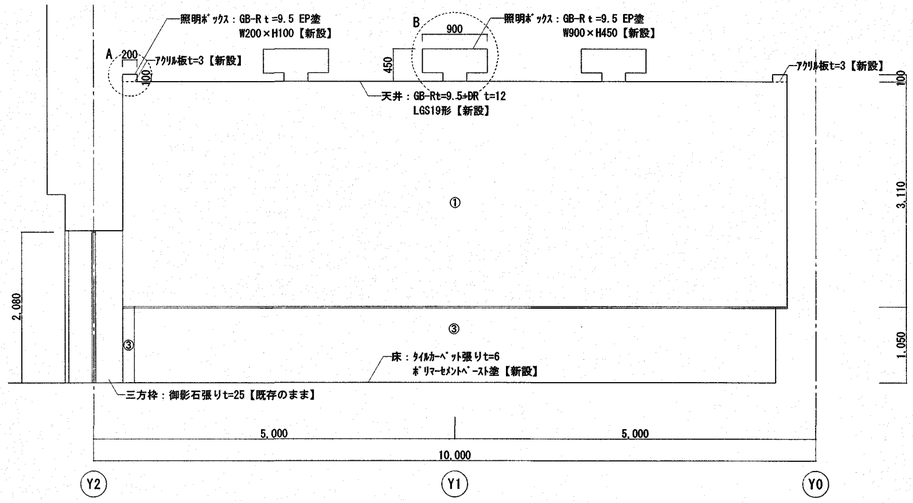
有限会社
山口英治建築設計事務所

改修

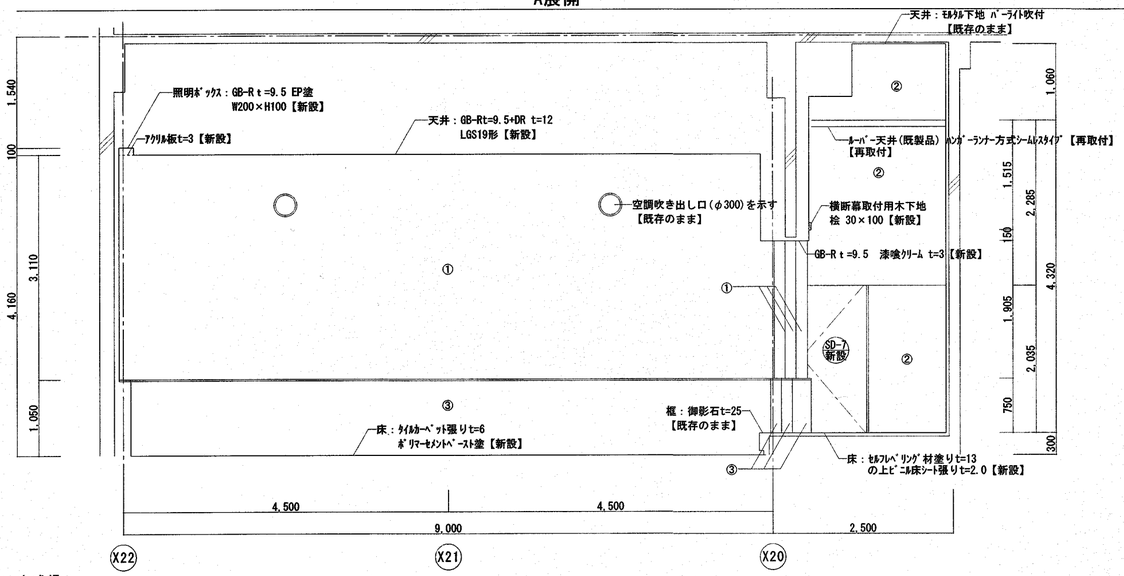


中式場

A展開

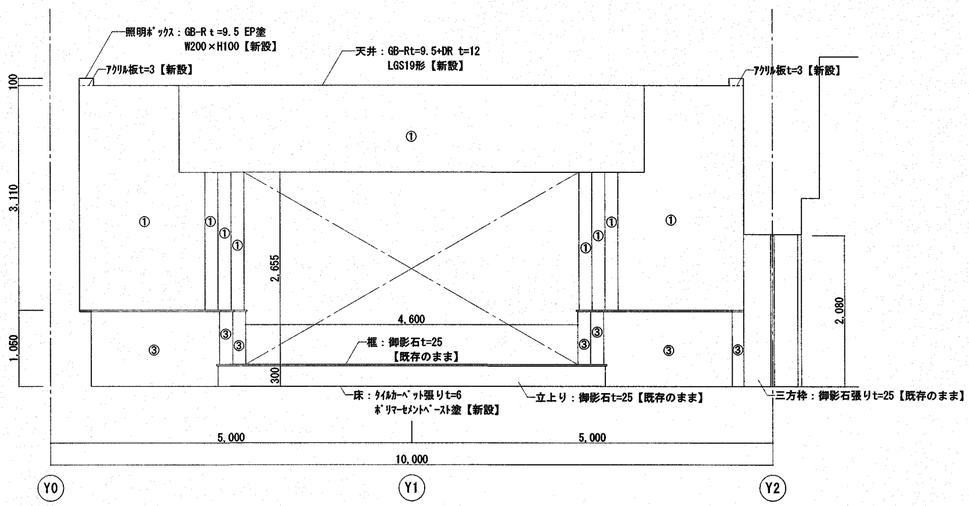


B展開



中式場

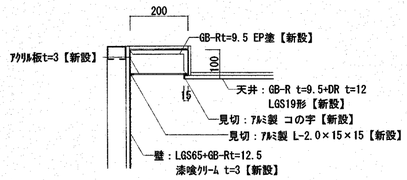
C展開



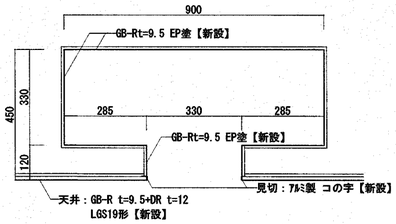
D展開

仕上表

番号	仕上げ	番号	仕上げ
①	壁：木胴縁30×45@300+GB-R t=12.5 漆喰ｸﾘｰﾑ t=3【新設】	⑤	
②	壁：下地調整の上 内装薄塗材E【新設】	⑥	
③	腰壁：御影石貼りt=25【既存のまま】	⑦	
④		⑧	



A部詳細図 S=1/15

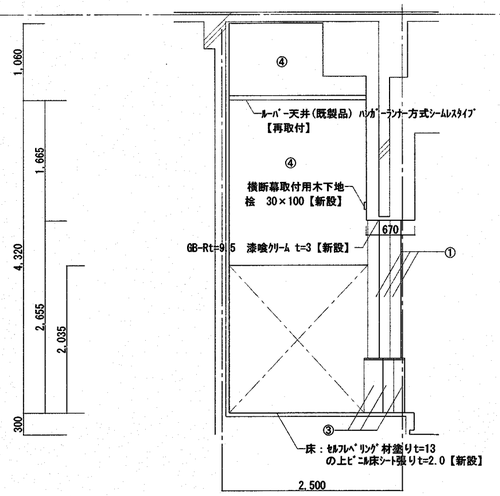


B部詳細図 S=1/15

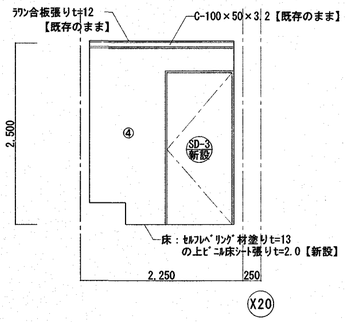
高知市 都市建設部 公共建築課				工事名	高知市斎場式場棟改修工事	SEET NO A-19	CHECKED BY
係	係 長	課長補佐	課 長	図面名	中式場 改修展開図	DATE	DRAWN BY 芝田
中村	笹岡	濱口	松木	SCALE 1/15, 1/60(A3=71%)	一級建築士事務所 高知県知事登録第956号 一級建築士 大臣登録第182598号 山口英治	高知市本町5-1-10 TEL 088-821-0230	

有限会社
山口英治建築設計事務所

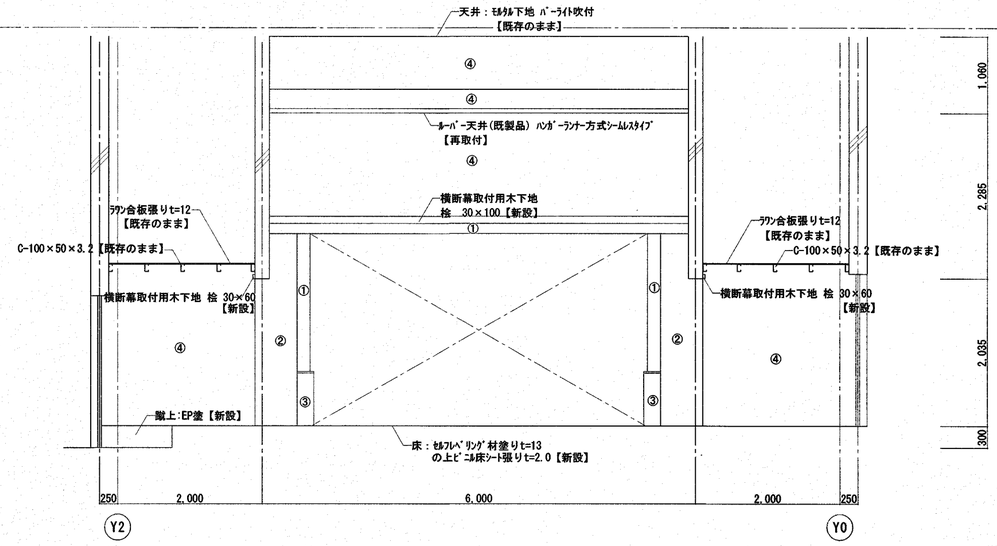
改修



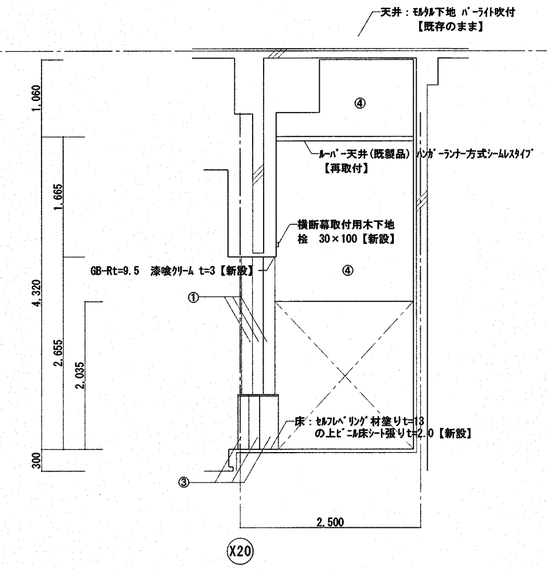
A展開



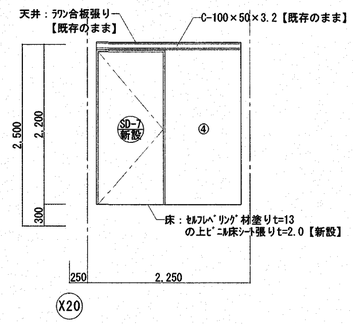
A' 展開



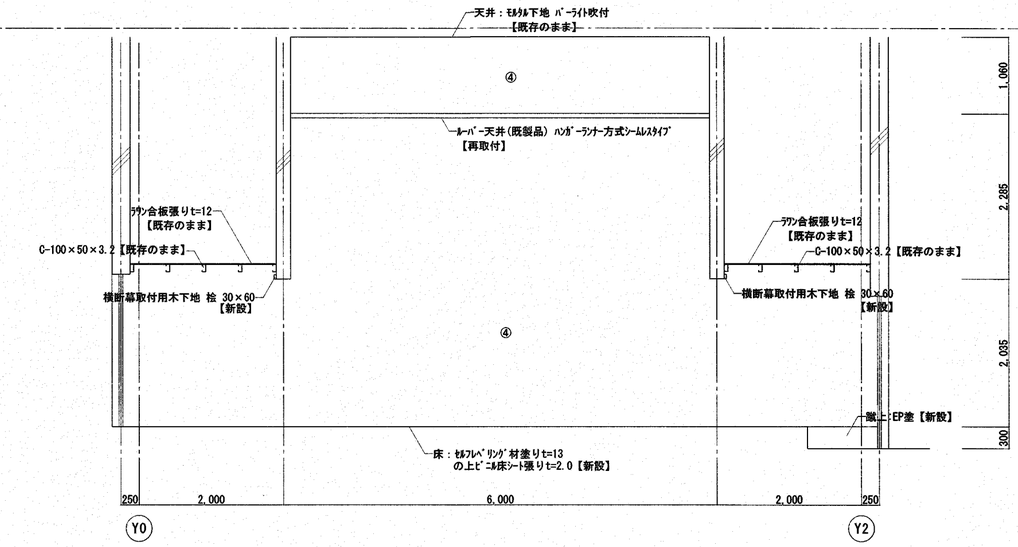
B展開



C展開



C' 展開



D展開

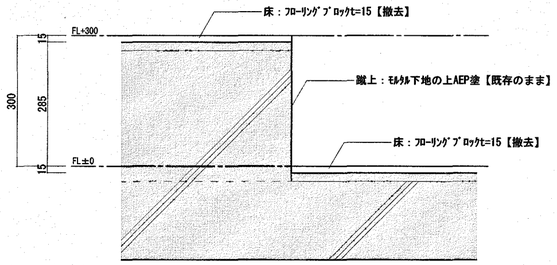
仕上表

番号	仕上げ	番号	仕上げ	番号	仕上げ	番号	仕上げ
①	壁：木胴縁30×45@300+GB-R t=12.5 漆喰クリーム t=3【新設】	⑤		⑨		⑬	
②	壁：木胴縁24×45@300+GB-R t=12.5 漆喰クリーム t=3【新設】	⑥		⑩		⑭	
③	腰壁：御影石貼りt=25【既存のまま】	⑦		⑪			
④	壁：下地調整(C-1)の上 内装薄塗材E【新設】	⑧		⑫			

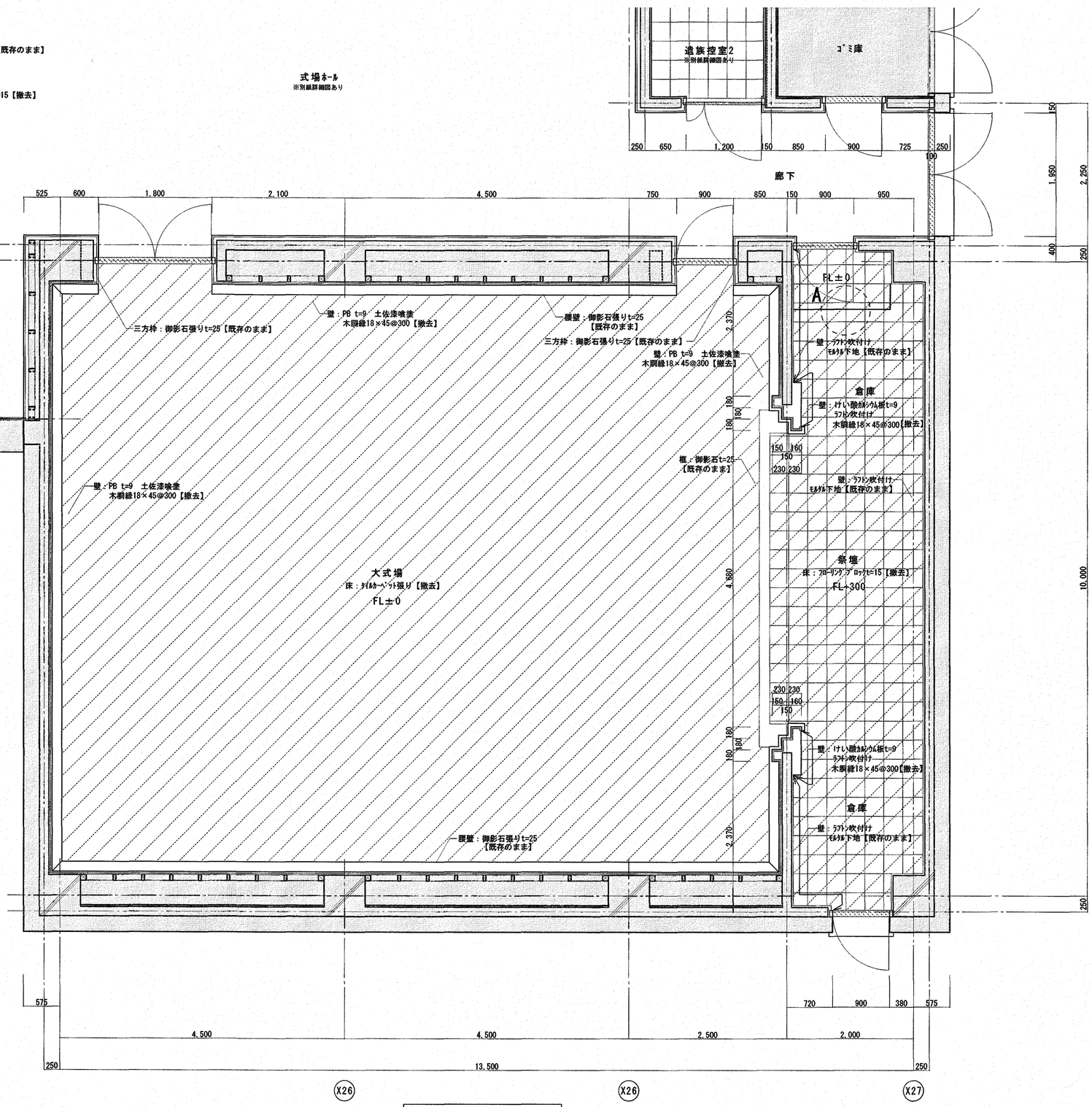
高知市 都市建設部 公共建築課			
係	係長	課長補佐	課長
中村	菅岡	濱口	松末

工事名	高知市斎場式場棟改修工事	SEET NO A-19-1	CHECKED BY
図面名	中式場祭壇・倉庫 改修展開図	DATE	DRAWN BY 芝田
SCALE 1/60(A3=71%)	一級建築士事務所 高知県知事登録第956号 一級建築士 大臣登録第182598号 山口英治	高知市本町5-1-10 TEL 088-821-0230	

有限会社
山口英治建築設計事務所



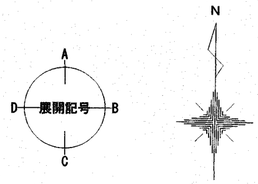
A部断面図 S=1/10



大式場既存平面詳細図 S=1/50

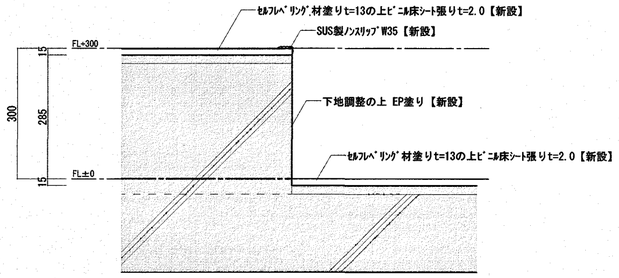
撤去を示す

非改修範囲を示す

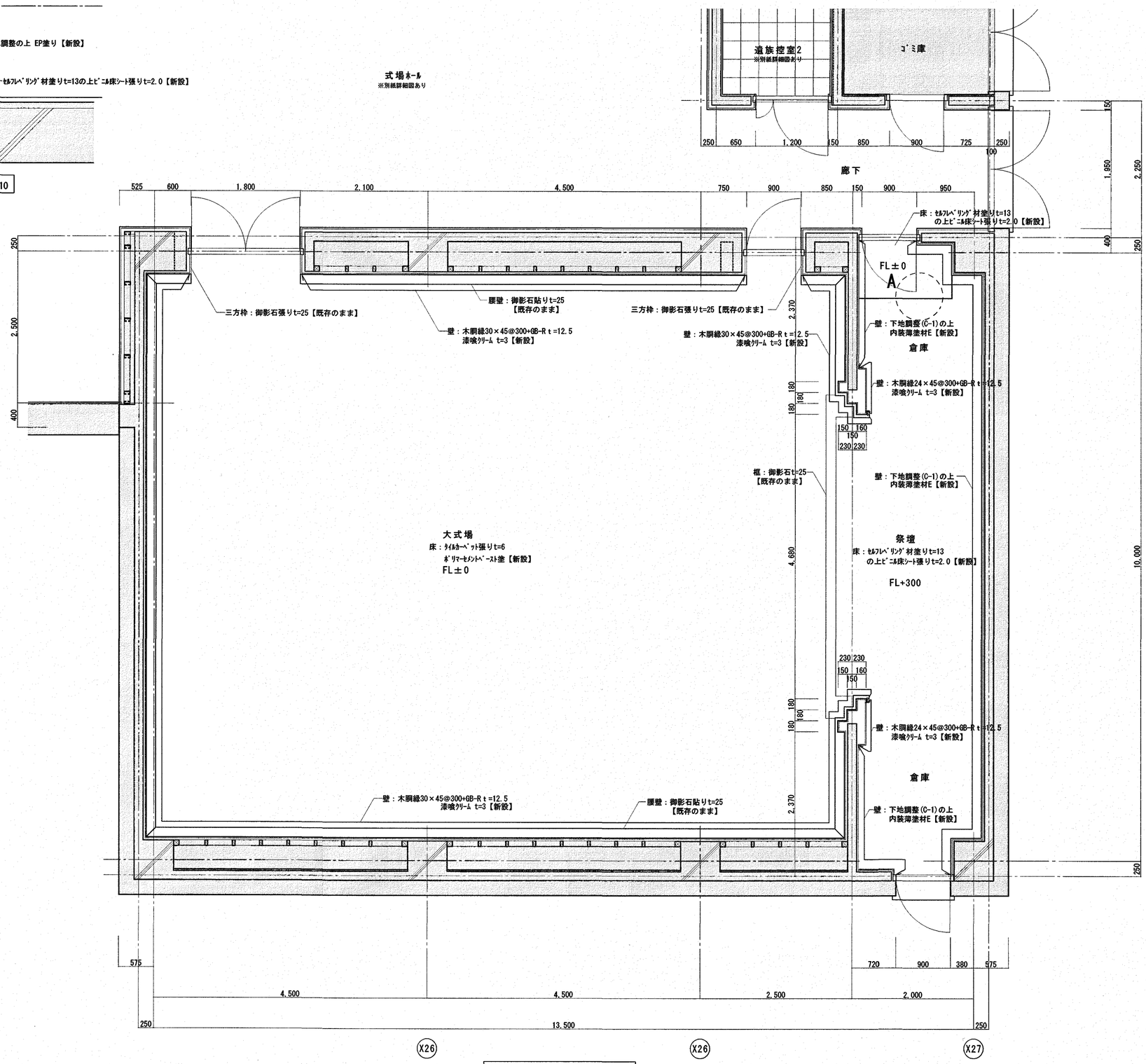


高知市 都市建設部 公共建築課				工事名	高知市斎場式場棟改修工事	SEET NO A-20	CHECKED BY
係	係 長	課長補佐	課 長	図面名	大式場 既存平面詳細図	DATE	DRAWN BY 芝田
中村	笹岡	濱口	松本	SCALE 1/10, 1/50(A3=71%)	一級建築士事務所 高知県知事登録第956号 一級建築士 大臣登録第182598号 山口英治	高知市本町5-1-10 TEL 088-821-0230	

有限会社
山口英治建築設計事務所

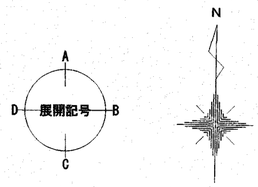


A部断面図 S=1/10



大式場改修平面詳細図 S=1/50

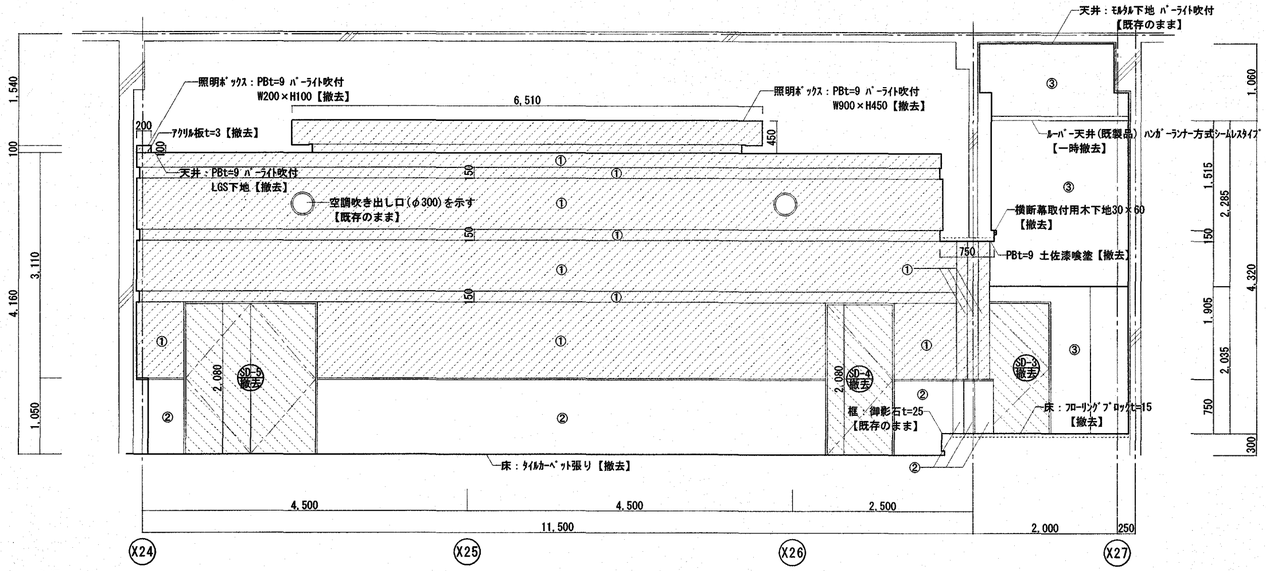
非改修範囲を示す



高知市 都市建設部 公共建築課				工事名	高知市斎場式場棟改修工事	SEET NO A-21	CHECKED BY
係	係 長	課長補佐	課 長	図面名	大式場 改修平面詳細図	DATE	DRAWN BY 芝田
中村	笹岡	濱口	松本	SCALE 1/10, 1/50(A3=71%)	一級建築士事務所 高知県知事登録第956号 一級建築士 大臣登録第182598号 山口英治	高知市本町5-1-10 TEL 088-821-0230	

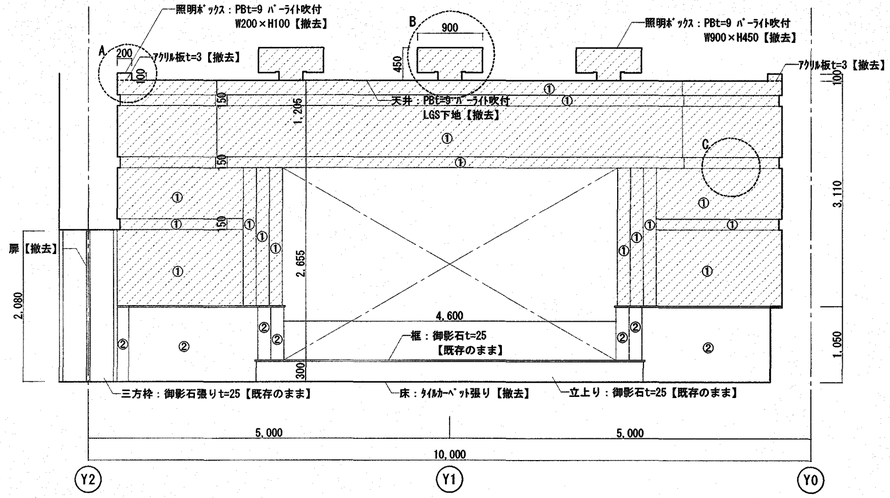
有限会社
山口英治建築設計事務所

既存

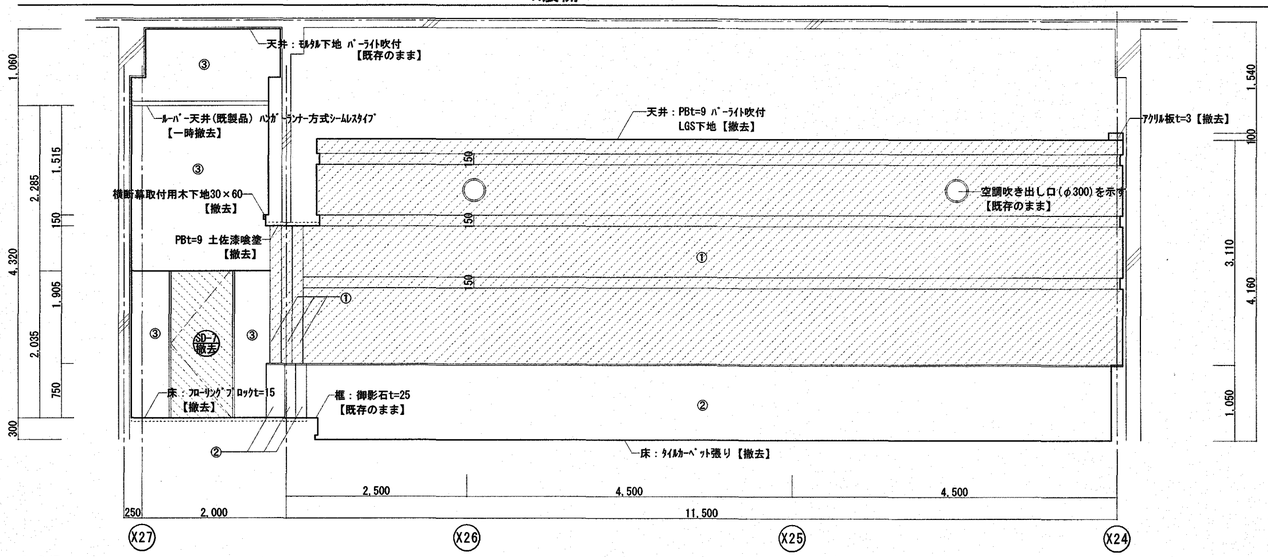


大式場

A展開

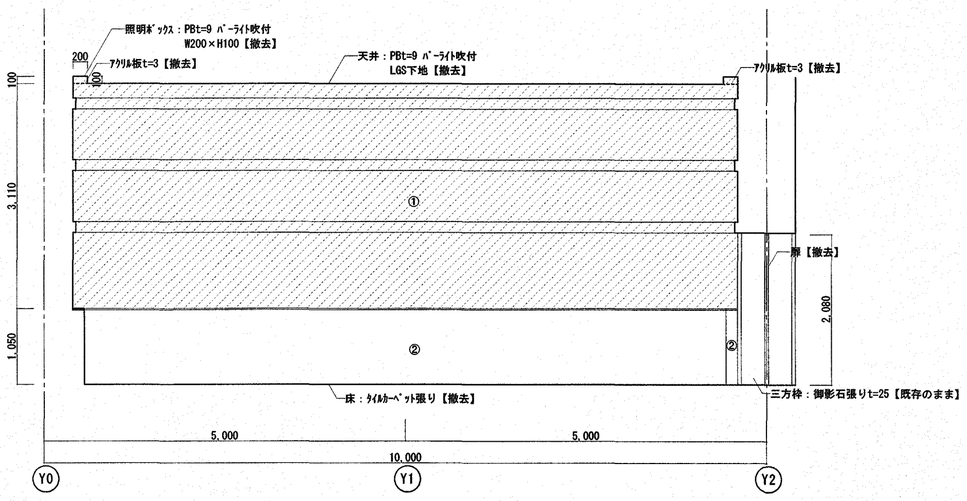


B展開



大式場

C展開

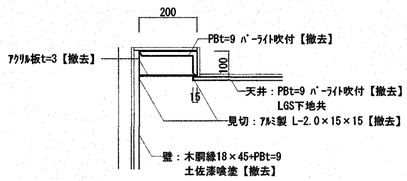


D展開

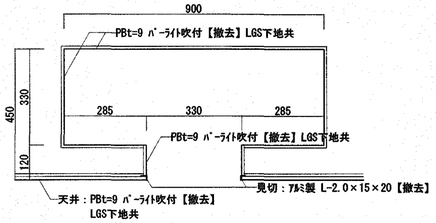
撤去を示す

仕上表

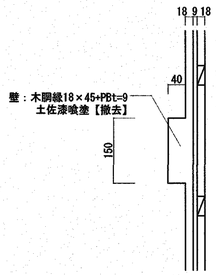
番号	仕上げ	番号	仕上げ
①	壁：木胴縁18×45+PBt=9　土佐漆喰塗【撤去】	⑤	
②	腰壁：御影石貼りt=25【既存のまま】	⑥	
③	壁：ﾓﾙﾀﾙ下地　ﾗﾌﾄﾝ吹付【既存のまま】	⑦	
④		⑧	



A部詳細図　S=1/15



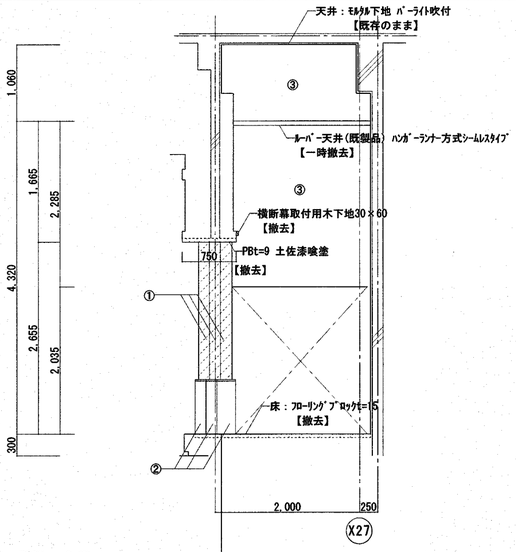
B部詳細図　S=1/15

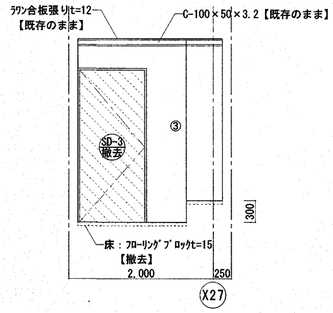


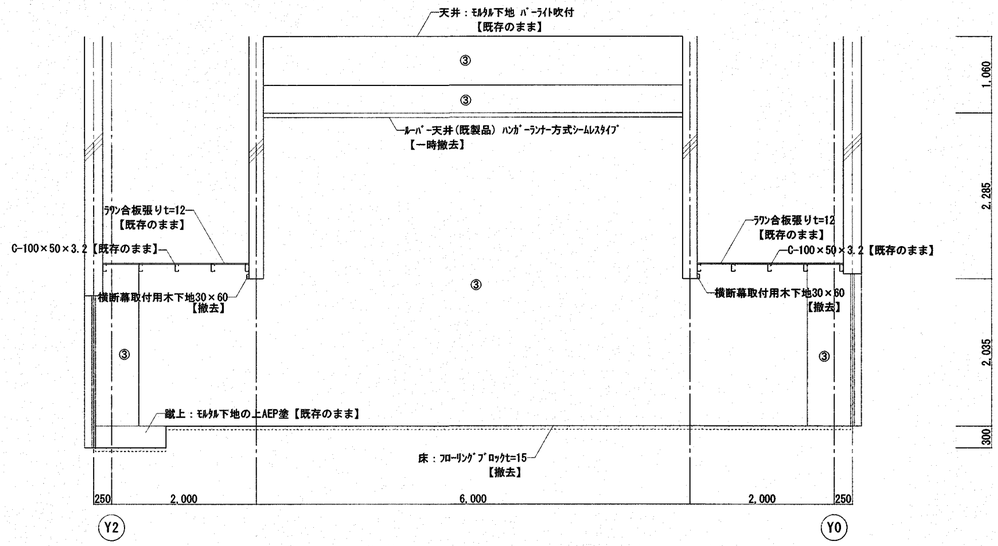
C部詳細図　S=1/10

高知市 都市建設部 公共建築課				工事名	高知市斎場式場棟改修工事	SEET NO A-22	CHECKED BY	有限会社 山口英治建築設計事務所
係	係長	課長補佐	課長	図面名	大式場　既存展開図	DATE	DRAWN BY 芝田	
中村	笹岡	濱口	松本	SCALE 1/10, 1/15, 1/60(A3=71%)	一級建築士事務所　高知県知事登録第956号 一級建築士　大臣登録第182598号　山口英治	高知市本町5-1-10 TEL 088-821-0230		

既存

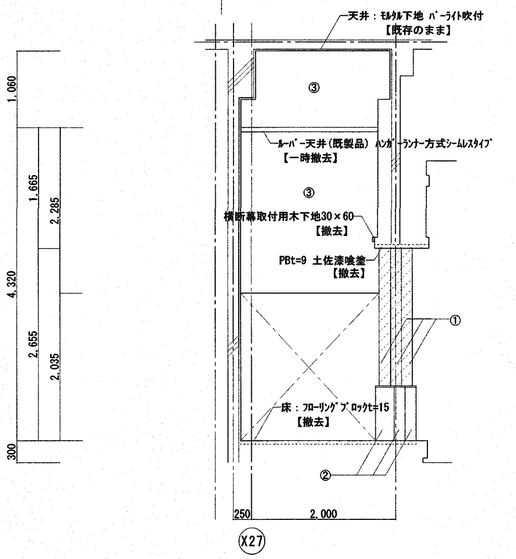


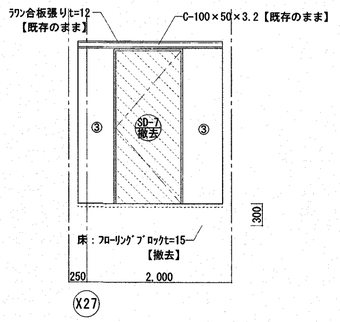


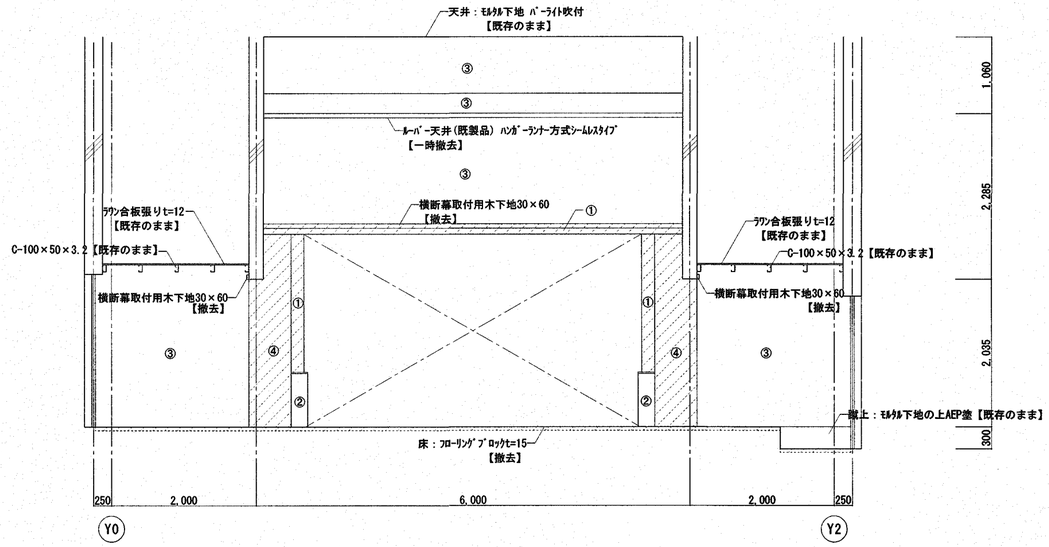


祭壇・倉庫

A展開　　A' 展開　　B展開







祭壇・倉庫

C展開　　C' 展開　　D展開

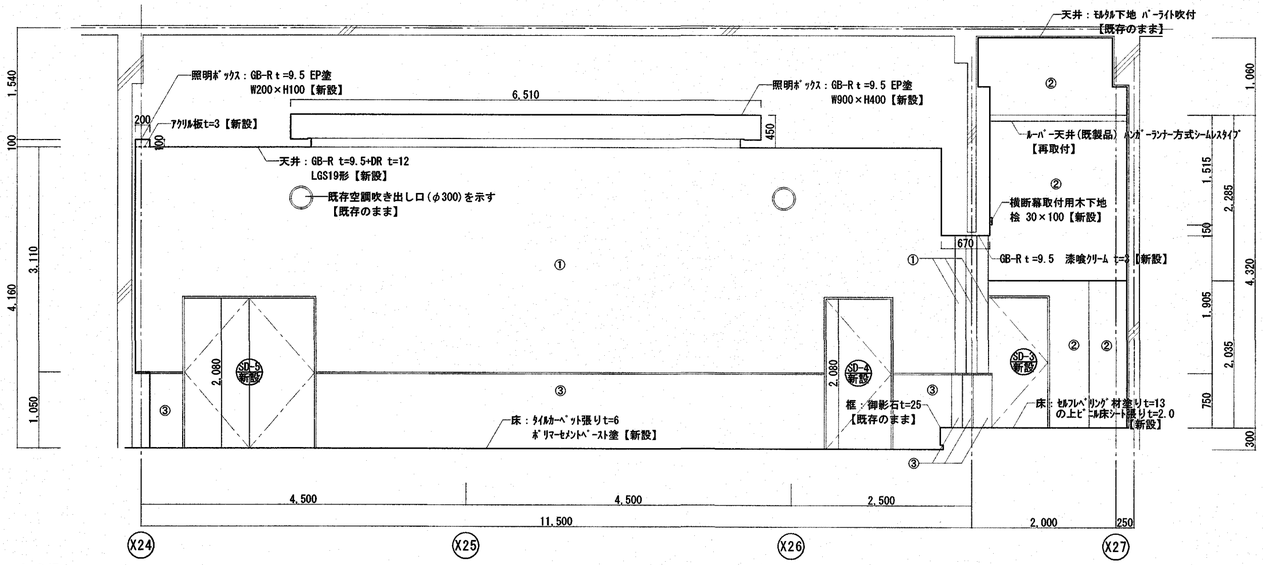
撤去を示す

仕上表

番号	仕上げ	番号	仕上げ	番号	仕上げ	番号	仕上げ
①	壁：木胴縁18×45+PBt=9　土佐漆喰塗【撤去】	⑤		⑨		⑬	
②	腰壁：御影石貼り【既存のまま】	⑥		⑩		⑭	
③	壁：ﾓﾙﾀﾙ下地　ﾗﾌﾄﾝ吹付【既存のまま】	⑦		⑪			
④	壁：木胴縁18×45+けい酸ｶﾙｼｳﾑ板t=9　ﾗﾌﾄﾝ吹付け【撤去】	⑧		⑫			

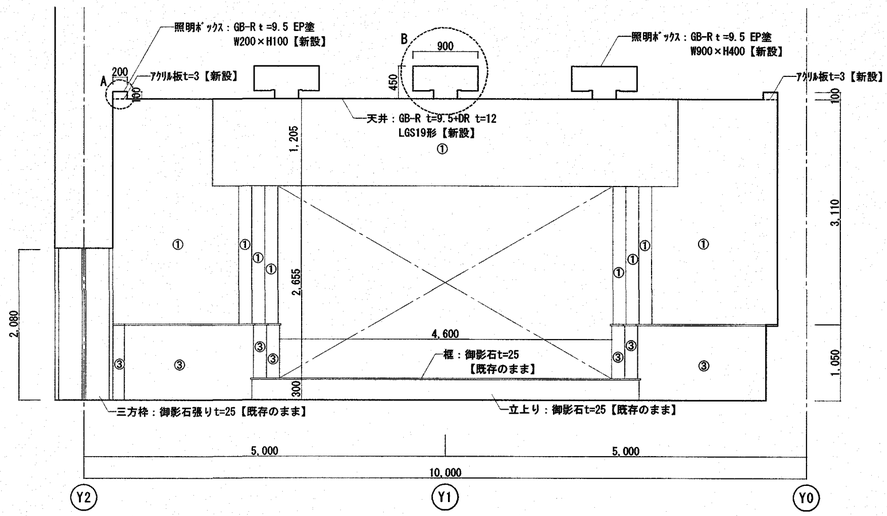
高知市 都市建設部 公共建築課				工事名	高知市斎場式場棟改修工事	SEET NO A-22-1	CHECKED BY	有限会社 山口英治建築設計事務所
係	係長	課長補佐	課長	図面名	大式場祭壇・倉庫　既存展開図	DATE	DRAWN BY 芝田	
中村	笹岡	濱口	松本	SCALE 1/60(A3=71%)	一級建築士事務所　高知県知事登録第956号 一級建築士　大臣登録第182598号　山口英治	高知市本町5-1-10 TEL 088-821-0230		

改修

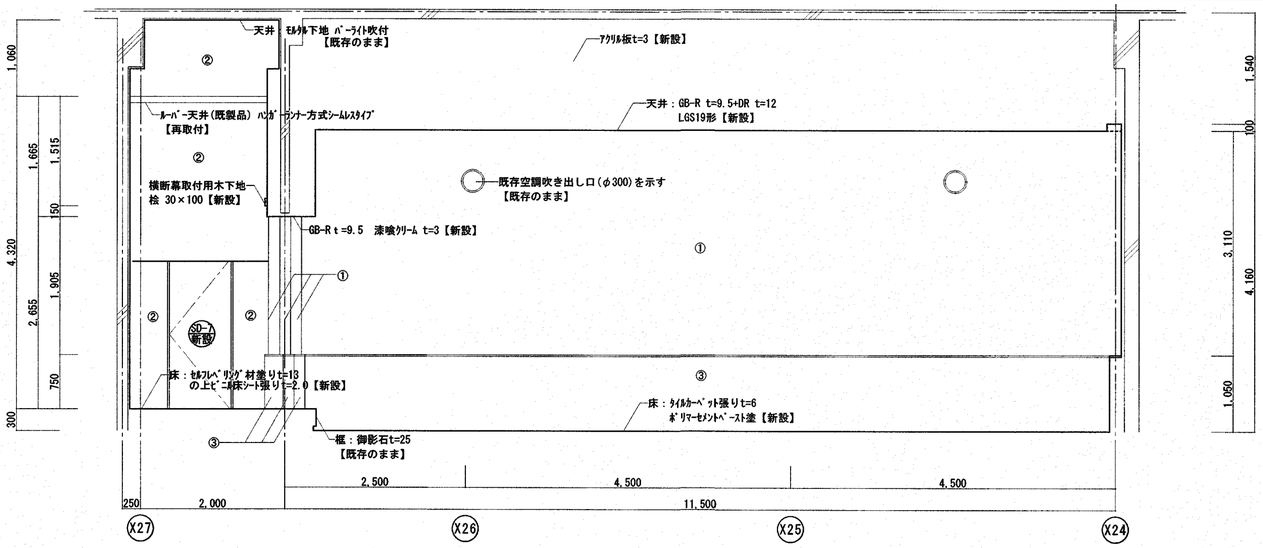


大式場

A展開

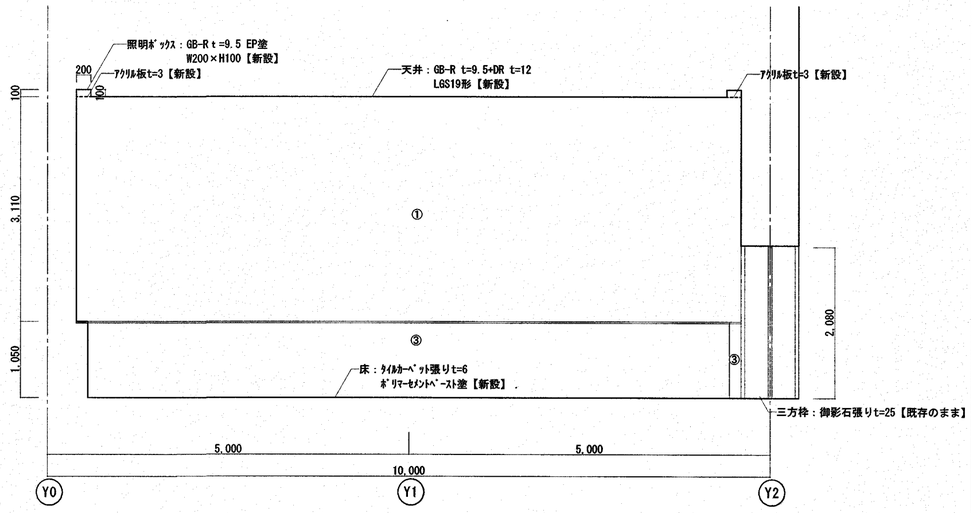


B展開



大式場

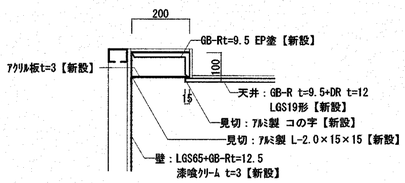
C展開



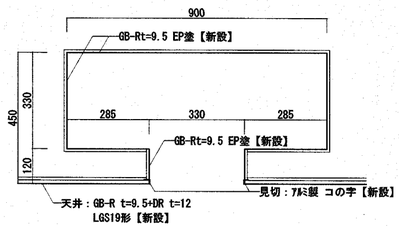
D展開

仕上表

番号	仕上げ	番号	仕上げ
①	壁：木胴縁30×45@300+GB-R t=12.5 漆喰ｸﾘｰﾑ t=3【新設】	⑤	
②	壁：下地調整の上 内装薄塗材E【新設】	⑥	
③	腰壁：御影石貼り t=25【既存のまま】	⑦	
④		⑧	



A部詳細図 S=1/15



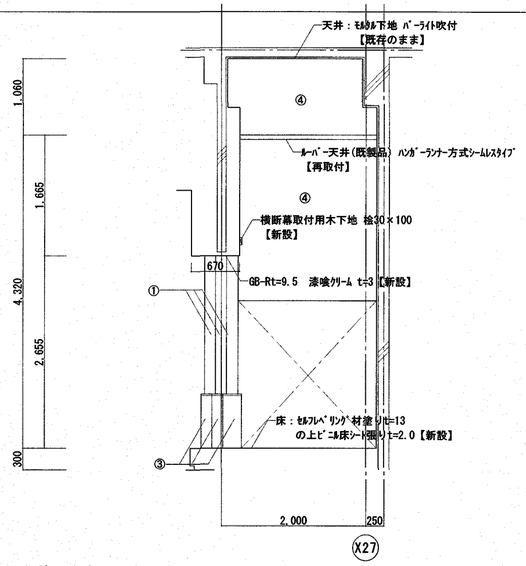
B部詳細図 S=1/15

高知市 都市建設部 公共建築課			
係	係 長	課長補佐	課 長
中村	笹岡	濱口	松末

工事名	高知市斎場式場棟改修工事	SEET NO A-23	CHECKED BY
図面名	大式場 改修展開図	DATE	DRAWN BY 芝田
SCALE 1/15, 1/60(A3=71%)	一級建築士事務所 高知県知事登録第956号 一級建築士 大臣登録第182598号 山口英治	高知市本町5-1-10 TEL 088-821-0230	

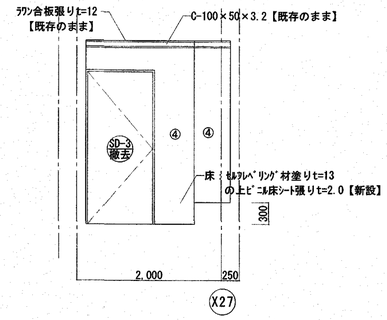
有限会社
山口英治建築設計事務所

改修

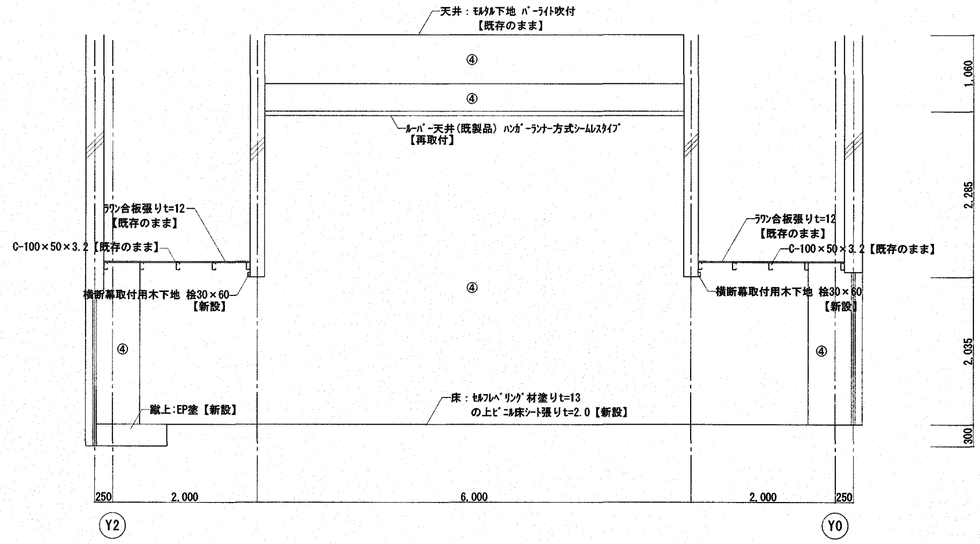


祭壇・倉庫

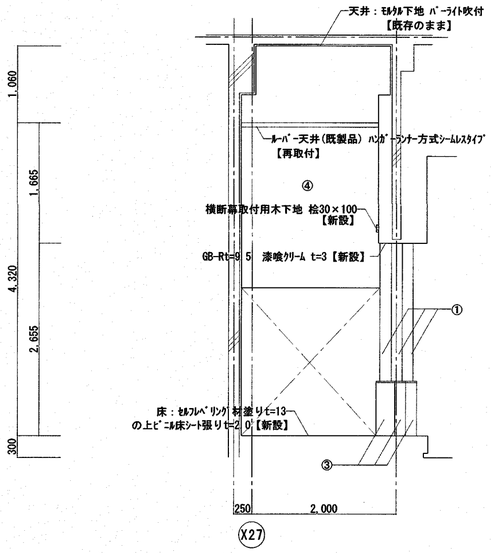
A展開



A' 展開

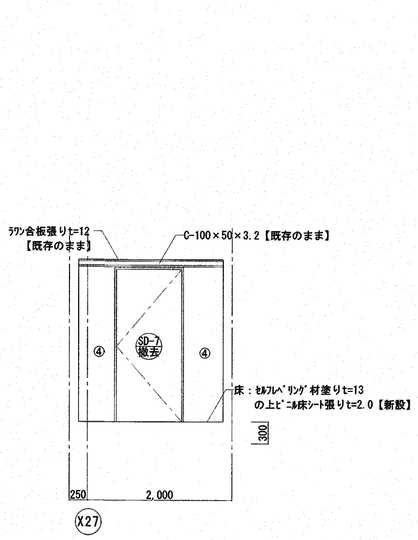


B展開

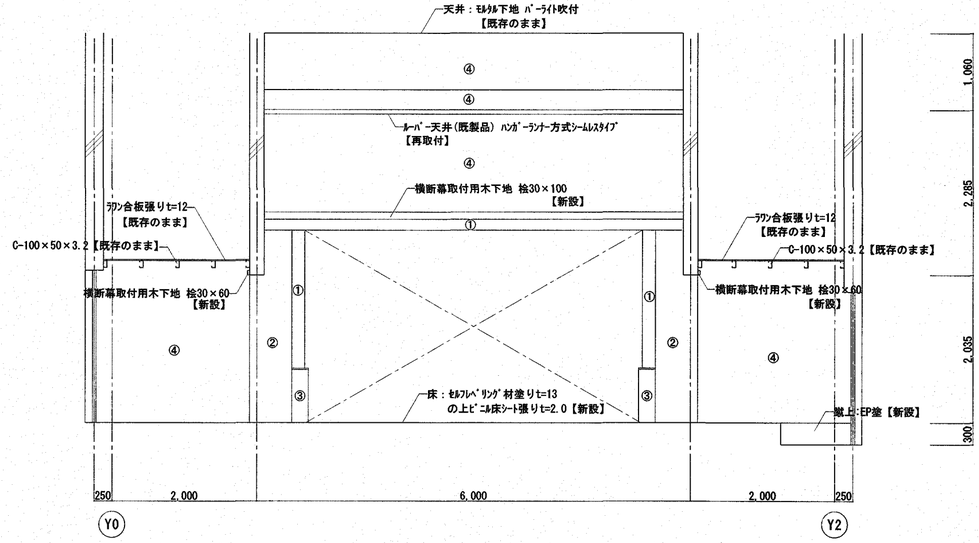


祭壇・倉庫

C展開



C' 展開



D展開

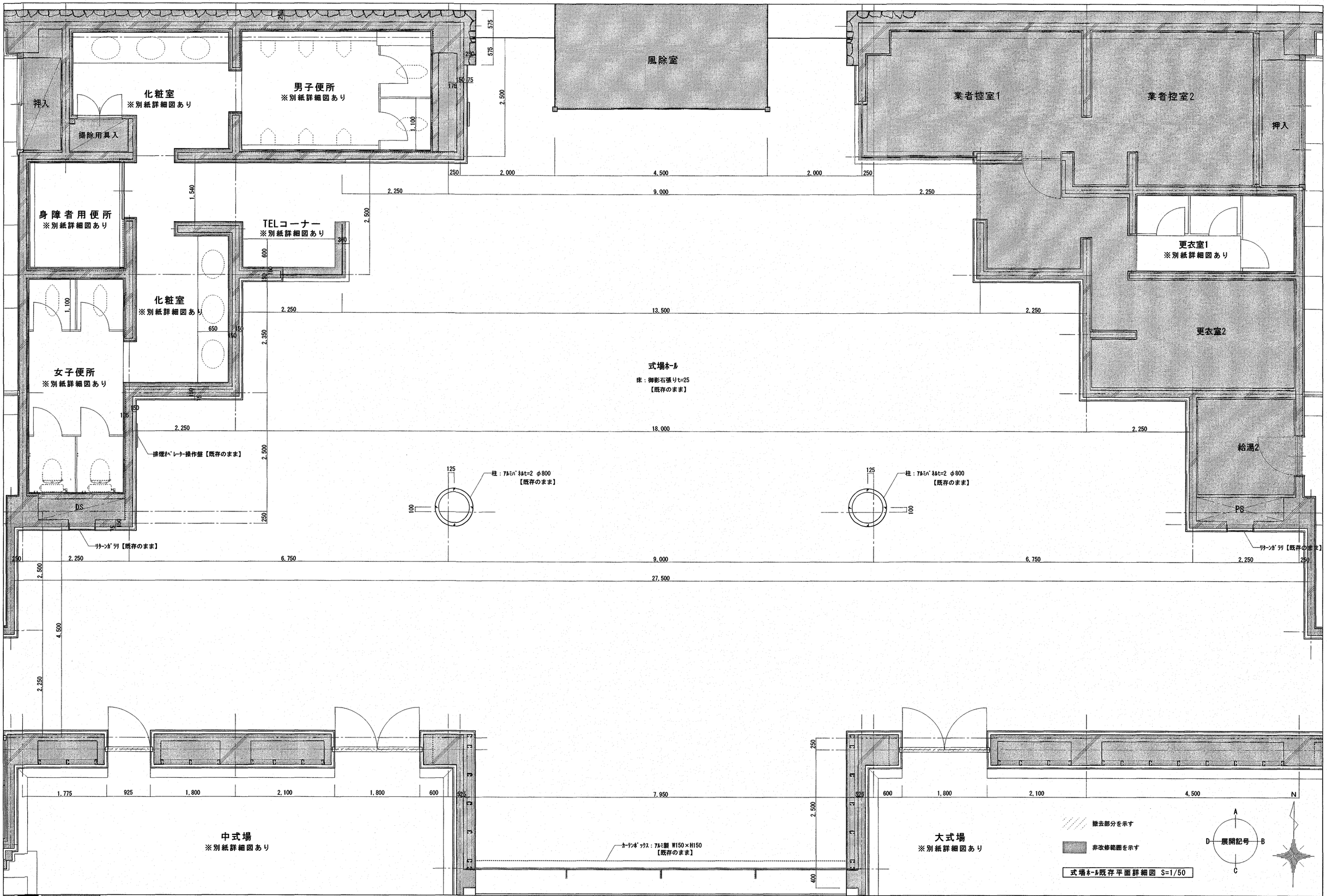
仕上表

番号	仕上げ	番号	仕上げ	番号	仕上げ	番号	仕上げ
①	壁：木胴縁30×45@300+GB-R t=12.5 漆喰ｸﾘｰﾑ t=3【新設】	⑤		⑨		⑬	
②	壁：木胴縁24×45@300+GB-R t=12.5 漆喰ｸﾘｰﾑ t=3【新設】	⑥		⑩		⑭	
③	腰壁：御影石貼りt=25【既存のまま】	⑦		⑪			
④	壁：下地調整(C-1)の上 内装薄塗材E【新設】	⑧		⑫			

高知市 都市建設部 公共建築課			
係	係長	課長補佐	課長
中村	藤岡	濱口	森本

工事名	高知市畜場式場棟改修工事	SEET NO A-23-1	CHECKED BY
図面名	大式場祭壇・倉庫 改修展開図	DATE	DRAWN BY 芝田
SCALE 1/60(A3=71%)	一級建築士事務所 高知県知事登録第956号 一級建築士 大臣登録第182598号 山口英治	高知市本町5-1-10 TEL 088-821-0230	

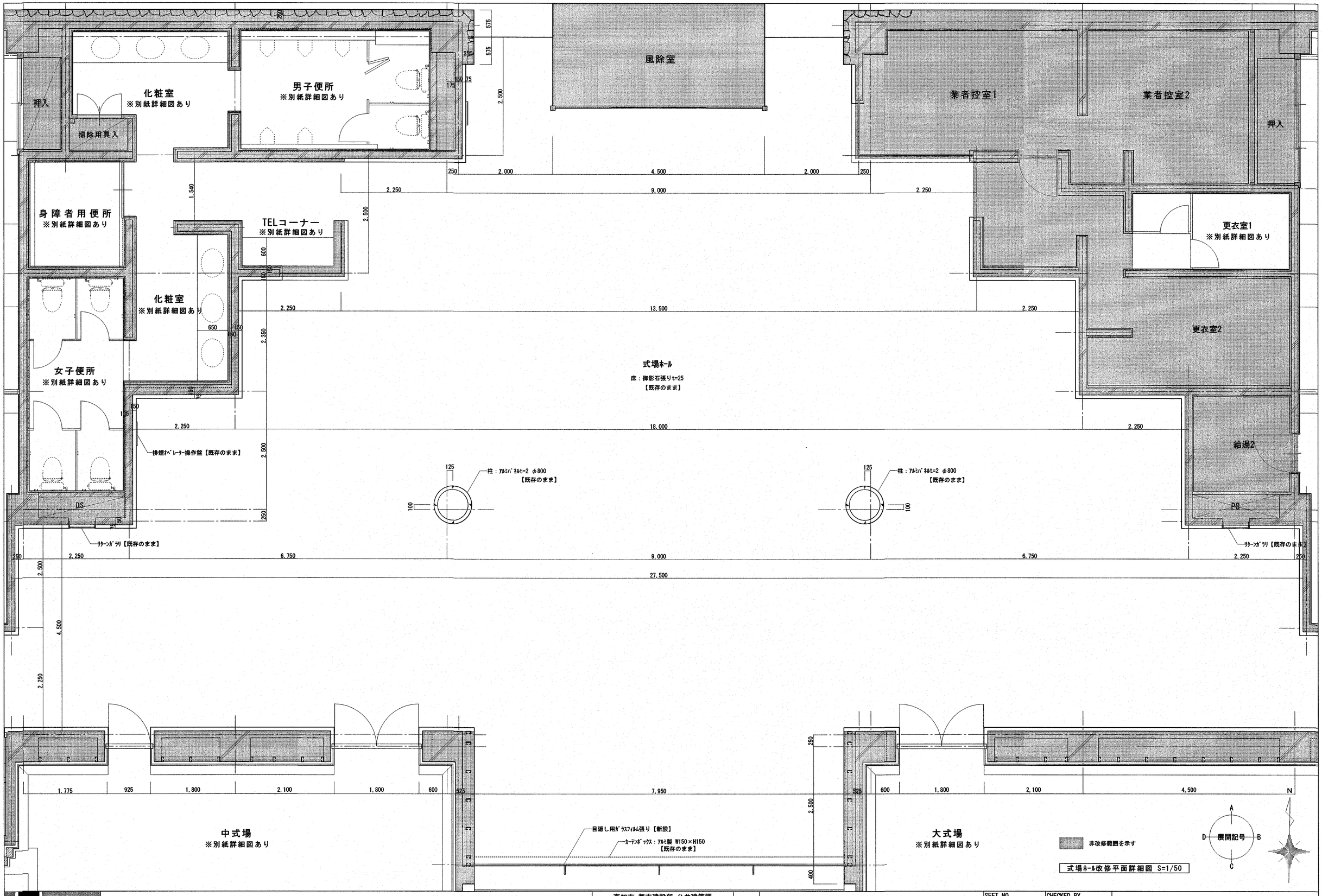
有限会社
山口英治建築設計事務所



高知市 都市建設部 公共建築課			
係	係 長	課長補佐	課 長
中村	笹岡	濱口	芝本

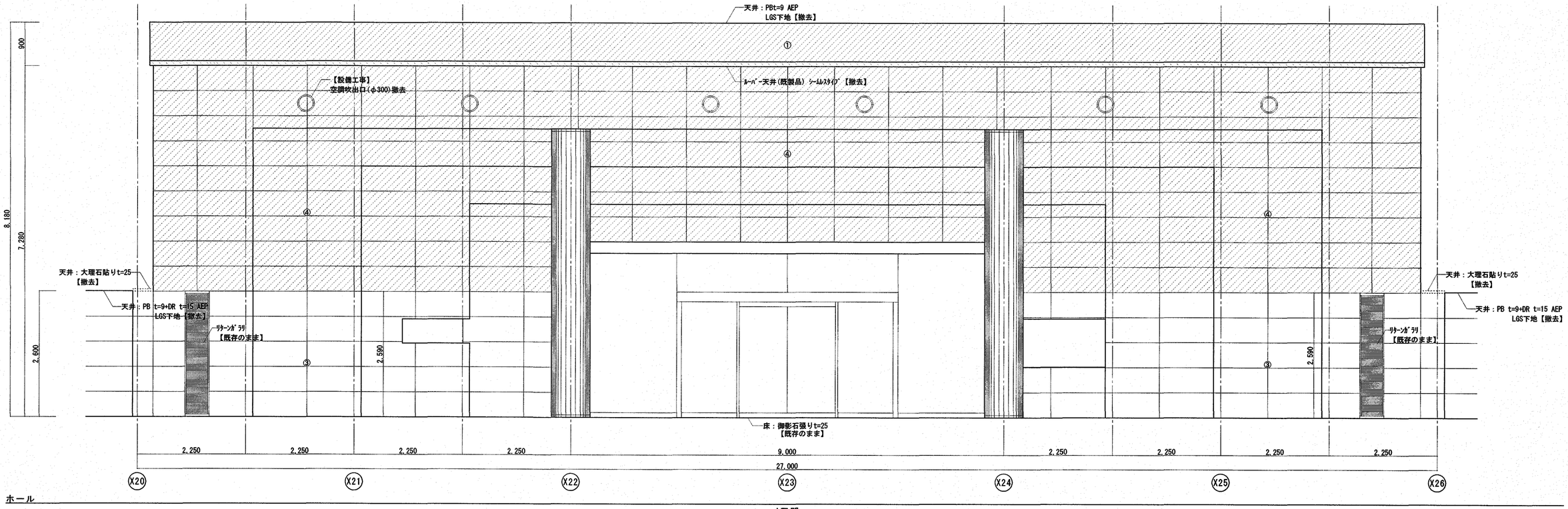
工事名	高知市斎場式場棟改修工事	SEET NO A-24	CHECKED BY
図面名	式場ﾎｰﾙ 既存平面詳細図	DATE	DRAWN BY 芝田
SCALE 1/50(A3=71%)	一級建築士事務所 高知県知事登録第956号 一級建築士 大臣登録第182598号 山口英治	高知市本町5-1-10 TEL 088-821-0230	

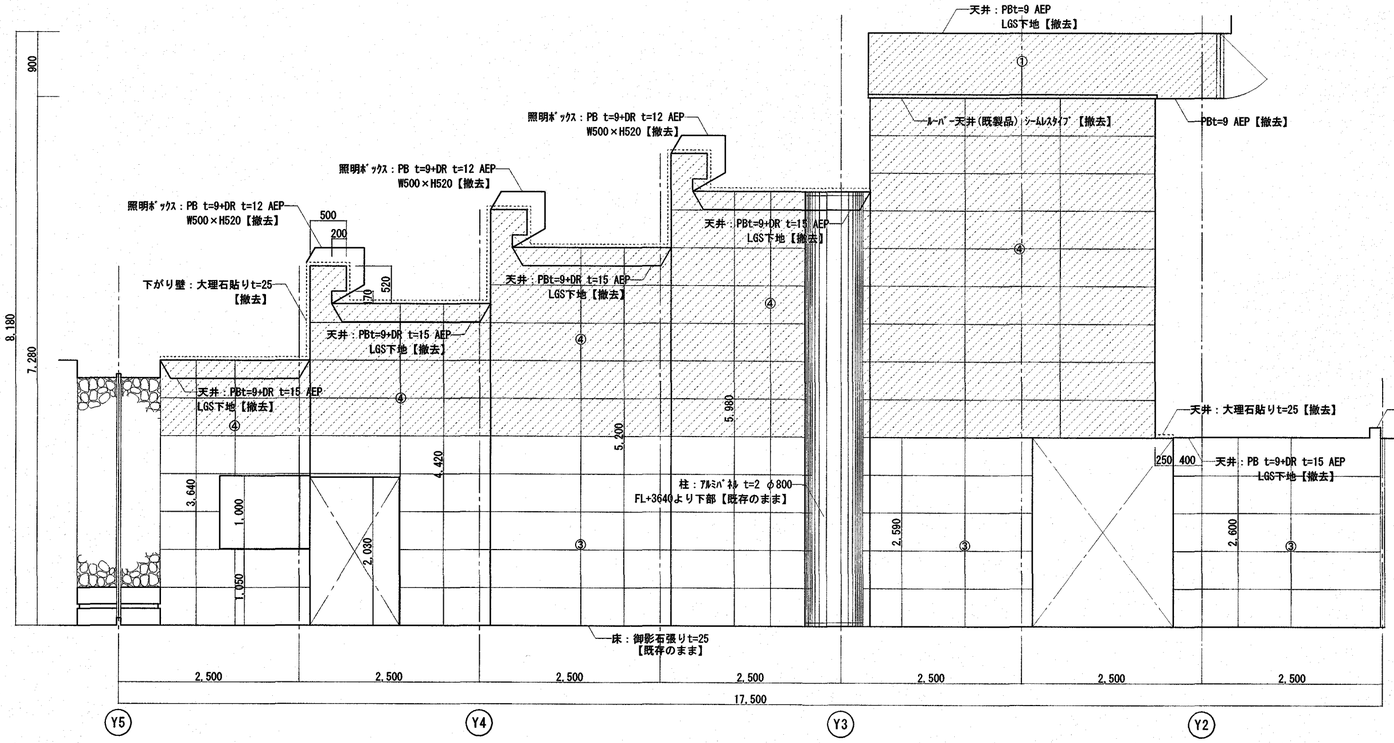
有限会社
山口英治建築設計事務所



高知市 都市建設部 公共建築課				工事名	高知市斎場式場棟改修工事	SEET NO A-25	CHECKED BY
係	係 長	課長補佐	課 長	図面名	式場ホール 改修平面詳細図	DATE	DRAWN BY 芝田
中村	笹岡	濱口	松本	SCALE 1/50(A3=71%)	一級建築士事務所 高知県知事登録第956号 一級建築士 大臣登録第182598号 山口英治	高知市本町5-1-10 TEL 088-821-0230	

有限会社
山口英治建築設計事務所

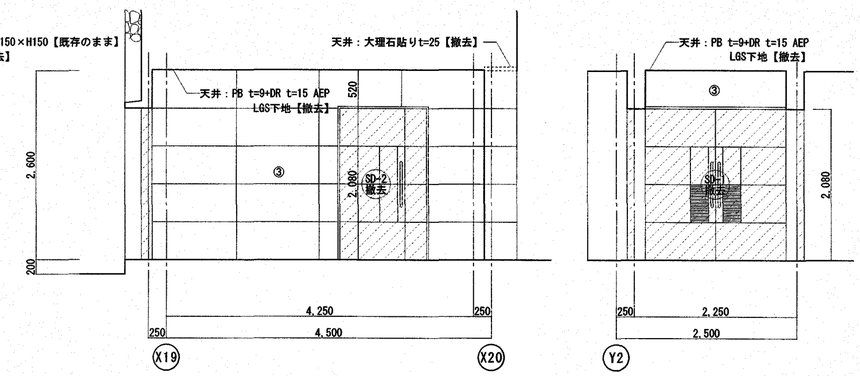




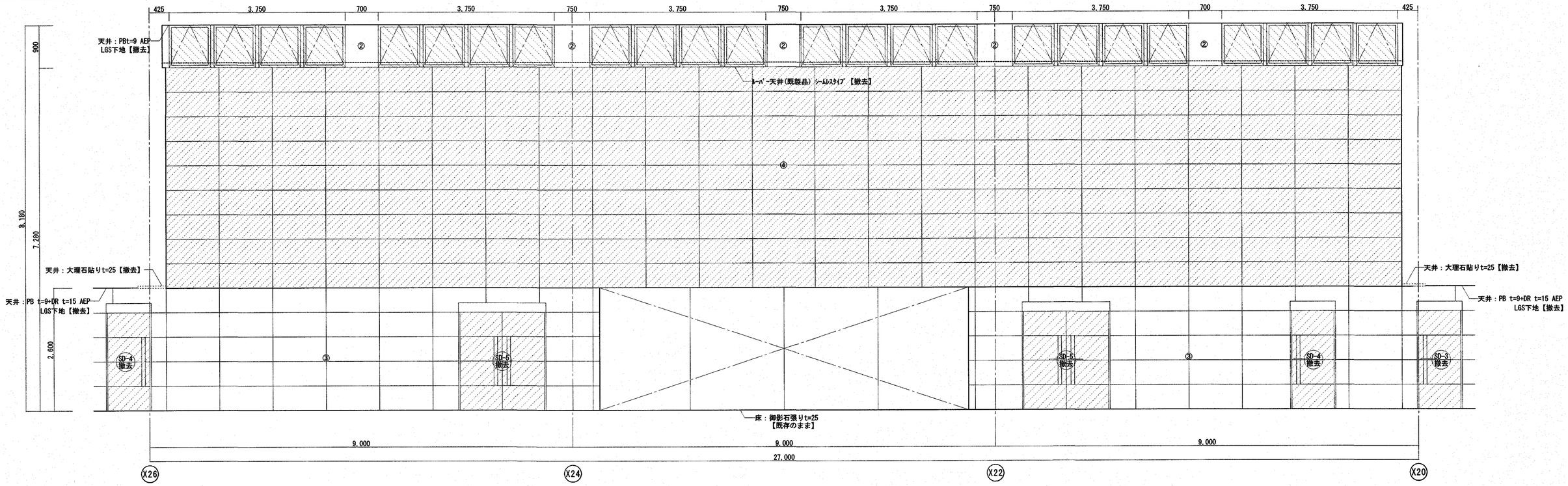
撤去を示す

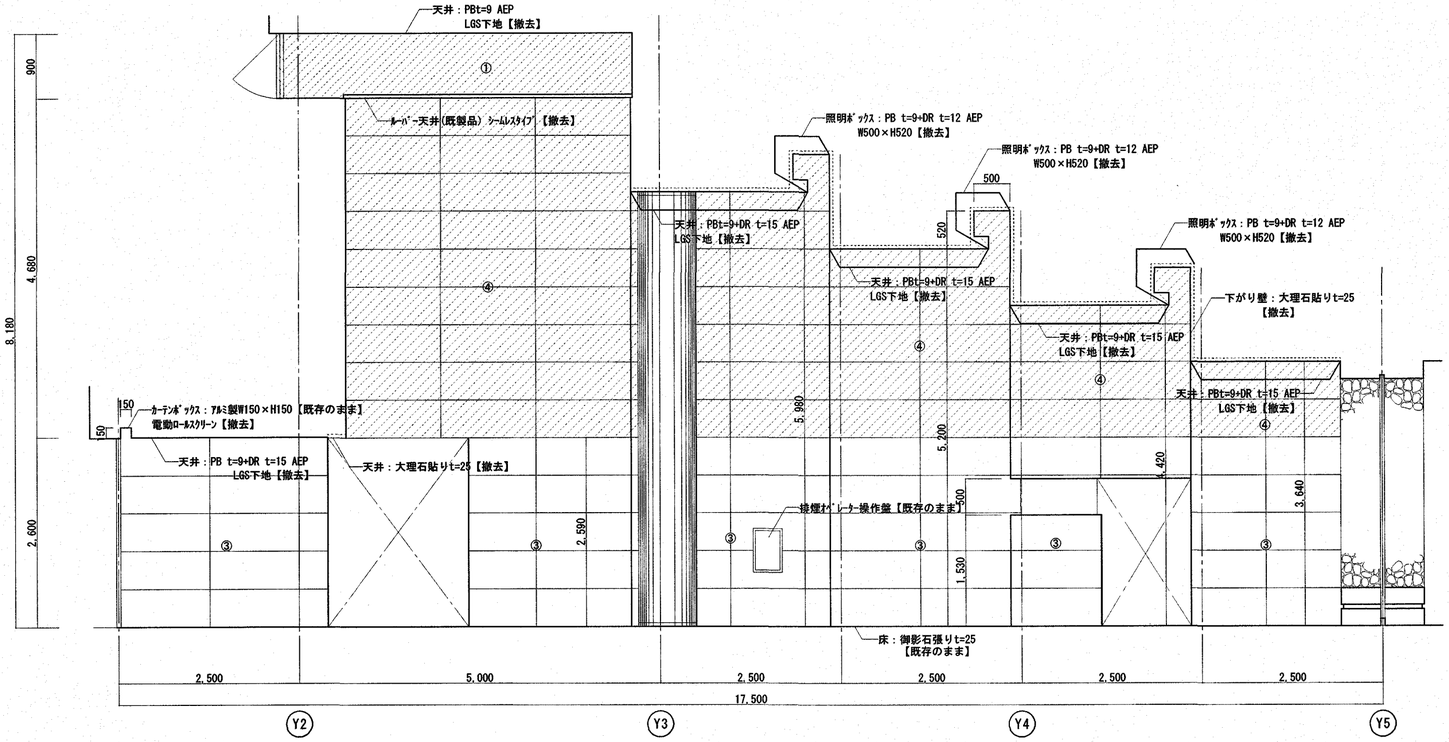
仕上表

番号	仕上げ
①	壁：PBt=9 AEP【撤去】
②	壁：モルタルコテ押え AEP【既存のまま】
③	壁：大理石貼りt=25【既存のまま】
④	壁：大理石貼りt=25【撤去】
⑤	



高知市 都市建設部 公共建築課	工事名	高知市斎場式場棟改修工事	SEET NO A-26	CHECKED BY	有限会社 山口英治建築設計事務所
係 / 係長 / 課長補佐 / 課長	図面名	式場ホール 既存展開図-1	DATE	DRAWN BY 芝田	
中村 / 笹岡 / 濱口 / 松本	SCALE 1/60(A3=71%)	一級建築士事務所 高知県知事登録第956号 一級建築士 大臣登録第182598号 山口英治	高知市本町5-1-10 TEL 088-821-0230		

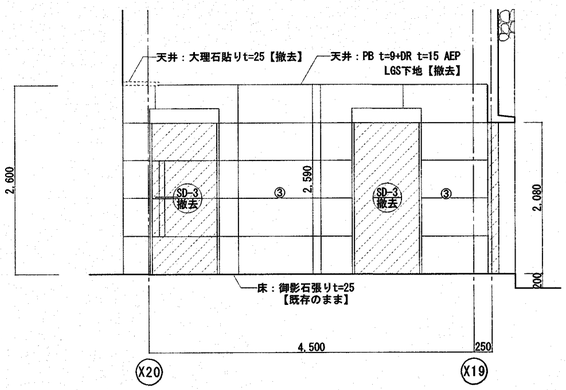


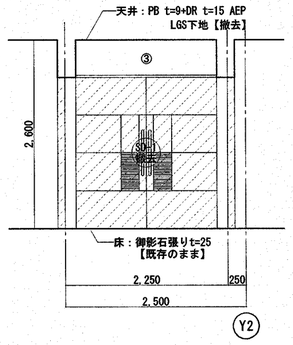


撤去を示す

仕上表

番号	仕上げ
①	壁：PBt=9 AEP【撤去】
②	壁：モルタルコテ押え AEP【既存のまま】
③	壁：大理石貼りt=25【既存のまま】
④	壁：大理石貼りt=25【撤去】
⑤	

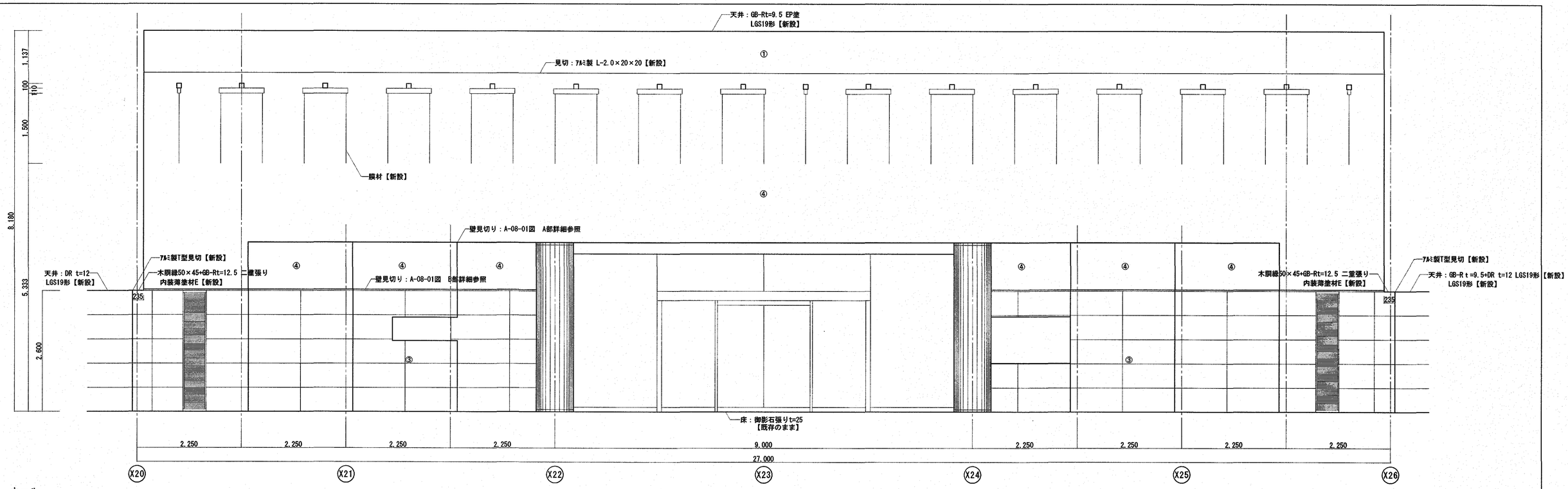


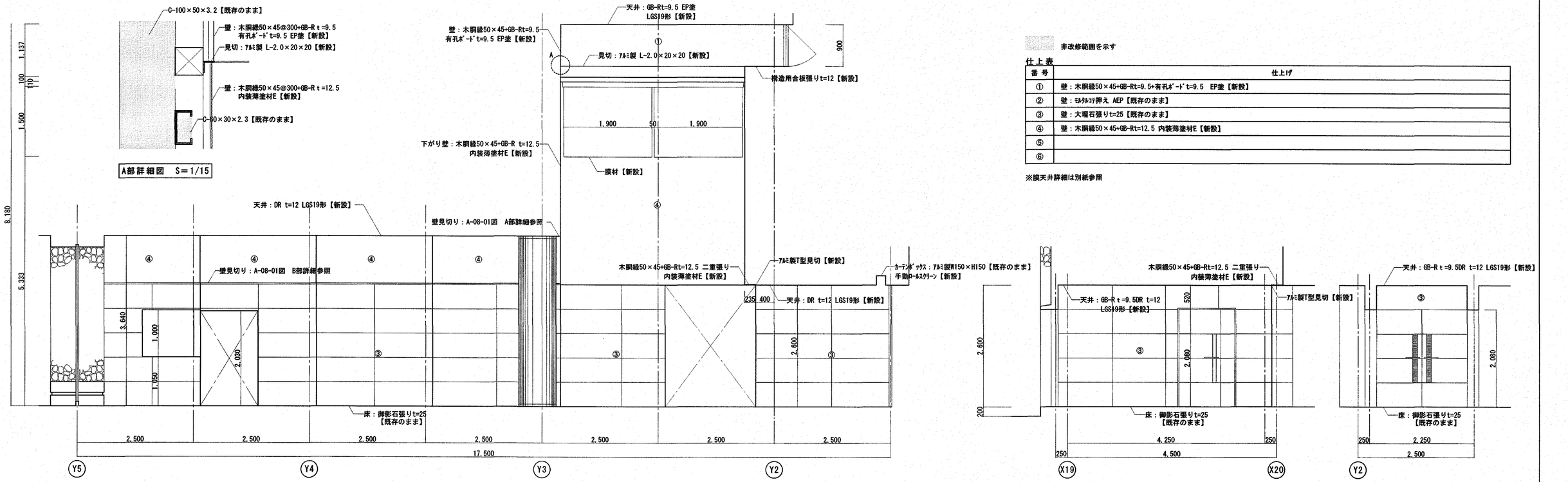


高知市 都市建設部 公共建築課					
係	係長	課長補佐	課長		
中村	笹岡	濱口	松本		

工事名	高知市斎場式場棟改修工事	SEET NO A-27	CHECKED BY
図面名	式場ホール 既存展開図-2	DATE	DRAWN BY 芝田
SCALE 1/60(A3=71%)	一級建築士事務所 高知県知事登録第956号 一級建築士 大臣登録第182598号 山口英治	高知市本町5-1-10 TEL 088-821-0230	

有限会社
山口英治建築設計事務所





非改修範囲を示す

仕上表

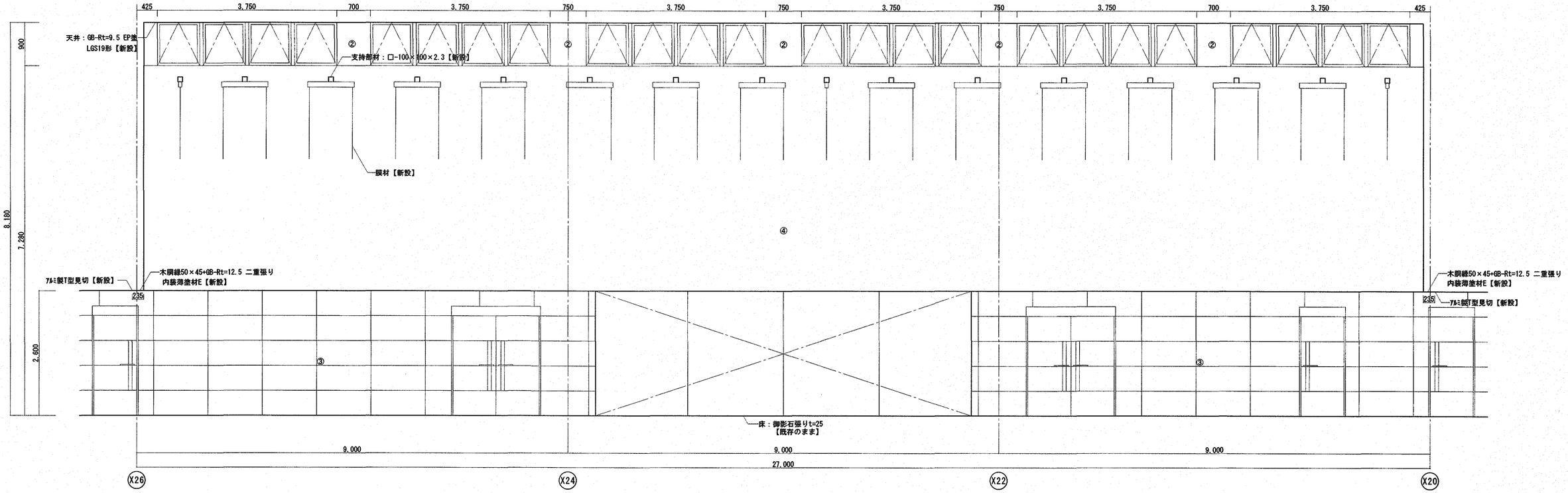
番号	仕上げ
①	壁：木胴縁50×45+GB-Rt=9.5+有孔ﾎﾞｰﾄﾞt=9.5　EP塗【新設】
②	壁：ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え AEP【既存のまま】
③	壁：大理石張りt=25【既存のまま】
④	壁：木胴縁50×45+GB-Rt=12.5 内装薄塗材E【新設】
⑤	
⑥	

※膜天井詳細は別紙参照

高知市 都市建設部 公共建築課			
係	係 長	課長補佐	課 長
中村	笹岡	濱口	松本

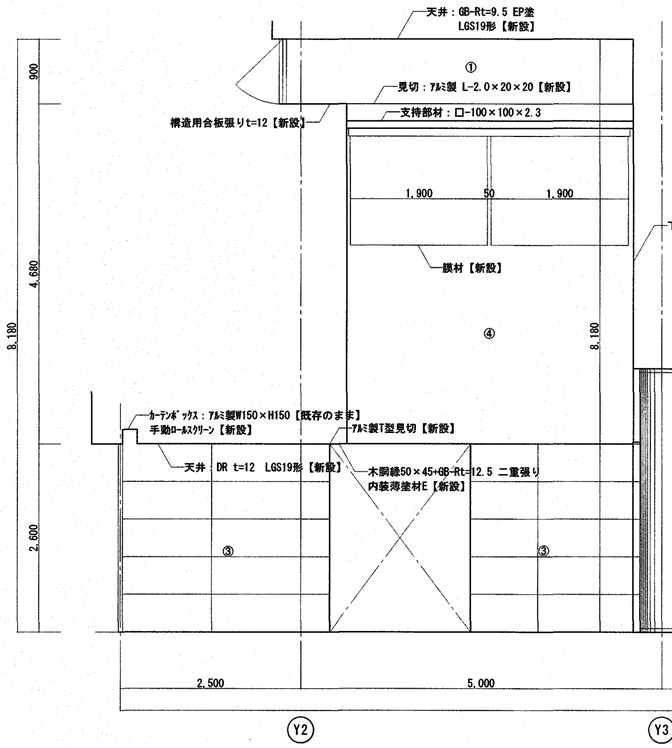
工事名	高知市斎場式場棟改修工事	SEET NO A-28	CHECKED BY
図面名	式場ﾎｰﾙ　改修展開図-1	DATE	DRAWN BY 芝田
SCALE 1/60(A3=71%)	一級建築士事務所　高知県知事登録第956号 一級建築士　大臣登録第182598号　山口英治	高知市本町5-1-10 TEL 088-821-0230	

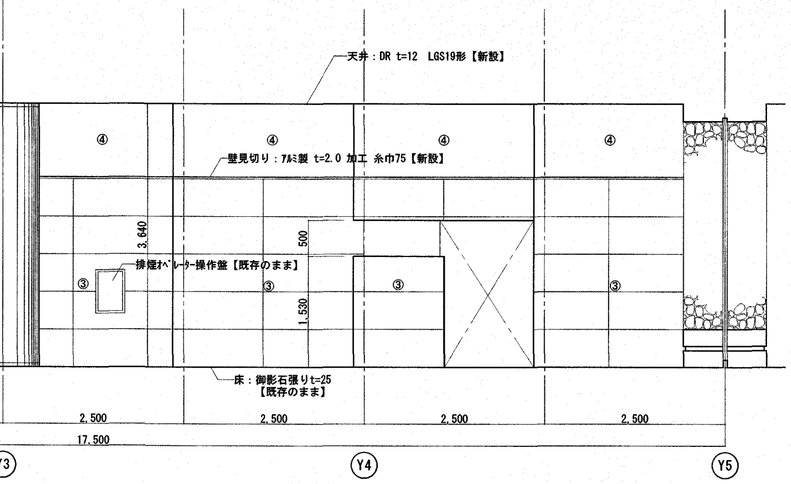
有限会社
山口英治建築設計事務所



ホール

A展開





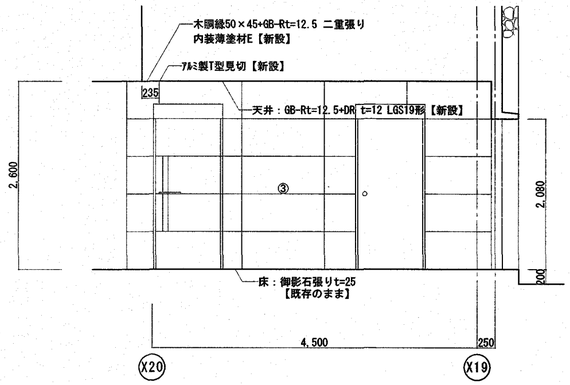
ホール

D展開

仕上表

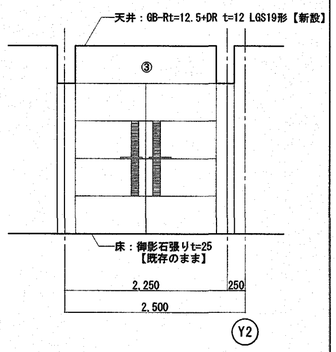
番号	仕上げ
①	壁：木胴縁50×45+GB-Rt=9.5+有孔ボード t=9.5 EP塗【新設】
②	壁：モルタルコテ押え AEP【既存のまま】
③	壁：大理石張りt=25【既存のまま】
④	壁：木胴縁50×45+GB-Rt=12.5 内装薄塗材E【新設】
⑤	
⑥	

※膜天井詳細は別紙参照



廊下

C展開

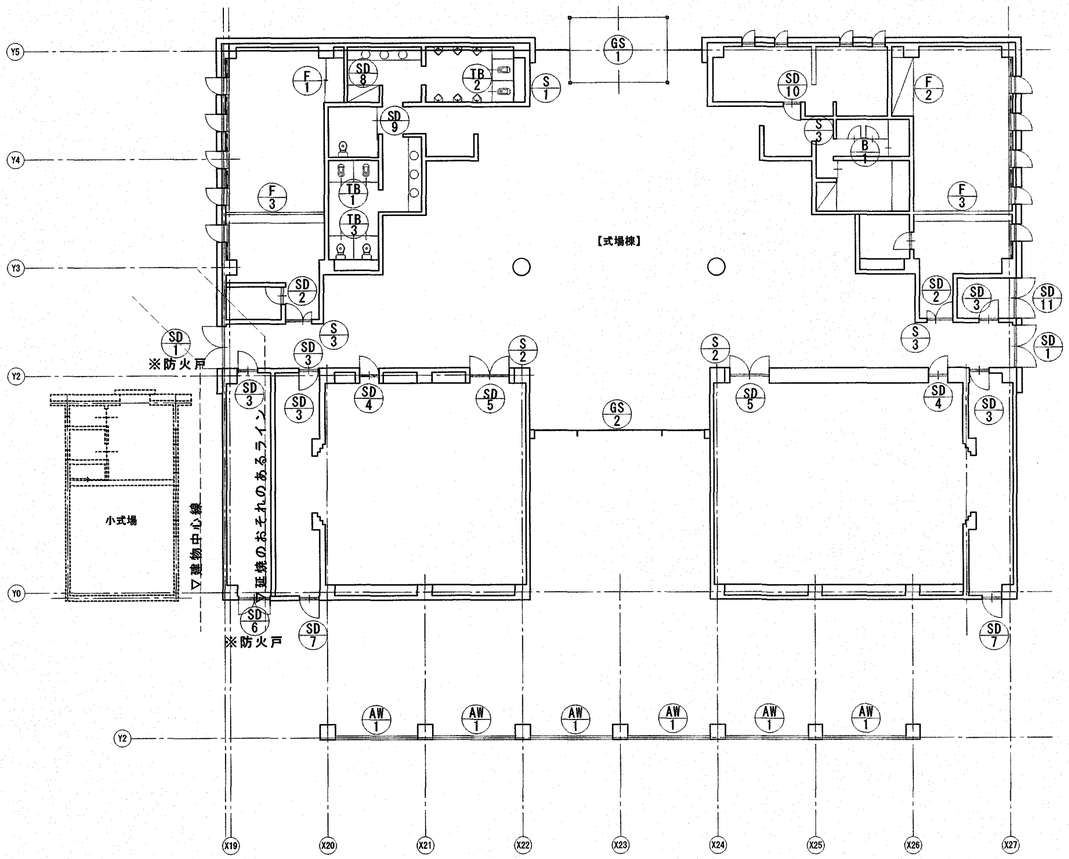


D展開

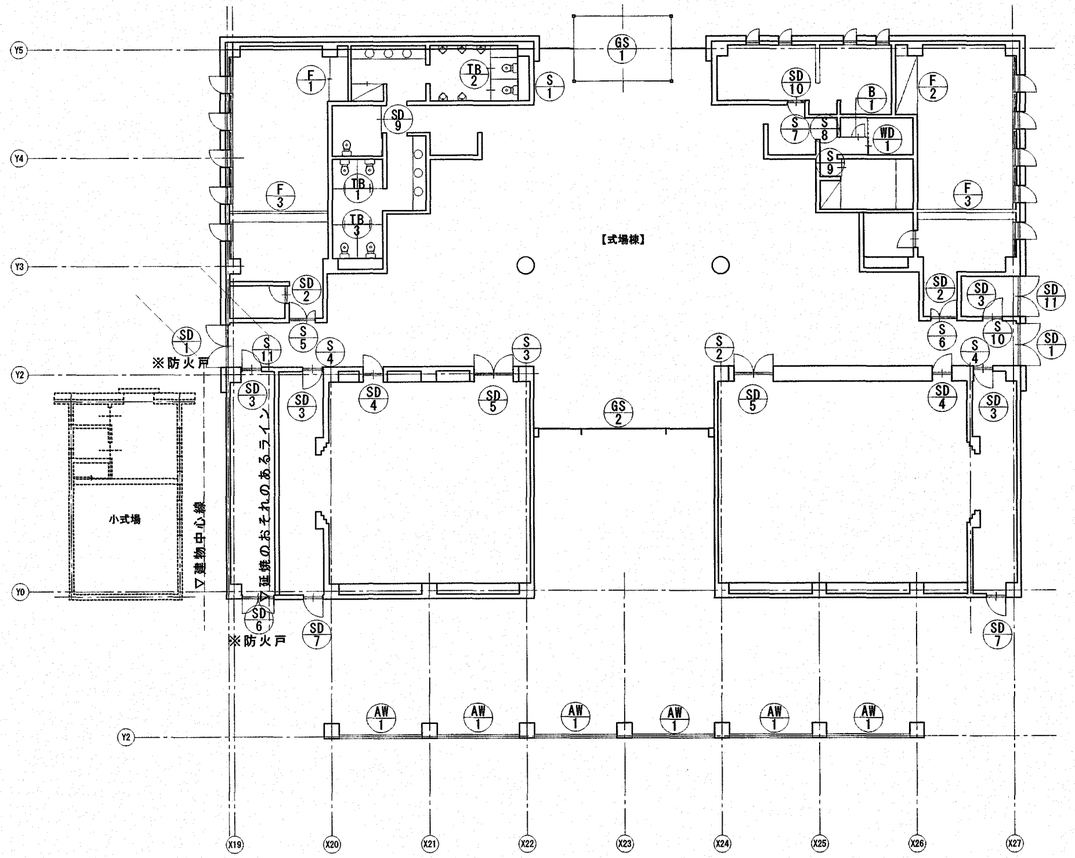
高知市 都市建設部 公共建築課			
係	係長	課長補佐	課長
中村	笹岡	濱口	谷水

工事名	高知市斎場式場棟改修工事	SEET NO A-29	CHECKED BY
図面名	式場ホール 改修展開図-2	DATE	DRAWN BY 芝田
SCALE 1/60(A3=71%)	一級建築士事務所 高知県知事登録第956号 一級建築士 大臣登録第182598号 山口英治	高知市本町5-1-10 TEL 088-821-0230	

有限会社
山口英治建築設計事務所



既存建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ S=1/200



改修建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ S=1/200

※新設するｻｲﾝS-2～S-11の設置位置は監督職員との協議による。

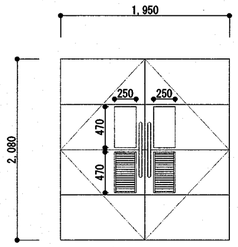
高知市 都市建設部 公共建築課			
係	係 長	課長補佐	課 長
中村	笹岡	濱口	松本

工事名	高知市斎場式場棟改修工事	SEET NO A-30	CHECKED BY
図面名	建具・ｻｲﾝｷｰﾌﾟﾗﾝ	DATE	DRAWN BY 芝田
SCALE 1/200(A3=71%)	一級建築士事務所 高知県知事登録第956号 一級建築士 大臣登録第182598号 山口英治	高知市本町5-1-10 TEL 088-821-0230	

有限会社
山口英治建築設計事務所

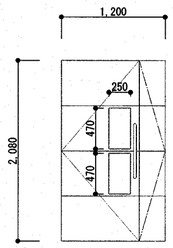
建具番号	建具種類	ケ所	SD 1	両開きｽﾁｰﾙﾄﾞｱ(ｶﾞﾗﾘ付)　扉・金物【撤去】	2

建具形状



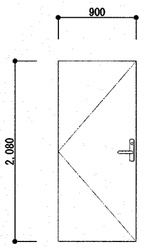
見込	100　60
仕上	ﾒﾗﾐﾝ焼付(ﾌﾞﾗｯｸ)、真鍮埋込目地
硝子	網入りﾄｰﾒｲ t=6.8
附属金物	ﾌﾛｱﾋﾝｼﾞ、ﾌﾗﾝｽ落し、ﾄﾞｱﾊﾝﾄﾞﾙ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、ｽﾁｰﾙｶﾞﾗﾘ
備考	

建具番号	建具種類	ケ所	SD 2	親子開きｽﾁｰﾙﾄﾞｱ　扉・金物【撤去】	2



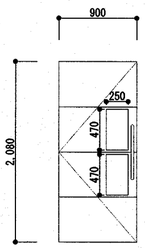
見込	100　60
仕上	ﾒﾗﾐﾝ焼付(ﾌﾞﾗｯｸ)、真鍮埋込目地
硝子	熱線吸収ｶﾞﾗｽ t=2
附属金物	ﾋﾟﾎﾞｯﾄﾋﾝｼﾞ、ﾌﾗﾝｽ落し、ﾄﾞｱﾊﾝﾄﾞﾙ、ﾄﾞｱﾁｪｯｸ SUS沓摺
備考	

建具番号	建具種類	ケ所	SD 3	片開きｽﾁｰﾙﾄﾞｱ　扉・金物【撤去】	4



見込	100　60
仕上	ﾒﾗﾐﾝ焼付(ﾌﾞﾗｯｸ)
硝子	
附属金物	ﾋﾟﾎﾞｯﾄﾋﾝｼﾞ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ本締錠付ｴｽｶﾁｵﾝﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、ﾄﾞｱﾁｪｯｸ SUS沓摺
備考	

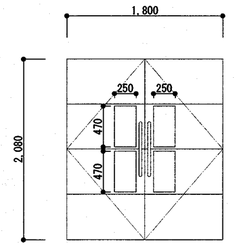
建具番号	建具種類	ケ所	SD 4	片開きｽﾁｰﾙﾄﾞｱ　扉・金物【撤去】	2



見込	100　60
仕上	ﾒﾗﾐﾝ焼付(ﾌﾞﾗｯｸ)、真鍮埋込目地
硝子	熱線吸収ｶﾞﾗｽ t=2
附属金物	ﾌﾛｱﾋﾝｼﾞ、ﾄﾞｱﾊﾝﾄﾞﾙ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠
備考	

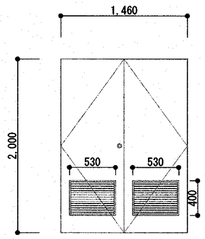
建具番号	建具種類	ケ所	SD 5	両開きｽﾁｰﾙﾄﾞｱ　扉・金物【撤去】	2

建具形状



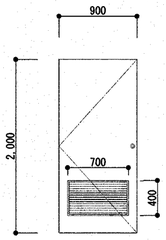
見込	100　60
仕上	ﾒﾗﾐﾝ焼付(ﾌﾞﾗｯｸ)、真鍮埋込目地
硝子	熱線吸収ｶﾞﾗｽ t=2
附属金物	ﾌﾛｱﾋﾝｼﾞ、ﾌﾗﾝｽ落し、ﾄﾞｱﾊﾝﾄﾞﾙ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠
備考	

建具番号	建具種類	ケ所	SD 6	両開きｽﾁｰﾙﾄﾞｱ(ｶﾞﾗﾘ付)　扉・金物【撤去】	1



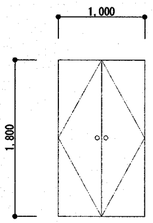
見込	100　60
仕上	ﾒﾗﾐﾝ焼付(ﾌﾞﾗｯｸ)
硝子	
附属金物	ﾋﾟﾎﾞｯﾄﾞﾋﾝｼﾞ、ﾌﾗﾝｽ落し、ﾛｯｸ錠、ﾄﾞｱﾁｪｯｸ、ｽﾁｰﾙｶﾞﾗﾘ
備考	

建具番号	建具種類	ケ所	SD 7	片開きｽﾁｰﾙﾄﾞｱ(ｶﾞﾗﾘ付)　扉・金物【撤去】	2



見込	100　60
仕上	ﾒﾗﾐﾝ焼付(ﾌﾞﾗｯｸ)
硝子	
附属金物	ﾋﾟﾎﾞｯﾄﾋﾝｼﾞ、ﾛｯｸ錠、ﾄﾞｱﾁｪｯｸ ｽﾁｰﾙｶﾞﾗﾘ
備考	

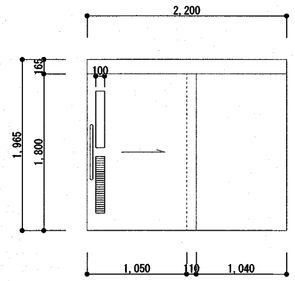
建具番号	建具種類	ケ所	SD 8	両開きｽﾁｰﾙﾄﾞｱ　扉・金物【撤去】	1



見込	100　60
仕上	ﾒﾗﾐﾝ焼付(ﾌﾞﾗｯｸ)、両面ﾌﾗｯｼｭ
硝子	
附属金物	丁番、ｹｰｽﾊﾝﾄﾞﾙ錠、ｱｰﾑｽﾄｯﾊﾟｰ
備考	

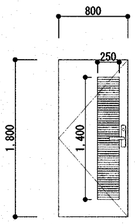
建具番号	建具種類	ケ所	SD 9	開閉装置付引込ｽﾁｰﾙﾄﾞｱ(ｶﾞﾗﾘ付)　吊車・自閉式引戸装置【撤去】	1

建具形状



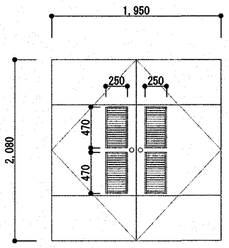
見込	40
仕上	
硝子	
附属金物	自閉装置
備考	既存自閉装置：三和ｼｬｯﾀｰ工業(株)製

建具番号	建具種類	ケ所	SD 10	片開きｽﾁｰﾙﾄﾞｱ(ｶﾞﾗﾘ付)　扉・金物【撤去】	1



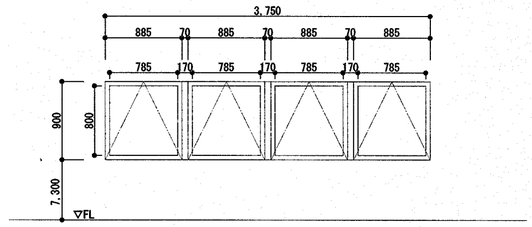
見込	100　60
仕上	ﾒﾗﾐﾝ焼付(ﾌﾞﾗｯｸ)
硝子	
附属金物	ﾋﾟﾎﾞｯﾄﾋﾝｼﾞ、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、ﾄﾞｱﾁｪｯｸ ｽﾁｰﾙｶﾞﾗﾘ
備考	

建具番号	建具種類	ケ所	SD 11	片開きｽﾁｰﾙﾄﾞｱ(ｶﾞﾗﾘ付)　扉・金物【撤去】	1



見込	100　60
仕上	ﾒﾗﾐﾝ焼付(ﾌﾞﾗｯｸ)、真鍮埋込目地
硝子	
附属金物	ﾋﾟﾎﾞｯﾄﾋﾝｼﾞ、ｹｰｽﾊﾝﾄﾞﾙ錠、ﾄﾞｱﾁｪｯｸ ｽﾁｰﾙｶﾞﾗﾘ
備考	

建具番号	建具種類	ケ所	AW 1	4連突出し排煙窓(電動ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ付)　ｶﾞﾗｽ・框・電動ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ【撤去】	6



※操作盤【既存のまま】(盤ｻｲｽﾞ：W260×H400×D150程度)

見込	70
仕上	ｱﾙﾐ
硝子	強化ｶﾞﾗｽt=3
附属金物	ｱﾝｸﾞﾙﾋﾟｰｽ、付属金物一式 電動ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ(電動駆動ﾓｰﾀｰ，開閉装置(ﾁｪｰﾝ式))
備考	既存ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ及び操作盤：(株)豊和製，6連動ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ仕様

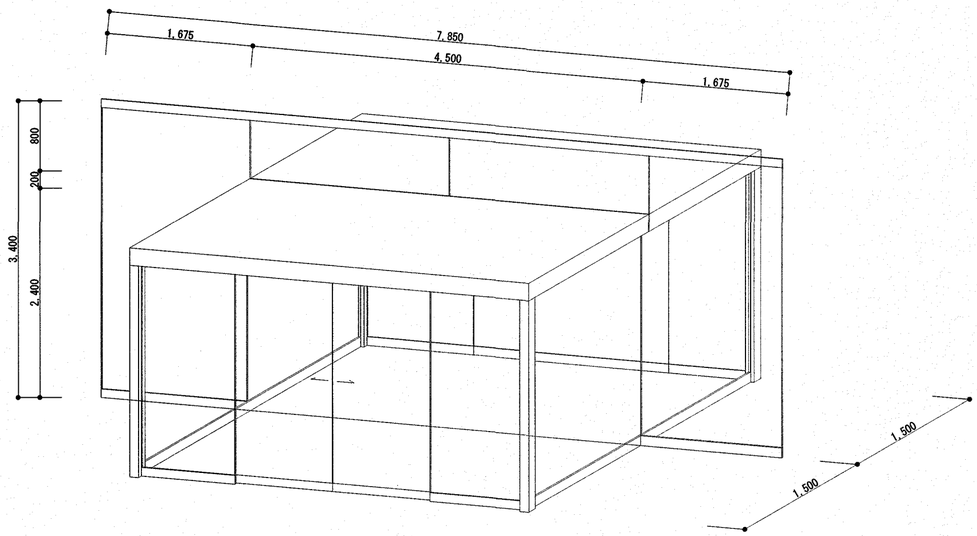
高知市 都市建設部 公共建築課			
係	係長	課長補佐	課長
中村	笹岡	濱口	松本

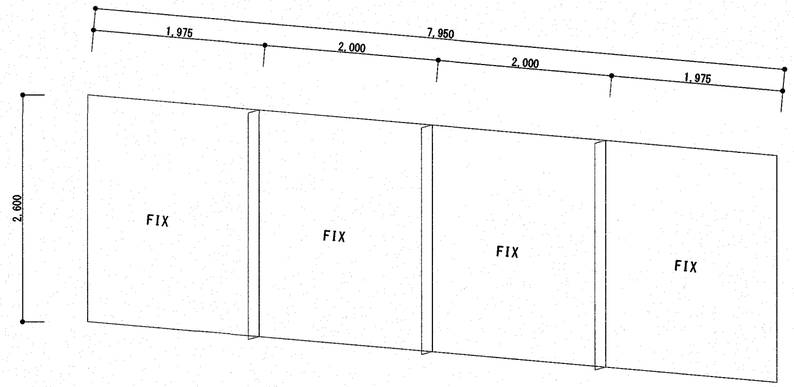
工事名	高知市斎場式場棟改修工事	SEET NO A-31	CHECKED BY
図面名	既存金属建具表-1	DATE	DRAWN BY 芝田
SCALE 1/50(A3=71%)	一級建築士事務所　高知県知事登録第956号 一級建築士　大臣登録第182598号　山口英治	高知市本町5-1-10 TEL 088-821-0230	

有限会社
山口英治建築設計事務所

建具番号	建具種類	ケ所	GS 1	引分け自動ﾄﾞｱ　ｴﾝｼﾞﾝ装置【撤去】	S=1/50	1	GS 2	ｶﾞﾗｽｽｸﾘｰﾝ　【既存のまま】	S=1/50	1

建具形状

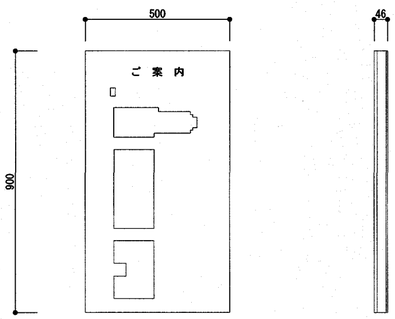




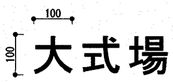
見込	30　100	30
仕上		
硝子		強化ｶﾞﾗｽt=8、t=12
附属金物	ｴﾝｼﾞﾝ装置（2か所）	枠SUS304t=3
備考	既存自動ﾄﾞｱ：ﾄﾞﾘｰﾑ自動ﾄﾞｱ （扶桑電機工業(株)）	

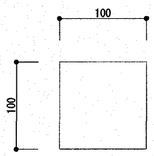
建具番号	ｻｲﾝ種類	ケ所	S 1	総合案内板　【撤去】	S=1/15	1	S 2	室名札(箱文字)　【撤去】	S=1/15	2	S 3	室名札(ﾌﾟﾚｰﾄ)　【撤去】	S=1/5	3

サイン形状



※文字種類
・大式場
・中式場

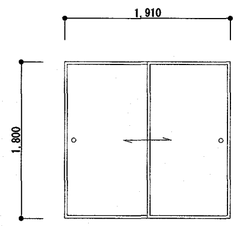
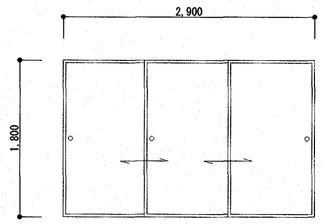


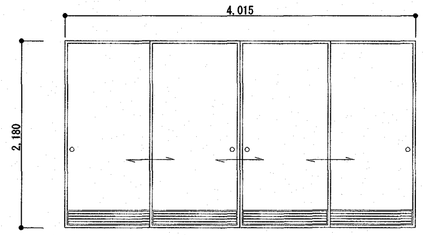


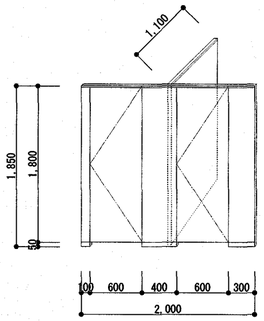
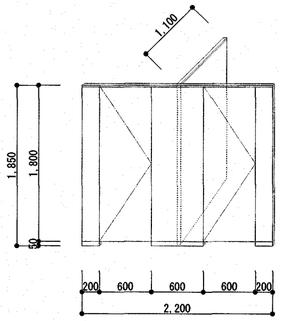
見込	46		
仕上	ｱﾙﾐ複合板 t=5【撤去】	SUS　焼付塗装（1文字100角）	SUS　焼付塗装
硝子			
附属金物	SUS枠【既存のまま】	取付：直接接着	取付：直接接着
備考			※撤去箇所は監督職員へ確認

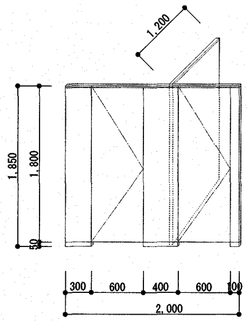
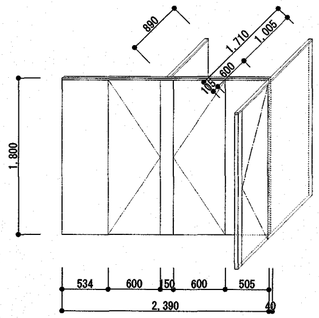
高知市 都市建設部 公共建築課				工事名	高知市斎場式場棟改修工事	SEET NO A-32	CHECKED BY
係	係長	課長補佐	課長	図面名	既存金属建具表-2・ｻｲﾝ表	DATE	DRAWN BY 芝田
中村	笹岡	濱口	松本	SCALE 1/5, 1/15, 1/50(A3=71%)	一級建築士事務所　高知県知事登録第956号 一級建築士　大臣登録第182598号　山口英治	高知市本町5-1-10 TEL 088-821-0230	

有限会社
山口英治建築設計事務所

建具番号	建具種類	ケ所		
F-1	2枚引違い襖 【撤去】	1	F-2	3枚引違い襖 【撤去】
建具形状				
見込	21		21	
仕上	本島の子張 枠：桧(白木)		本島の子張 枠：桧(白木)	
硝子				
附属金物	引手		引手	
備考				

建具番号	建具種類	ケ所		
F-3	4枚引違い襖(ｶﾞﾗﾘ付) 【撤去】	2		
建具形状				
見込	30			
仕上	本島の子張 枠：桧(白木)			
硝子				
附属金物	引手、真鍮ﾌﾗｯﾀｰﾚｰﾙ、上框ﾌﾗｯﾄﾊﾞｰt=3、戸車			
備考				

建具番号	建具種類	ケ所		
TB-1	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ 【撤去】	1	TB-2	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ 【撤去】
建具形状				
見込	40		40	
仕上	ﾒﾗﾐﾝ化粧板		ﾒﾗﾐﾝ化粧板	
硝子				
附属金物	ﾗﾊﾞﾄﾘｰﾋﾝｼﾞ、ｽﾄﾗｲｸ、表示錠		ﾗﾊﾞﾄﾘｰﾋﾝｼﾞ、ｽﾄﾗｲｸ、表示錠	
備考				

建具番号	建具種類	ケ所		
TB-3	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ 【撤去】	1	B-1	更衣ﾌﾞｰｽ 【撤去】
建具形状				
見込	40		40	
仕上	ﾒﾗﾐﾝ化粧板		ﾒﾗﾐﾝ化粧板	
硝子				
附属金物	ﾗﾊﾞﾄﾘｰﾋﾝｼﾞ、ｽﾄﾗｲｸ、表示錠		付属金物一式	
備考				

建具番号	建具種類	ケ所		
建具形状				
見込				
仕上				
硝子				
附属金物				
備考				

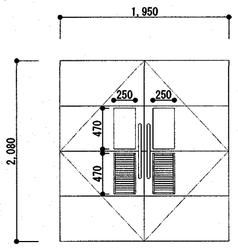
高知市 都市建設部 公共建築課						
係	係長	課長補佐	課長	工事名	高知市斎場式場棟改修工事	SEET NO A-33 / CHECKED BY
中村	笹岡	濱口	松本	図面名	既存木製建具表	DATE / DRAWN BY 芝田
				SCALE 1/50(A3=71%)	一級建築士事務所 高知県知事登録第956号 一級建築士 大臣登録第182598号 山口英治	高知市本町5-1-10 TEL 088-821-0230

有限会社
山口英治建築設計事務所

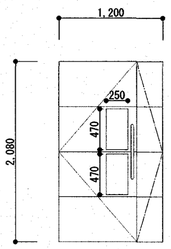
建具番号	建具種類	ケ所	建具番号	建具種類	ケ所	建具番号	建具種類	ケ所	建具番号	建具種類	ケ所
SD 1	両開きｽﾁｰﾙﾄﾞｱ(ｶﾞﾗﾘ付)　扉・金物【新設】	2	SD 2	親子開きｽﾁｰﾙﾄﾞｱ　扉・金物【新設】	2	SD 3	片開きｽﾁｰﾙﾄﾞｱ　扉・金物【新設】	4	SD 4	片開きｽﾁｰﾙﾄﾞｱ　扉・金物【新設】	2

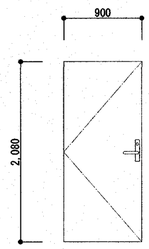
※1ヶ所：防火戸

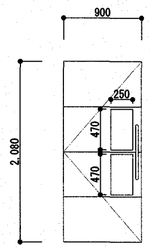
建具形状



※ﾌﾛｱﾋﾝｼﾞ改修は既存ﾌﾟﾚｰﾄの廻り20mmを
ｶｯﾀｰ切りの上取替、その後ﾓﾙﾀﾙ詰め補修
(既存ﾌﾟﾚｰﾄ450*150)







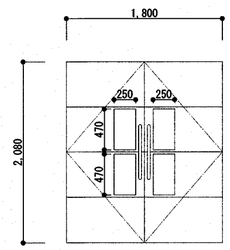
※ﾌﾛｱﾋﾝｼﾞ改修は既存ﾌﾟﾚｰﾄの廻り20mmを
ｶｯﾀｰ切りの上取替、その後ﾓﾙﾀﾙ詰め補修
(既存ﾌﾟﾚｰﾄ300*150)

見　込	100　60	100　60	100　60	100　60
仕　上	ｱｸﾘﾙ焼付(ﾌﾞﾗｯｸ)、真鍮埋込目地	ｱｸﾘﾙ焼付(ﾌﾞﾗｯｸ)、真鍮埋込目地	ｱｸﾘﾙ焼付(ﾌﾞﾗｯｸ)	ｱｸﾘﾙ焼付(ﾌﾞﾗｯｸ)、真鍮埋込目地
硝　子	網入りﾄｰﾒｲ t=6.8	強化ｶﾞﾗｽ t=5		強化ｶﾞﾗｽ t=5
附属金物	ﾌﾛｱﾋﾝｼﾞ、フランス落し、ﾄﾞｱﾊﾝﾄﾞﾙ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、ｽﾁｰﾙ可動ｶﾞﾗﾘ SUS製防虫網戸	ｽﾃﾝﾚｽFB、丁番、フランス落し、ﾄﾞｱﾊﾝﾄﾞﾙ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、ﾄﾞｱﾁｪｯｸ、SUS沓摺	ｽﾃﾝﾚｽFB、丁番、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、ﾄﾞｱﾁｪｯｸ、SUS沓摺	ﾌﾛｱﾋﾝｼﾞ、ﾄﾞｱﾊﾝﾄﾞﾙ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠
備　考	防火設備告示1360号			

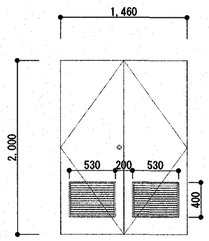
建具番号	建具種類	ケ所	建具番号	建具種類	ケ所	建具番号	建具種類	ケ所	建具番号	建具種類	ケ所
SD 5	両開きｽﾁｰﾙﾄﾞｱ　扉・金物【新設】	2	SD 6	両開きｽﾁｰﾙﾄﾞｱ(ｶﾞﾗﾘ付)　扉・金物【新設】既存枠DP塗り【新設】	1	SD 7	片開きｽﾁｰﾙﾄﾞｱ(ｶﾞﾗﾘ付)　扉・金物【新設】既存枠DP塗り【新設】	2	SD 8	両開きｽﾁｰﾙﾄﾞｱ　扉・金物【新設】	1

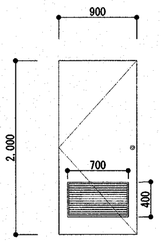
※防火戸

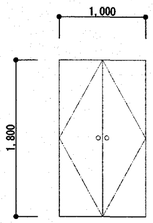
建具形状



※ﾌﾛｱﾋﾝｼﾞ改修は既存ﾌﾟﾚｰﾄの廻り20mmを
ｶｯﾀｰ切りの上取替、その後ﾓﾙﾀﾙ詰め補修
(既存ﾌﾟﾚｰﾄ300*150)



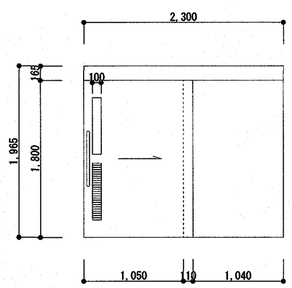


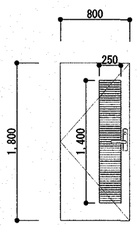


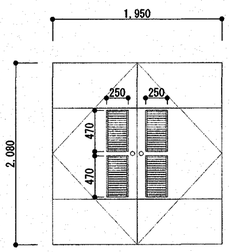
見　込	100　60	100　60	100　60	100　60
仕　上	ｱｸﾘﾙ焼付(ﾌﾞﾗｯｸ)、真鍮埋込目地	ｱｸﾘﾙ焼付(ﾌﾞﾗｯｸ)	ｱｸﾘﾙ焼付(ﾌﾞﾗｯｸ)	ｱｸﾘﾙ焼付(ﾌﾞﾗｯｸ)、両面ﾌﾗｯｼｭ
硝　子	強化ｶﾞﾗｽ t=5			
附属金物	ﾌﾛｱﾋﾝｼﾞ、フランス落し、ﾄﾞｱﾊﾝﾄﾞﾙ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠	ｽﾃﾝﾚｽFB、丁番、フランス落し、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、ﾄﾞｱﾁｪｯｸ ｽﾁｰﾙ可動ｶﾞﾗﾘ、SUS製防虫網戸	ｽﾃﾝﾚｽFB、丁番、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、ﾄﾞｱﾁｪｯｸ ｽﾁｰﾙｶﾞﾗﾘ、SUS製防虫網戸	ｽﾃﾝﾚｽFB、丁番、ｹｰｽﾊﾝﾄﾞﾙ錠、ｱｰﾑｽﾄｯﾊﾟｰ
備　考		防火設備告示1360号		

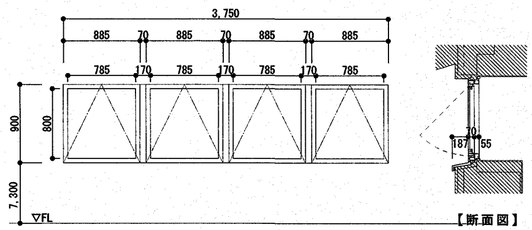
建具番号	建具種類	ケ所	建具番号	建具種類	ケ所	建具番号	建具種類	ケ所	建具番号	建具種類	ケ所
SD 9	開閉装置付引込ｽﾁｰﾙﾄﾞｱ(ｶﾞﾗﾘ付)　吊車・自閉式引戸装置【新設】	1	SD 10	片開きｽﾁｰﾙﾄﾞｱ(ｶﾞﾗﾘ付)　扉・金物【新設】	1	SD 11	片開きｽﾁｰﾙﾄﾞｱ(ｶﾞﾗﾘ付)　扉・金物【新設】既存枠DP塗り【新設】	1	AW 1	4連突出し排煙窓(電動ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ付)　【かぶせ工法】	6

建具形状









見　込	40	100　60	100　60	70
仕　上	ｱｸﾘﾙ焼付(ﾌﾞﾗｯｸ)	ｱｸﾘﾙ焼付(ﾌﾞﾗｯｸ)	ｱｸﾘﾙ焼付(ﾌﾞﾗｯｸ)、真鍮埋込目地	ｱﾙﾐ
硝　子				強化ｶﾞﾗｽt=5
附属金物	吊車、自閉式上吊引戸装置	ｽﾃﾝﾚｽFB、丁番、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、ﾄﾞｱﾁｪｯｸ ｽﾁｰﾙｶﾞﾗﾘ	ﾋﾟﾎﾞｯﾄﾋﾝｼﾞ、ｹｰｽﾊﾝﾄﾞﾙ錠、ﾄﾞｱﾁｪｯｸ ｽﾁｰﾙｶﾞﾗﾘ、SUS製防虫網戸	ｱﾝｸﾞﾙﾋﾞｰｽ、付属金物一式 電動ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ
備　考		SUS防虫金網		6連動電動ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ仕様

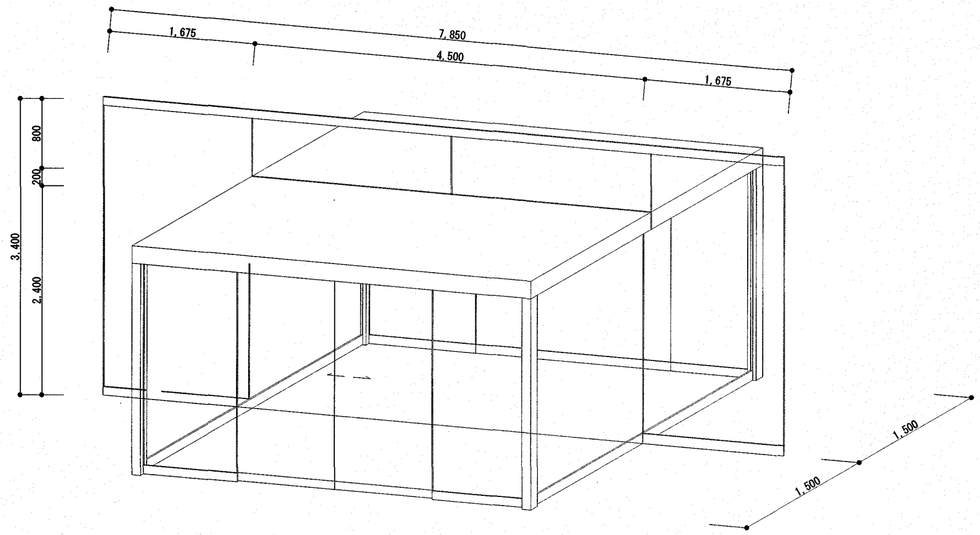
高知市 都市建設部 公共建築課			
係	係長	課長補佐	課長
中村	笹岡	濱口	松本

工事名	高知市斎場式場棟改修工事	SEET NO A-34	CHECKED BY
図面名	改修金属建具表-1	DATE	DRAWN BY 芝田
SCALE 1/50(A3=71%)	一級建築士事務所　高知県知事登録第956号 一級建築士　大臣登録第182598号　山口英治	高知市本町5-1-10 TEL 088-821-0230	

有限会社
山口英治建築設計事務所

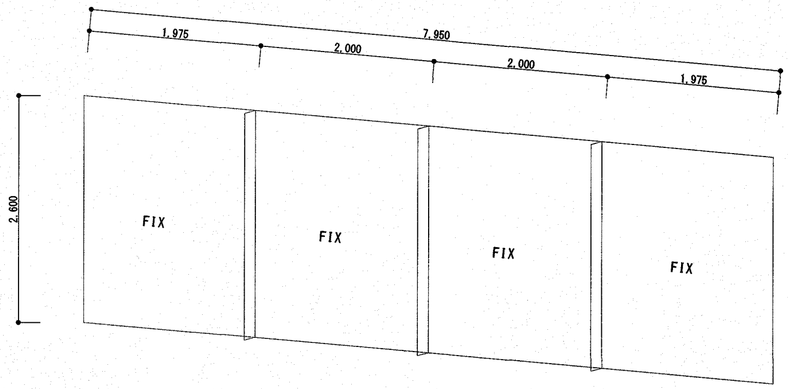
建具番号	建具種類	ケ所	引分け自動ﾄﾞｱ　ｴﾝｼﾞﾝ装置【新設】	1
GS 1				

建具形状



見込	30　100
仕上	
硝子	
附属金物	ｴﾝｼﾞﾝ装置、光線センサー、付属金物一式（各2か所）
備考	

GS 2	ｶﾞﾗｽｽｸﾘｰﾝ　ｶﾞﾗｽﾌｨﾙﾑ張り【新設】	1



見込	30
仕上	
硝子	
附属金物	
備考	

建具番号	建具種類	ケ所		
建具形状				
見込				
仕上				
硝子				
附属金物				
備考				

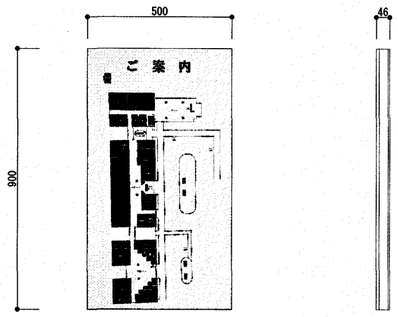
高知市 都市建設部 公共建築課			
係	係長	課長補佐	課長
中村	笹岡	濱口	松本

工事名	高知市斎場式場棟改修工事	SEET NO A-35	CHECKED BY
図面名	改修金属建具表-2	DATE	DRAWN BY 芝田
SCALE 1/50(A3=71%)	一級建築士事務所　高知県知事登録第956号 一級建築士　大臣登録第182598号　山口英治	高知市本町5-1-10 TEL 088-821-0230	

有限会社
山口英治建築設計事務所

サイン番号	サイン種類	ケ所			
S 1	総合案内板【新設】	S=1/15	1		

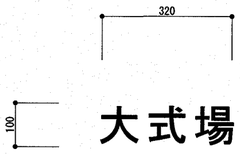
サイン形状



見込	46
仕上	ｱﾙﾐ複合板 t=5
硝子	
附属金物	
備考	

サイン番号	サイン種類	ケ所			
S 2	箱文字【新設】	S=1/10	1		

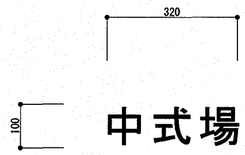
サイン形状



見込	
仕上	SUS 焼付塗装
硝子	
附属金物	
備考	壁面接着張り

サイン番号	サイン種類	ケ所			
S 3	箱文字【新設】	S=1/10	1		

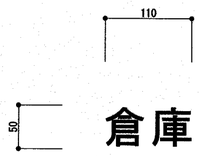
サイン形状



見込	
仕上	SUS 焼付塗装
硝子	
附属金物	
備考	壁面接着張り

サイン番号	サイン種類	ケ所			
S 4	切文字【新設】	S=1/10	2		

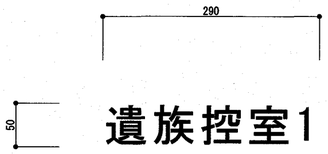
サイン形状



見込	
仕上	ｶｯﾃｨﾝｸﾞｼｰﾄ
硝子	
附属金物	
備考	

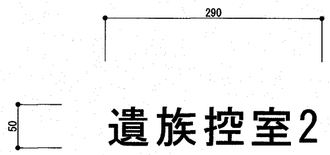
サイン番号	サイン種類	ケ所			
S 5	切文字【新設】	S=1/10	1		

サイン形状



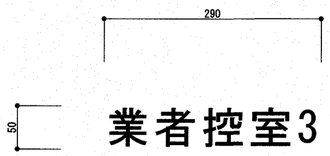
見込	
仕上	ｶｯﾃｨﾝｸﾞｼｰﾄ
硝子	
附属金物	
備考	

サイン番号	サイン種類	ケ所			
S 6	切文字【新設】	S=1/10	1		



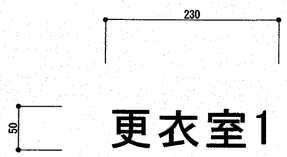
仕上	ｶｯﾃｨﾝｸﾞｼｰﾄ

サイン番号	サイン種類	ケ所			
S 7	切文字【新設】	S=1/10	1		



仕上	ｶｯﾃｨﾝｸﾞｼｰﾄ

サイン番号	サイン種類	ケ所			
S 8	切文字【新設】	S=1/10	1		

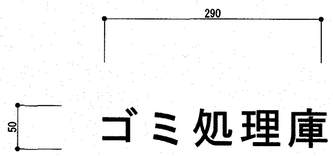


仕上	ｶｯﾃｨﾝｸﾞｼｰﾄ

サイン番号	サイン種類	ケ所			
S 9	切文字【新設】	S=1/10	1		

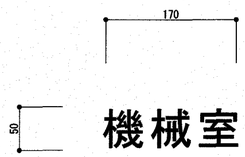
仕上	ｶｯﾃｨﾝｸﾞｼｰﾄ

サイン番号	サイン種類	ケ所			
S 10	切文字【新設】	S=1/10	1		



仕上	ｶｯﾃｨﾝｸﾞｼｰﾄ

サイン番号	サイン種類	ケ所			
S 11	切文字【新設】	S=1/10	1		



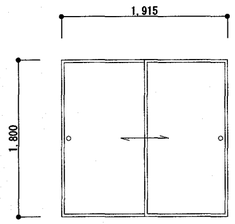
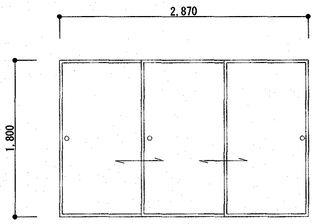
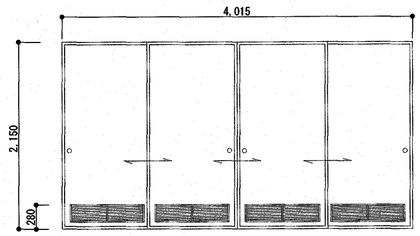
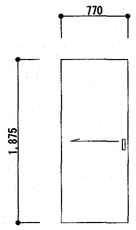
仕上	ｶｯﾃｨﾝｸﾞｼｰﾄ

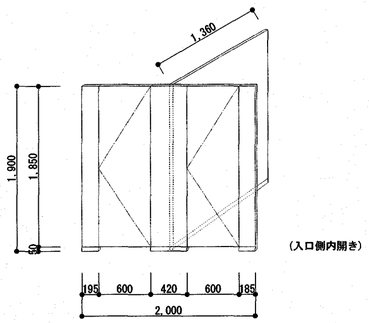
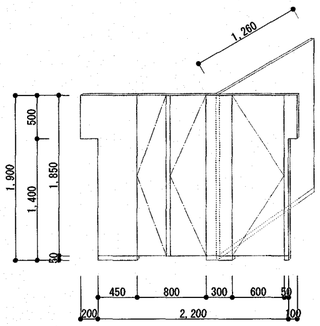
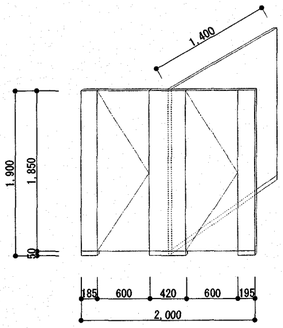
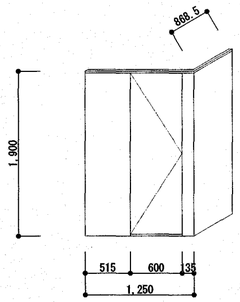
※文字色・ﾌｫﾝﾄ・取付位置は監督職員との協議による
※ｶｯﾃｨﾝｸﾞｼｰﾄは建具に取付

高知市 都市建設部 公共建築課			
係	係長	課長補佐	課長
中村	笹岡	濱口	松本

工事名	高知市斎場式場棟改修工事	SEET NO A-35-1	CHECKED BY
図面名	改修サイン表	DATE	DRAWN BY 芝田
SCALE 1/10, 1/15(A3=71%)	一級建築士事務所 高知県知事登録第956号 一級建築士 大臣登録第182598号 山口英治	高知市本町5-1-10 TEL 088-821-0230	

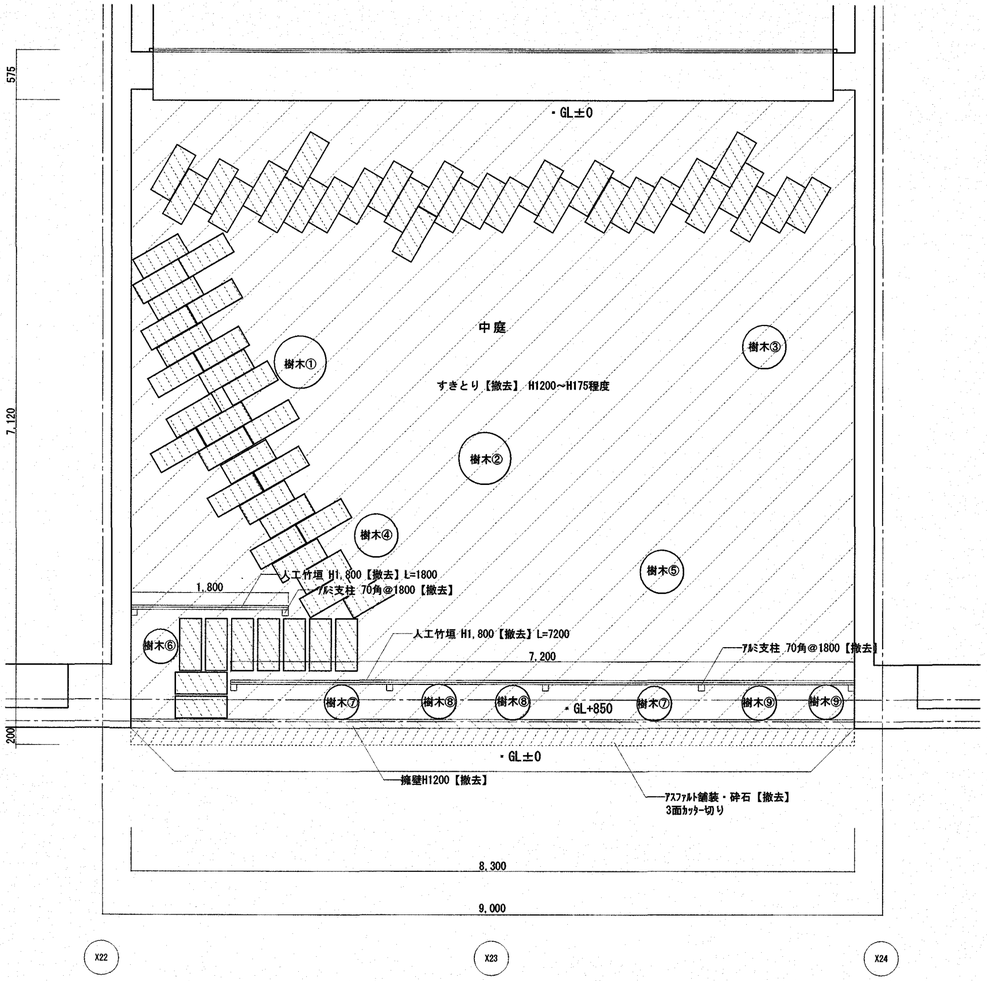
有限会社
山口英治建築設計事務所

建具番号	建具種類	ケ所	1	2枚引違い襖【新設】	1	2	3枚引違い襖【新設】	1	3	4枚引違い襖(ｶﾞﾗﾘ付)【新設】	2	1	片引き戸【新設】	1
建具形状														
見込			21			21			30			36		
仕上			本鳥の子張（中級程度） 枠：桧(白木)			本鳥の子張（中級程度） 枠：桧(白木)			本鳥の子張（中級程度） 枠：桧(白木) ｶﾞﾗﾘ：桧			ﾎﾟﾘ化粧合板ﾌﾗｯｼｭ 小口：桧 UC		
硝子														
附属金物			丸型引手			丸型引手			丸型引手			ｽﾃﾝﾚｽ舟底引手、2次元調整戸車V型、V型ﾌﾗｯﾄﾚｰﾙ、戸当り		
備考														

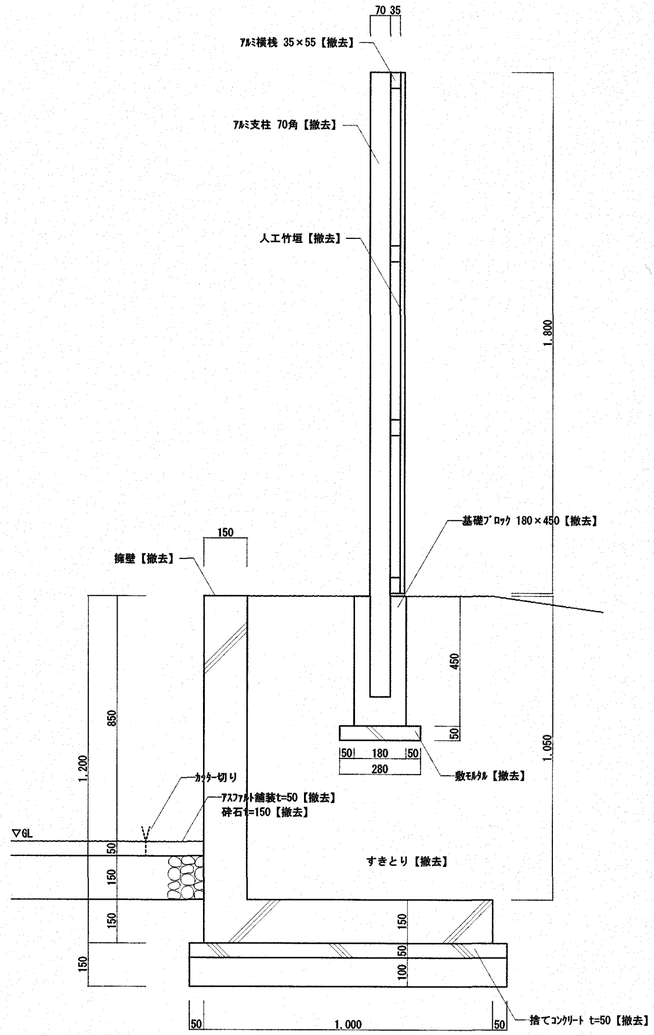
建具番号	建具種類	ケ所	TB 1	片開きﾄｲﾚﾌﾞｰｽ【新設】	1	TB 2	折戸ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ【新設】	1	TB 3	片開きﾄｲﾚﾌﾞｰｽ【新設】	1	B 1	更衣ﾌﾞｰｽ【新設】	1
建具形状														
見込			40			40			40			40		
仕上			高圧ﾒﾗﾐﾝ樹脂化粧板ﾌﾗｯｼｭ			高圧ﾒﾗﾐﾝ樹脂化粧板ﾌﾗｯｼｭ			高圧ﾒﾗﾐﾝ樹脂化粧板ﾌﾗｯｼｭ			ﾎﾟﾘ化粧合板ﾌﾗｯｼｭ 小口：桧 UC		
硝子														
附属金物			ｱﾙﾐRｴｯｼﾞ、ｽﾃﾝﾚｽ巾木(脚ﾀｲﾌﾟ)、ｽﾃﾝﾚｽ頭つなぎ、ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ 表示付ｽﾗｲﾄﾞ錠(非常解除付き)、ｽﾄﾗｲｸ、帽子掛付戸当り、その他付属金物一式			ｱﾙﾐRｴｯｼﾞ、ｽﾃﾝﾚｽ巾木(脚ﾀｲﾌﾟ)、ｽﾃﾝﾚｽ頭つなぎ、ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ、折戸用金物 表示付ｽﾗｲﾄﾞ錠(非常解除付き)、ｽﾄﾗｲｸ、帽子掛付戸当り、その他付属金物一式			ｱﾙﾐRｴｯｼﾞ、ｽﾃﾝﾚｽ巾木(脚ﾀｲﾌﾟ)、ｽﾃﾝﾚｽ頭つなぎ、ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ 表示付ｽﾗｲﾄﾞ錠(非常解除付き)、ｽﾄﾗｲｸ、帽子掛付戸当り、その他付属金物一式			ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ、表示付ｽﾗｲﾄﾞ錠(非常解除付き)、ｽﾄﾗｲｸ、帽子掛付戸当り ｽﾃﾝﾚｽ頭つなぎ、その他付属金物一式		
備考			内開き戸：非常時外開き仕様			内開き戸：非常時外開き仕様						内開き戸：非常時外開き仕様		

建具番号	建具種類	ケ所												
建具形状														
見込														
仕上														
硝子														
附属金物														
備考														

高知市 都市建設部 公共建築課				工事名	高知市斎場式場棟改修工事	SEET NO A-36	CHECKED BY	有限会社 山口英治建築設計事務所
係	係長	課長補佐	課長	図面名	改修木製建具表	DATE	DRAWN BY 芝田	
中村	笹岡	濱口	松木	SCALE 1/50(A3=71%)	一級建築士事務所 高知県知事登録第956号 一級建築士 大臣登録第182598号 山口英治	高知市本町5-1-10 TEL 088-821-0230		



式場棟既存外構図 S=1/50



断面詳細図 S=1/15

※擁壁及び基礎ﾌﾞﾛｯｸは想定寸法

■撤去樹木リスト

記　号	樹　高	幹　径	葉　張	本　数
樹木①	6.0m	0.4m	3.0m	1本
樹木②	6.0m	0.8m	1.3m	1本
樹木③	3.0m	0.3m	1.2m	1本
樹木④	3.0m	0.2m	1.4m	1本
樹木⑤	3.0m	0.15m	2.5m	1本
樹木⑥	2.5m	0.2m	0.7m	1本
樹木⑦	3.0m	0.3m	1.2m	2本
樹木⑧	3.0m	0.2m	1.2m	2本
樹木⑨	3.0m	0.4m	1.2m	2本

※樹木は全て伐採抜根とする。

■撤去凡例

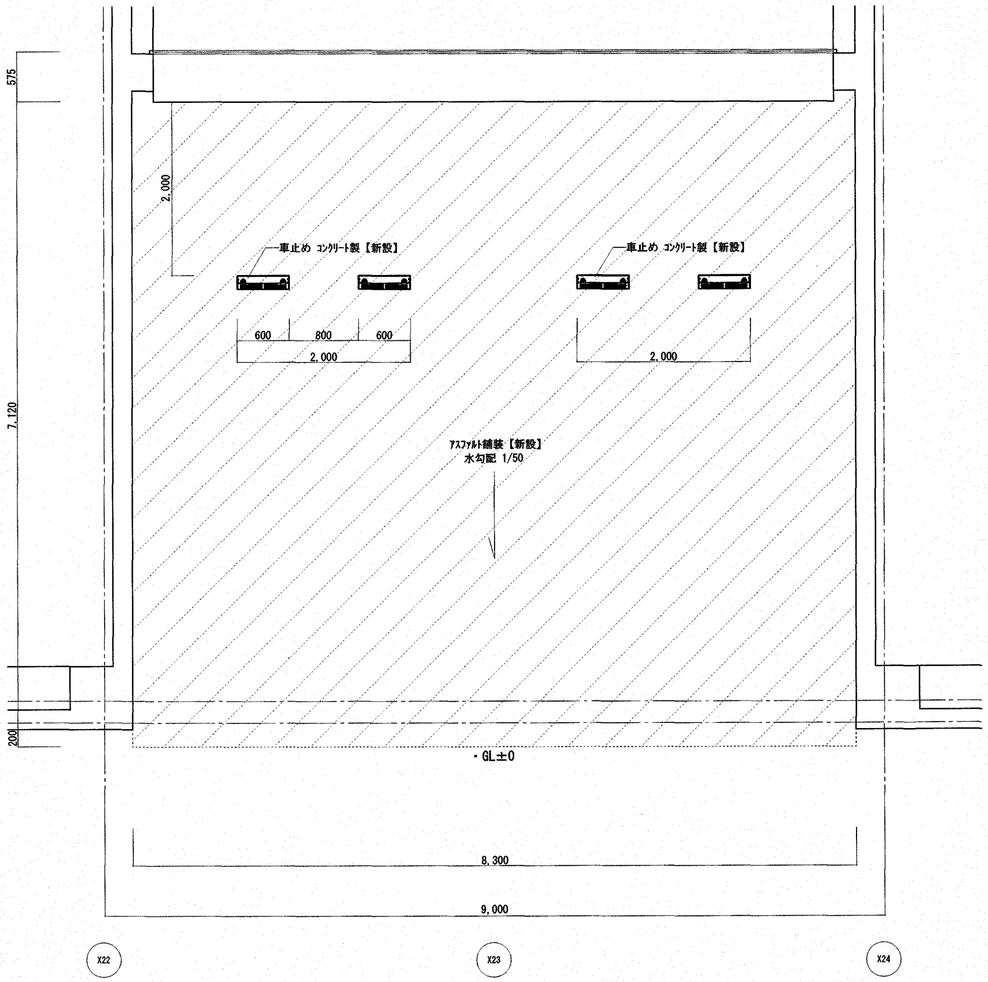
記　号	仕　上	数　量	記　号	仕　上	数　量
	すきとり【撤去】 H1200～H175程度		人工竹垣	H1,800程度【撤去】	
	擁壁 D150×H1200【撤去】				
	石　400×150×H100程度【撤去】	100個			
	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装・砕石【撤去】				

高知市 都市建設部 公共建築課			
係	係　長	課長補佐	課　長
中村	笹岡	濱口	松本

工事名	高知市斎場式場棟改修工事	SEET NO A-37	CHECKED BY
図面名	既存外構図	DATE	DRAWN BY 芝田
SCALE 1/15,1/50(A3=71%)	一級建築士事務所　高知県知事登録第956号 一級建築士　大臣登録第182598号　山口英治	高知市本町5-1-10 TEL　088-821-0230	

有限会社
山口英治建築設計事務所

改修



式場棟既存外構図 S=1/50

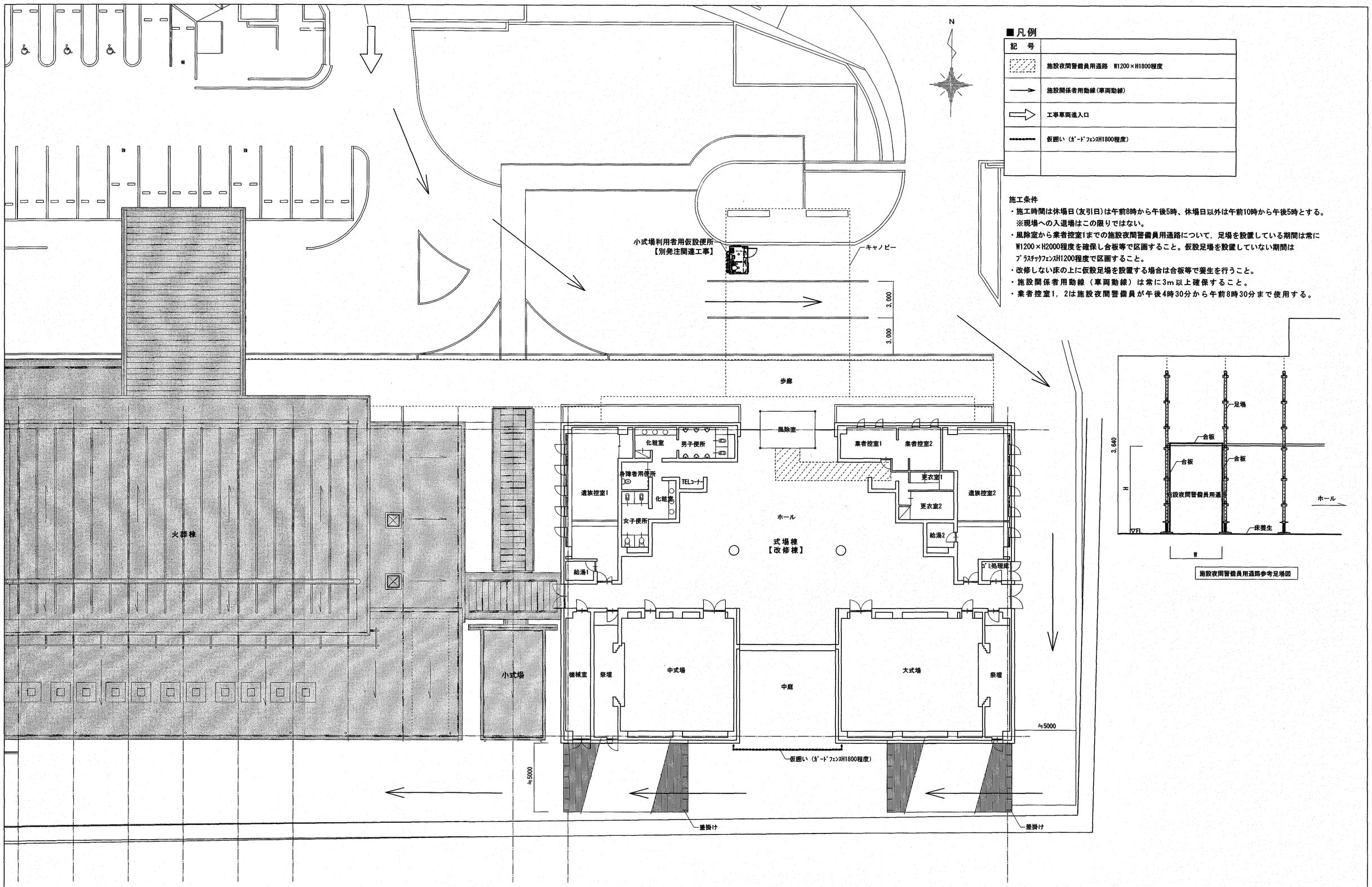
■新設凡例

記号	仕上	数量	記号	仕上	数量	記号	仕上	数量
	アスファルト舗装 A-5-15							
	車止め コンクリート製 W600×D160×H100程度 接着剤+アンカーピン固定							

高知市 都市建設部 公共建築課			
係	係長	課長補佐	課長
中村	笹岡	濱口	松本

工事名	高知市斎場式場棟改修工事	SEET NO A-38	CHECKED BY
図面名	改修外構図	DATE	DRAWN BY 芝田
SCALE 1/150(A3=71%)	一級建築士事務所 高知県知事登録第956号 一級建築士 大臣登録第182598号 山口英治	高知市本町5-1-10 TEL 088-821-0230	

有限会社
山口英治建築設計事務所



施設夜間警備員用通路参考足場図

仮設計画図　S=1/200

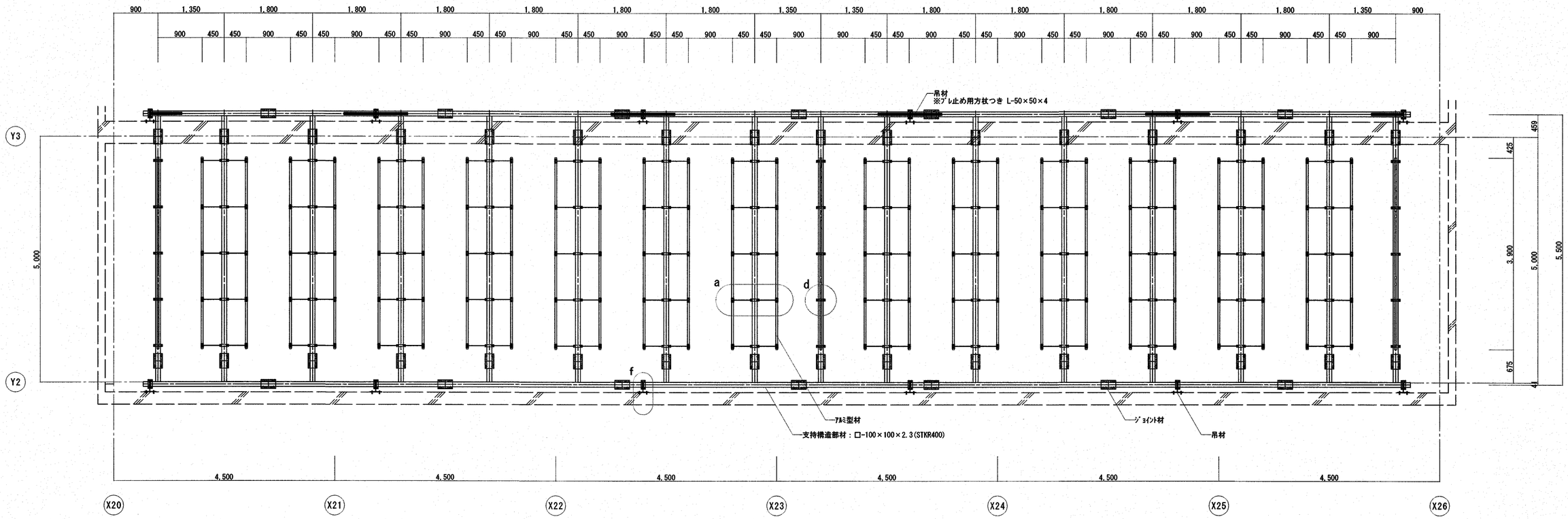
■凡例

記　号	
	施設夜間警備員用通路　W1200×H1800程度
	施設関係者用動線(車両動線)
	工事車両進入口
	仮囲い（ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽH1800程度）

施工条件

・施工時間は休場日(友引日)は午前8時から午後5時、休場日以外は午前10時から午後5時とする。
　※現場への入退場はこの限りではない。
・風除室から業者控室1までの施設夜間警備員用通路について，足場を設置している期間は常に
　W1200×H2000程度を確保し合板等で区画すること。仮設足場を設置していない期間は
　ﾌﾟﾗｽﾁｯｸﾌｪﾝｽH1200程度で区画すること。
・改修しない床の上に仮設足場を設置する場合は合板等で養生を行うこと。
・施設関係者用動線（車両動線）は常に3m以上確保すること。
・業者控室1，2は施設夜間警備員が午後4時30分から午前8時30分まで使用する。

高知市 都市建設部 公共建築課				工事名	高知市斎場式場棟改修工事	SEET NO A-39	CHECKED BY
係	係 長	課長補佐	課 長	図面名	仮設計画図	DATE	DRAWN BY 芝田
中村	笹岡	濱口	松本	SCALE 1/200(A3=71%)	一級建築士事務所　高知県知事登録第956号 一級建築士　大臣登録第182598号　山口英治	高知市本町5-1-10 TEL　088-821-0230	有限会社 山口英治建築設計事務所



膜天井伏詳細図【参考図】 S=1/60

〈膜材〉

膜材料：不燃材料

重量：460 g/㎡程度

引張強度：タテ800N/cm, ヨコ400N/cm以上

＜特記事項＞

- 製造所は一般社団法人日本膜構造協会第１種正会員であること
- 製造所は一般社団法人日本膜構造協会の膜体加工工場認定制度に登録された工場（A種を除く膜材料を加工する工場）で加工すること。
- 膜材料を製品使用後に引き取り、リサイクルされる仕組みを整えていること
- 膜材料は、F☆☆☆☆同等の性能を有していることを、試験・検証にて実証済みであること

※膜天井鉄骨下地・鉄骨下地・あと施工アンカー等の部材及び寸法は参考とし，全て膜天井製造所の構造計算に基づく性能を満たすものとする

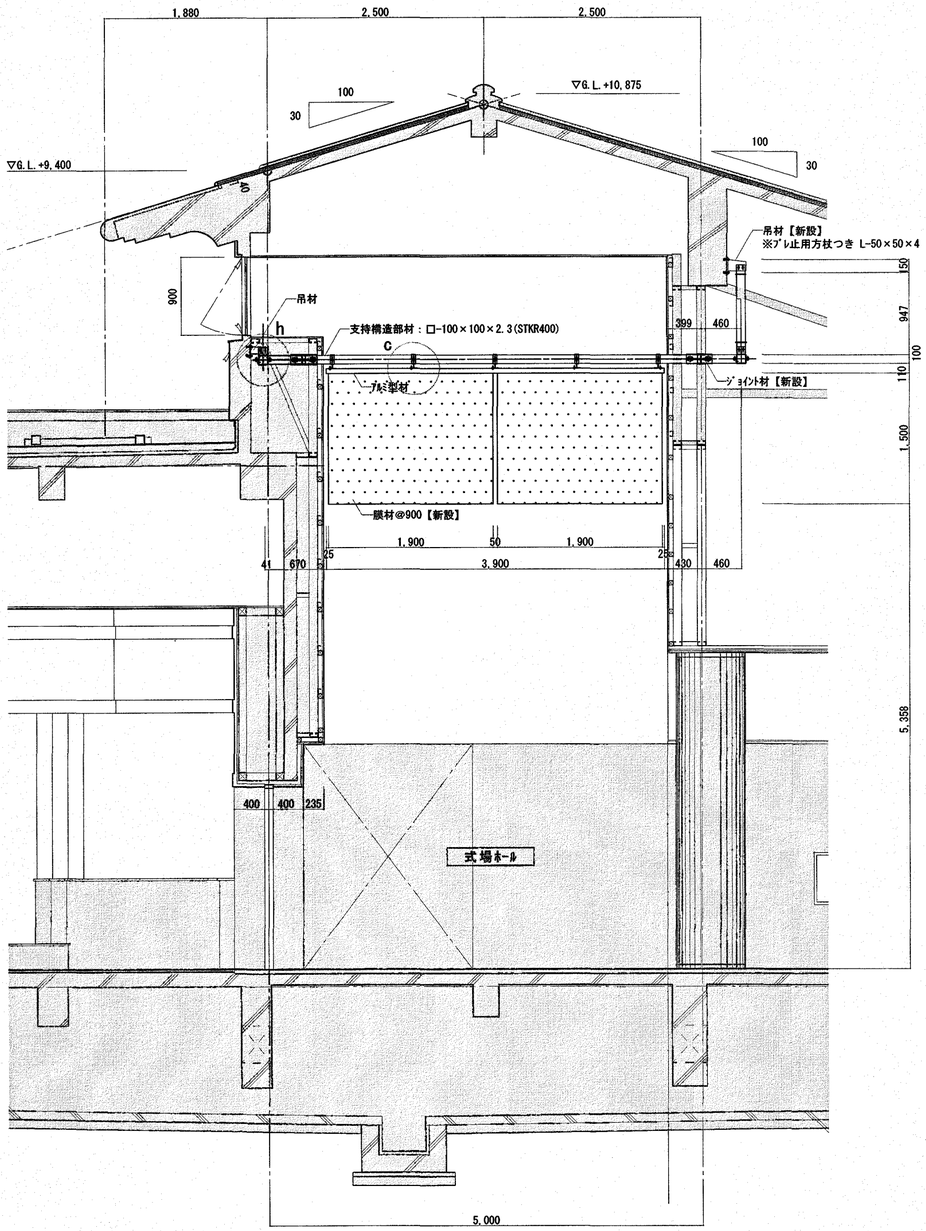
※建築基準法・同施行令・告示等を構造設計上の準拠基準とし，地震層せん断力係数は1.225とする

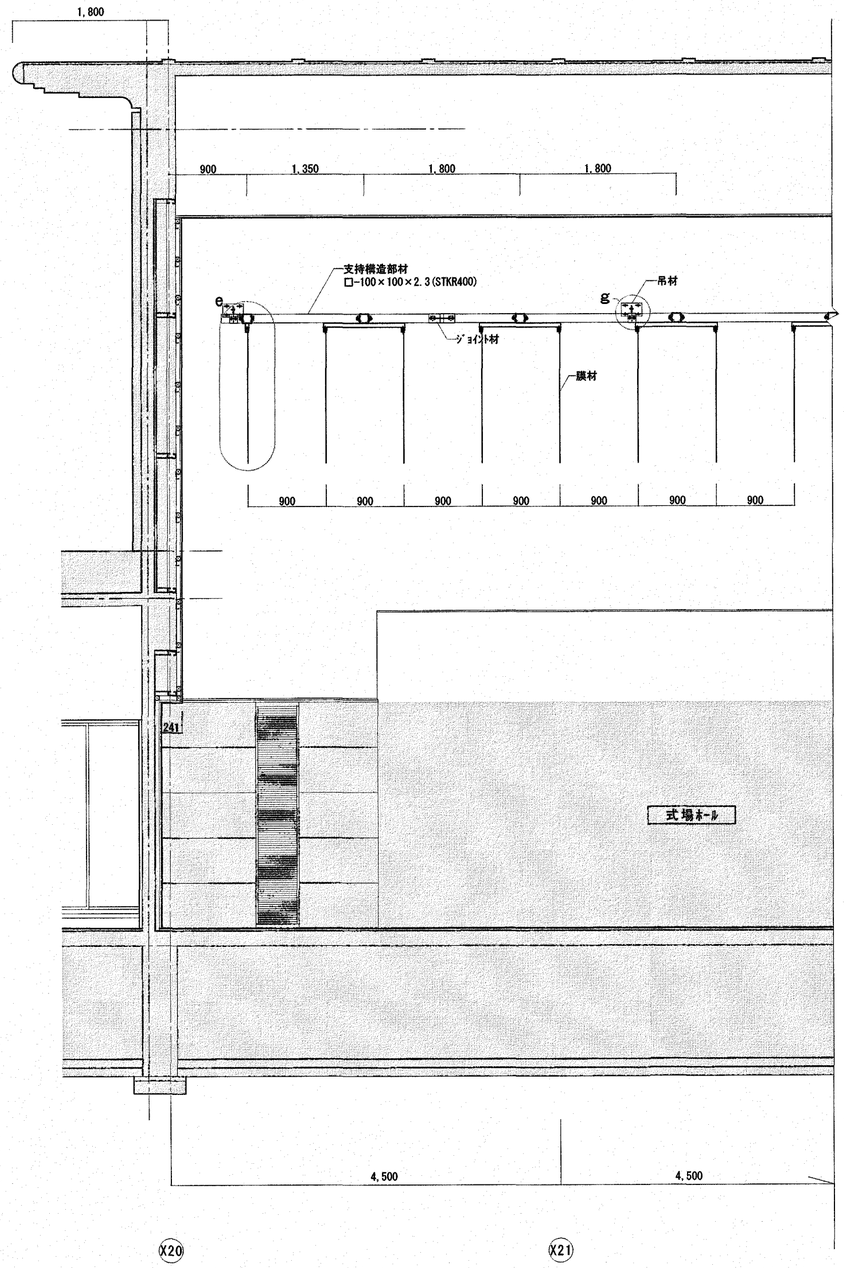
※鉄骨部材は全て溶融亜鉛めっき処理とする

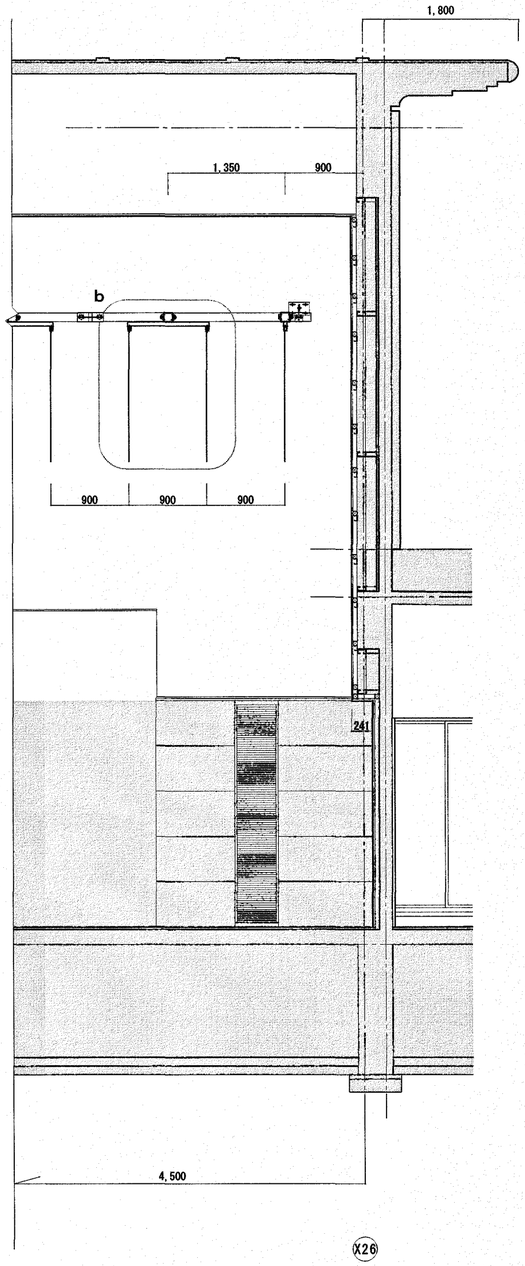
高知市 都市建設部 公共建築課			
係	係 長	課長補佐	課 長

工事名	高知市斎場式場棟改修工事	SEET NO A-40	CHECKED BY
図面名	膜天井伏詳細図【参考図】	DATE	DRAWN BY 芝田
SCALE 1/60(A3=71%)	一級建築士事務所 高知県知事登録第956号 一級建築士 大臣登録第182598号 山口英治	高知市本町5-1-10 TEL 088-821-0230	

有限会社
山口英治建築設計事務所







膜天井断面詳細図【参考図】 S=1/50

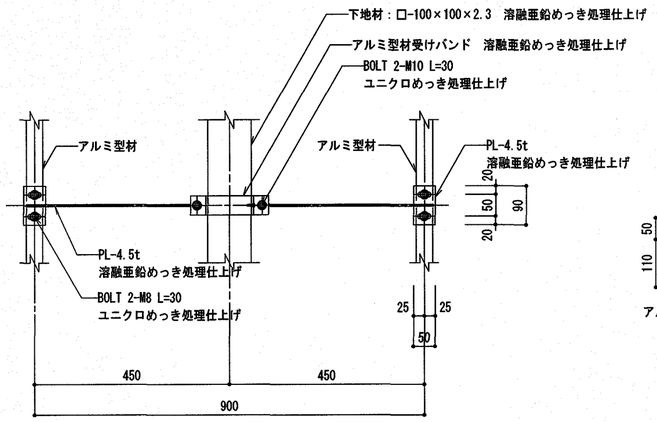
非改修範囲を示す

※膜天井鉄骨下地・鉄骨下地・あと施工アンカー等の部材及び寸法は参考とし，全て膜天井製造所の構造計算に基づく性能を満たすものとする
※建築基準法・同施行令・告示等を構造設計上の準拠基準とし，地震層せん断力係数は1.225とする
※鉄骨部材は全て溶融亜鉛めっき処理とする

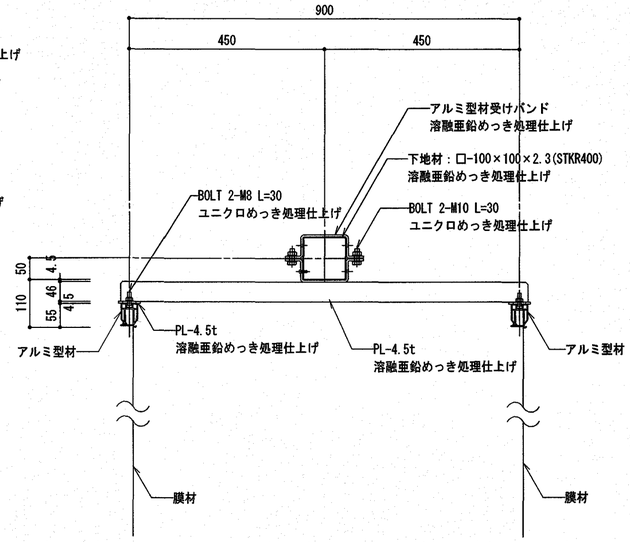
高知市 都市建設部 公共建築課			
係	係 長	課長補佐	課 長

工事名	高知市斎場式場棟改修工事	SEET NO A-41	CHECKED BY
図面名	膜天井断面詳細図【参考図】	DATE	DRAWN BY 芝田
SCALE 1/50(A3=71%)	一級建築士事務所 高知県知事登録第956号 一級建築士 大臣登録第182598号 山口英治	高知市本町5-1-10 TEL 088-821-0230	

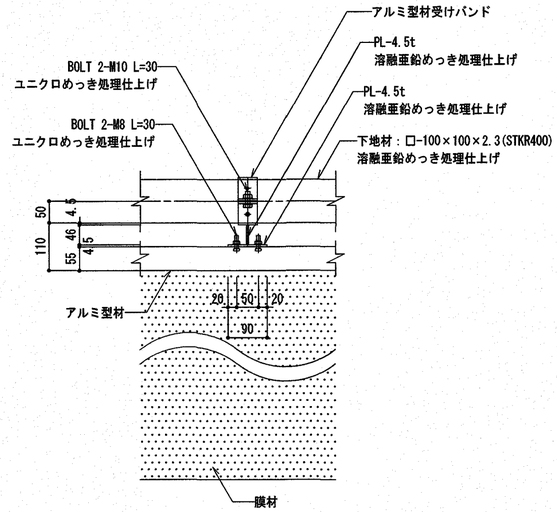
有限会社
山口英治建築設計事務所



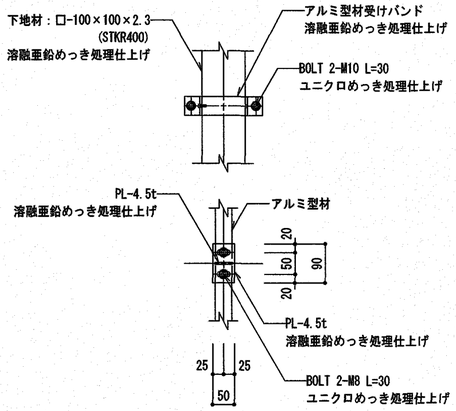
a部詳細図【参考図】 S=1:10



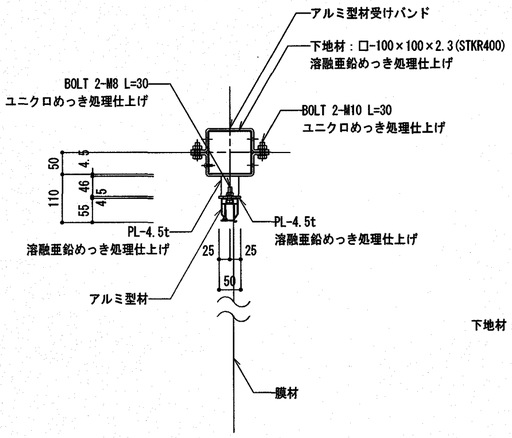
b部詳細図【参考図】 S=1:10



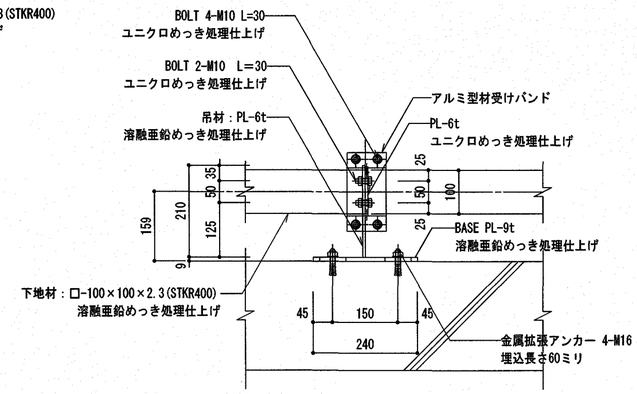
c部詳細図【参考図】 S=1:10



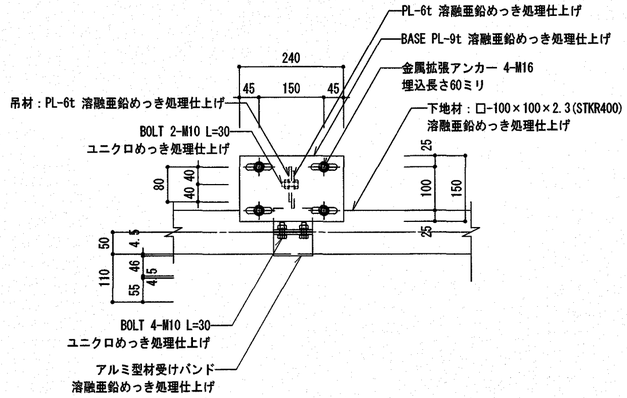
d部詳細図【参考図】 S=1:10



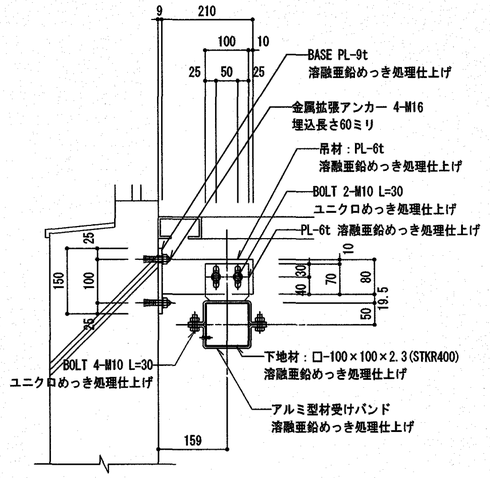
e部詳細図【参考図】 S=1:10



f部詳細図【参考図】 S=1:10



g部詳細図【参考図】 S=1:10



h部詳細図【参考図】 S=1:10

※膜天井鉄骨下地・鉄骨下地・あと施工アンカー等の部材及び寸法は参考とし，全て膜天井製造所の構造計算に基づく性能を満たすものとする
※建築基準法・同施行令・告示等を構造設計上の準拠基準とし，地震層せん断力係数は1.225とする
※鉄骨部材は全て溶融亜鉛めっき処理とする

高知市 都市建設部 公共建築課			
係	係 長	課長補佐	課 長

工事名	高知市斎場式場棟改修工事	SEET NO A-42	CHECKED BY
図面名	膜天井部分詳細図【参考図】	DATE	DRAWN BY 芝田
SCALE 1/10(A3=71%)	一級建築士事務所 高知県知事登録第956号 一級建築士 大臣登録第182598号 山口英治	高知市本町5-1-10 TEL 088-821-0230	

有限会社
山口英治建築設計事務所